

外装リフォーム②RC・S造(ALC)編
木胴縁工法
＜納まり詳細図＞

1	RC	モエン横張り	金具施工
2	RC	モエン横張り	釘打ち施工
3	RC	モエン縦張り	金具施工
4	RC	モエン縦張り	釘打ち施工
5	S造(ALC厚100mm)	モエン横張り	金具施工
6	S造(ALC厚100mm)	モエン横張り	釘打ち施工
7	S造(ALC厚100mm)	モエン縦張り	金具施工
8	S造(ALC厚100mm)	モエン縦張り	釘打ち施工
9	RC	センターサイディング横張り	ビス留め施工
10	RC	センターサイディング縦張り	ビス留め施工
11	S造(ALC厚100mm)	センターサイディング横張り	ビス留め施工
12	S造(ALC厚100mm)	センターサイディング縦張り	ビス留め施工
13	S造(ALC厚50mm)	モエン縦張り	釘打ち施工

1 各部の納まり詳細図

RC

木胴縁工法

モエン横張り

金具施工

1)基本構成図	構成断面
2)胴縁概要図	
3)主要部材一覧	
4)土台部	
5)上下接合部	①木胴縁 ②モエン
6)左右接合部	①1.5尺×10尺 ②1.5尺×6尺
7)入隅部	
8)出隅部	同質出隅
9)開口部	①上側 ②下側 ③左右側
10)笠木部	

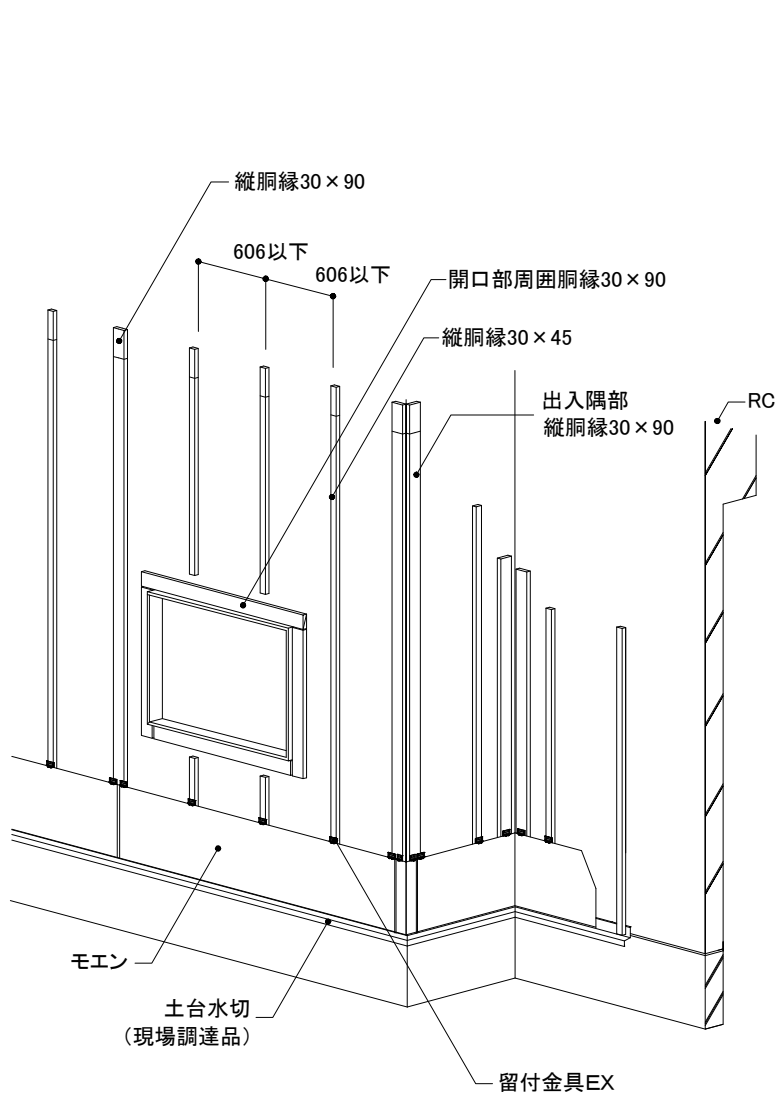
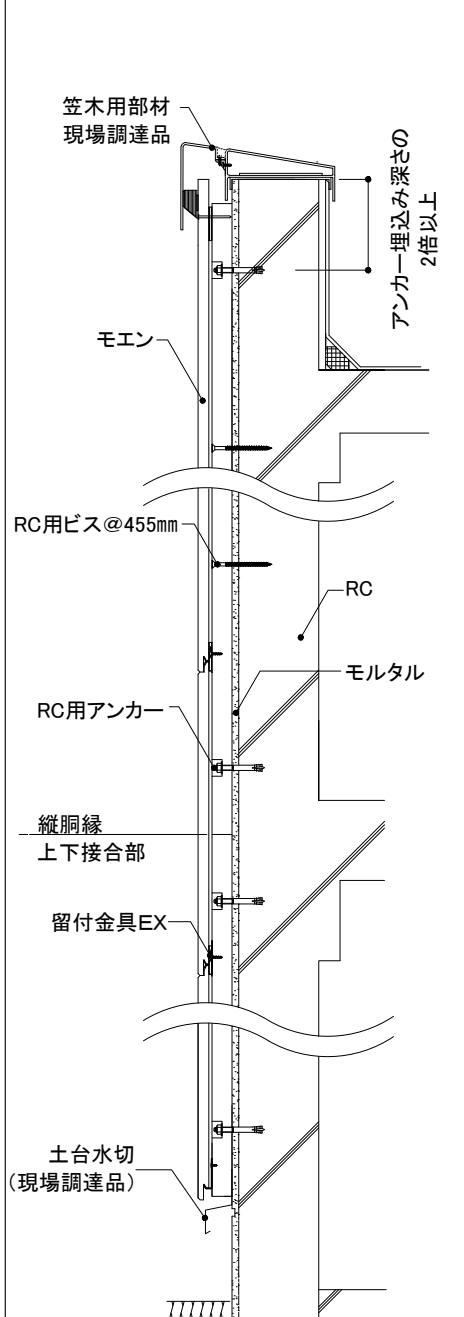
本章は、基本的な納まり例を記載しています。注意事項、禁止事項をご理解いただいたうえで施工してください。

16~21mm厚品 EX S	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	金具	横	縦胴縁@606mm以下

1) 基本構成図

構成断面

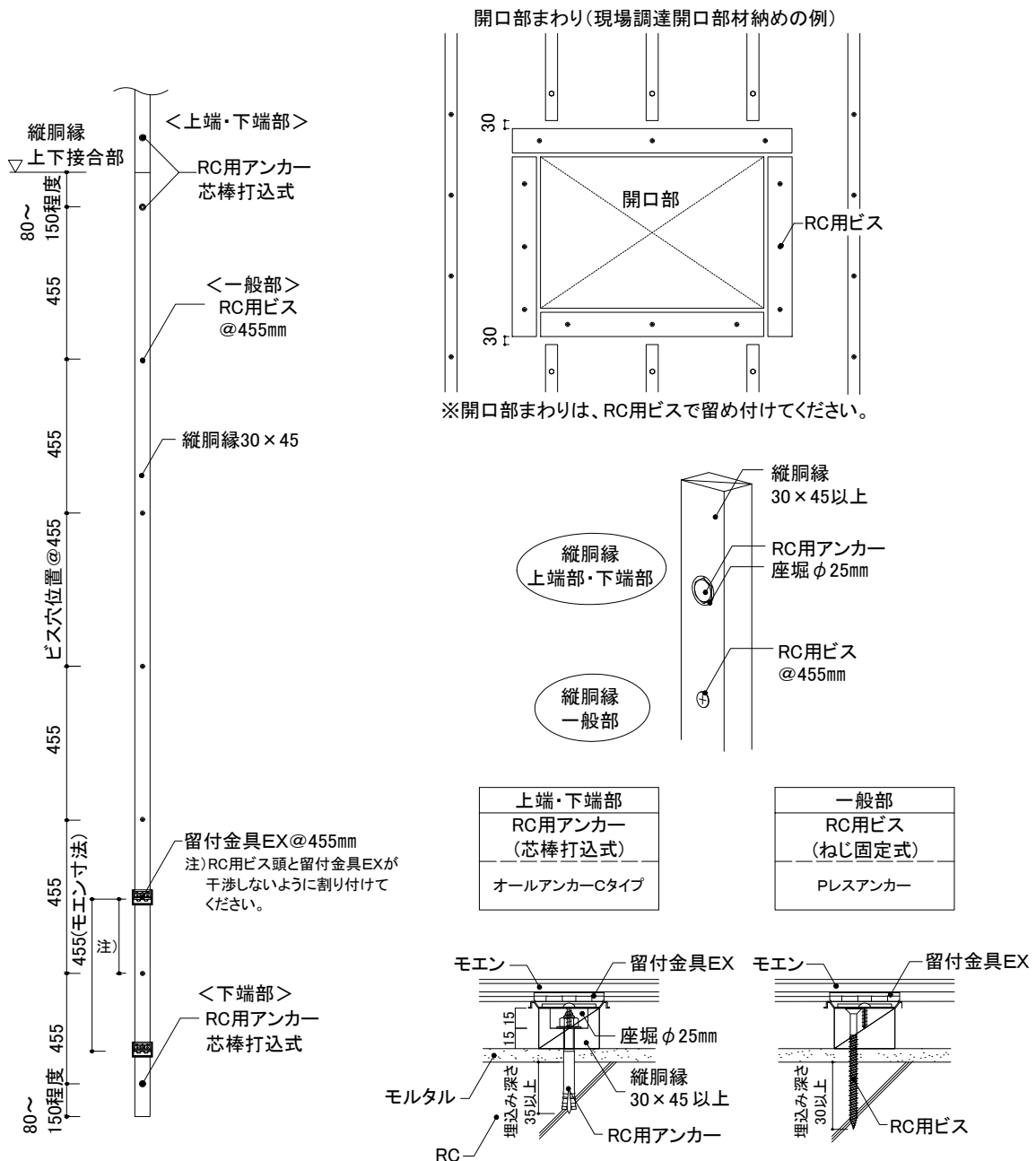
- 下地外壁材にひび割れなどが無い確認し、必要に応じて補修を行います。
- 下地は図のように、606mm以下の間隔で木胴縁を取り付けます。
- 左右接合部・入隅部・出隅部・開口部まわりなどには、必要に応じて倍幅90mm以上の木胴縁を使用します。
- 木胴縁の上下接合部では、RCアンカーが留付金具EXの施工に干渉しないようにします。



16~21mm厚品 EX S	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	金具	横	縦胴縁@606mm以下

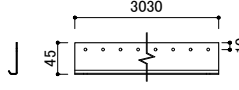
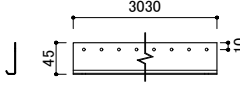
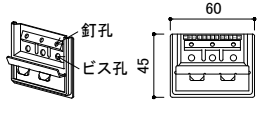
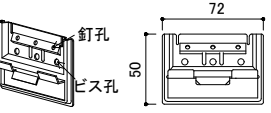

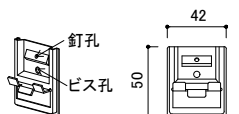
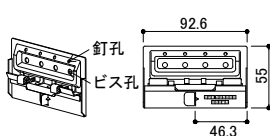
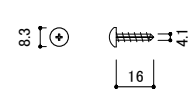
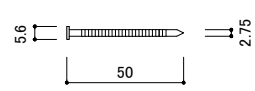
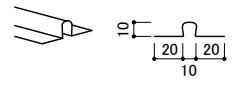
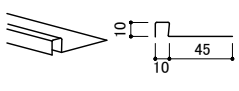
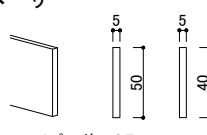
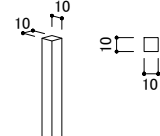
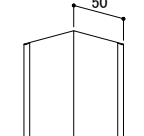
2) 胴縁概要図

- 木胴縁はRC用ビスを用いて、455mm以下の間隔で留め付けます。ただし、木胴縁1本につき上端部、下端部の2ヶ所はRC用アンカーとします。
- モエンとの干渉を防ぐため、木胴縁にはあらかじめRC用アンカー部分にφ25mm、深さ15mm程度の座堀をします。
- 出隅部・開口部まわりは、RC用ビスで留め付けます。
- 木胴縁の長さが1m未満の場合、RC用アンカーは1ヶ所留めとします。
- RC外壁がモルタルで仕上げられている場合などは、モルタルの塗り厚さに注意してRC用アンカー・ビスのサイズを選定します。アンカー・ビスの種類によって埋込み深さが異なります。
- RC用アンカー・ビスの設定は、物件ごとに既存壁に対するアンカー・ビスの引っ張り荷重確認を行い決定します。



16~21mm厚品 EX S	下地・工法 RC	留付方法	張り方向	胴縁組
	木胴縁工法	金具	横	縦胴縁@606mm以下

3) 主要部材一覧

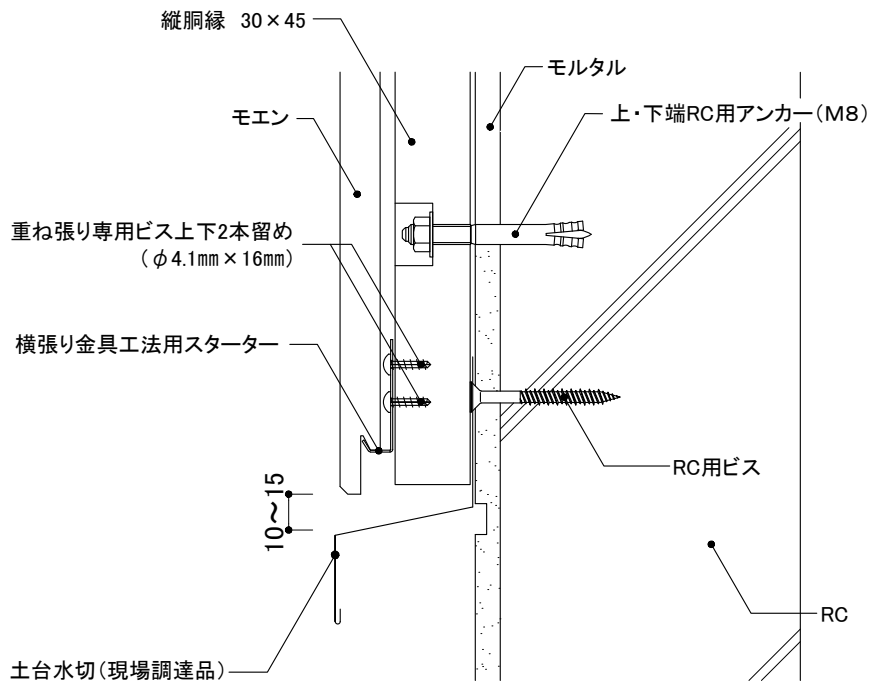
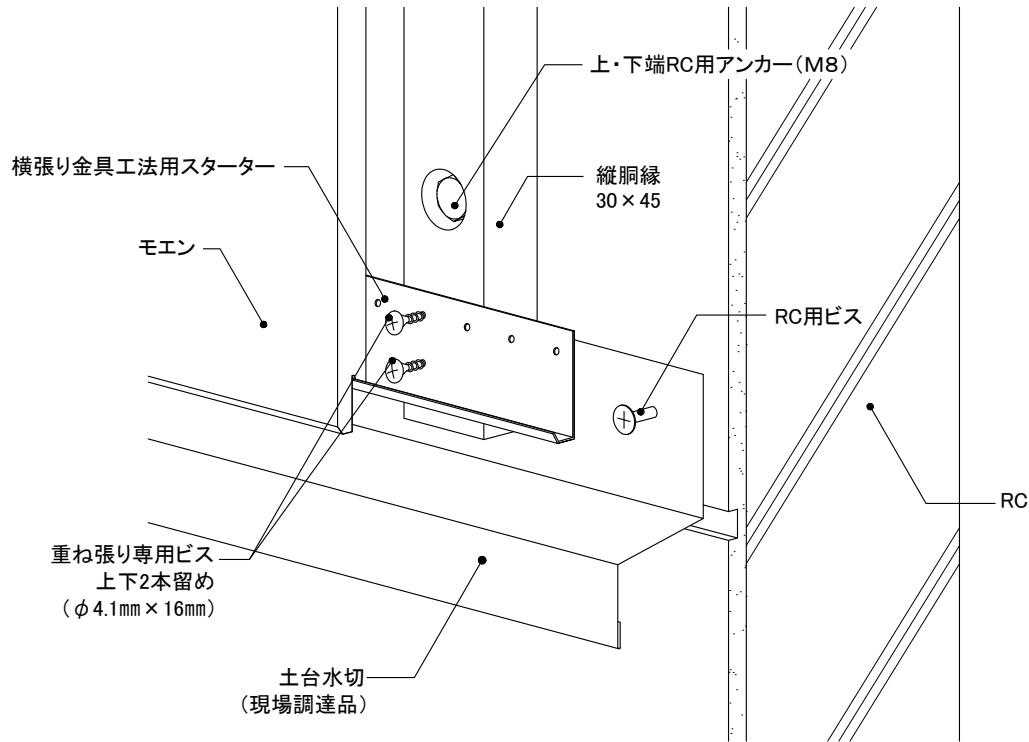
<p>■スターター</p>  <p>横張り金具工法用スターターA (エクセラード用) (モエンS18ハルモニアシリーズ用) 【品番: FA150A】 材質: 塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み: 0.8mm 長さ: 3,030mm 備考: 専用ビスで留め付ける ビス留めピッチ: 胴縁ごと(606mm以下)</p>	<p>■スターター</p>  <p>横張り金具工法用スターターB (モエンS18ハルモニアシリーズ以外用) 【品番: FA150B】 材質: 塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み: 0.8mm 長さ: 3,030mm 備考: 専用ビスで留め付ける ビス留めピッチ: 胴縁ごと(606mm以下)</p>	<p>■一般部金具</p>  <p>横張り用留付金具EX (エクセラード用) (モエンS18ハルモニアシリーズ用) 【品番: JE555】 材質: 高耐食めっき鋼板 備考: 専用ビスで留め付ける</p>	<p>■一般部金具</p>  <p>横張り用留付金具EX (モエンS18ハルモニアシリーズ以外用) 【品番: JE650】 材質: 高耐食めっき鋼板 備考: 専用ビスで留め付ける</p>
<p>■出隅部金具</p>  <p>横張り用留付金具EX出隅用II (エクセラード用) (モエンS18ハルモニアシリーズ用) 【品番: JE552C】 材質: 高耐食めっき鋼板 備考: 本体には使用できません</p>	<p>■出隅部金具</p>  <p>横張り用留付金具EX出隅用II (モエンS18ハルモニアシリーズ以外用) 【品番: JE652C】 材質: 高耐食めっき鋼板 備考: 本体には使用できません</p>	<p>■左右接合部金具 (1.5尺×6尺品用)</p>  <p>横張り用留付金具EX左右接合部用 (エクセラード用) 【品番: JEJ565】 材質: 高耐食めっき鋼板 備考: 専用ビス2本で留め付ける</p>	<p>■専用ビス (金具留付用)</p>  <p>ステンステクスネジ 【品番: JK1130】 材質: ステンレス サイズ: φ4.1mm×16mm</p>
<p>■専用ビス (サイディング留付用)</p>  <p>モエン用釘(ステンスリング釘) 【品番: JKW840Bなど】 材質: ステンレス サイズ: φ2.75mm×50mm</p>	<p>■ハットジョイナー</p>  <p>ハットジョイナー10 【品番: FH1010R】 材質: フッ素樹脂コート 高耐食GLめっき鋼板 厚み: 0.3mm 長さ: 3,030mm 表面色: クリアレッド着色</p>	<p>■片ハットジョイナー</p>  <p>片ハットジョイナー10 【品番: FHK1110R】 材質: フッ素樹脂コート 高耐食GLめっき鋼板 厚み: 0.3mm 長さ: 2,000mm 表面色: クリアレッド着色</p>	<p>■スペーサー</p>  <p>スペーサー05 【品番: FS1005】 長さ: 1,200mm 材質: ポリプロピレン スペーサー05(ピースタイプ) 【品番: FSP1005】 長さ: 1,000mm 材質: ポリプロピレン</p>
<p>■バックアップ材</p>  <p>バックアップ材10 【品番: FB1010】 材質: 発泡ポリエチレン 長さ: 1,000mm</p>	<p>■入隅50</p>  <p>入隅50 【品番: JR1900】 材質: 高耐食GLめっき鋼板 厚み: 0.27mm 長さ: 3,030mm</p>	<p>■RC用アンカー</p> <p>(現場調達品)</p> <p>木胴縁取り付け用</p> <p>外装リフォーム②RC・S造(ALC)編の3-5 RC・S造(ALC) 金属(木)胴縁工法各部材の施工をご参照ください。</p>	<p>■RC用ビス</p> <p>(現場調達品)</p> <p>木胴縁取り付け用</p> <p>外装リフォーム②RC・S造(ALC)編の3-5 RC・S造(ALC) 金属(木)胴縁工法各部材の施工をご参照ください。</p>

※各部材は2022年3月時点のものです。最近の情報はNICHIIHA内外建材総合カタログでご確認ください。

16~21mm厚品 EX S	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	金具	横	縦胴縁@606mm以下

4) 土台部

- 土台水切をRC用ビスで留め付けてから、木胴縁を施工します。
- 横張り金具工法用スターターは、重ね張り専用ビス(φ4.1mm×16mm)を用い、胴縁ごとに横張り金具工法用スターターの立ち上がり部に上下2本留めます。下段部分は先孔をあけてから留め付けます。
- モエン下端と土台水切の間は、10~15mm程度の隙間を設けます。

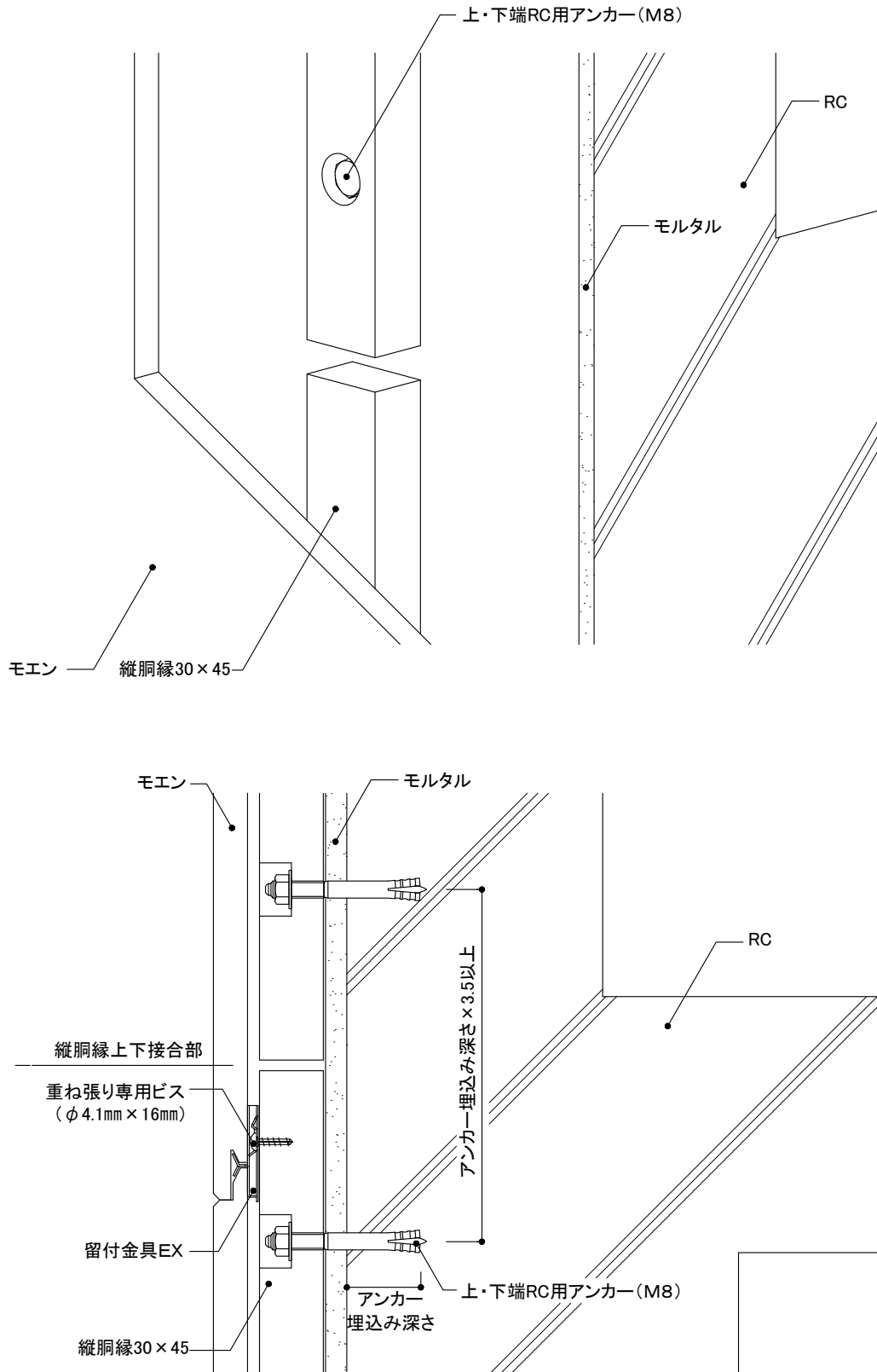


16~21mm厚品 EX S	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	金具	横	縦胴縁@606mm以下

5) 上下接合部

① 木胴縁

●木胴縁の上下接合部では、RC用アンカーが留付金具EXの施工に干渉しないようにします。



16~21mm厚品

EX S

下地・工法

RC
木胴縁工法

留付方法

金具

張り方向

横

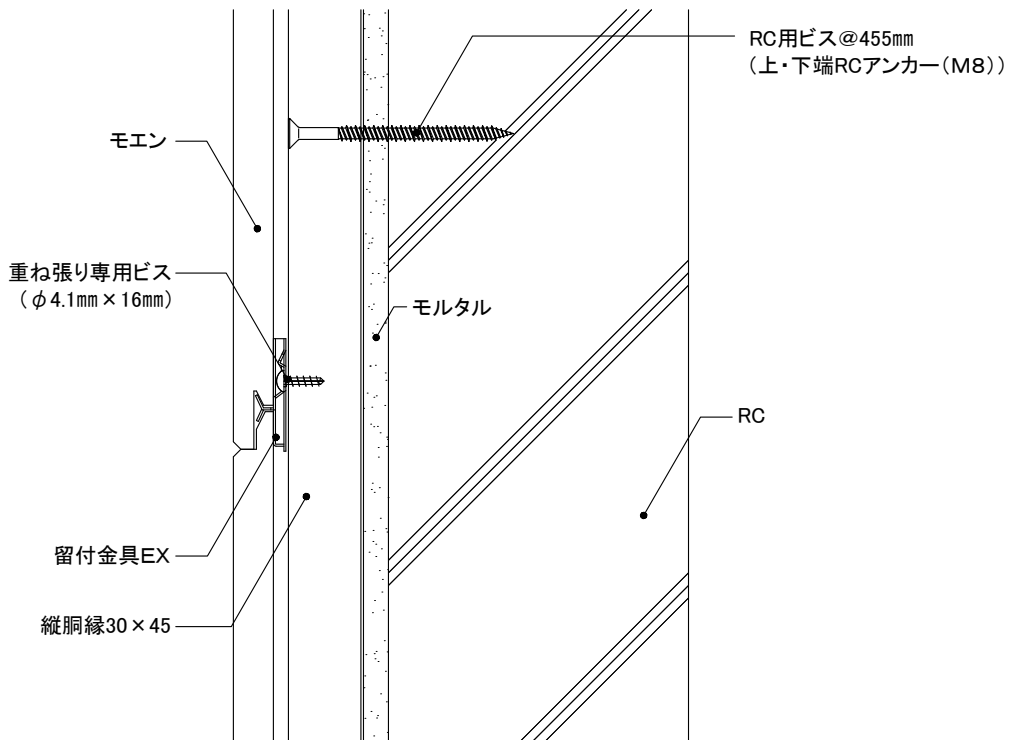
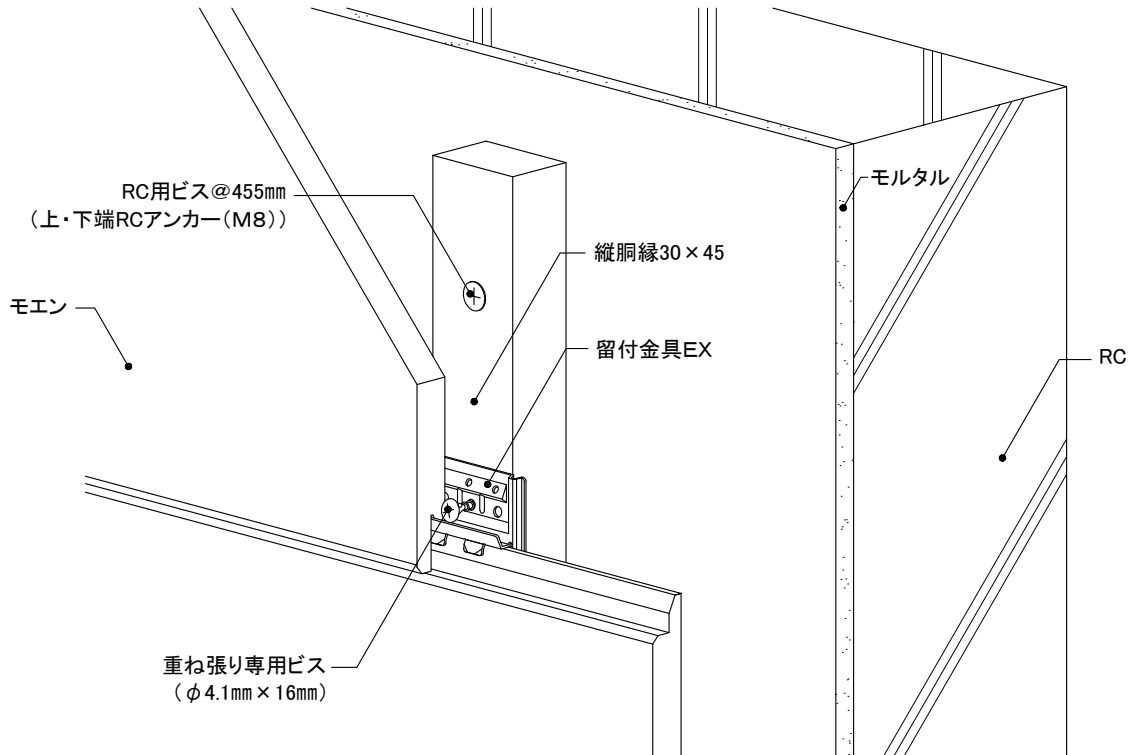
胴縁組

縦胴縁@606mm以下

5) 上下接合部

②モエン

● 実に留付金具EXを確実に納め、重ね張り専用ビス(φ4.1mm×16mm)で留め付けます。



16~21mm厚品

EX S

下地・工法

RC
木胴縁工法

留付方法

金具

張り方向

横

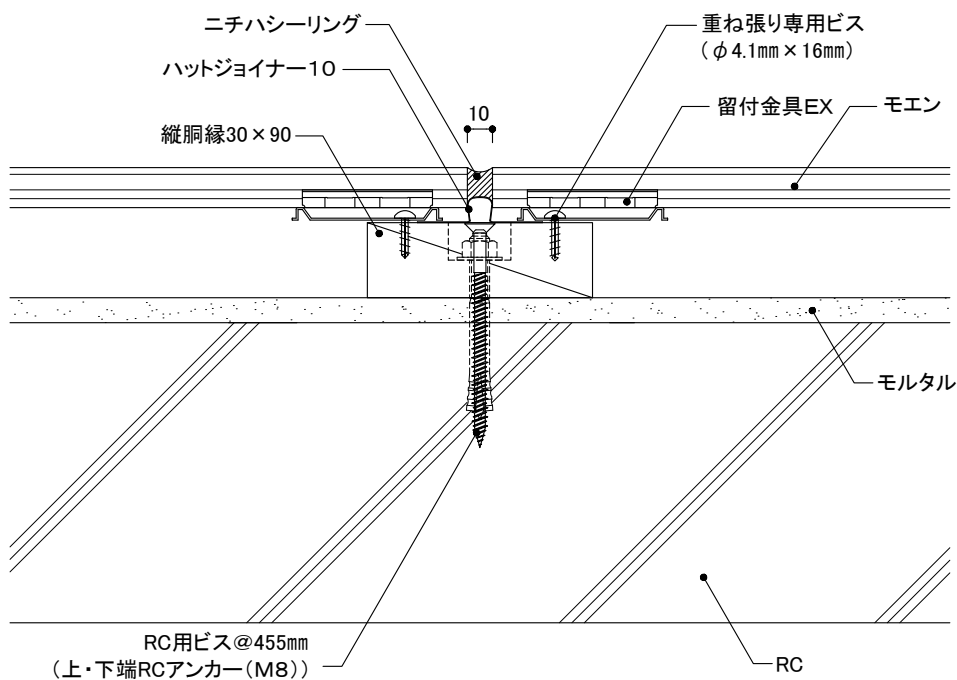
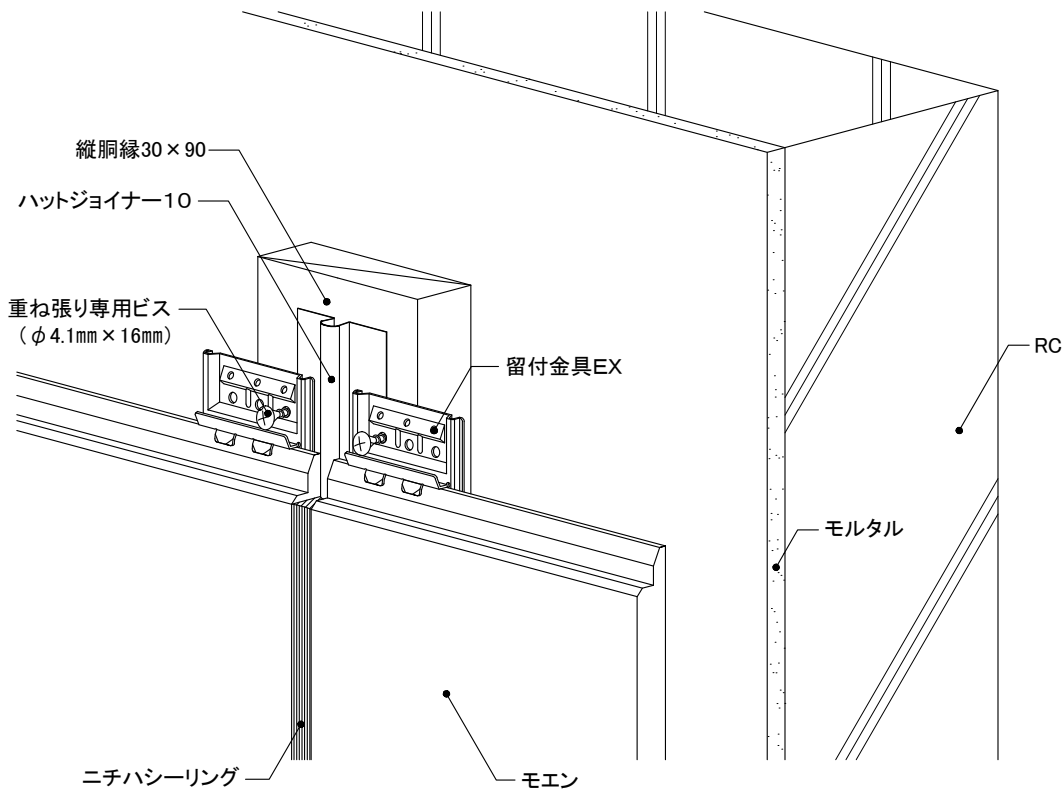
胴縁組

縦胴縁@606mm以下

6) 左右接合部

① 1.5尺×10尺

- 左右接合部に、倍幅90mm以上の木胴縁を取り付けます。
- 左右接合部には必ずハットジョイナー10を用い、10mm程度の隙間を設けて施工します。
- 実に留付金具EXを確実に納め、重ね張り専用ビス(φ4.1mm×16mm)で留め付けます。

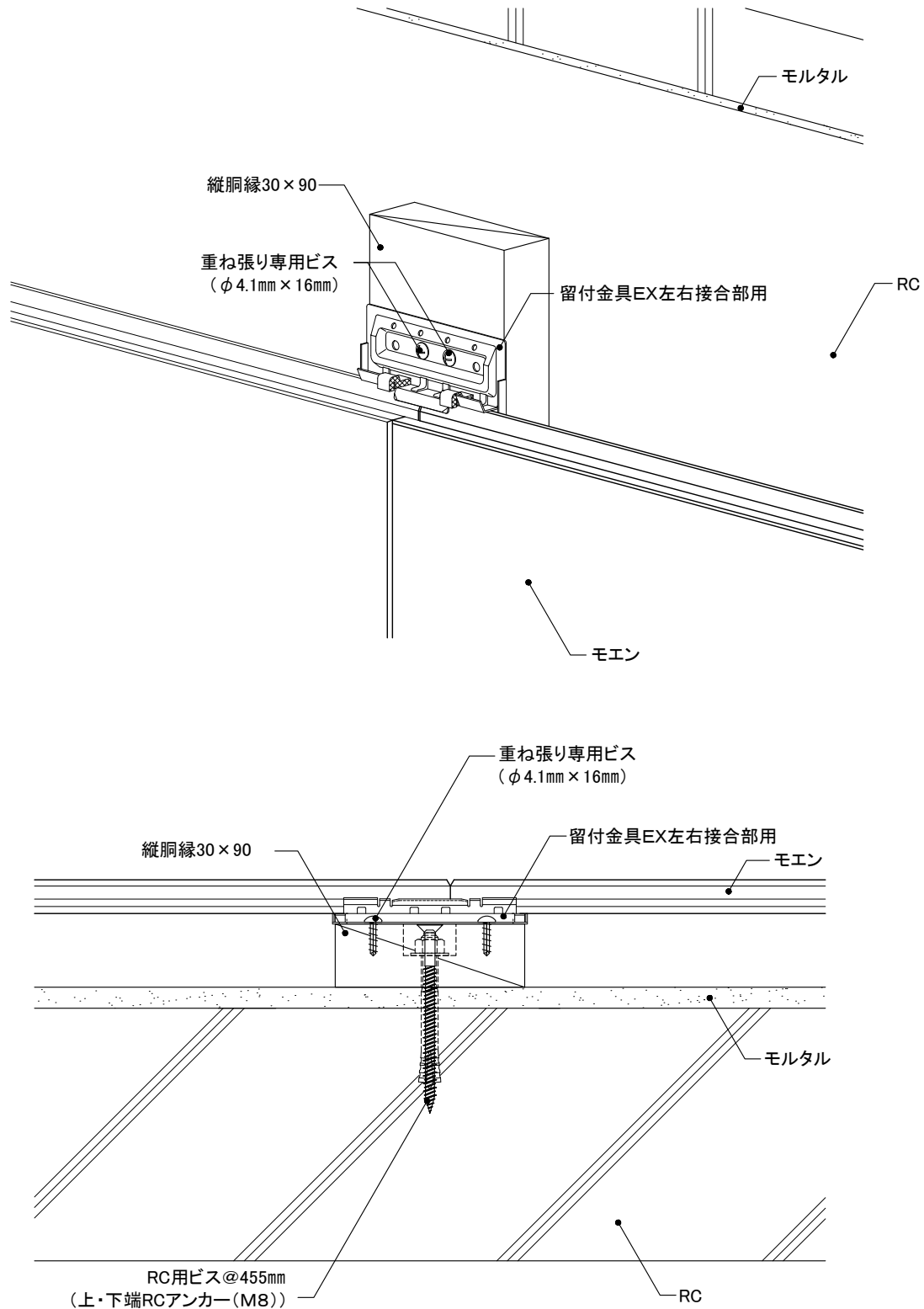


16~21mm厚品 EX	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	金具	横	縦胴縁@606mm以下

6) 左右接合部

②1.5尺×6尺

- 左右接合部に、倍幅90mm以上の木胴縁を取り付けます。
- 左右接合部には必ず留付金具EX左右接合部用を用い、重ね張り専用ビス(φ4.1mm×16mm)2本で留め付けます。



16~21mm厚品

EX S

下地・工法

RC
木胴縁工法

留付方法

金具

張り方向

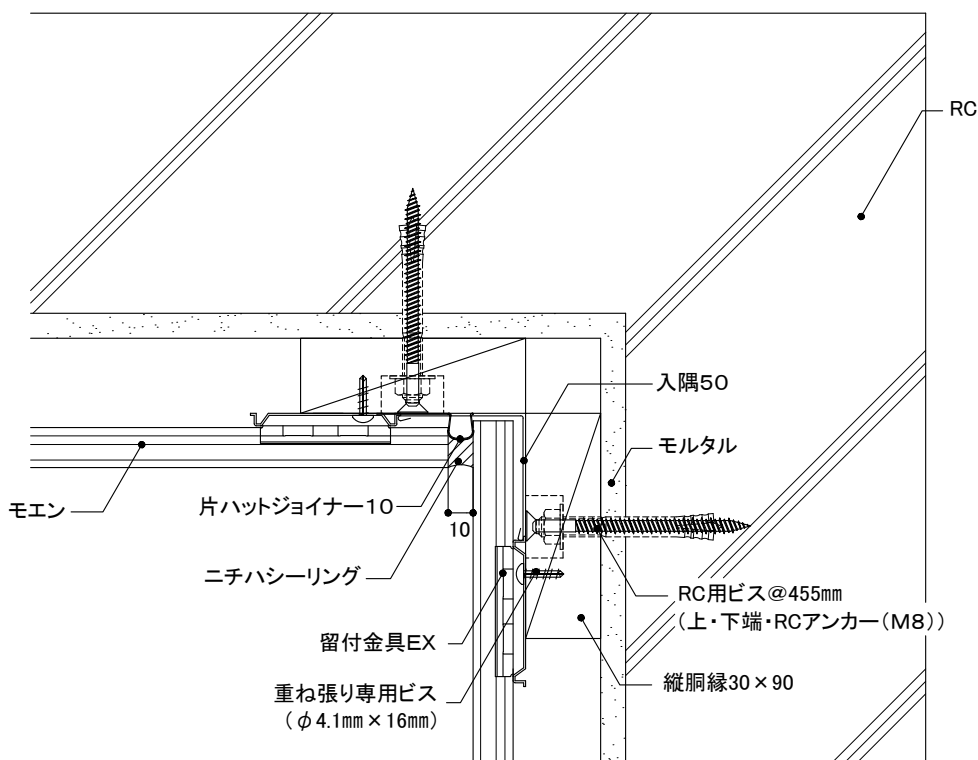
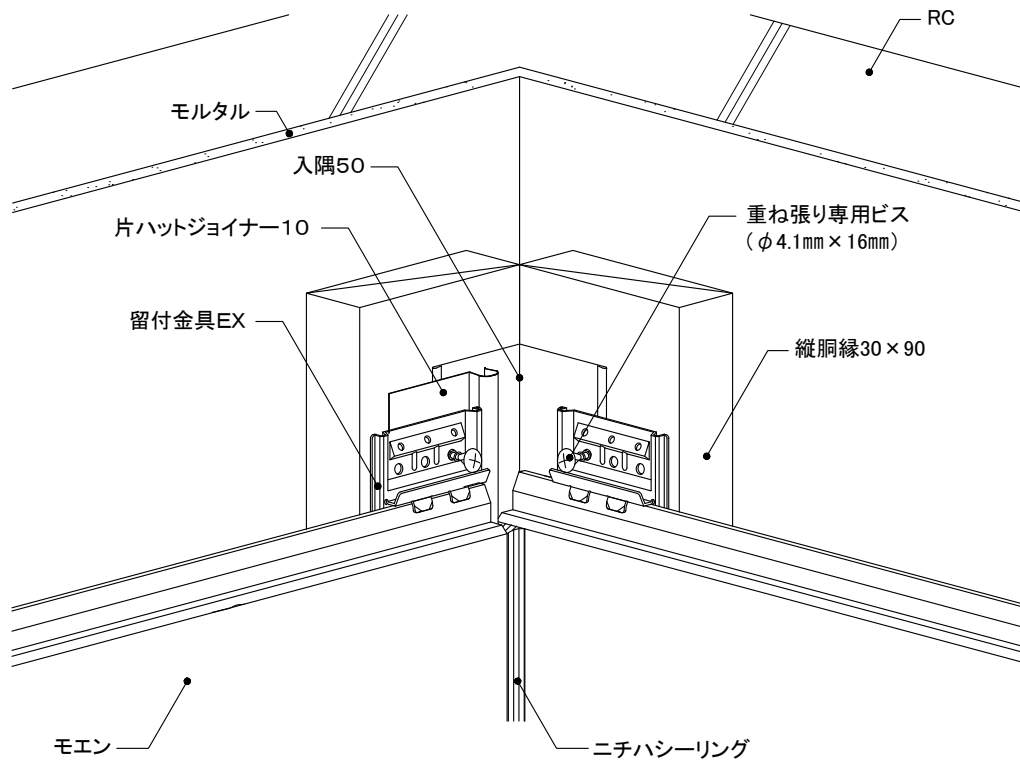
横

胴縁組

縦胴縁@606mm以下

7) 入隅部

- 入隅部に、倍幅90mm以上の木胴縁を取り付けます。
- 入隅50を取り付けた後、片ハットジョイナー10を用い、図のように10mm程度の隙間を設けて施工します。
- 実に留付金具EXを確実に納め、重ね張り専用ビス(φ4.1mm×16mm)で留め付けます。



16~21mm厚品

EX S

下地・工法

RC
木胴縁工法

留付方法

金具

張り方向

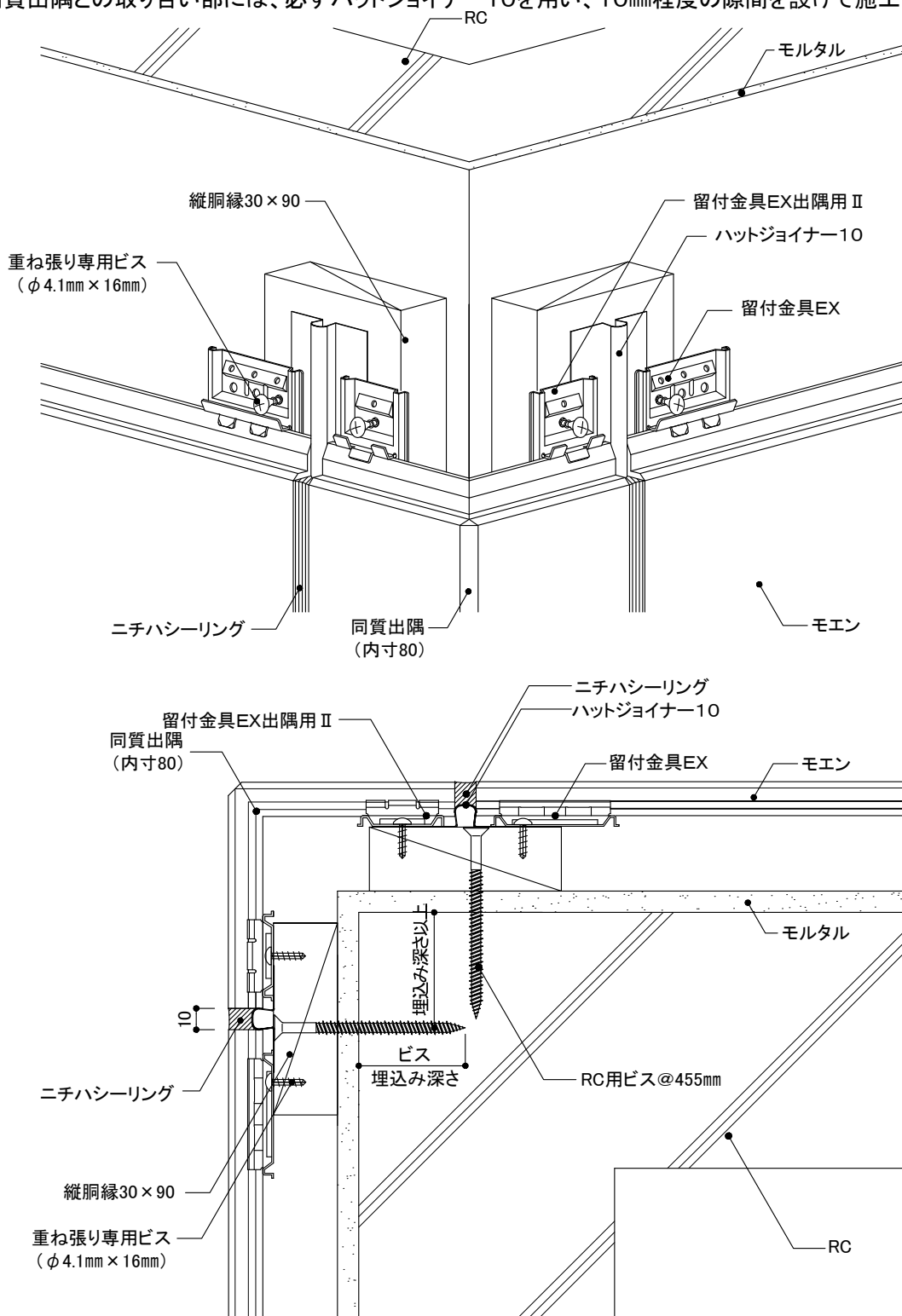
横

胴縁組

縦胴縁@606mm以下

8) 出隅部

- 出隅部に、倍幅90mm以上の木胴縁を取り付けます。
- 既存モルタル厚みを考慮し、同質出隅の内寸で決定します。(図は内寸80で表現しています)
同質出隅は、留付金具EX出隅用Ⅱで留め付けます。
- 実に留付金具EXを確実に納め、重ね張り専用ビス(φ4.1mm×16mm)で留め付けます。
- 同質出隅との取り合い部には、必ずハットジョイナー10を用い、10mm程度の隙間を設けて施工します。



16~21mm厚品

EX S

下地・工法

RC
木胴縁工法

留付方法

金具

張り方向

横

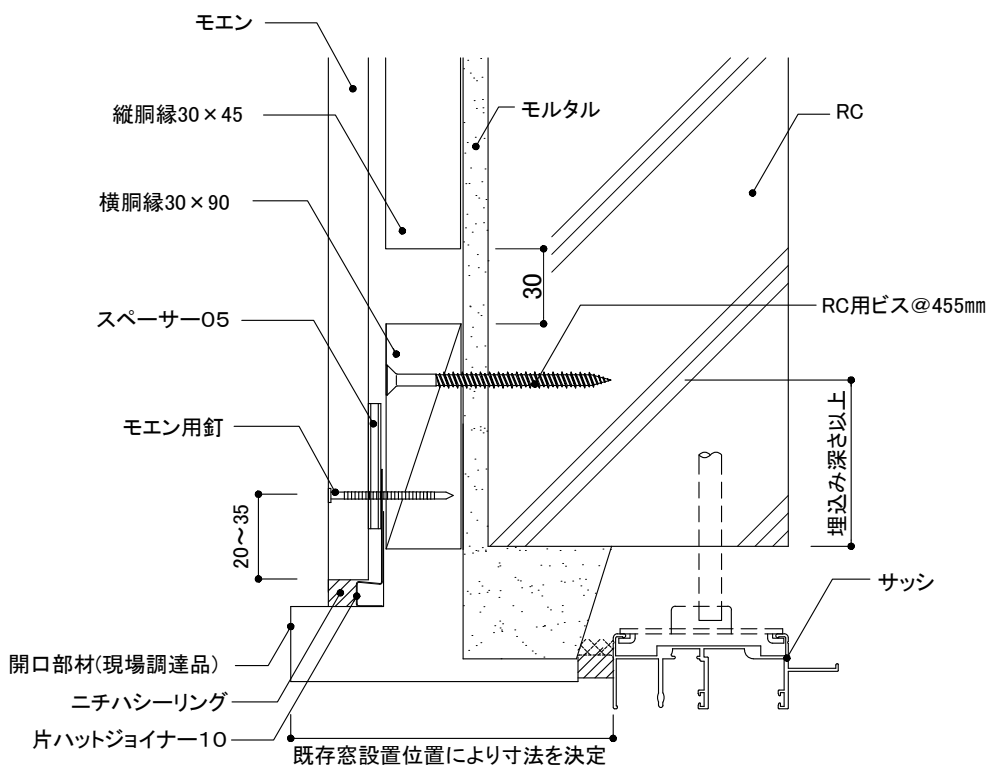
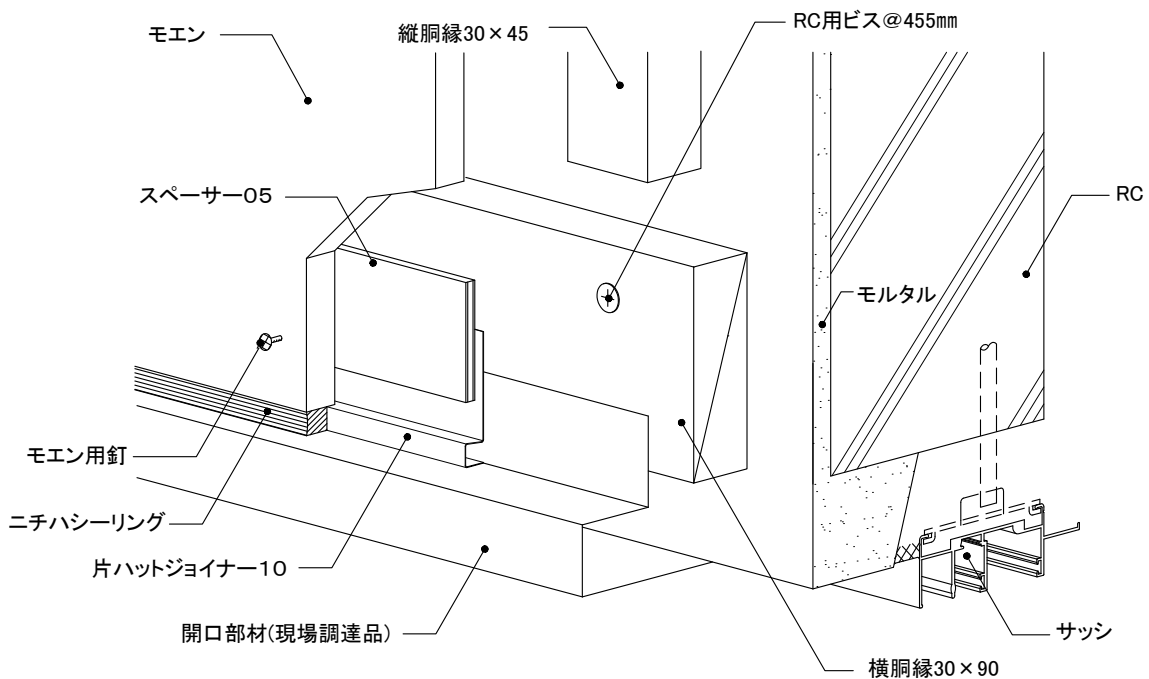
胴縁組

縦胴縁@606mm以下

9) 開口部

① 上側

- 開口部まわりに、必要に応じて倍幅90mm以上の木胴縁を取り付けます。
- 開口部まわりの開口部材は、既存建物のサッシ形状に合わせて、板金やアルミ加工品を取り付けます。
- 開口部材内部に水が溜まるおそれのある場合は、開口部材に適宜水抜き孔を設けます。



16~21mm厚品

EX S

下地・工法
RC
木胴縁工法

留付方法
金具

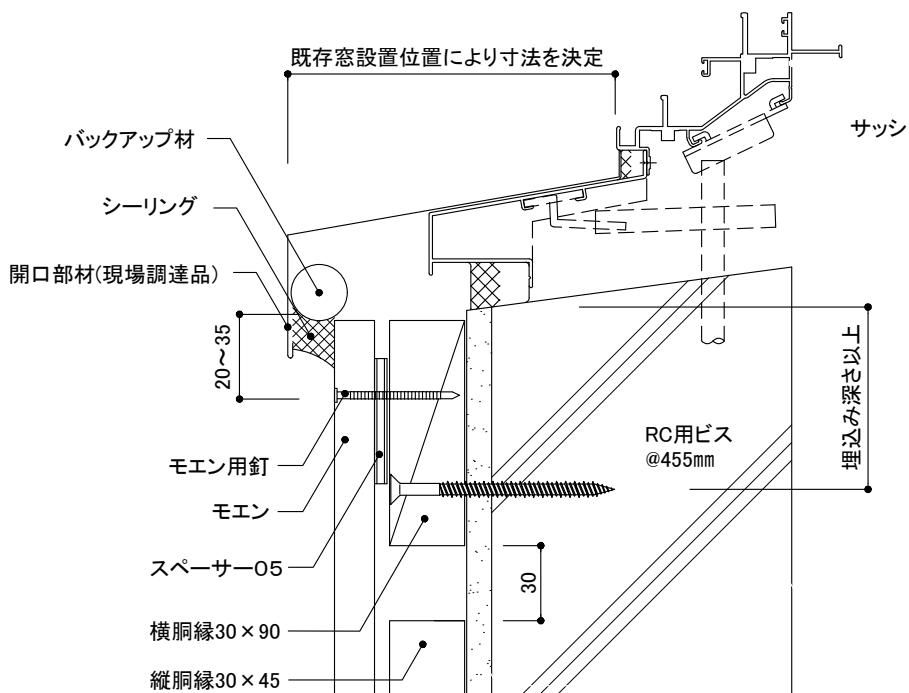
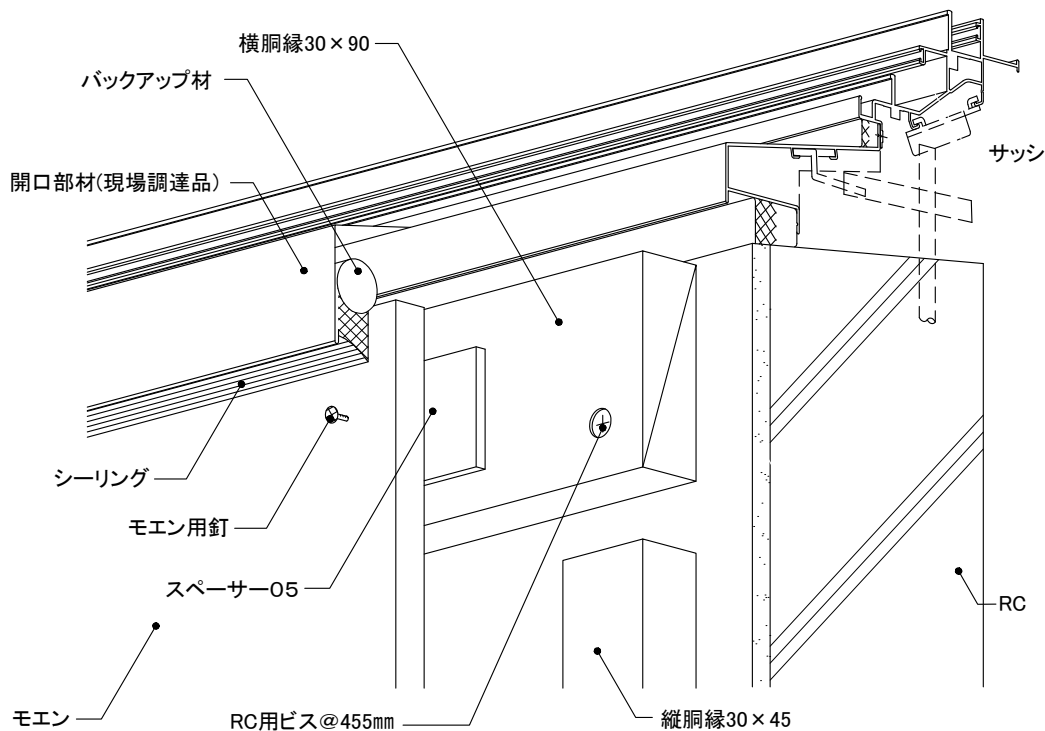
張り方向
横

胴縁組
縦胴縁@606mm以下

9) 開口部

② 下側

- 開口部まわりに、必要に応じて倍幅90mm以上の木胴縁を取り付けます。
- 開口部まわりの開口部材は、既存建物のサッシ形状に合わせて、板金やアルミ加工品を取り付けます。

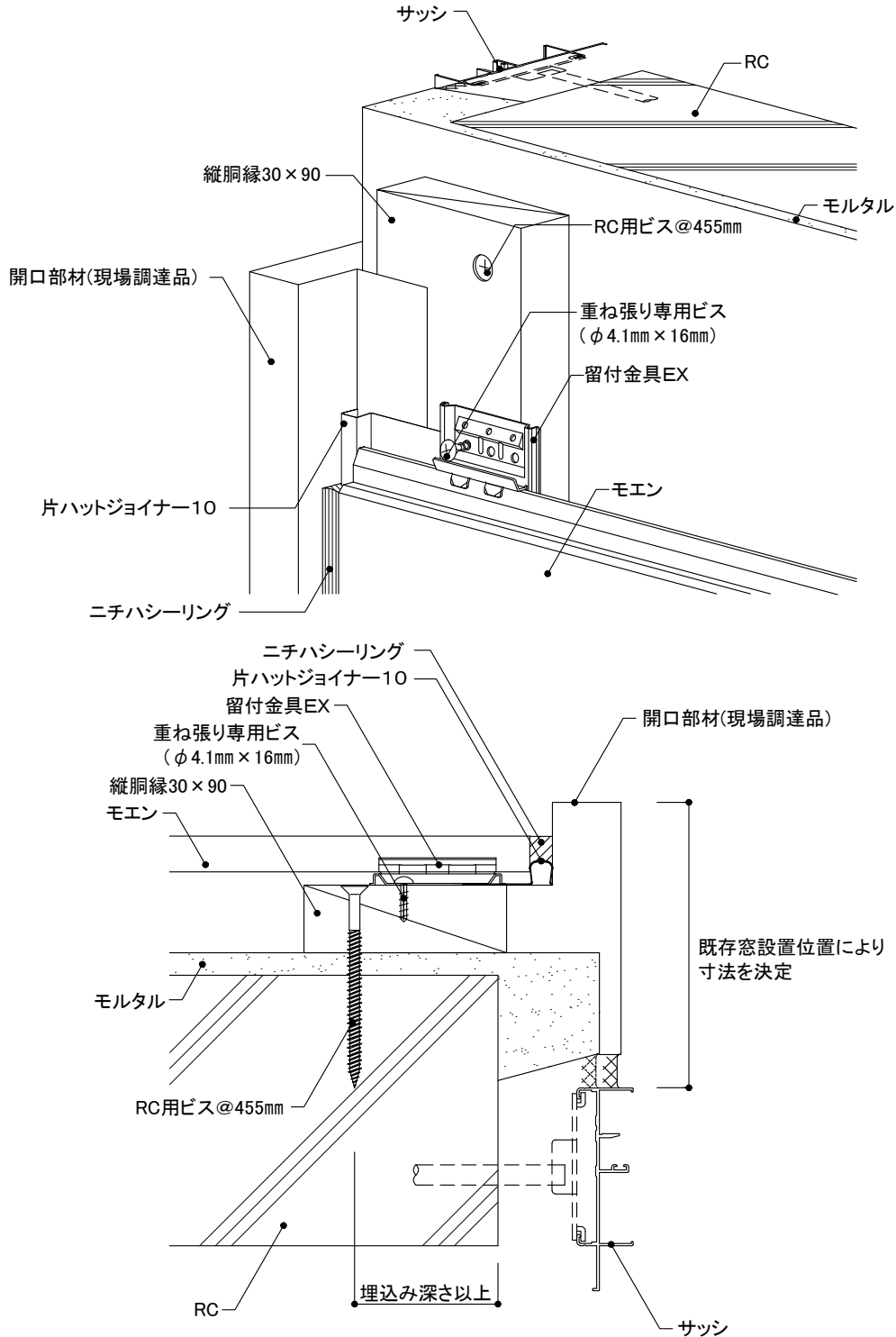


16~21mm厚品 EX S	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	金具	横	縦胴縁@606mm以下

9) 開口部

③ 左右側

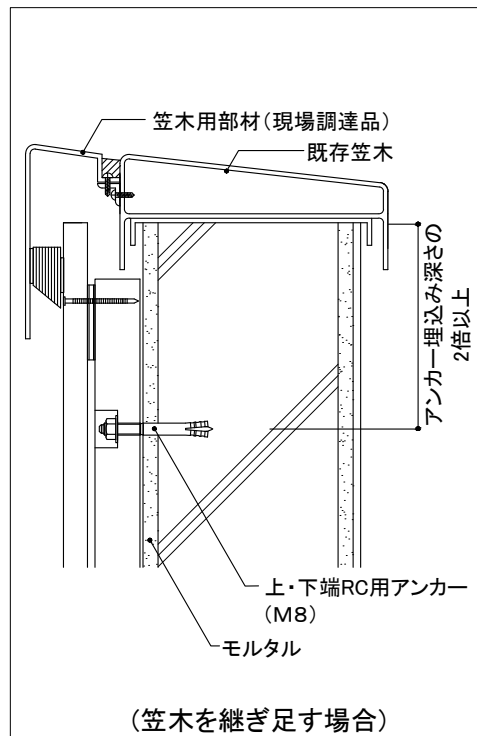
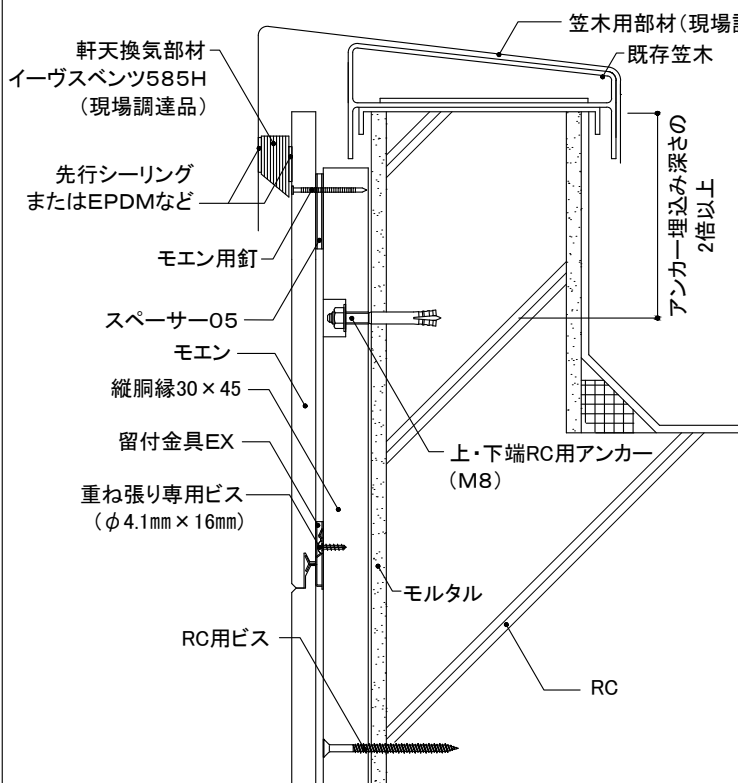
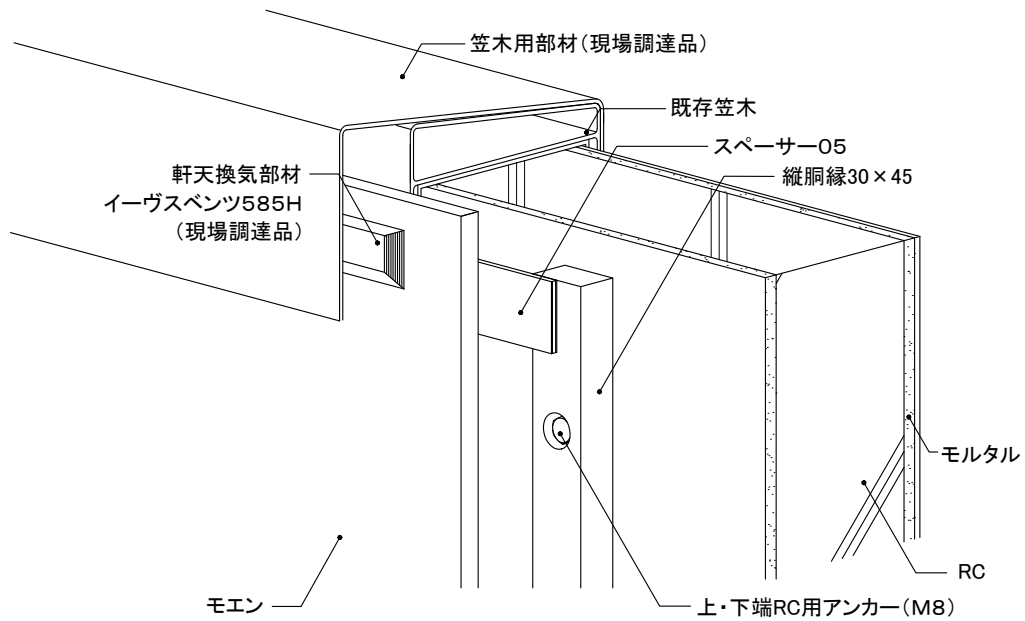
- 開口部まわりに、必要に応じて倍幅90mm以上の木胴縁を取り付けます。
- 開口部まわりの開口部材は、既存建物のサッシ形状に合わせて、板金やアルミ加工品を取り付けます。



16~21mm厚品 EX S	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	金具	横	縦胴縁@606mm以下

10) 笠木部

- 笠木用部材は、現場調達により、既存笠木全体にかぶせる、継ぎ足す、あるいは既存笠木を取り外し、あらたに取り付けます。
- 上端部には通気確保のため、イーヴスペンツ585Hを用いて施工します。
(笠木をかぶせる場合)



2 各部の納まり詳細図

RC

木胴縁工法

モエン横張り

釘打ち施工

1)基本構成図	構成断面
2)胴縁概要図	
3)各部の納まり概要図	

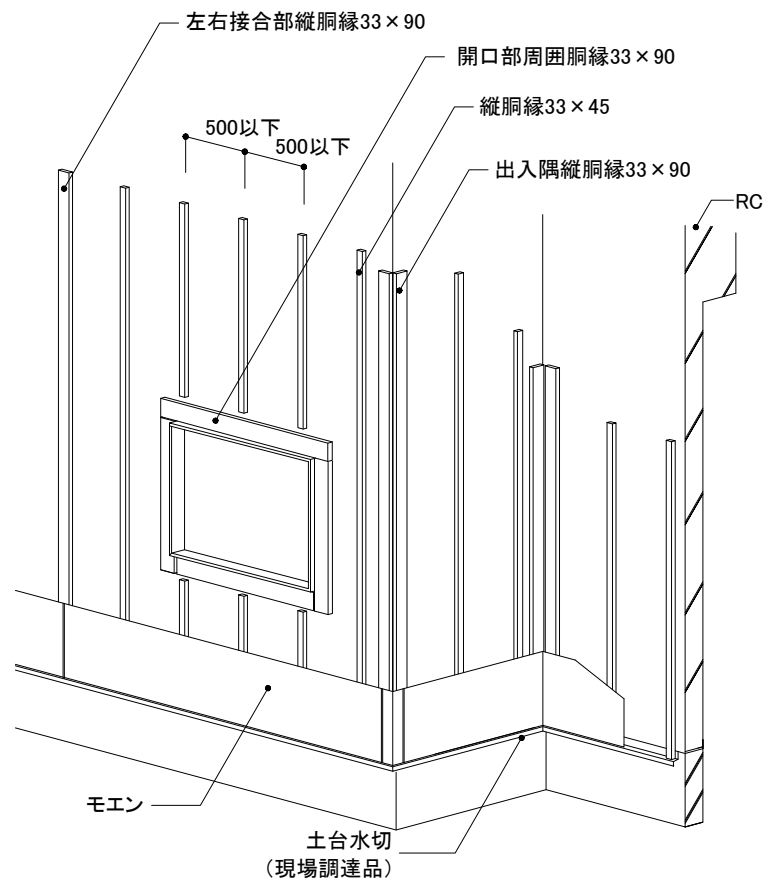
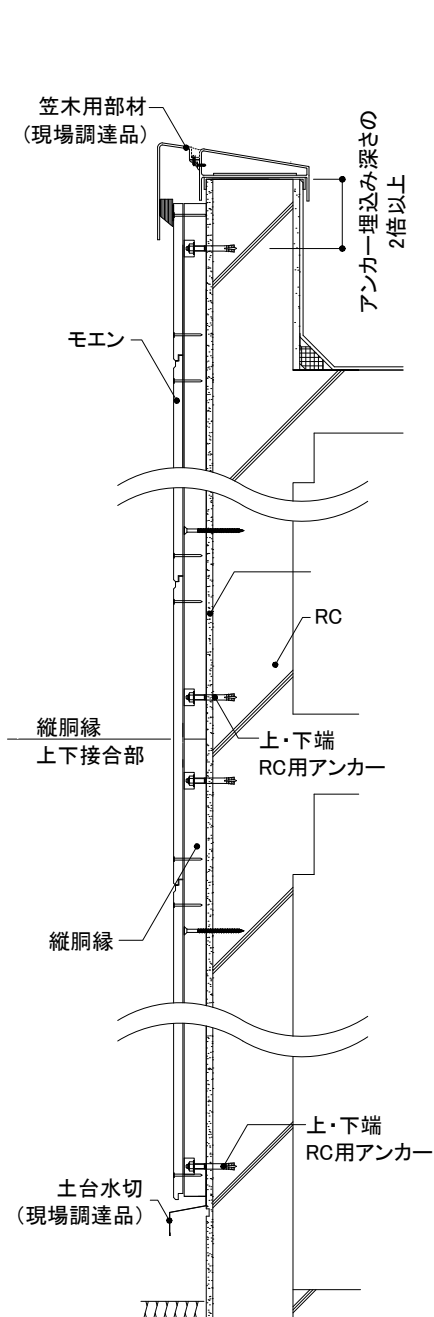
本章は、基本的な納まり例を記載しています。注意事項、禁止事項をご理解いただいたうえで施工してください。

14mm厚品 M W	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	釘	横	縦胴縁@500mm以下

1) 基本構成図

構成断面

- 下地外壁材にひび割れなどがいないか確認し、必要に応じて補修を行います。
- 下地は図のように、606mm以下の間隔で木胴縁を取り付けます。
- 左右接合部・入隅部・出隅部・開口部まわりなどには、必要に応じて倍幅90mm以上の木胴縁を使用します。

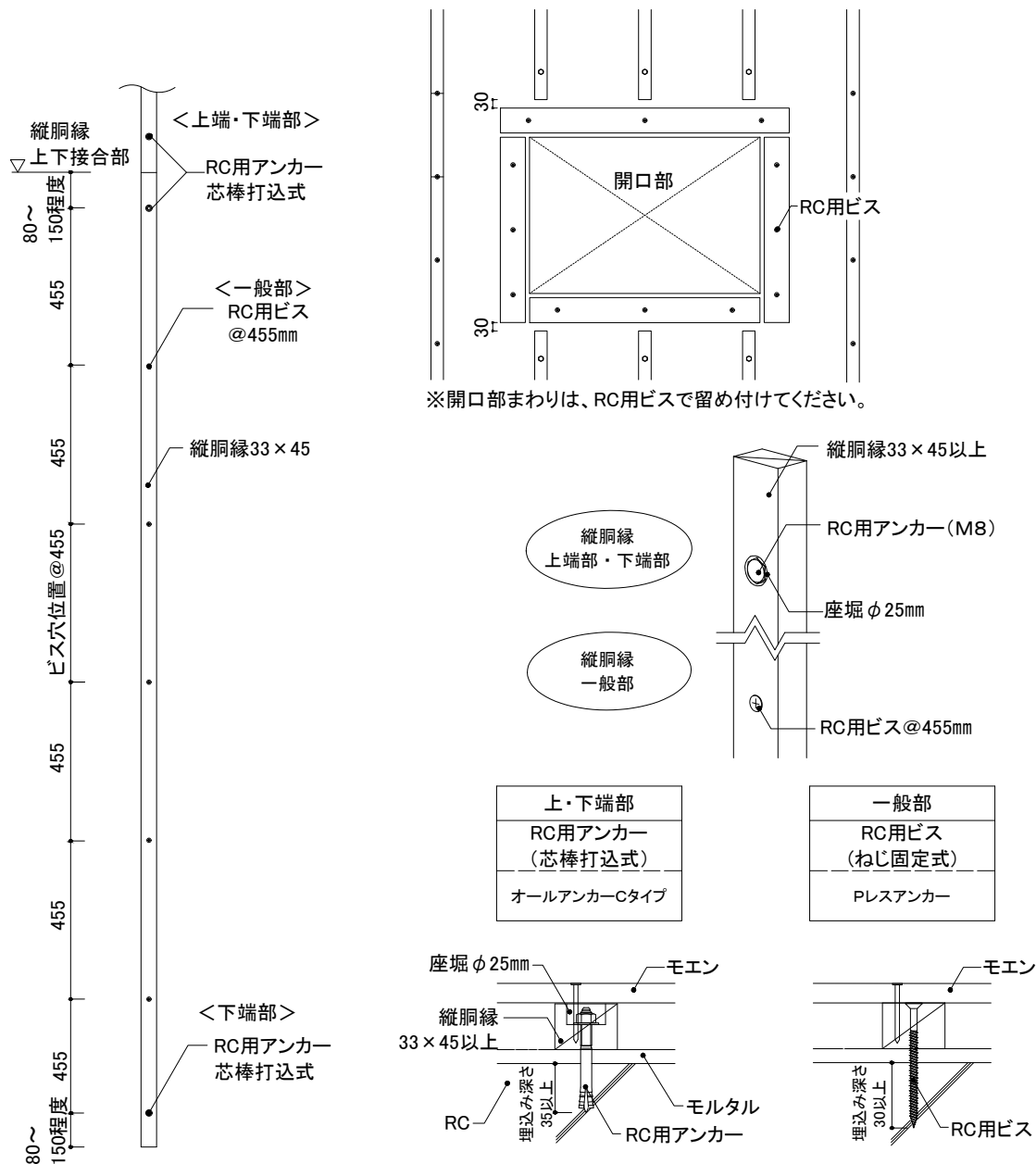


14mm厚品 M W	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	釘	横	縦胴縁@500mm以下

2) 胴縁概要図

- 木胴縁はRC用ビスを用い、455mm以下の間隔で留め付けます。ただし、木胴縁1本につき両端部の2ヶ所RC用アンカーとします。
- モエンとの干渉を防ぐため、木胴縁にはあらかじめRC用アンカー部分にφ25mm、深さ15mm程度の座堀をします。
- 出隅部・開口部まわりの木胴縁は、RC用ビスで留め付けます。
- 木胴縁の長さが1m未満の場合、RC用アンカーは1ヶ所留めとします。
- RC外壁がモルタルで仕上げられている場合などは、モルタルの塗り厚さに注意してRC用アンカー・ビスのサイズを選定します。
- RC用アンカー・ビスの設定は、物件ごとに既存壁に対するアンカー・ビスの引っ張り荷重確認を行い決定します。

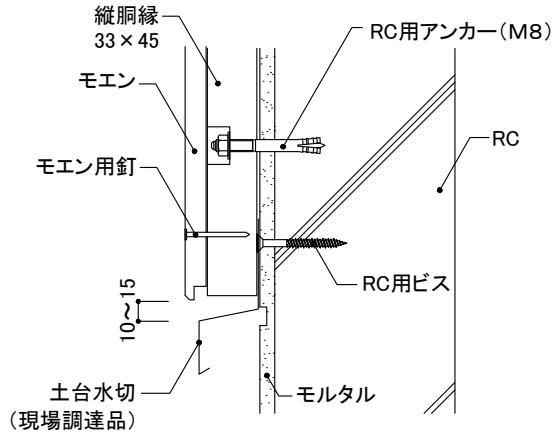
開口部まわり(現場調達開口部材納めの例)



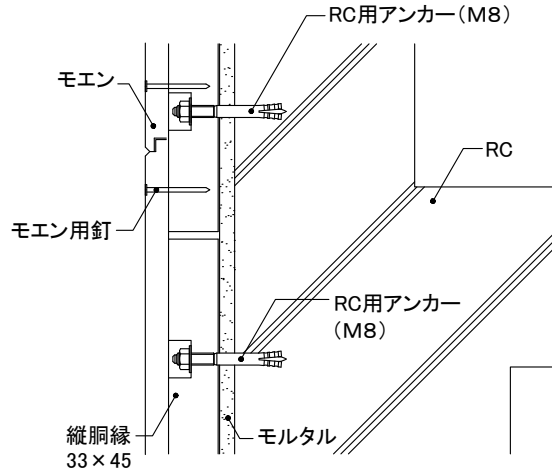
14mm厚品 M W	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	釘	横	縦胴縁@500mm以下

3) 各部の納まり概要図

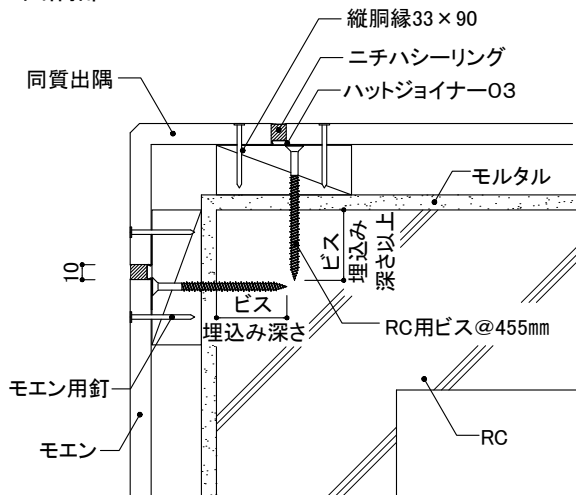
■土台部



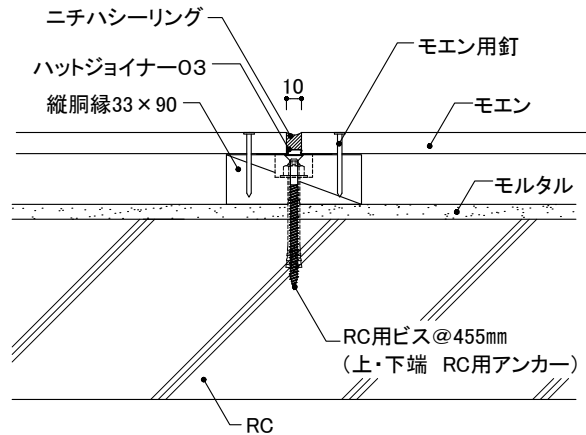
■上下接合部 (胴縁)



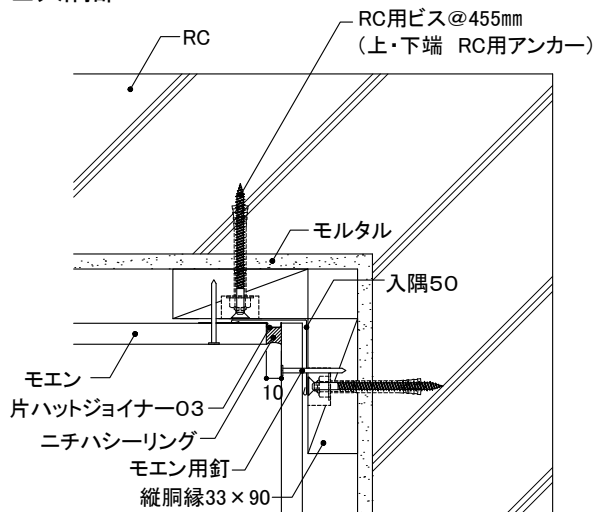
■出隅部



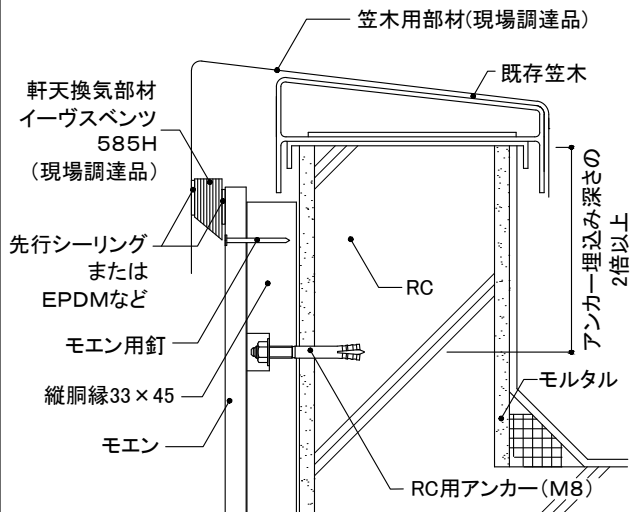
■左右接合部



■入隅部



■笠木部 (笠木をかぶせる場合)



3 各部の納まり詳細図

RC

木胴縁工法

モエン縦張り

金具施工

1)基本構成図	構成断面
2)胴縁概要図	
3)主要部材一覧	
4)土台部	
5)上下接合部(モエン)	
6)左右接合部	①木胴縁 ②モエン
7)入隅部	
8)出隅部	同質出隅
9)開口部	①上側 ②下側 ③左右側
10)笠木部	

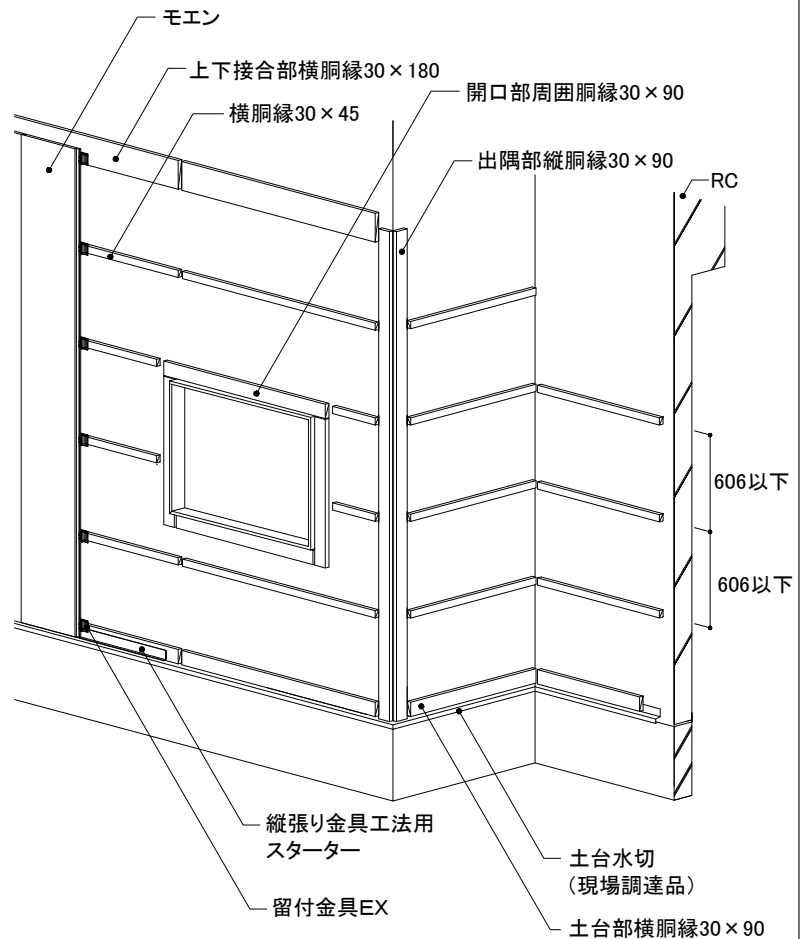
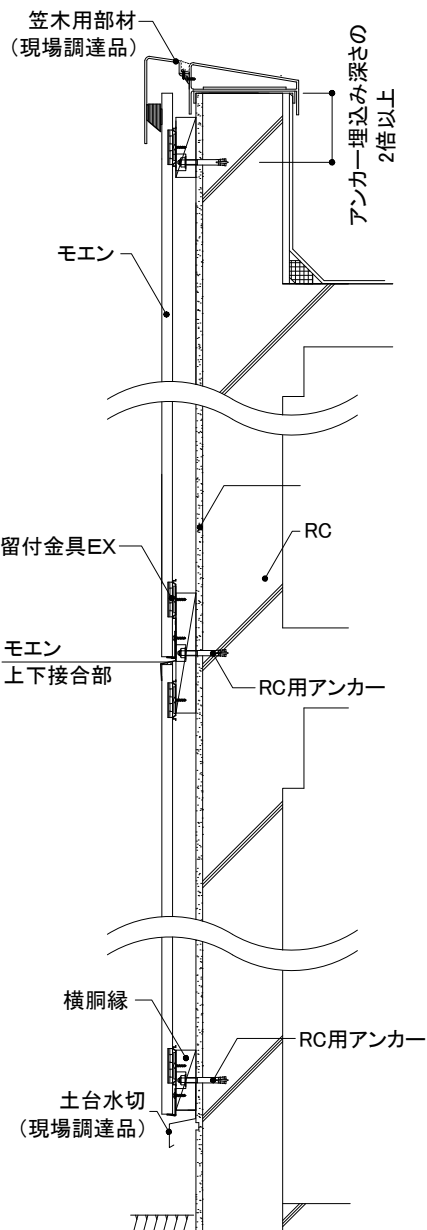
本章は、基本的な納まり例を記載しています。注意事項、禁止事項をご理解いただいたうえで施工してください。

16mm厚品 EX	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	金具	縦	横胴縁@606mm以下

1) 基本構成図

構成断面

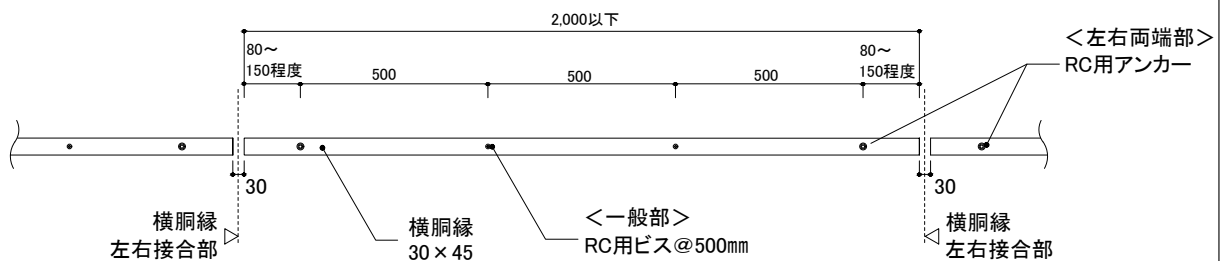
- 下地外壁材にひび割れなどがいないか確認し、必要に応じて補修を行います。
- 下地は図のように、606mm以下の間隔で木胴縁を取り付けます。
- 左右接合部・出隅部・開口部まわりなどには、必要に応じて倍幅90mm以上の木胴縁を使用します。
- 横胴縁は必ず通気ができるように、2,000mm以下の間隔で30mm程度の隙間を設けます。
- 横胴縁と開口部まわりの胴縁は30mm程度の隙間を設け、通気する構造とします。



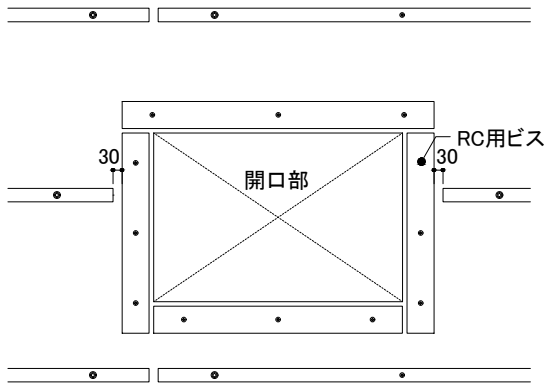
16mm厚品 EX	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	金具	縦	横胴縁@606mm以下

2) 胴縁概要図

- 木胴縁はRC用ビスを用い、500mm以下の間隔で留め付けます。ただし、木胴縁1本につき両端部の2ヶ所をRC用アンカーとします。
- モエンとの干渉を防ぐため、木胴縁にはあらかじめRC用アンカー部分にφ25mm、深さ15mm程度の座堀をします。
- 出隅部・開口部まわりの木胴縁は、RC用ビスで留め付けます。
- 木胴縁の長さが1m未満の場合、RC用アンカーは1ヶ所留めとします。
- RC外壁がモルタルで仕上げられている場合などは、モルタルの塗り厚さに注意してRC用アンカー・ビスのサイズを選定します。
- RC用アンカー・ビスの設定は、物件ごとに既存壁に対するアンカー・ビスの引っ張り荷重確認を行い決定します。

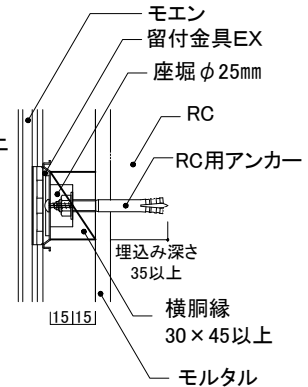
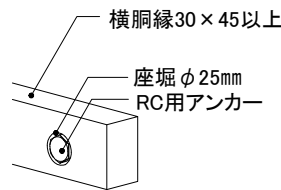


開口部まわり(現場調達開口部材納めの例)

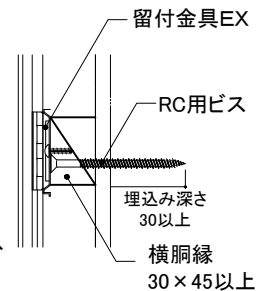
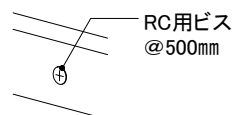


※開口部まわりは、RC用ビスで留め付けてください。

左右両端部
RC用アンカー (芯棒打込式)
オールアンカー-Cタイプ

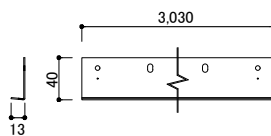
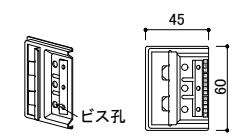
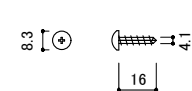
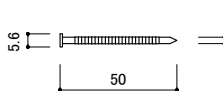
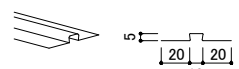
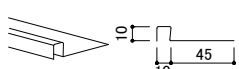
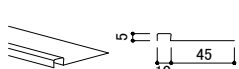
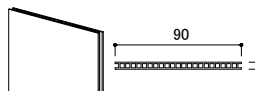
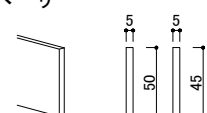
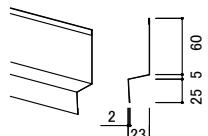
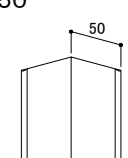



一般部
RC用ビス (ねじ固定式)
プレスアンカー



16mm厚品 EX	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	金具	縦	横胴縁@606mm以下

3) 主要部材一覧

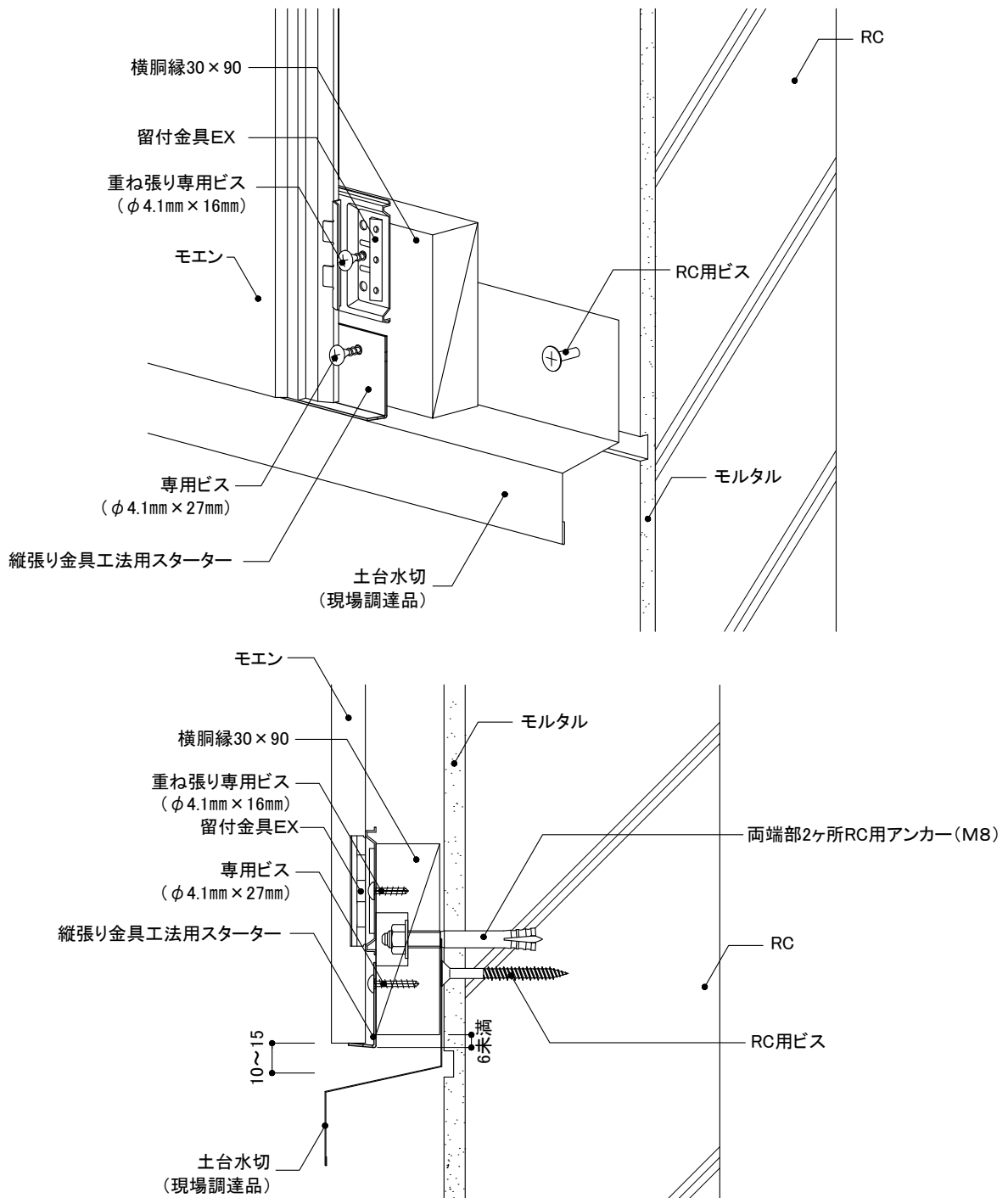
<p>■スターター</p>  <p>5mm浮きタイプ縦張り金具工法用スターター 【品番:FA350T】 厚み:1.2mm 長さ:3,030mm 材質:高耐食めっき鋼板 備考:同梱ビスではなく専用ビスで留め付ける</p>	<p>■一般部金具</p>  <p>縦張り用留付金具EX (16mm厚品用5mm浮き) 【品番:JE555T】 材質:高耐食めっき鋼板 備考:同梱ビスではなく専用ビスで留め付ける</p>	<p>■専用ビス (金具留付用)</p>  <p>ステンステクスネジ 【品番:JK1130】 材質:ステンレス サイズ:φ4.1mm×16mm</p>	<p>■専用ビス (サイディング留付用)</p>  <p>モエン用釘(ステンレスリング釘) 【品番:JKW840Bなど】 材質:ステンレス サイズ:φ2.75mm×50mm</p>
<p>■ハットジョイナー</p>  <p>ハットジョイナー05 【品番:FH1005R】 材質:フッ素樹脂コート 高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.3mm 長さ:2,000mm 表面色:クリアレッド着色</p>	<p>■片ハットジョイナー</p>  <p>片ハットジョイナー10 【品番:FHK1110R】 材質:フッ素樹脂コート 高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.3mm 長さ:2,000mm 表面色:クリアレッド着色</p>	<p>■片ハットジョイナー</p>  <p>片ハットジョイナー05 【品番:FHK1105R】 材質:フッ素樹脂コート 高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.3mm 長さ:2,000mm 表面色:クリアレッド着色</p>	<p>■スペーサー</p>  <p>スペーサー05T 【品番:FS1005T】 材質:ポリプロピレン 長さ:2,000mm</p>
<p>■スペーサー</p>  <p>スペーサー05 【品番:FS1005】 長さ:1,200mm 材質:ポリプロピレン スペーサー05(ピースタイプ) 【品番:FSP1005】 長さ:1,000mm 材質:ポリプロピレン</p>	<p>■中間水切</p>  <p>中間水切23E 【品番:FTA****】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.35mm 長さ:3,030mm</p>	<p>■入隅50</p>  <p>入隅50 【品番:JR1900】 材質:高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.27mm 長さ:3,030mm</p>	<p>■RC用アンカー</p> <p>(現場調達品)</p> <p>木胴縁取り付け用</p> <p>外装リフォーム②RC・S造(ALC)編の3-5 RC・S造(ALC) 金属(木)胴縁工法 各部材の施工をご参照ください。</p>
<p>■RC用ビス</p> <p>(現場調達品)</p> <p>木胴縁取り付け用</p> <p>外装リフォーム②RC・S造(ALC)編の3-5 RC・S造(ALC) 金属(木)胴縁工法 各部材の施工をご参照ください。</p>	<p>■専用ビス (スターター留付用)</p>  <p>ステンレスビス 【品番:JK1710】 材質:ステンレス サイズ:φ4.1mm×27mm</p>		

※各部材は2022年3月時点のものです。最近の情報はNICHIIHA内外建材総合カタログでご確認ください。

16mm厚品 EX	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	金具	縦	横胴縁@606mm以下

4) 土台部

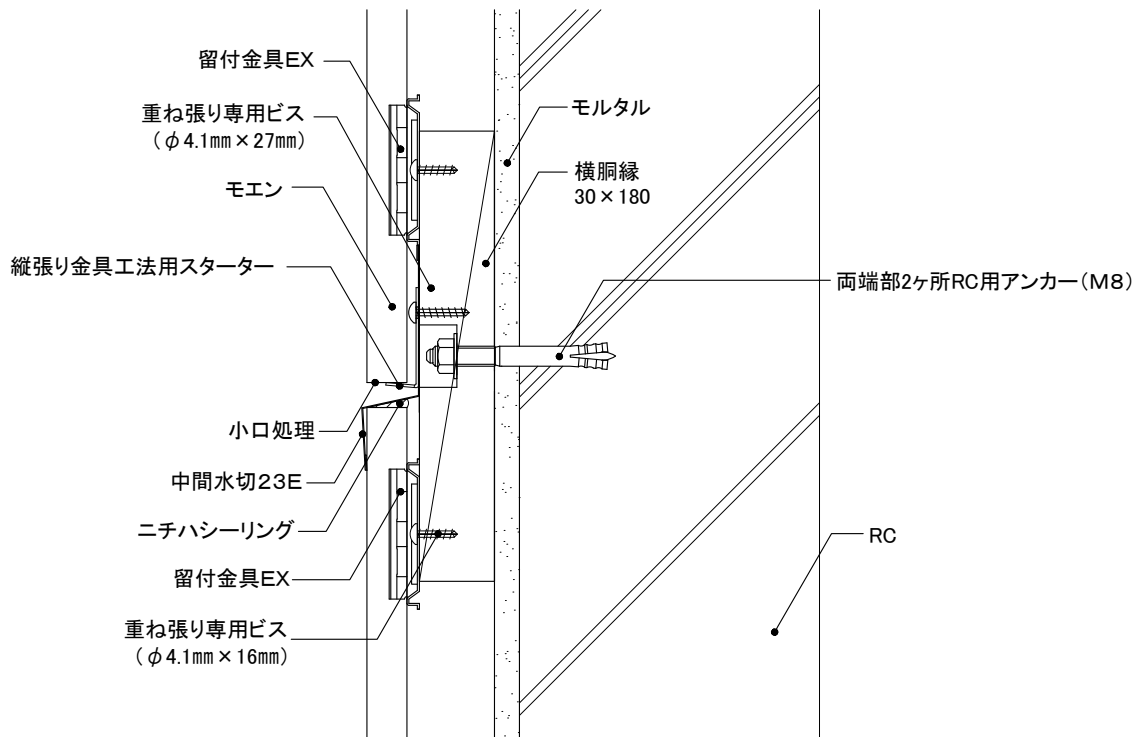
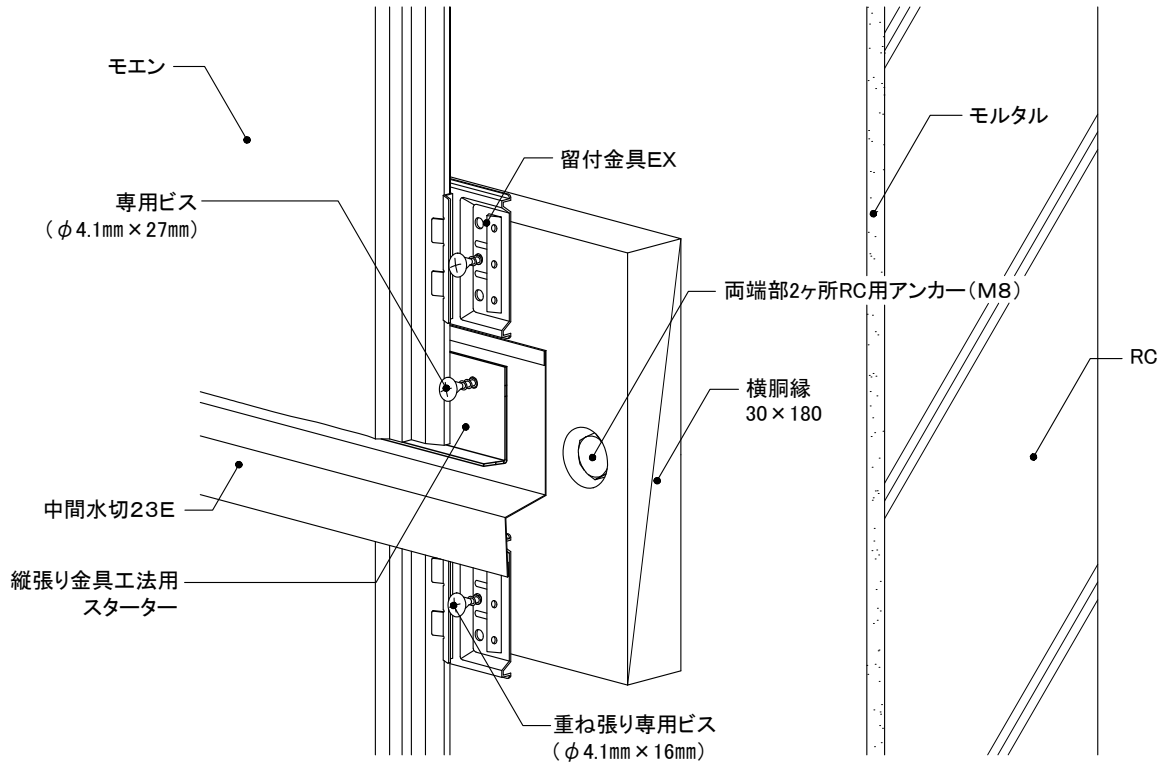
- 土台水切はRC用ビスで留め付けてから、木胴縁を施工します。
- 縦張り金具工法用スターターは専用ビス(φ4.1mm×27mm)を用い、胴縁に250mm間隔で水平に留め付けます。(スターターには留め付け目安のマークが250mm間隔で入っています)。釘打ちは厳禁です。また、縦張り金具工法用スターターは土台部の横胴縁下端より6mm以上下げないでください。
- モエンは縦張り金具工法用スターターの上側に留付金具EXを確実に納め、重ね張り専用ビス(φ4.1mm×16mm)で留め付けます。
- モエン下端と土台水切の間は、10~15mm程度の隙間を設けます。



16mm厚品 EX	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	金具	縦	横胴縁@606mm以下

5) 上下接合部(モエン)

- 実に留付金具EXを確実に納め、重ね張り専用ビス(φ4.1mm×16mm)で留め付けます。
- 中間水切23Eはモエン用釘などを用い、胴縁に500mm以下の間隔で水平に留め付けます。
- 縦張り金具工法用スターターは専用ビス(φ4.1mm×27mm)を用い、胴縁に250mm間隔で水平に留め付けます。(スターターには留め付け目安のマークが250mm間隔で入っています)。釘打ちは厳禁です。

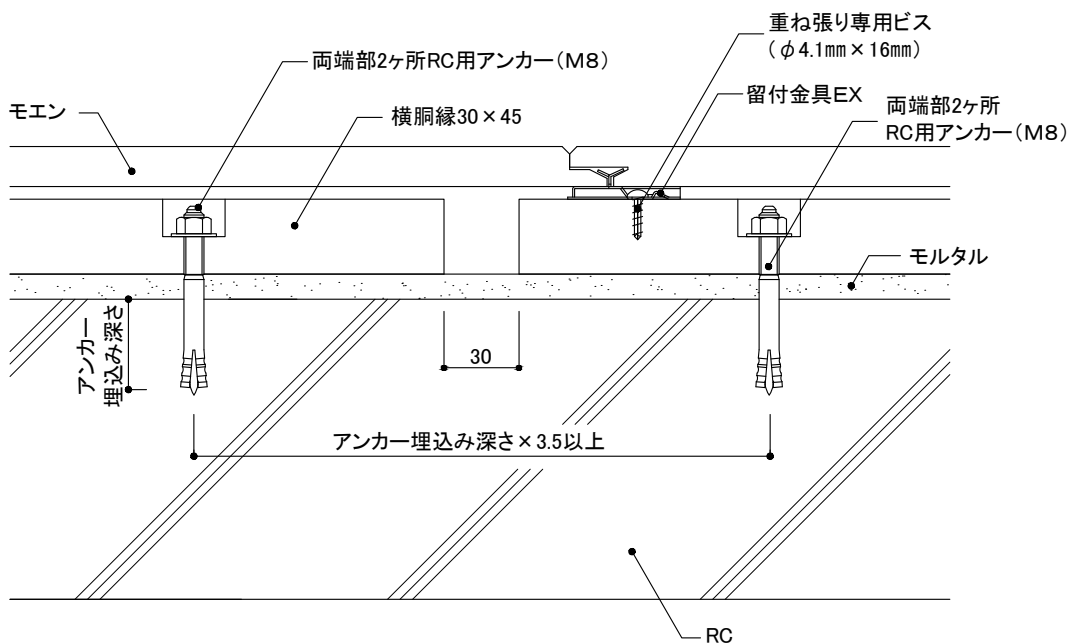
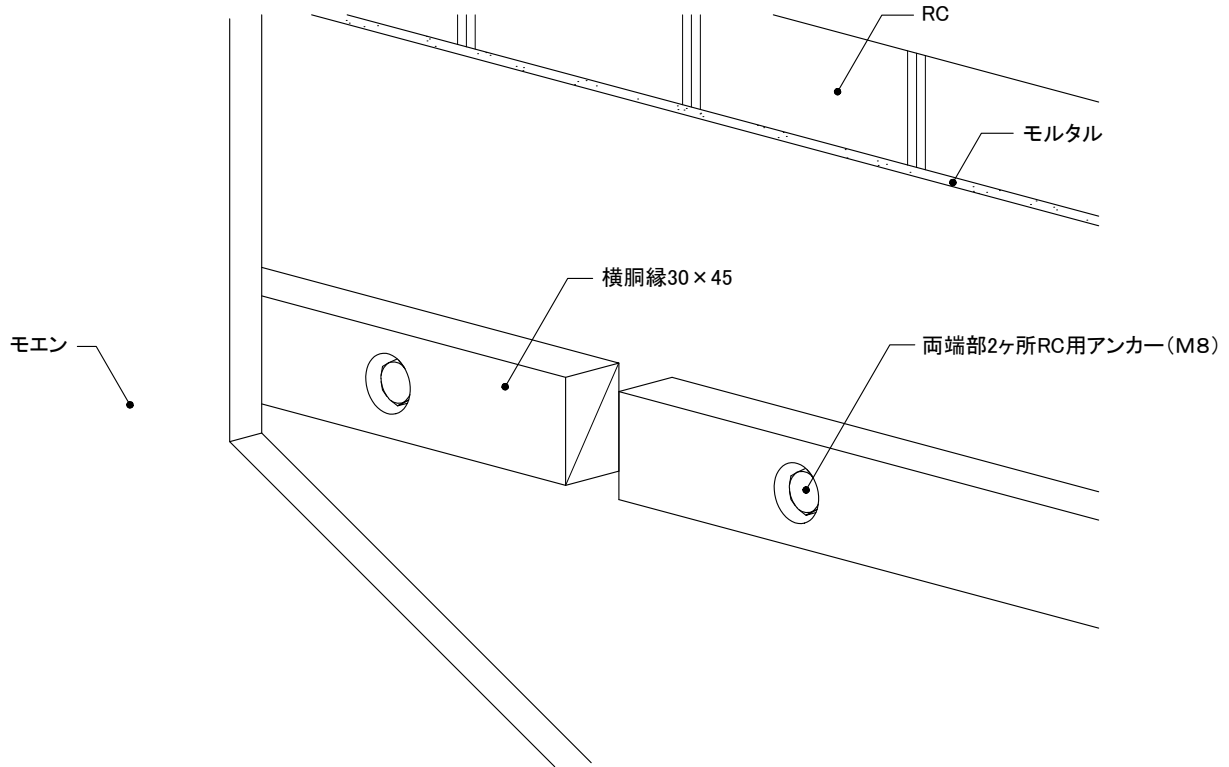


16mm厚品 EX	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	金具	縦	横胴縁@606mm以下

6) 左右接合部

① 胴縁

●横胴縁接合部は、必ず通気ができるように30mm程度の隙間を設け、胴縁1本につき両端部の2ヶ所をRC用アンカーで留め付けます。

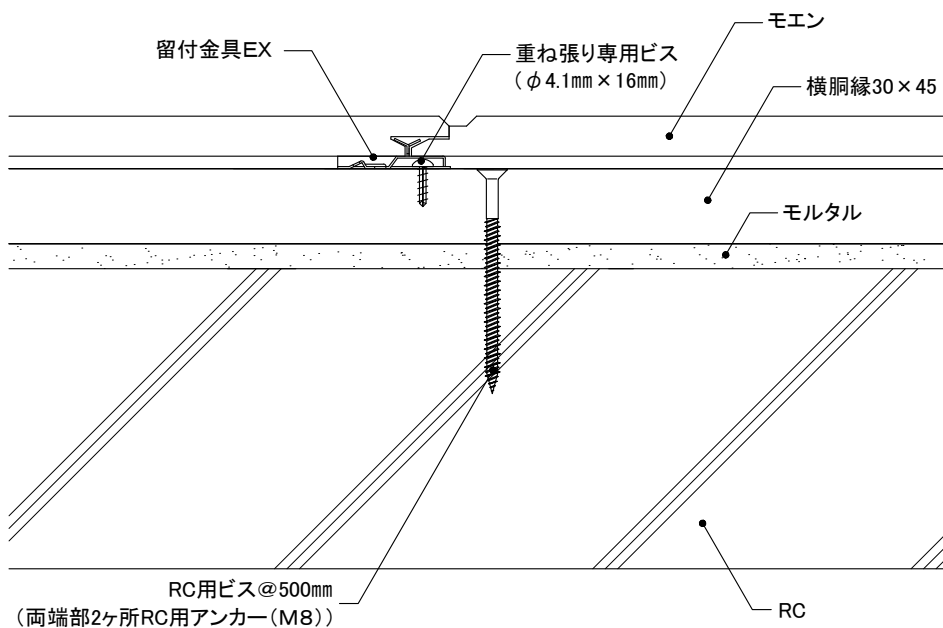
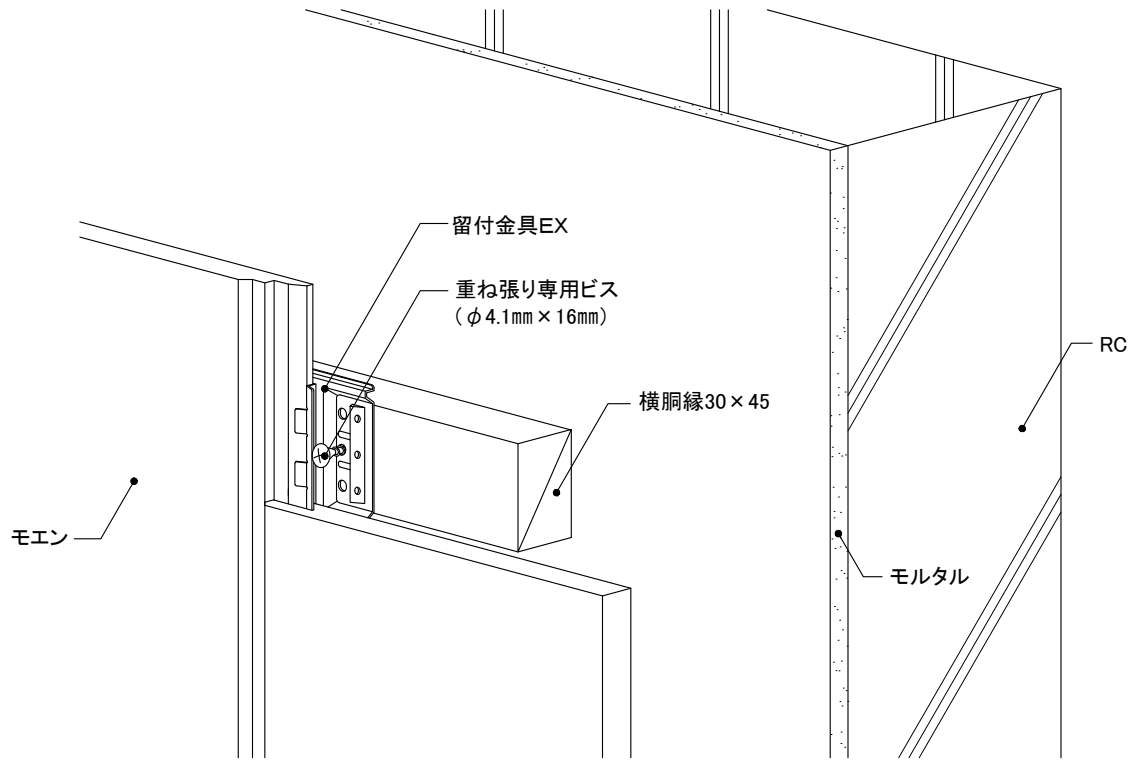


16mm厚品 EX	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	金具	縦	横胴縁@606mm以下

6) 左右接合部

②モエン

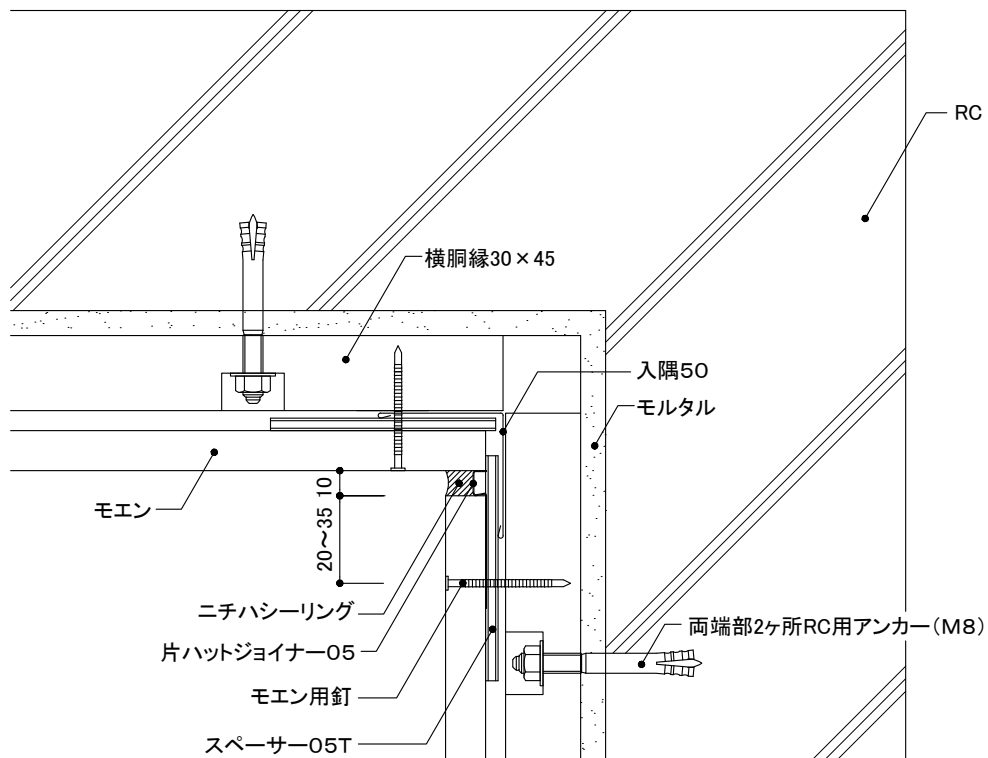
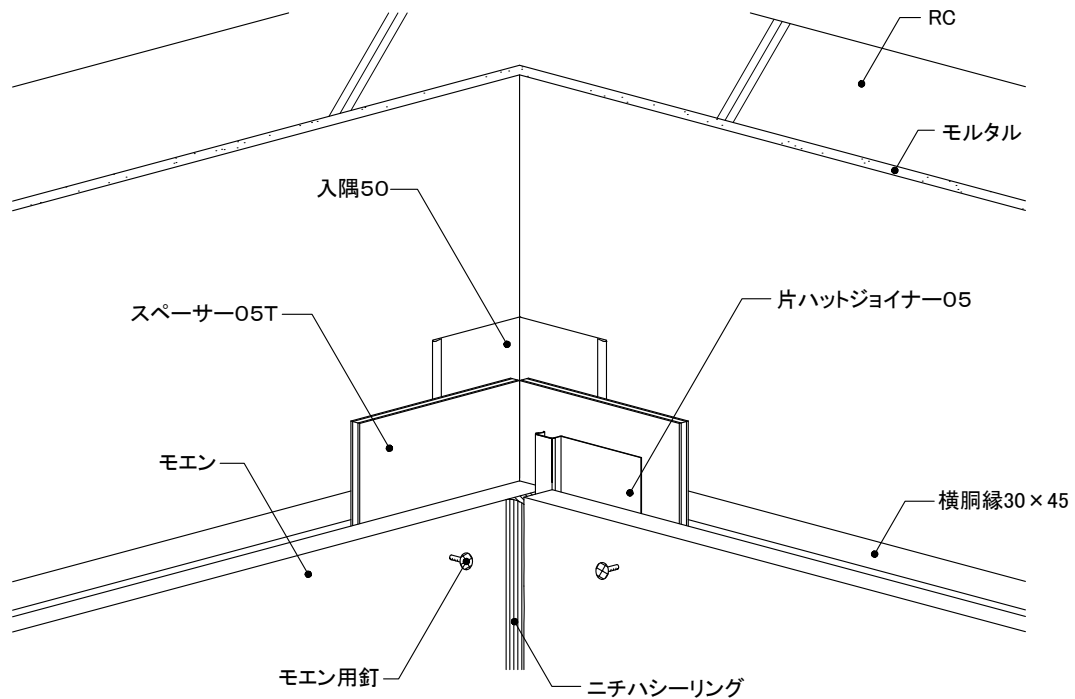
● 実には留付金具EXを確実に納め、重ね張り専用ビス(φ4.1mm×16mm)で留め付けます。



16mm厚品 EX	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	金具	縦	横胴縁@606mm以下

7) 入隅部

- 入隅50・スペーサー05Tを取り付けた後、片ハットジョイナー05を用い、図のように10mm程度の隙間を設けて施工します。
- モエンは、先孔をあけてからモエン用釘(ステンレスリング釘φ2.75mm×50mm)で留め付けます。

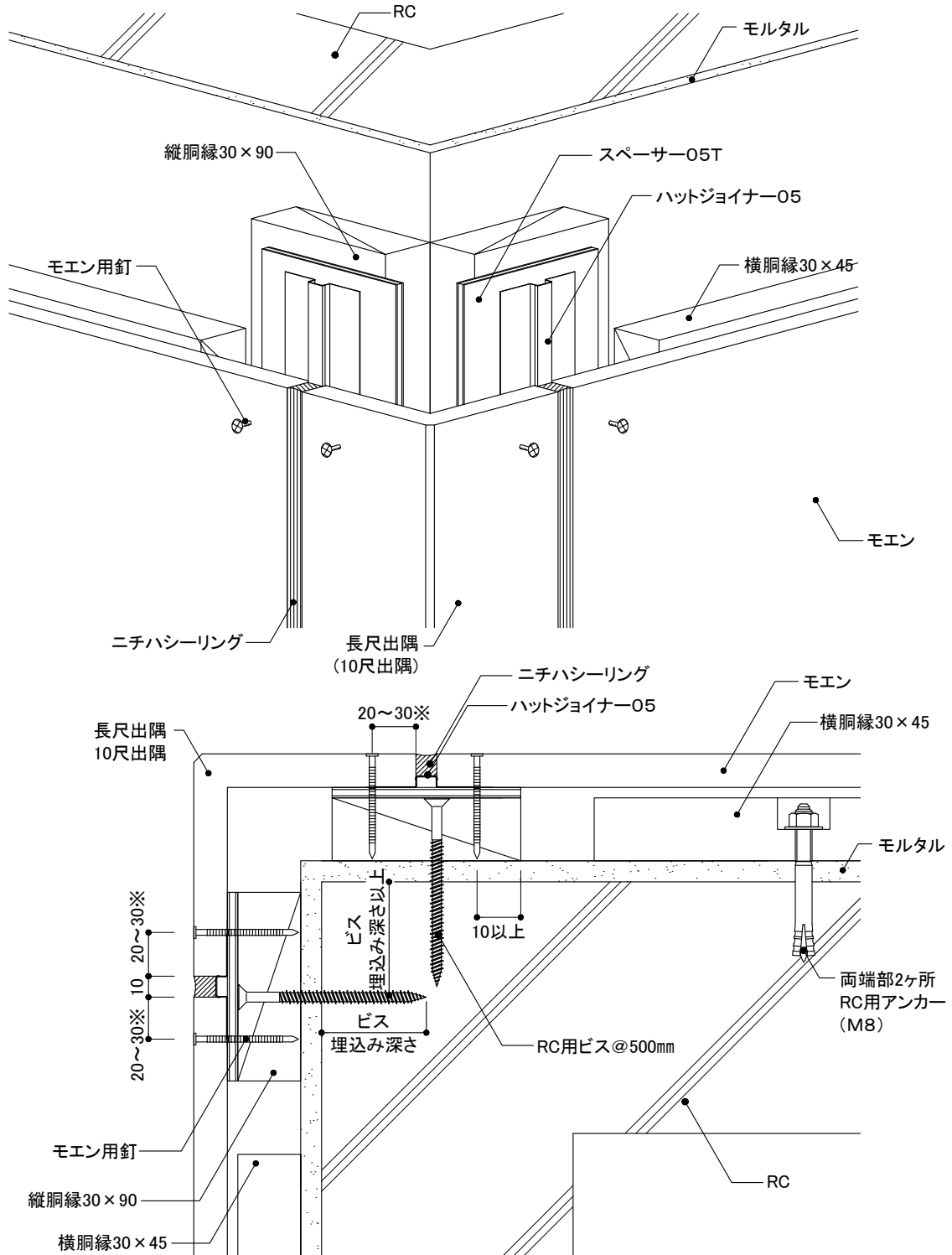


16mm厚品 EX	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	金具	縦	横胴縁@606mm以下

8) 出隅部

同質出隅

- 出隅部は、倍幅90mm以上の木胴縁を取り付けます。
- モエン本体と長尺出隅は、スペーサー-O5Tを取り付けた後、先孔をあけてからモエン用釘(ステンレスリング釘φ2.75mm×50mm)で留め付けます。
- ※ 縦胴縁の端あきが10mm以上になるよう釘打ちします。
- 長尺出隅との取り合い部には必ずハットジョイナー-O5を用い、10mm程度の隙間を設けて施工します。

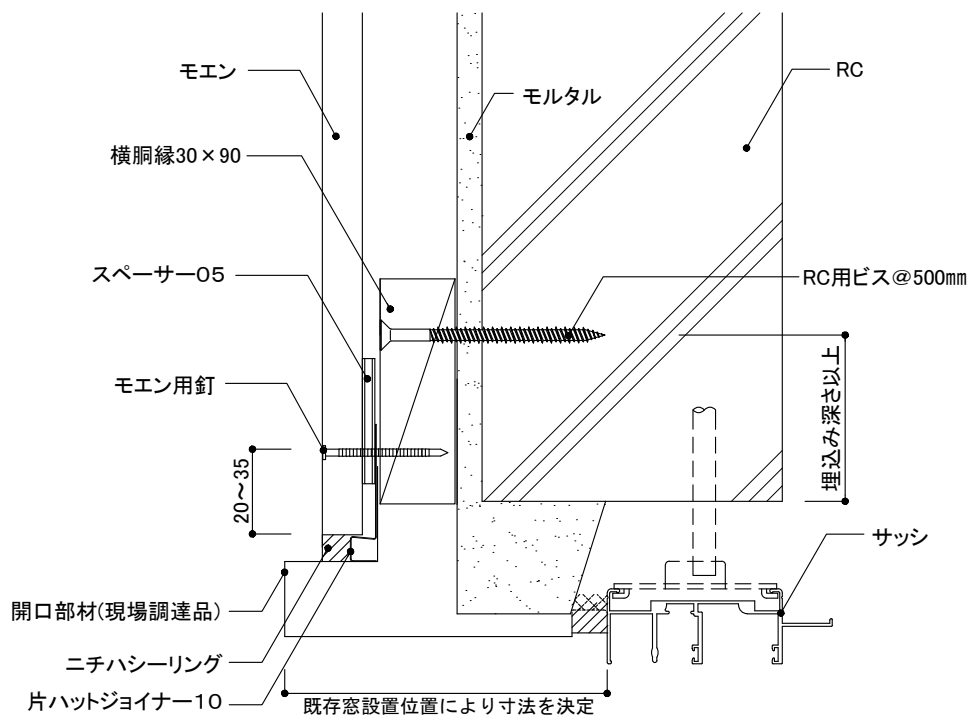
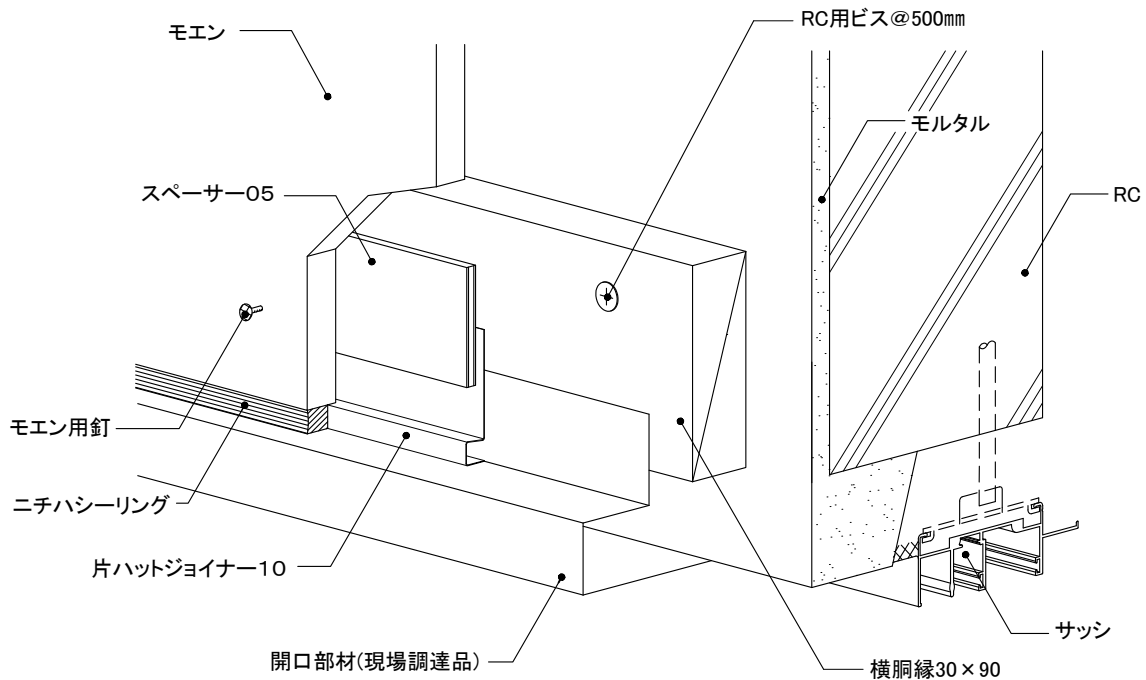


16mm厚品 EX	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	金具	縦	横胴縁@606mm以下

9) 開口部

① 上側

- 開口部まわりには、必要に応じて倍幅90mm以上の木胴縁を取り付けます。
- 開口部まわりの開口部材は、既存建物のサッシ形状に合わせて、板金やアルミ加工品を取り付けます。
- 開口部材内部に水が溜まるおそれのある場合は、開口部材に適宜水抜き孔を設けます。

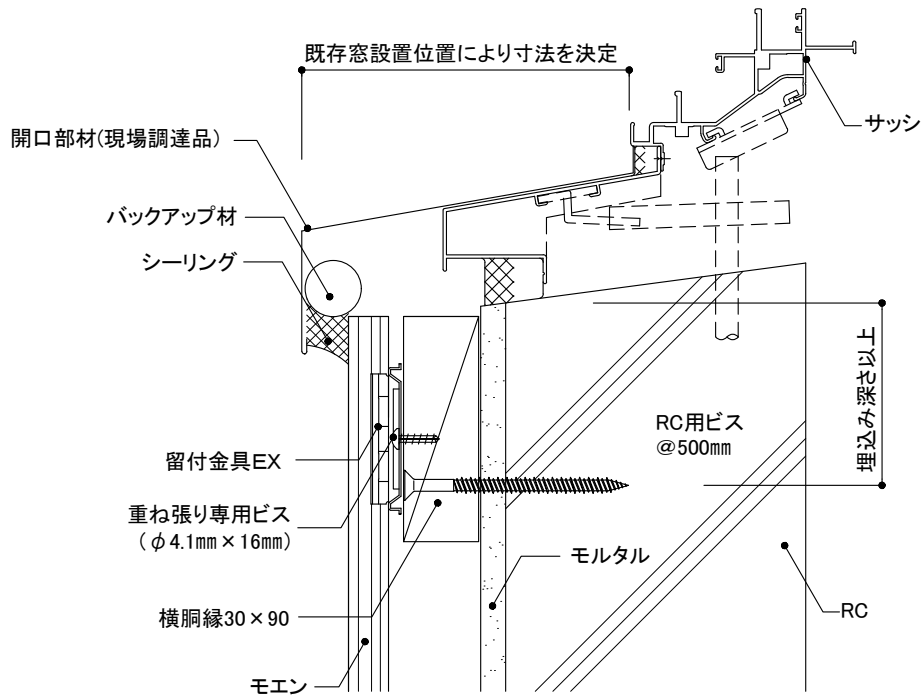
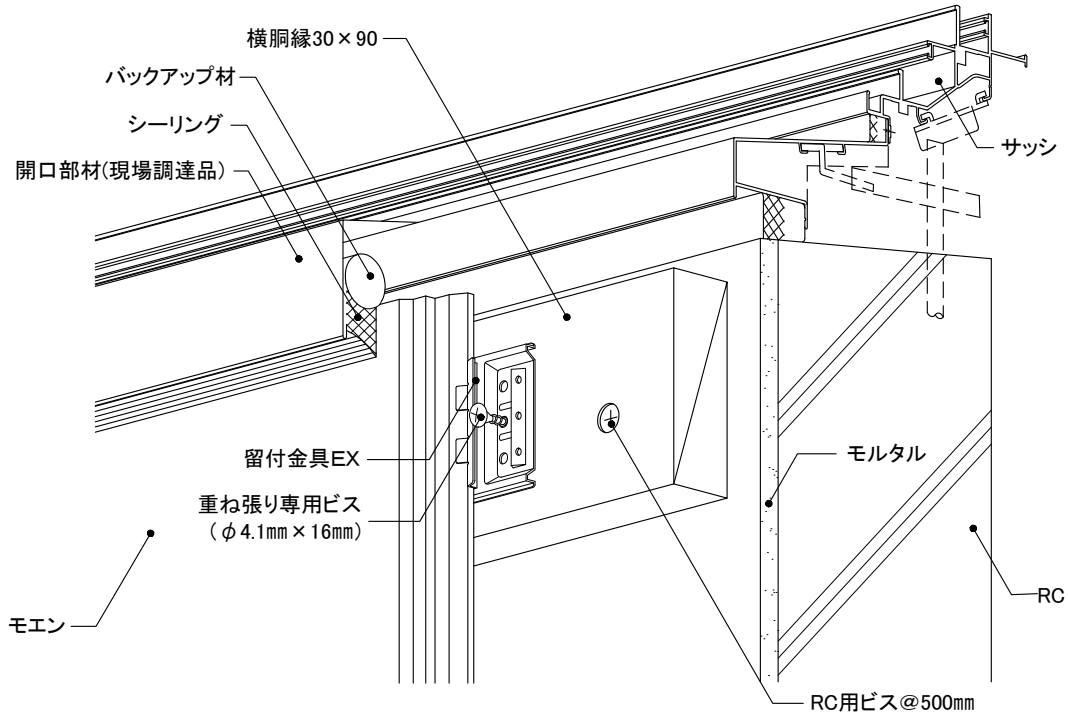


16mm厚品 EX	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	金具	縦	横胴縁@606mm以下

9) 開口部

② 下側

- 開口部まわりには、必要に応じて倍幅90mm以上の木胴縁を取り付けます。
- 開口部まわりの開口部材は、既存建物のサッシ形状に合わせて、板金やアルミ加工品を取り付けます。

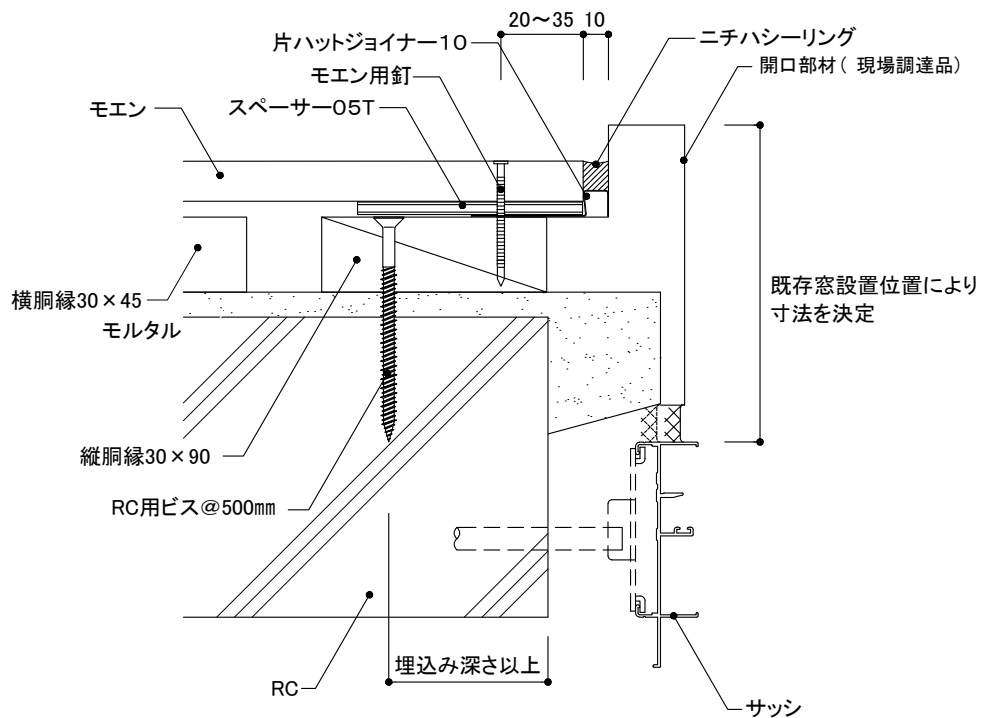
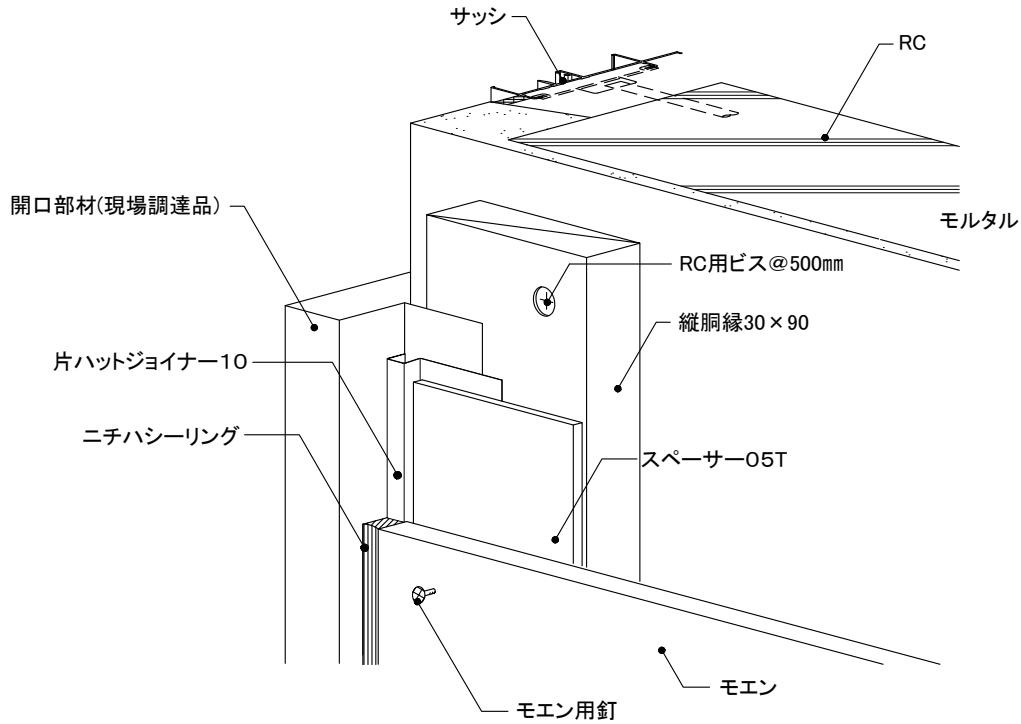


16mm厚品 EX	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	金具	縦	横胴縁@606mm以下

9) 開口部

③ 左右側

- 開口部まわりには、必要に応じて倍幅90mm以上の木胴縁を取り付けます。
- 開口部まわりの開口部材は、既存建物のサッシ形状に合わせて、板金やアルミ加工品を取り付けます。

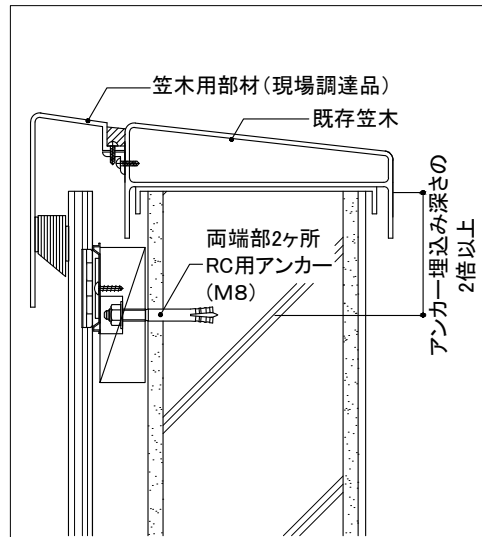
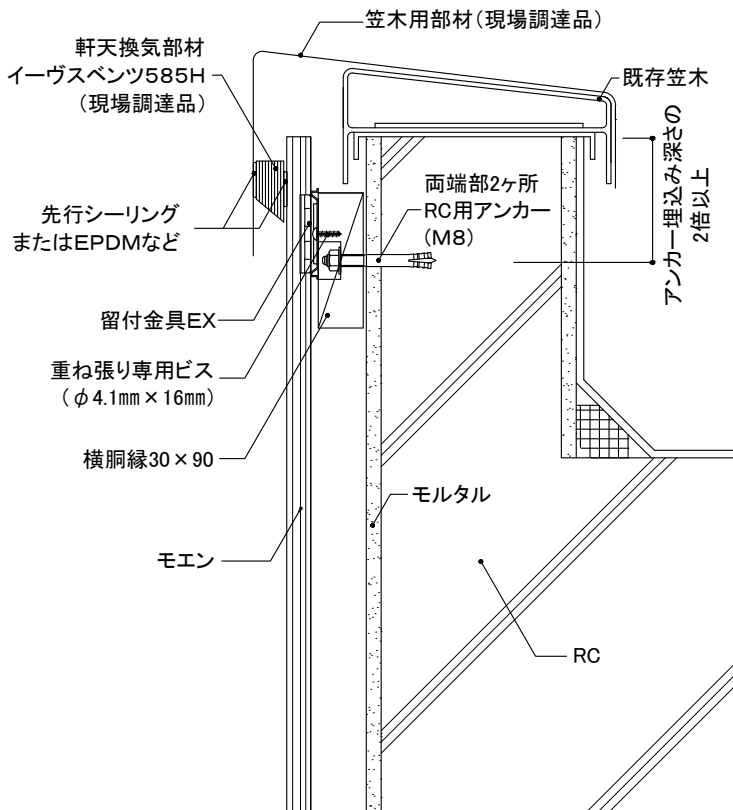
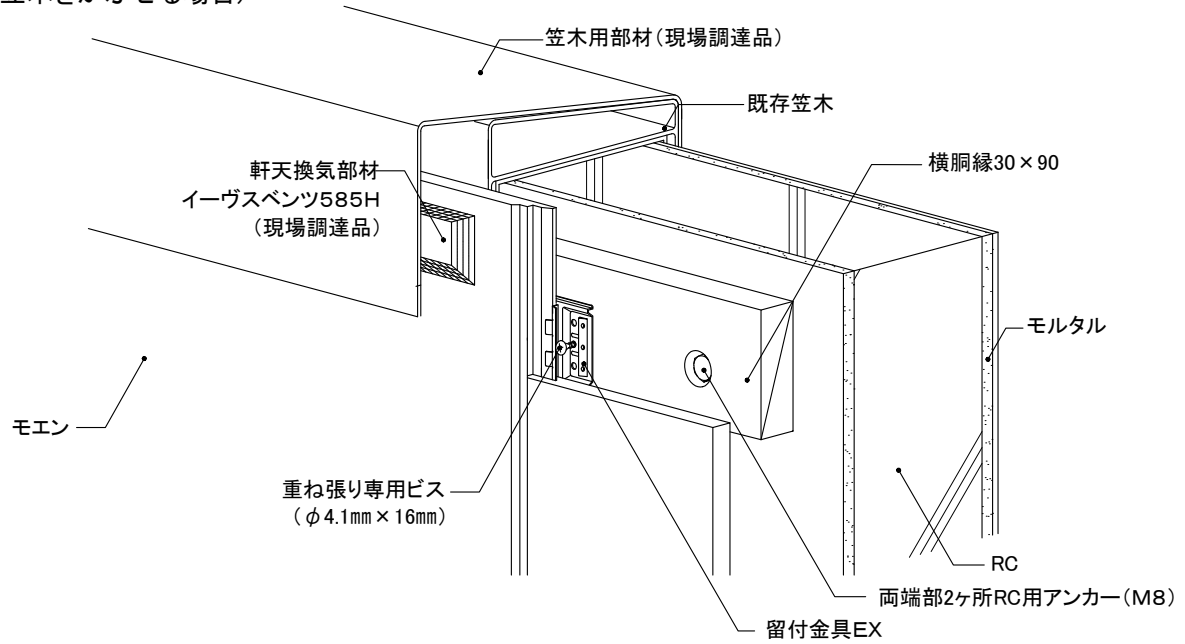


16mm厚品 EX	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	金具	縦	横胴縁@606mm以下

10) 笠木部

- 笠木用部材は、現場調達により、既存笠木全体にかぶせる、継ぎ足す、あるいは既存笠木を取り外し、あらたに取り付けます。
- 上端部には通気確保のため、イーヴスベント585Hを用いて施工します。

(笠木をかぶせる場合)



(笠木を継ぎ足す場合)

4 各部の納まり詳細図

RC

木胴縁工法

モエン縦張り

釘打ち施工

1)基本構成図	構成断面
2)胴縁概要図	
3)各部の納まり概要図	

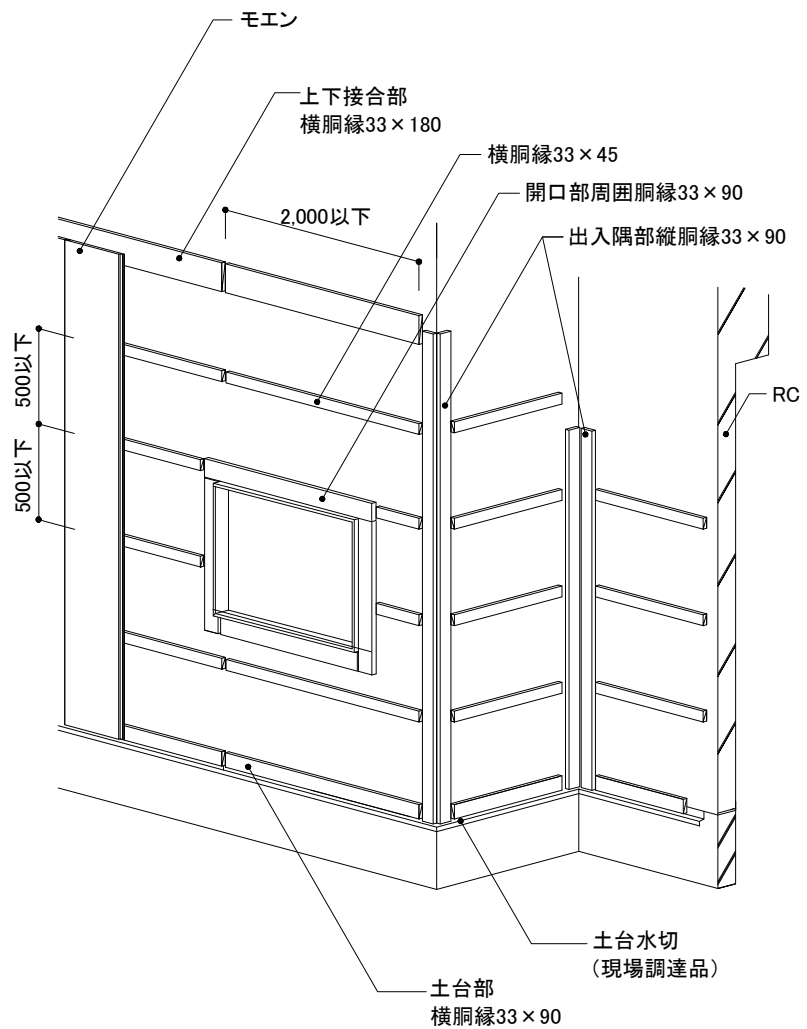
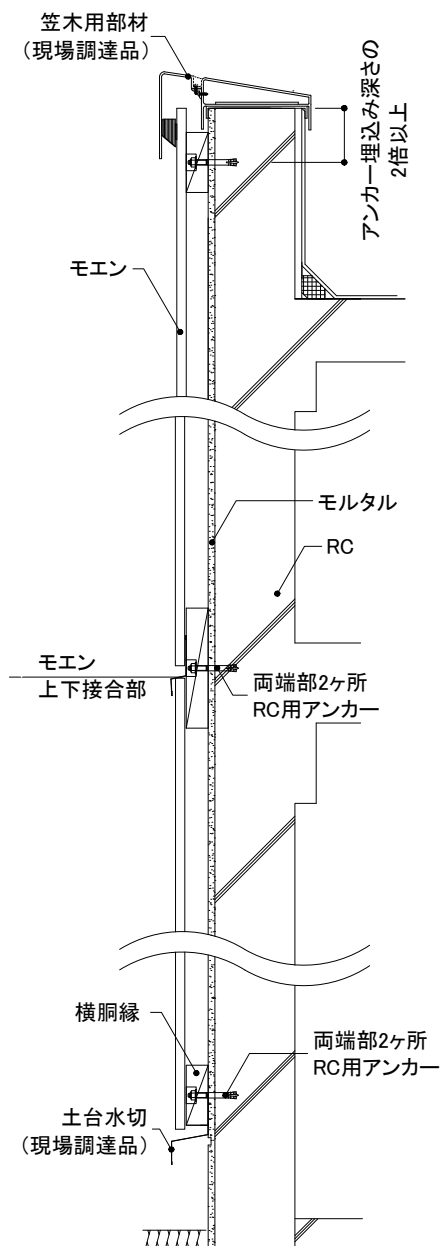
本章は、基本的な納まり例を記載しています。注意事項、禁止事項をご理解いただいたうえで施工してください。

14mm厚品 M W	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	釘	縦	横胴縁@500mm以下

1) 基本構成図

構成断面

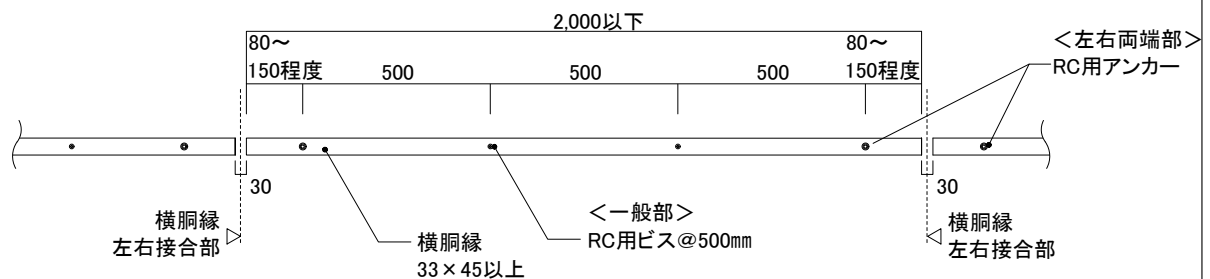
- 下地外壁材にひび割れなどが無い確認し、必要に応じて補修を行います。
- 下地は図のように、500mm以下の間隔で木胴縁を取り付けます。
- 左右接合部・入隅部・出隅部・開口部まわりなどには、必要に応じて倍幅90mm以上の木胴縁を使用します。
- 横胴縁は必ず通気ができるように2,000mm以下の間隔で30mm程度の隙間を設けます。
- 横胴縁と開口部まわりの胴縁は30mm程度の隙間を設け、通気する構造とします。



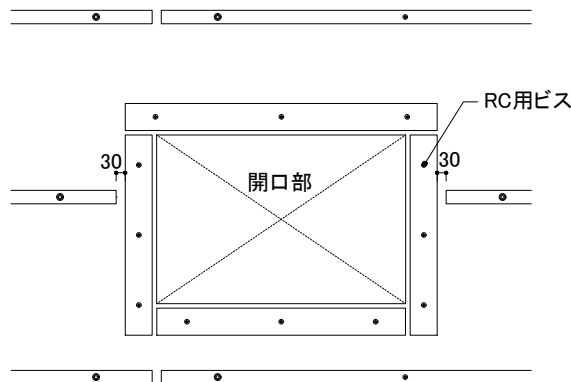
14mm厚品 M W	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	釘	縦	横胴縁@500mm以下

2) 胴縁概要図

- 木胴縁はRC用ビスを用い、500mm以下の間隔で留め付けます。ただし、木胴縁1本につき両端部の2ヶ所をRC用アンカーとします。
- モエンとの干渉を防ぐため、木胴縁にはあらかじめRC用アンカー部分にφ25mm、深さ15mm程度の座堀をします。
- 出隅部・開口部まわりの木胴縁は、RC用ビスで留め付けます。
- 木胴縁の長さが1m未満の場合、RC用アンカーは1ヶ所留めとします。
- RC外壁がモルタルで仕上げられている場合などは、モルタルの塗り厚さに注意し、RC用アンカー・ビスのサイズを選定します。
- RC用アンカー・ビスの設定は、物件ごとに既存壁に対するアンカー・ビスの引っ張り荷重確認を行い決定します。

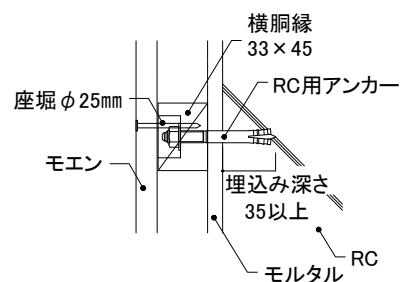
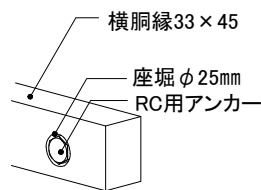


開口部まわり(現場調達開口部材納めの例)

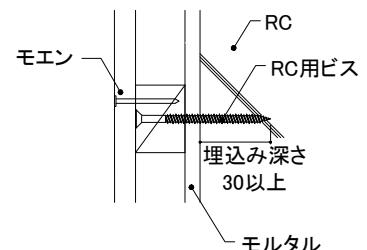
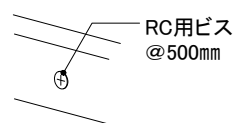


※開口部まわりは、RC用ビスで留め付けてください。

左右両端部
RC用アンカー (芯棒打込式)
オールアンカーCタイプ



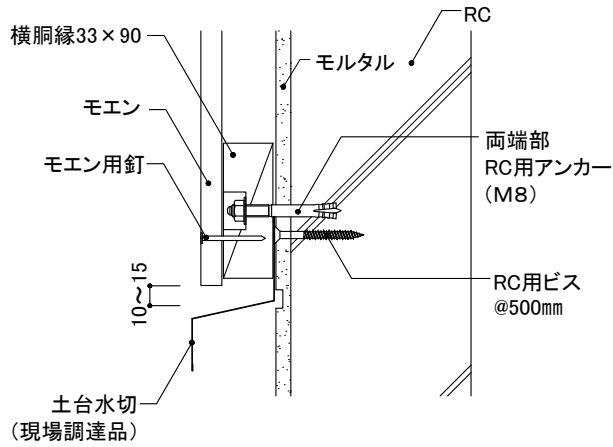
一般部
RC用ビス (ねじ固定式)
プレスアンカー



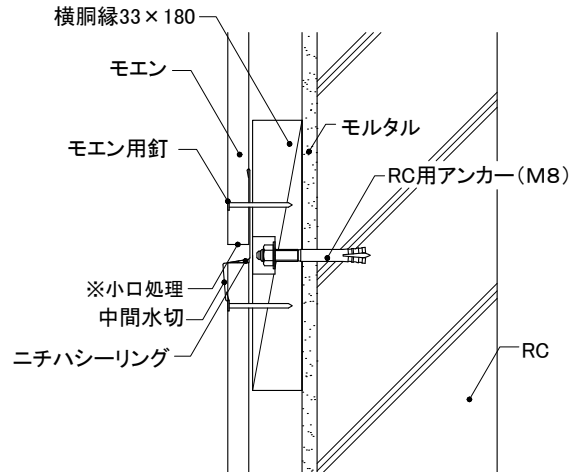
14mm厚品 M W	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	釘	縦	横胴縁@500mm以下

3) 各部の納まり概要図

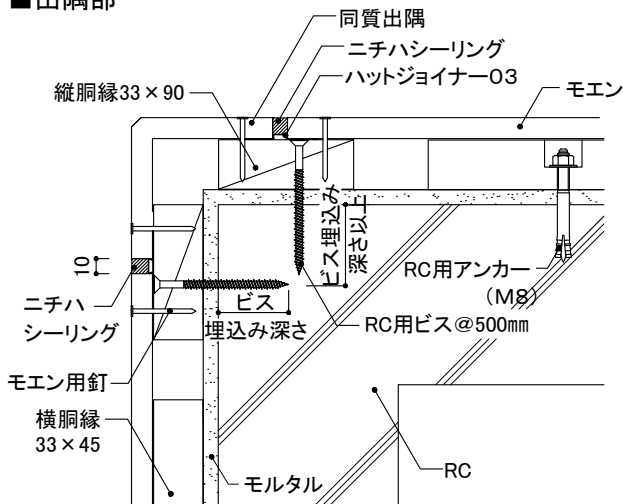
■土台部



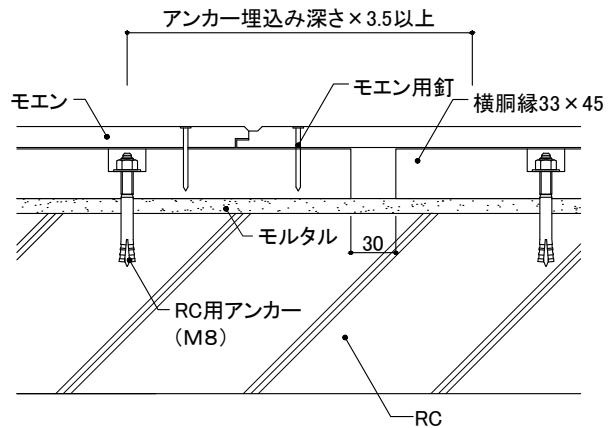
■上下接合部(モエン)



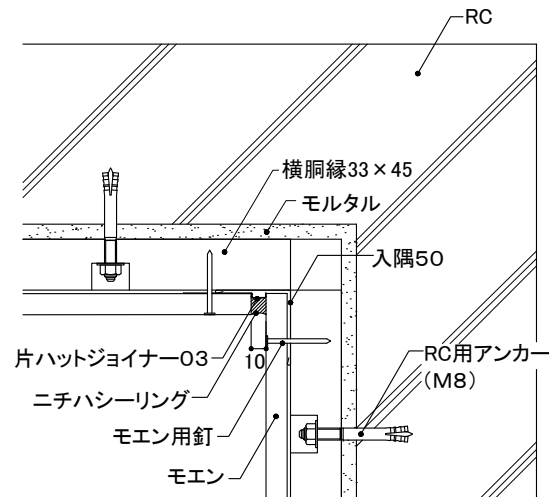
■出隅部



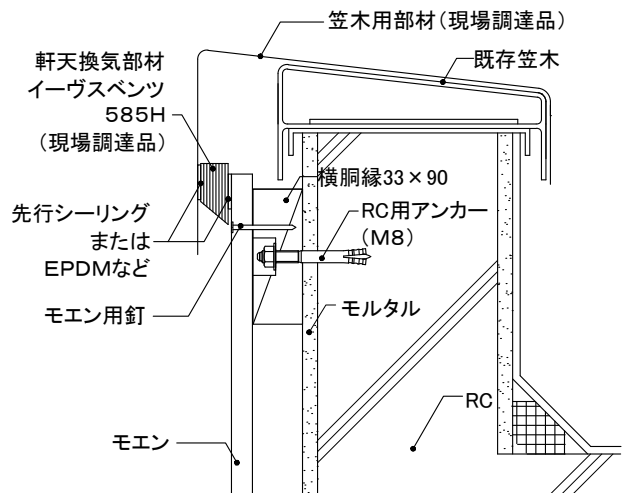
■左右接合部



■入隅部



■笠木部(笠木をかぶせる場合)



5 各部の納まり詳細図

S造(ALC厚100mm)

木胴縁工法

モエン横張り

金具施工

1)基本構成図	構成断面
2)胴縁概要図	
3)主要部材一覧	
4)土台部	
5)上下接合部	①胴縁 ②モエン
6)左右接合部	①1.5尺×10尺 ②1.5尺×6尺
7)入隅部	
8)出隅部	同質出隅
9)開口部	①上側 ②下側 ③左右側
10)笠木部	

本章は、基本的な納まり例を記載しています。注意事項、禁止事項をご理解いただいたうえで施工してください。

16~21mm厚品

EX S

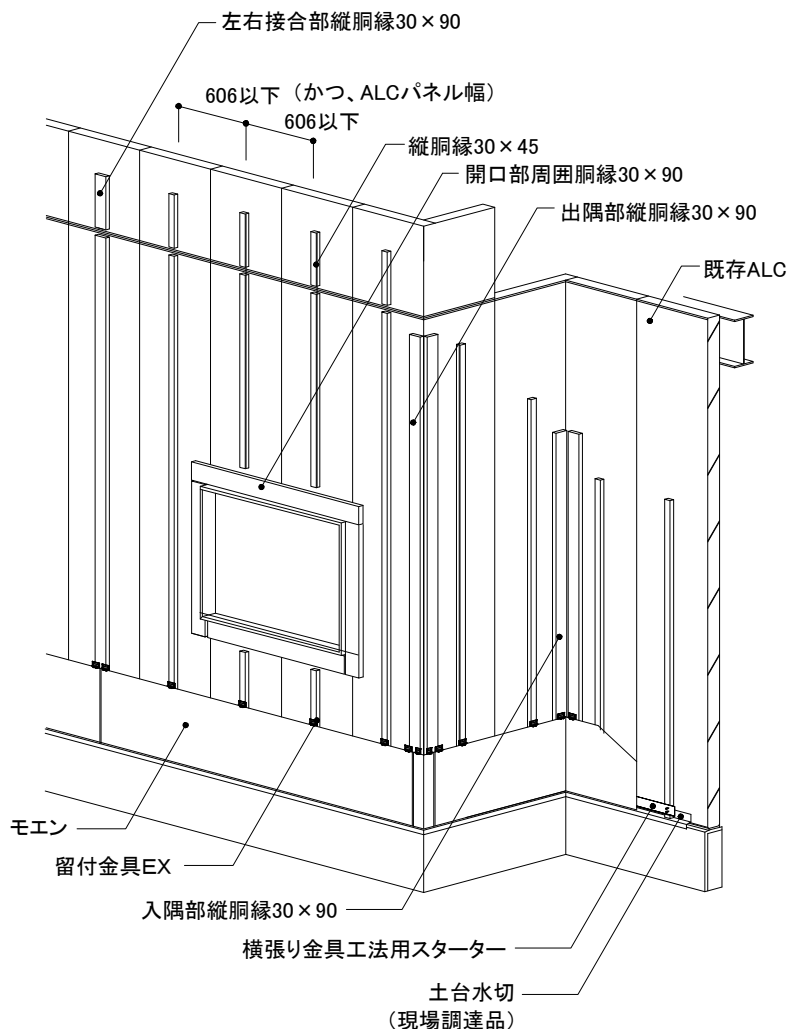
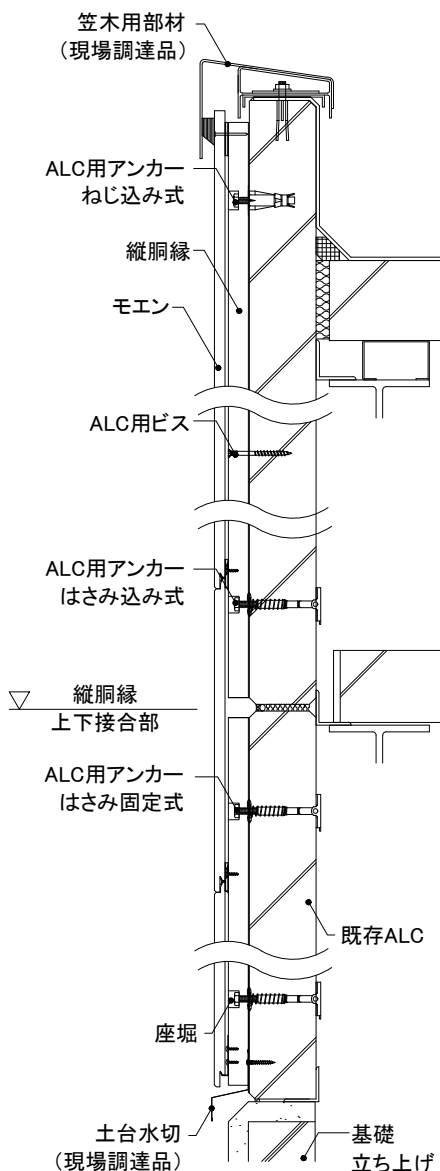
下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
S造 (ALC厚100mm) 木胴縁工法	金具	横	縦胴縁@606mm以下

1) 基本構成図

構成断面

- 下地外壁材にひび割れなどがいないか確認し、必要に応じて補修を行います。
- 下地は図のように、606mm以下の間隔で木胴縁を取り付けます。
- 左右接合部・入隅部・出隅部・開口部まわりなどには、必要に応じて倍幅90mm以上の木胴縁を使用します。
- ALCパネル上下ジョイント部は木胴縁を通さず、縁を切ります。
- 四方合いじゃくり品を使用する場合は、ALCパネル幅と必要な胴縁間隔が若干異なることが多いため、途中でシーリング目地を設ける必要があります。

ALC用アンカーはさみ固定式が躯体・内装材に干渉する場合は、ALC用アンカーねじ込みで施工します。



16~21mm厚品

EX S

下地・工法
S造 (ALC厚100mm)
木胴縁工法

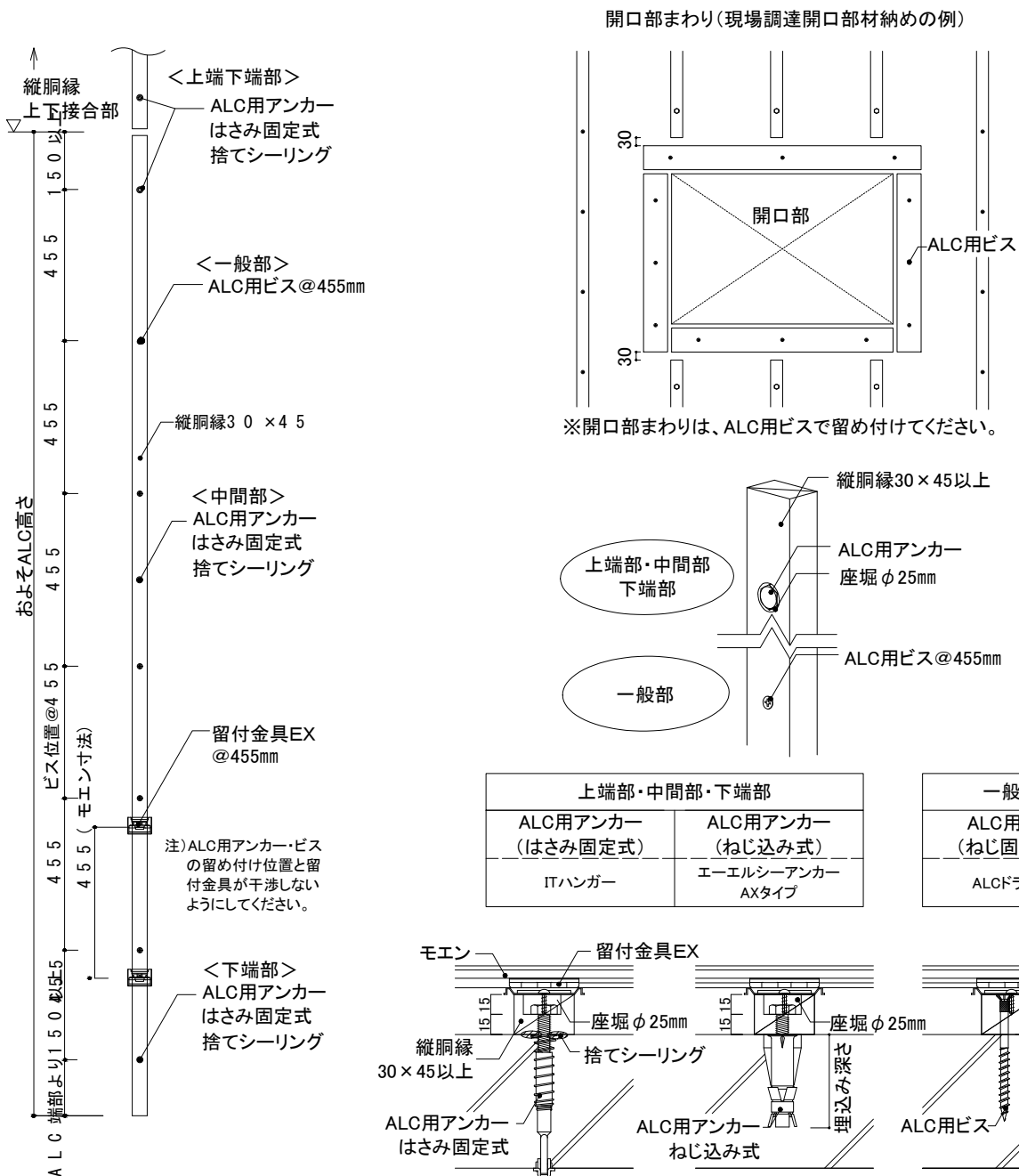
留付方法
金具

張り方向
横

胴縁組
縦胴縁@606mm以下

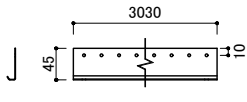
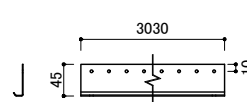
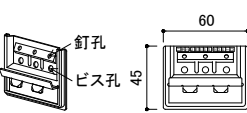
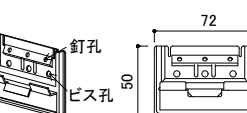
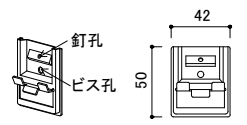
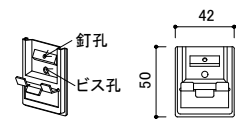
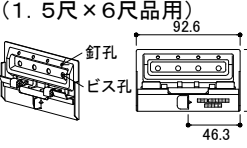
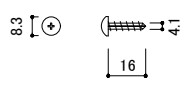
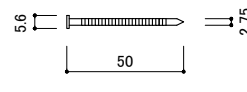
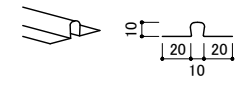
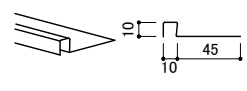
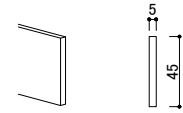
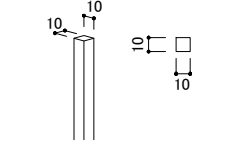
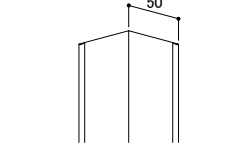
2) 胴縁概要図

- 木胴縁はALC用ビスを用いて455mm以下の間隔で留め付けます。ただし、木胴縁1本につき上端部・中間部・下端部の3ヶ所をALC用アンカーとします。原則、ALC用アンカーははさみ固定式で取り付けますが、最低1ヶ所はALC用アンカーはさみ固定式を使用し、屋内側に躯体や内装材があり施工できない場合は、ALC用アンカーねじ込み式とします。
- 木胴縁の長さが1m未満の場合、ALC用アンカーはさみ固定式は1ヶ所留めとします。
- モエンとの干渉を防ぐため、木胴縁にはあらかじめALC用アンカー部分にφ25mm、深さ15mm程度の座堀をします。
- 出隅部・開口部まわりの木胴縁は、ALC用ビスで留め付けます。
- ALC用アンカーでALCを貫通させた部分の周囲には、捨てシーリングを施工します。
- ALC用アンカー・ビスの設定は、物件ごとに既存壁に対するアンカー・ビスの引っ張り荷重確認を行い決定します。



16~21mm厚品 EX S	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造(ALC厚100mm) 木胴縁工法	金具	横	縦胴縁@606mm以下

3) 主要部材一覧

<p>■スターター</p>  <p>横張り金具工法用スターターA (エクセラード用) (モエンス18:ハルモニアシリーズ用) 【品番:FA150A】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.8mm 長さ:3,030mm 備考:専用ビスで留め付ける ビス留めピッチ:胴縁ごと(606mm以下)</p>	<p>■スターター</p>  <p>横張り金具工法用スターターB (モエンス18:ハルモニアシリーズ以外用) 【品番:FA150B】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.8mm 長さ:3,030mm 備考:専用ビスで留め付ける ビス留めピッチ:胴縁ごと(606mm以下)</p>	<p>■一般部金具</p>  <p>横張り用留付金具EX (エクセラード用) (モエンス18:ハルモニアシリーズ用) 【品番:JE555】 材質:高耐食めっき鋼板 備考:専用ビスで留め付ける</p>	<p>■一般部金具</p>  <p>横張り用留付金具EX (モエンス18:ハルモニアシリーズ以外用) 【品番:JE650】 材質:高耐食めっき鋼板 備考:専用ビスで留め付ける</p>
<p>■出隅部金具</p>  <p>横張り用留付金具EX出隅用II (エクセラード用) (モエンス18:ハルモニアシリーズ用) 【品番:JE552C】 材質:高耐食めっき鋼板 備考:本体には使用できません</p>	<p>■出隅部金具</p>  <p>横張り用留付金具EX出隅用II (モエンス18:ハルモニアシリーズ以外用) 【品番:JE652C】 材質:高耐食めっき鋼板 備考:本体には使用できません</p>	<p>■左右接合部金具 (1.5尺×6尺品用)</p>  <p>横張り用留付金具EX左右接合部用 (16mm厚品用5mm浮き) 【品番:JEJ565】 材質:高耐食めっき鋼板 備考:専用ビス2本で留め付ける</p>	<p>■専用ビス (金具留付用)</p>  <p>ステンステクスネジ 【品番:JK1130】 材質:ステンレス サイズ:φ4.1mm×16mm</p>
<p>■専用ビス (サイディング留付用)</p>  <p>モエ管用釘(ステンレスリング釘) 【品番:JKW840Bなど】 材質:ステンレス サイズ:φ2.75mm×50mm</p>	<p>■ハットジョイナー</p>  <p>ハットジョイナー10 【品番:FH1010R】 材質:フッ素樹脂コート 高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.3mm 長さ:3,030mm 表面色:クリアレッド着色</p>	<p>■片ハットジョイナー</p>  <p>片ハットジョイナー10 【品番:FHK1110R】 材質:フッ素樹脂コート 高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.3mm 長さ:2,000mm 表面色:クリアレッド着色</p>	<p>■スペーサー</p>  <p>スペーサー05 【品番:FS1005】 長さ:1,200mm 材質:ポリプロピレン スペーサー05(ピースタイプ) 【品番:FSP1005】 長さ:1,000mm 材質:ポリプロピレン</p>
<p>■バックアップ材</p>  <p>バックアップ材10 【品番:FB1010】 材質:発泡ポリエチレン 長さ:1,000mm</p>	<p>■入隅50</p>  <p>入隅50 【品番:JR1900】 材質:高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.27mm 長さ:3,030mm</p>	<p>■RC用アンカー</p> <p>(現場調達品)</p> <p>木胴縁取り付け用</p> <p>外装リフォーム②RC・S造(ALC)編の 3-5 RC・S造(ALC) 金属(木)胴縁工法 各部材の施工をご参照ください。</p>	<p>■RC用ビス</p> <p>(現場調達品)</p> <p>木胴縁取り付け用</p> <p>外装リフォーム②RC・S造(ALC)編の 3-5 RC・S造(ALC) 金属(木)胴縁工法 各部材の施工をご参照ください。</p>

※各部材は2022年3月時点のものです。最近の情報はNICHIHA内外建材総合カタログでご確認ください。

16~21mm厚品

EX S

下地・工法
S造 (ALC厚100mm)
木胴縁工法

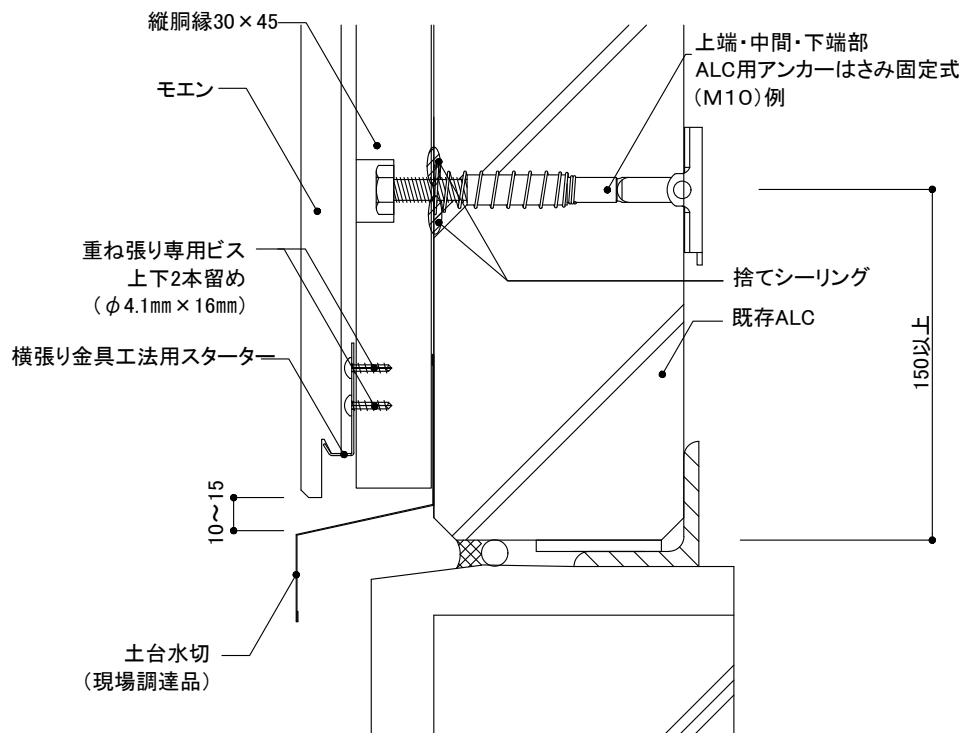
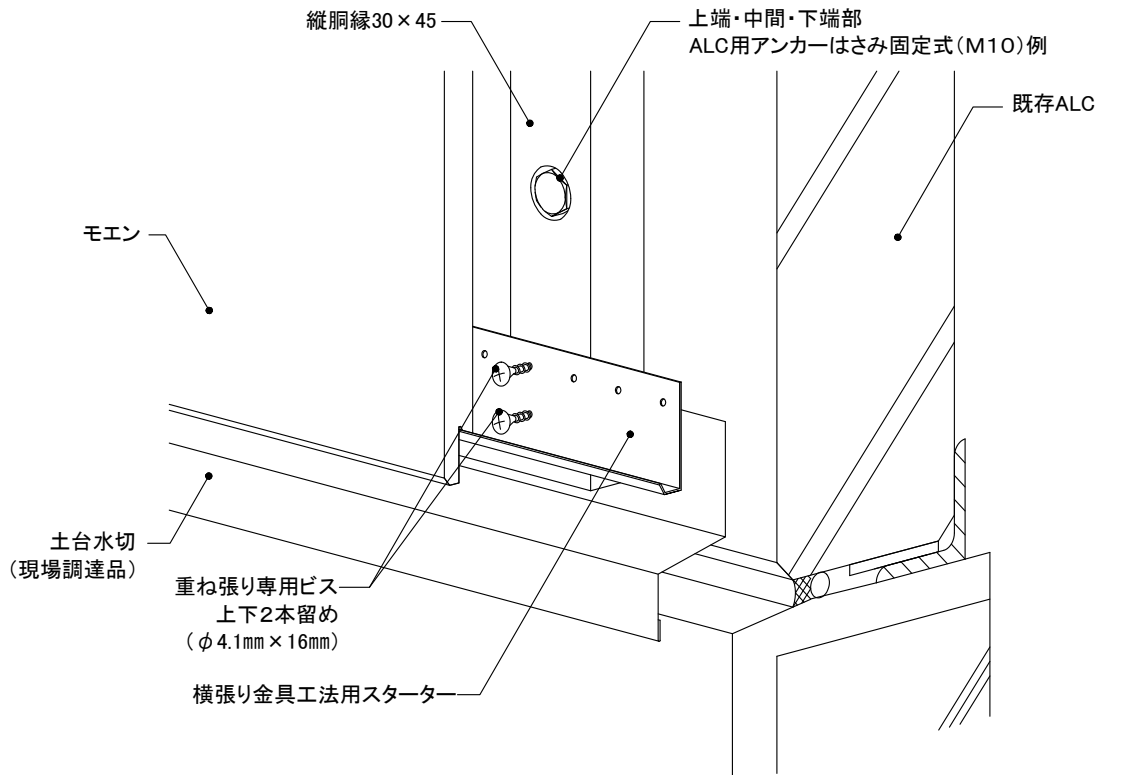
留付方法
金具

張り方向
横

胴縁組
縦胴縁@606mm以下

4) 土台部

- 土台水切を留め付けてから、木胴縁を施工します。
- 横張り金具工法用スターターは、重ね張り専用ビス(φ4.1mm×16mm)を用い、胴縁ごとに横張り金具工法用スターターの立ち上がり部に上下2本留めます。下段部分は先孔をあけてから留め付けます。
- モエン下端と土台水切の間は、10~15mm程度の隙間を設けます。



16~21mm厚品

EX S

下地・工法
S造 (ALC厚100mm)
木胴縁工法

留付方法
金具

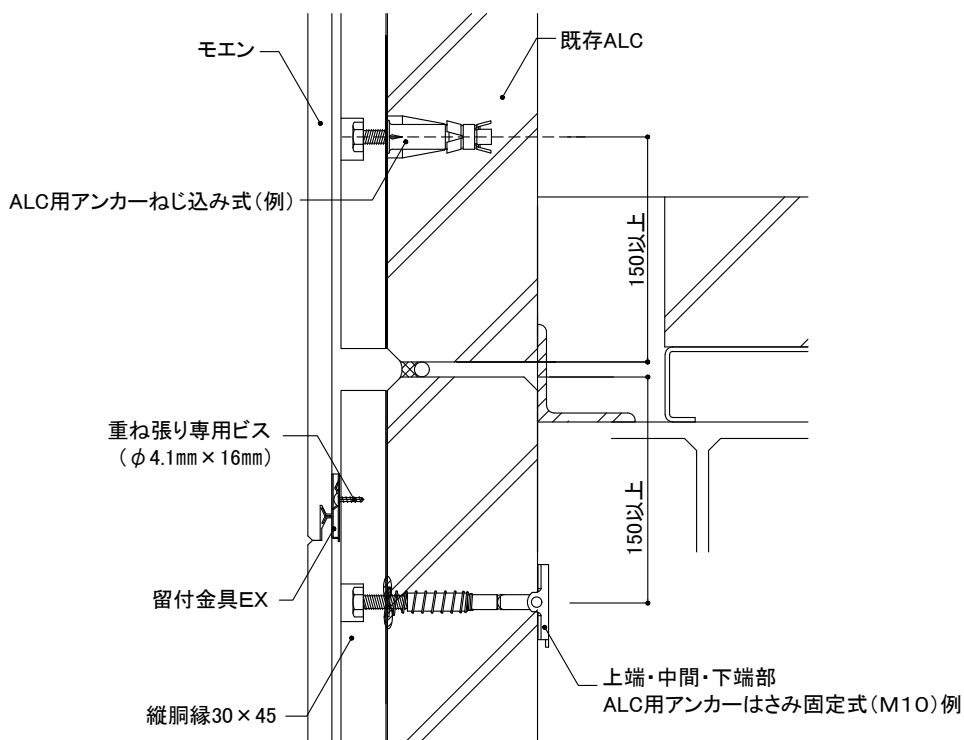
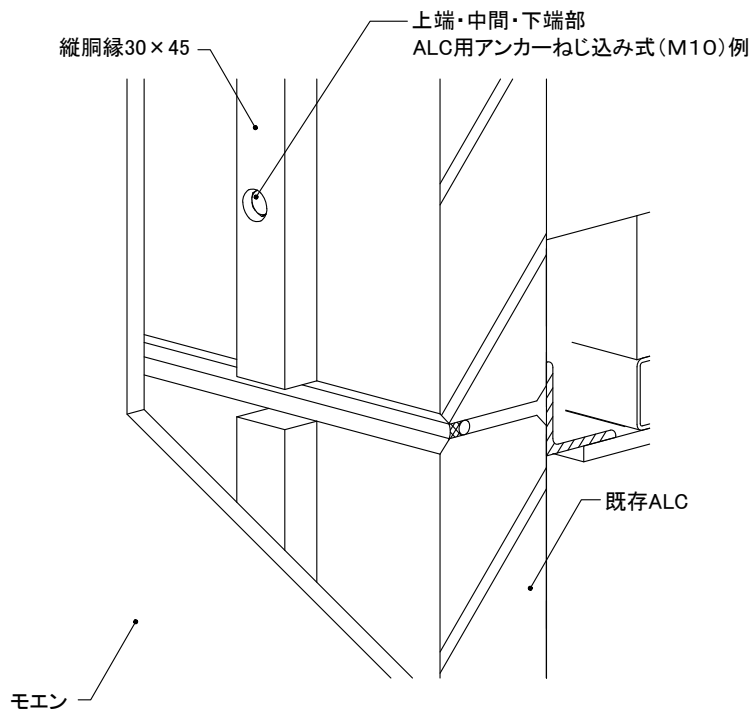
張り方向
横

胴縁組
縦胴縁@606mm以下

5) 上下接合部

① 胴縁

- ALCジョイント部は、縦胴縁を通さずに縁を切ります。
- 木胴縁の上下接合部に留付金具EXが干渉しないようにします。
- 実に留付金具EXを確実に納め、重ね張り専用ビス(φ4.1mm×16mm)で留め付けます。



16~21mm厚品

EX S

下地・工法
S造 (ALC厚100mm)
木胴縁工法

留付方法
金具

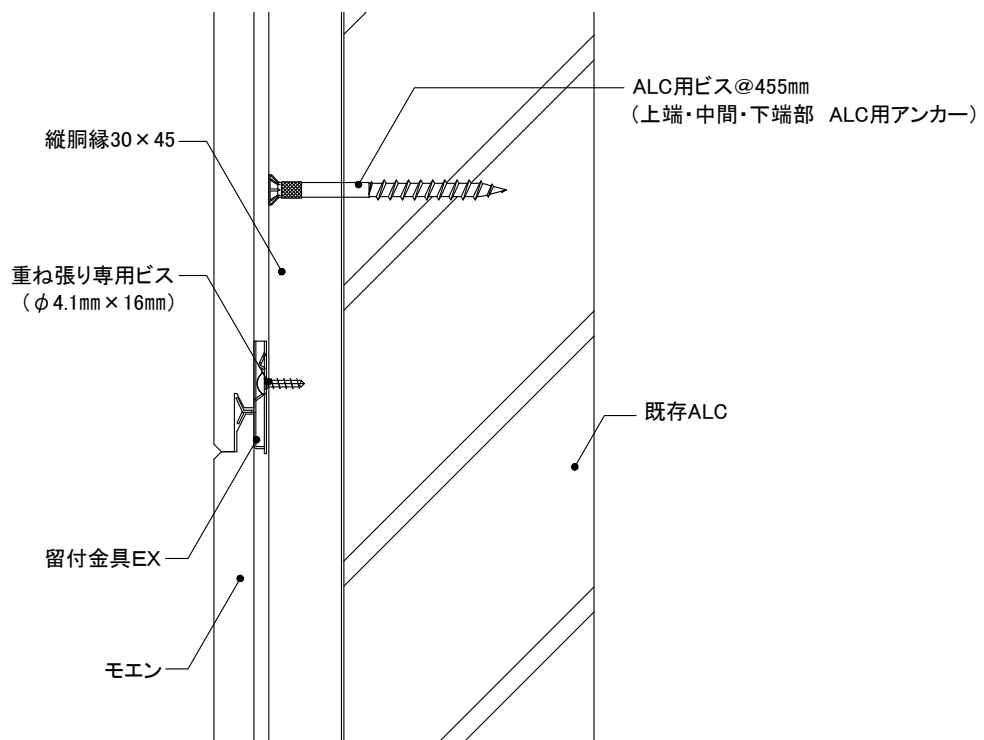
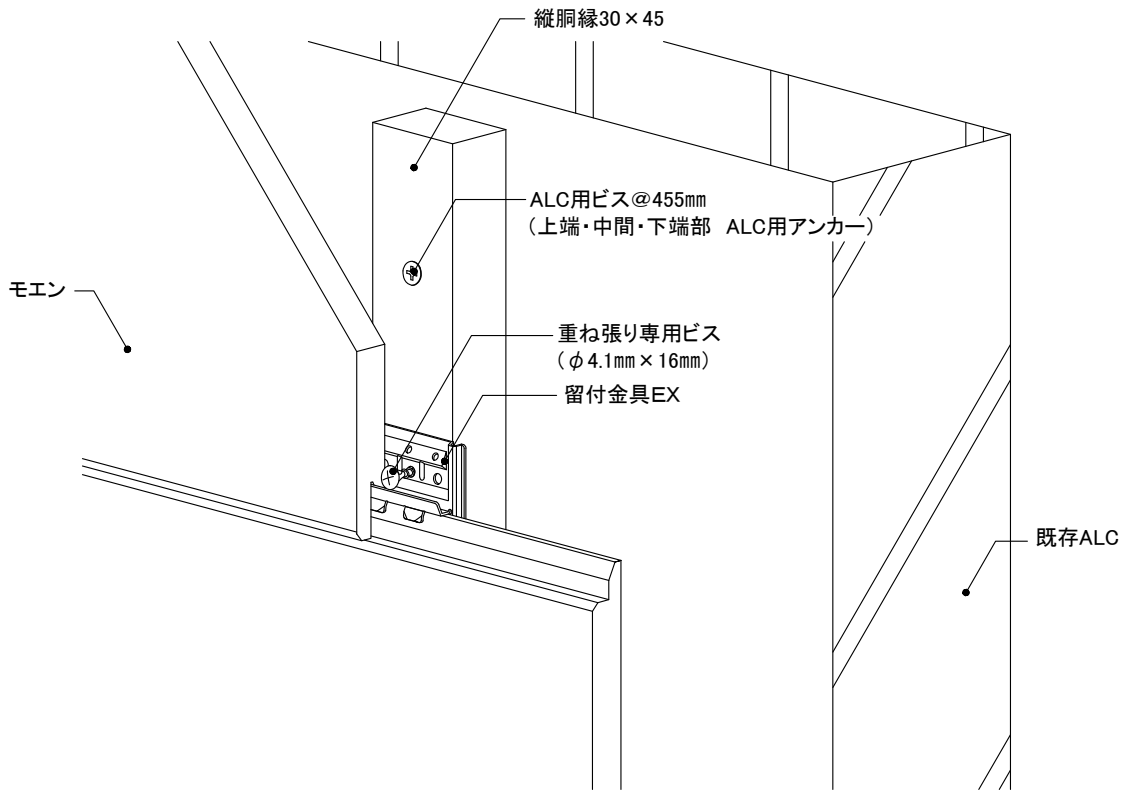
張り方向
横

胴縁組
縦胴縁@606mm以下

5) 上下接合部

②モエン

● 実に留付金具EXを確実に納め、重ね張り専用ビス(φ4.1mm×16mm)で留め付けます。



16~21mm厚品

EX S

下地・工法
S造(ALC厚100mm)
木胴縁工法

留付方法
金具

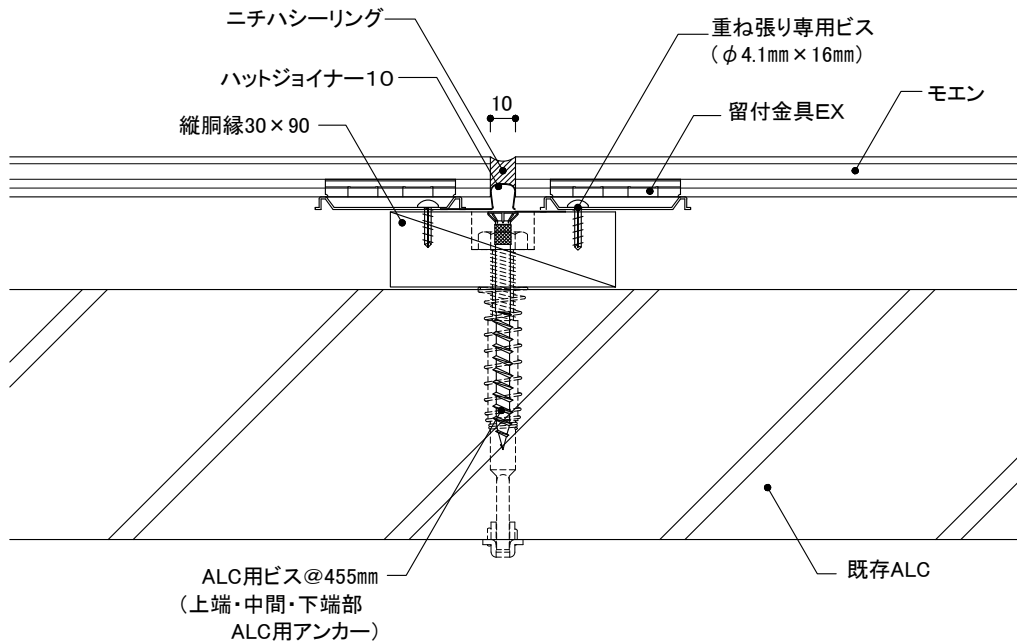
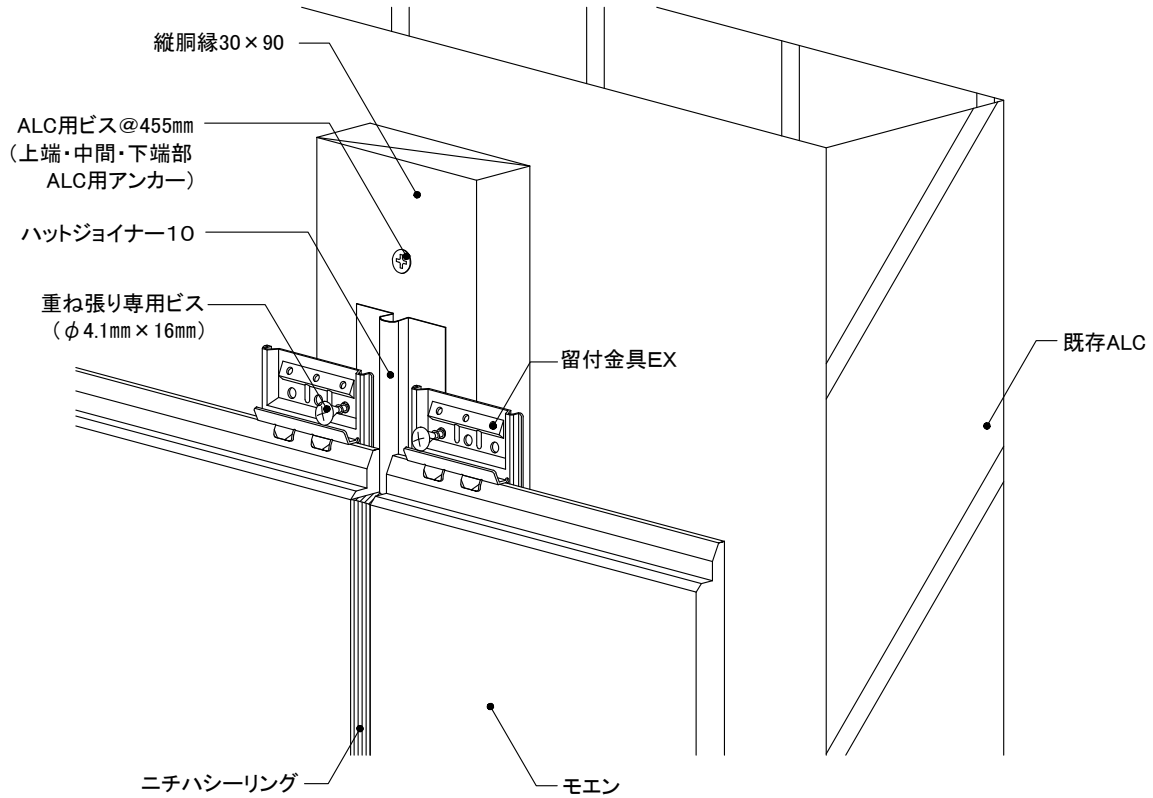
張り方向
横

胴縁組
縦胴縁@606mm以下

6) 左右接合部

① 1.5尺×10尺

- 左右接合部は、倍幅90mm以上の木胴縁を取り付けます。
- 左右接合部には必ずハットジョイナー10を用い、10mm程度の隙間を設けて施工します。
- 実に留付金具EXを確実に納め、重ね張り専用ビス(φ4.1mm×16mm)で留め付けます。



16~21mm厚品

EX

下地・工法
S造(ALC厚100mm)
木胴縁工法

留付方法
金具

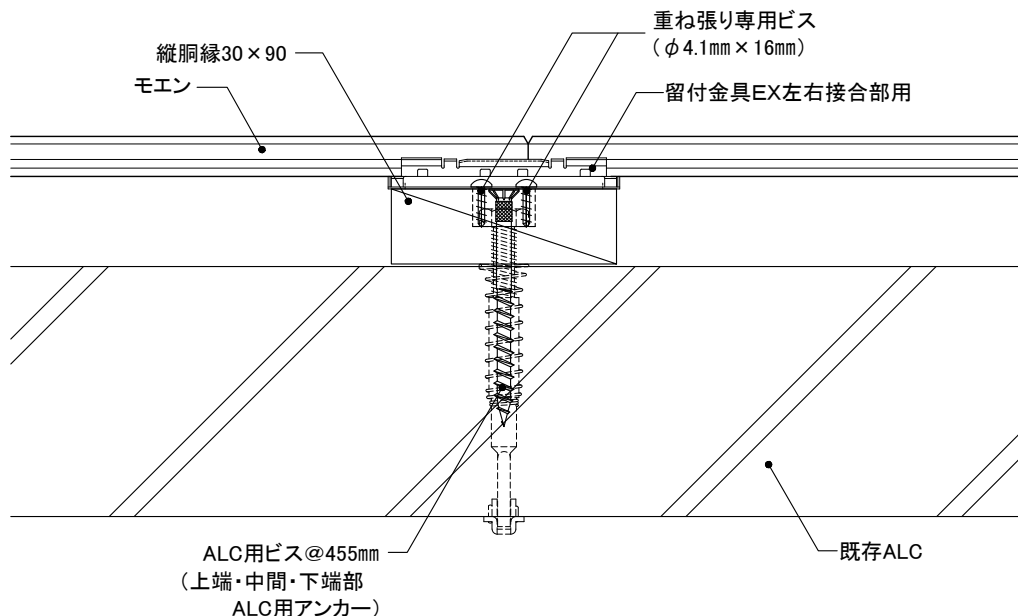
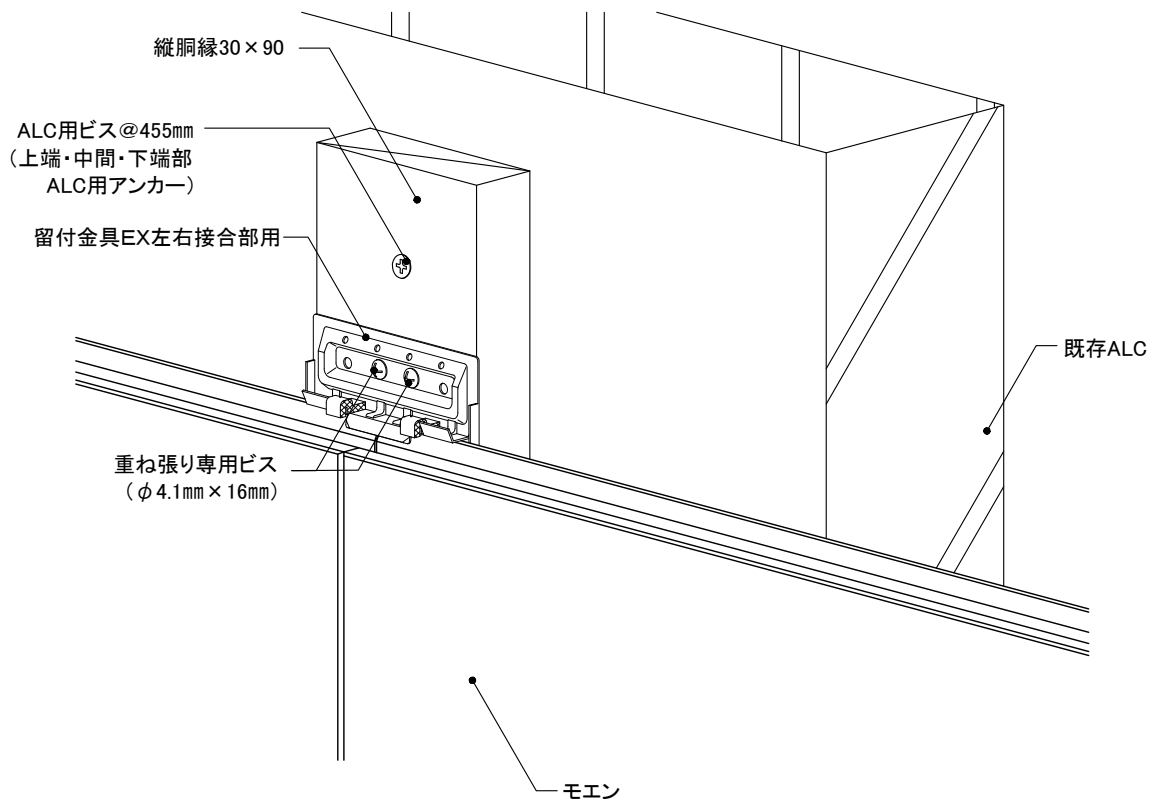
張り方向
横

胴縁組
縦胴縁@606mm以下

6) 左右接合部

② 1.5尺×6尺

- 左右接合部は、倍幅90mm以上の木胴縁を取り付けます。
- 左右接合部には必ず留付金具EX左右接合部用を使用し、重ね張り専用ビス(φ4.1mm×16mm)2本で留め付けます。



16~21mm厚品

EX S

下地・工法
S造 (ALC厚100mm)
木胴縁工法

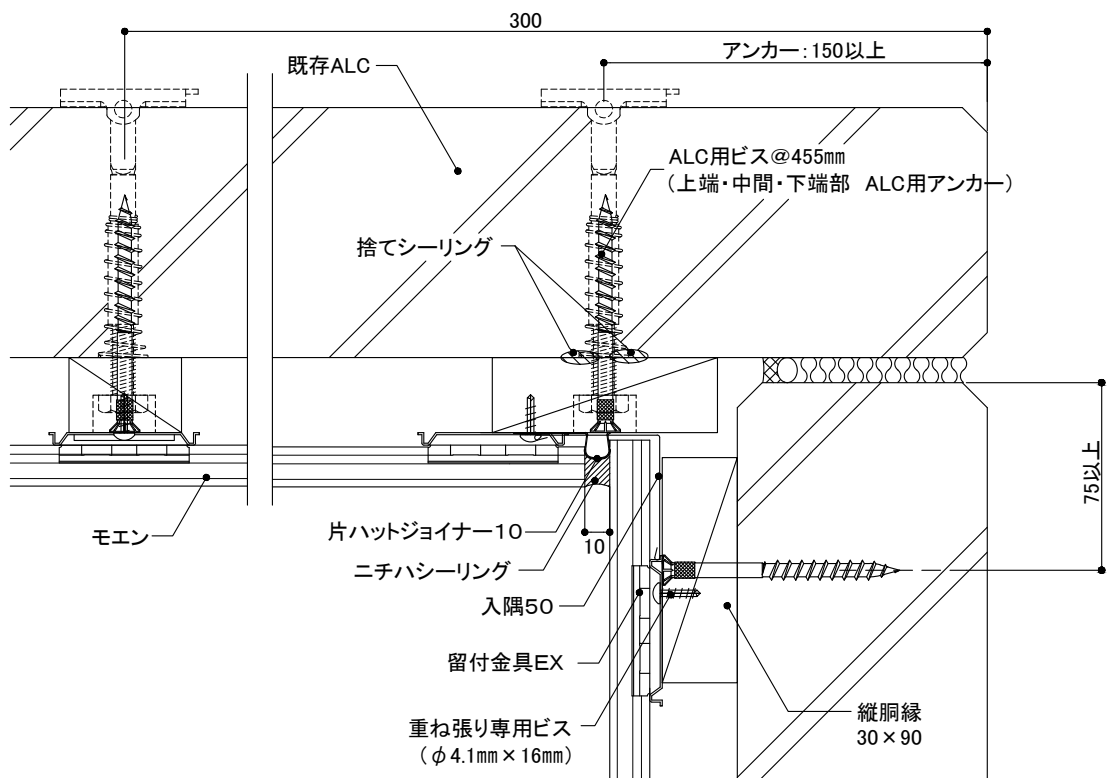
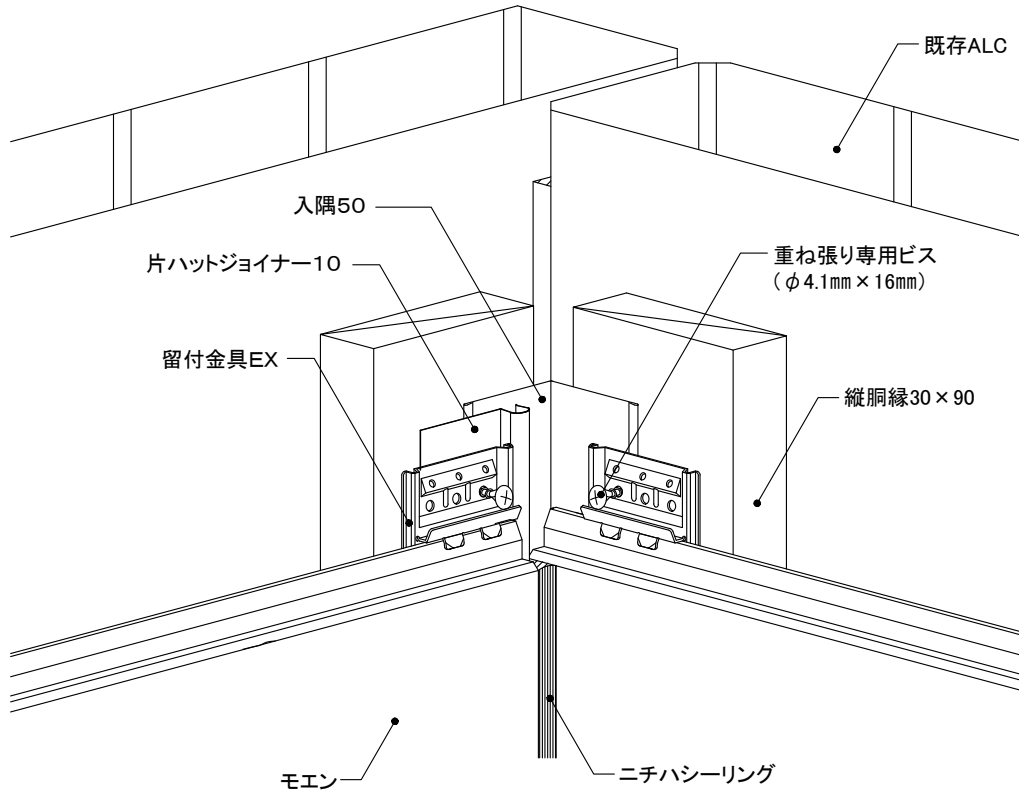
留付方法
金具

張り方向
横

胴縁組
縦胴縁@606mm以下

7) 入隅部

- 入隅部は、倍幅90mm以上の木胴縁を取り付けます。
- 入隅50を取り付けた後、片ハットジョイナー10を用い、図のように10mm程度の隙間を設けて施工します。
- 実際に留付金具EXを確実に納め、重ね張り専用ビス(φ4.1mm×16mm)で留め付けます。



16~21mm厚品

EX S

下地・工法
S造(ALC厚100mm)
木胴縁工法

留付方法
金具

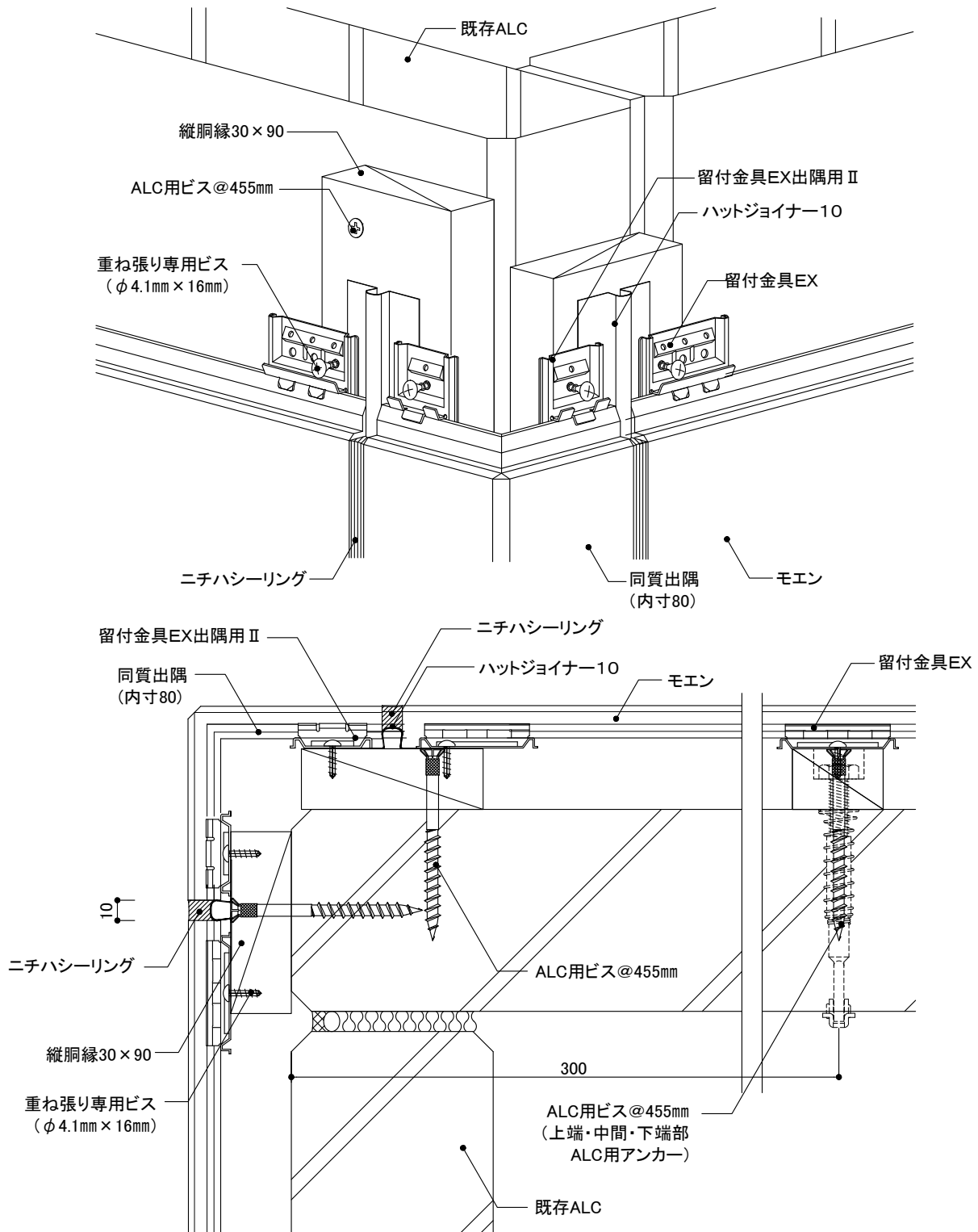
張り方向
横

胴縁組
縦胴縁@606mm以下

8) 出隅部

同質出隅

- 出隅部は、倍幅90mm以上の木胴縁を取り付けます。
- 同質出隅は留付金具EX出隅用Ⅱで留め付けます。
- 実に留付金具EXを確実に納め、重ね張り専用ビス(φ4.1mm×16mm)で留め付けます。
- 同質出隅との取り合い部には必ずハットジョイナー10を用い、10mm程度の隙間を設けて施工します。



16~21mm厚品

EX S

下地・工法
S造 (ALC厚100mm)
木胴縁工法

留付方法
金具

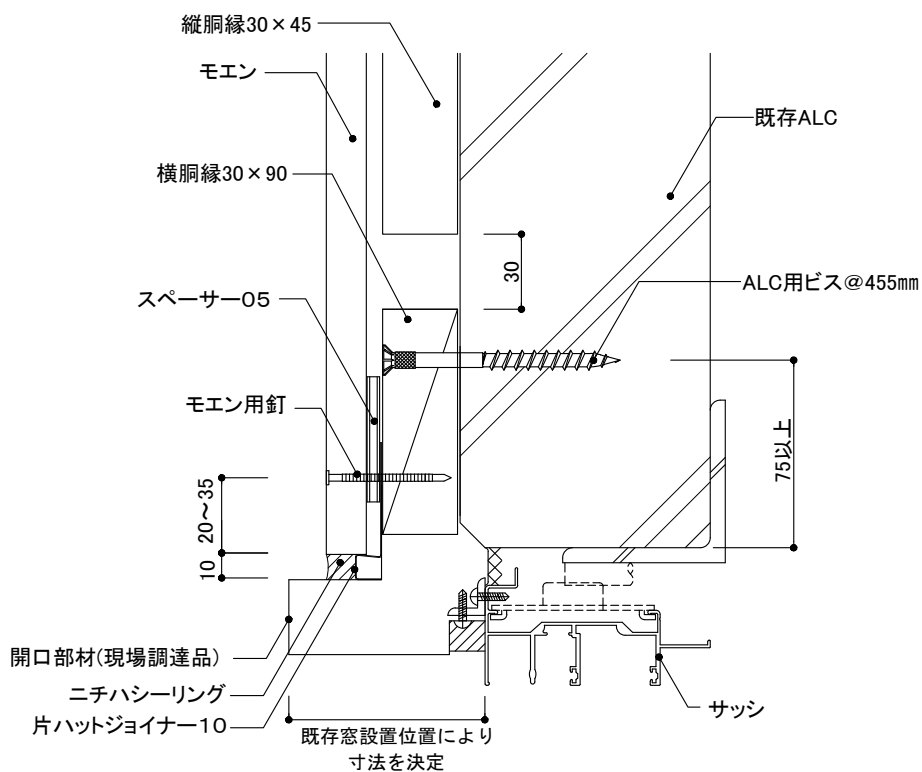
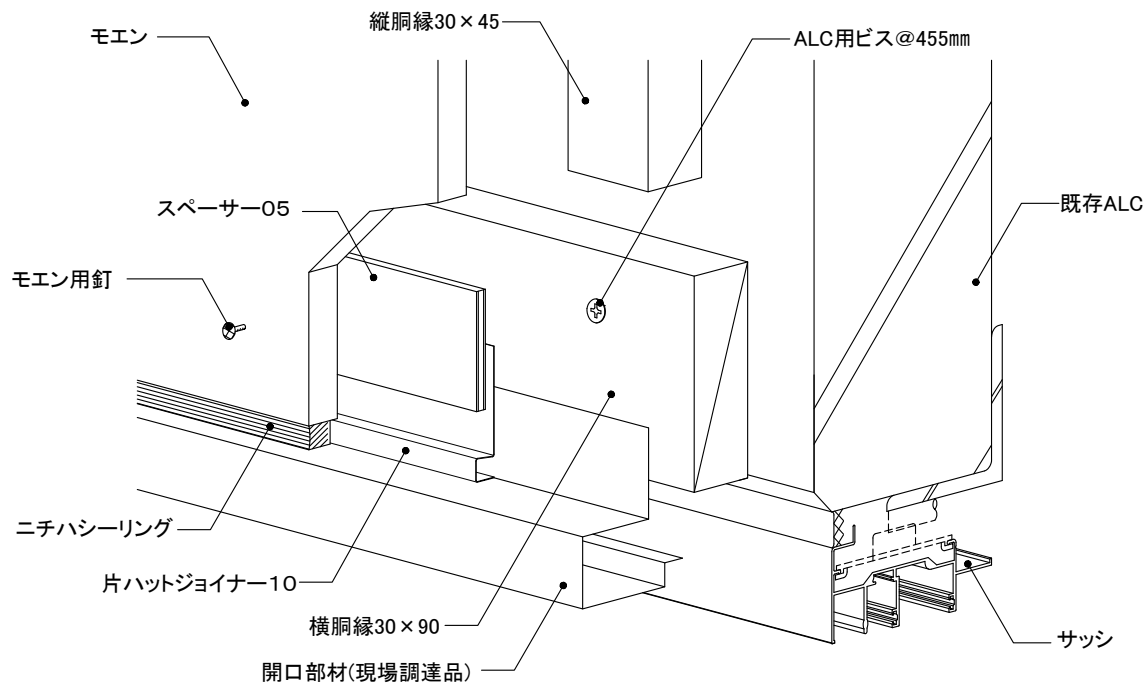
張り方向
横

胴縁組
縦胴縁@606mm以下

9) 開口部

① 上側

- 開口部まわりには、必要に応じて倍幅90mm以上の木胴縁を取り付けます。
- 開口部まわりの開口部材は、既存建物のサッシ形状に合わせて板金やアルミ加工品を取り付けます。
- 開口部材内部に水が溜まるおそれのある場合は、開口部材に適宜水抜き孔を設けます。



16~21mm厚品

EX S

下地・工法
S造 (ALC厚100mm)
木胴縁工法

留付方法
金具

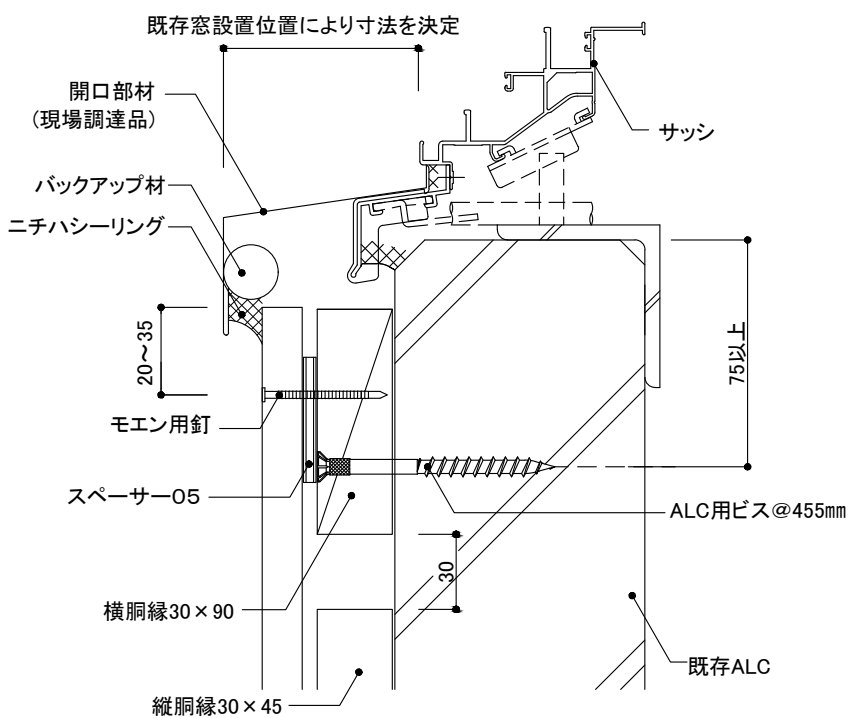
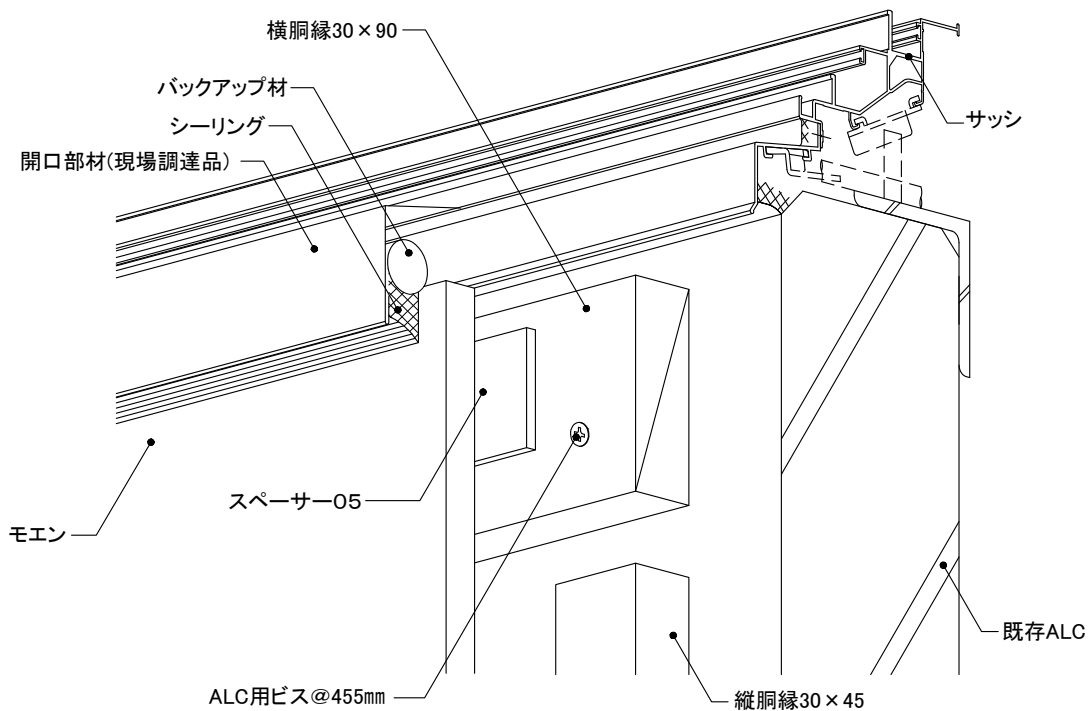
張り方向
横

胴縁組
縦胴縁@606mm以下

9) 開口部

② 下側

- 開口部まわりには、必要に応じて倍幅90mm以上の木胴縁を取り付けます。
- 開口部まわりの開口部材は、既存建物のサッシ形状に合わせて、板金やアルミ加工品を取り付けます。



16~21mm厚品

EX S

下地・工法
S造 (ALC厚100mm)
木胴縁工法

留付方法
金具

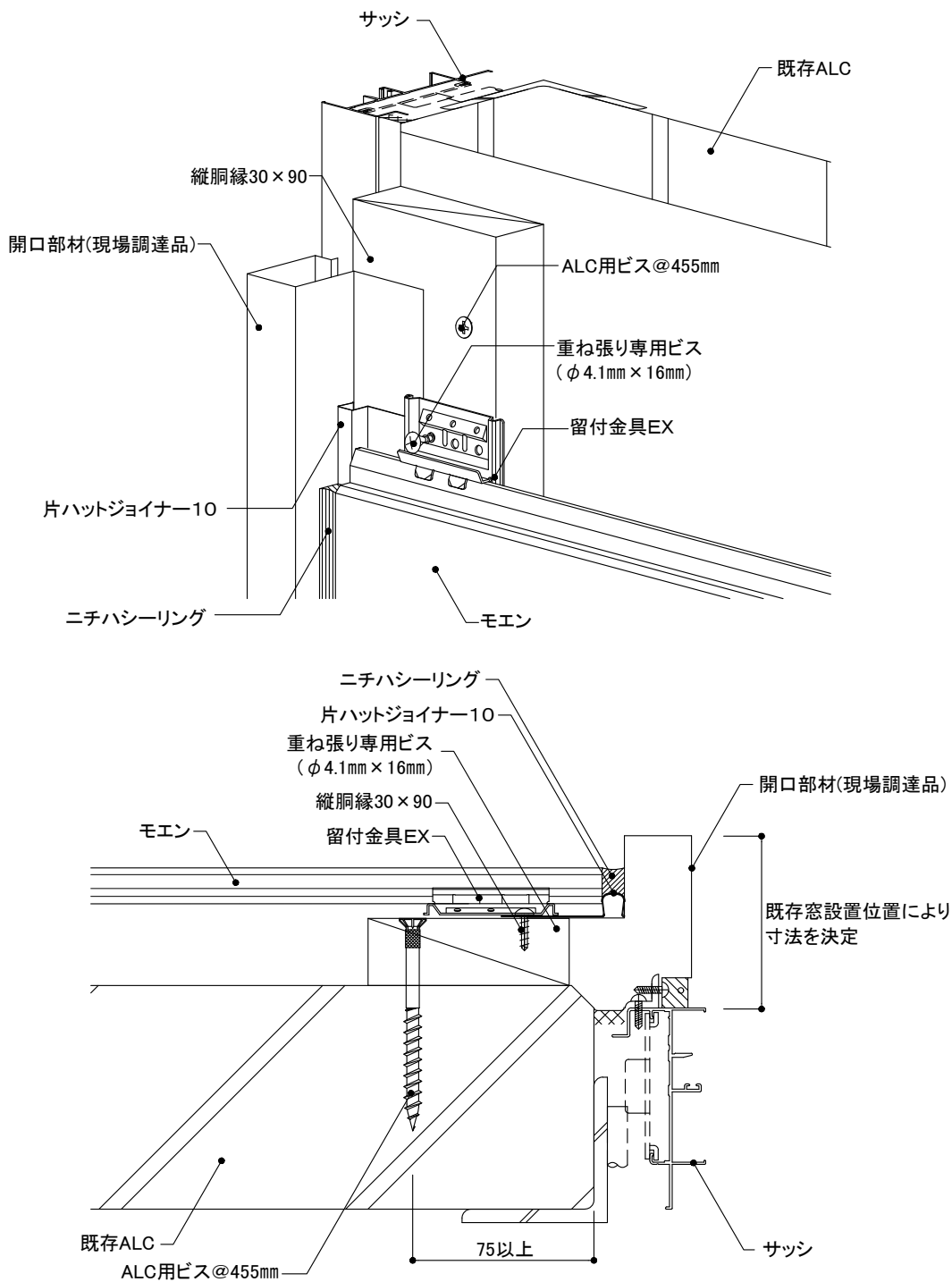
張り方向
横

胴縁組
縦胴縁@606mm以下

9) 開口部

③ 左右側

- 開口部まわりには、必要に応じて倍幅90mm以上の木胴縁を取り付けます。
- 開口部まわりの開口部材は、既存建物のサッシ形状に合わせて、板金やアルミ加工品を取り付けます。

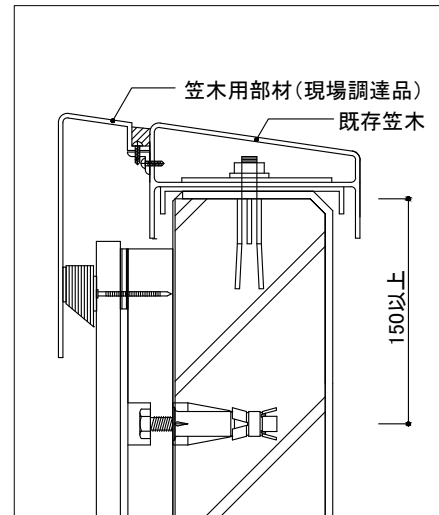
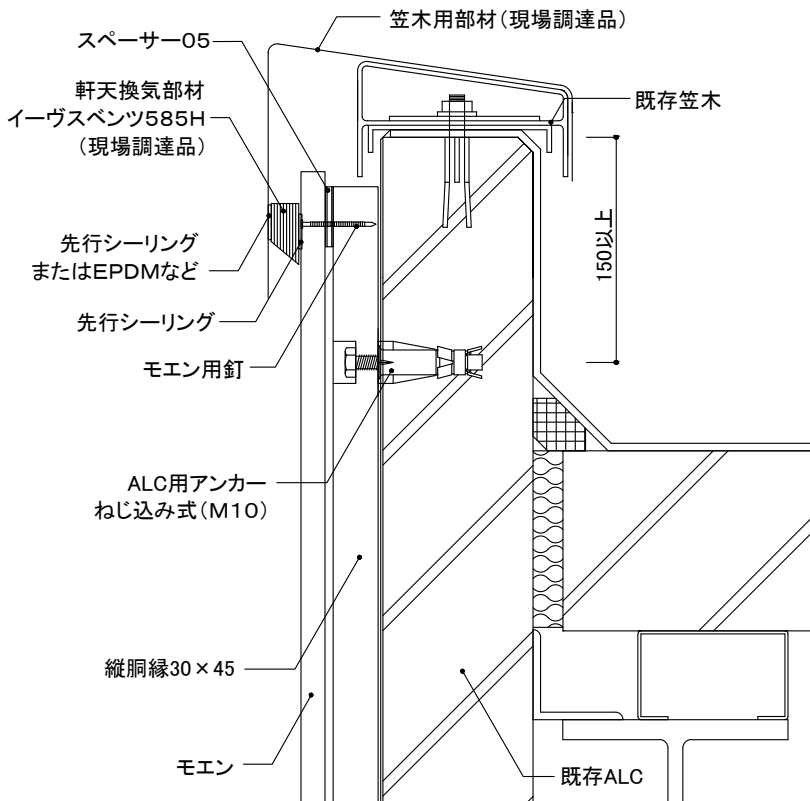
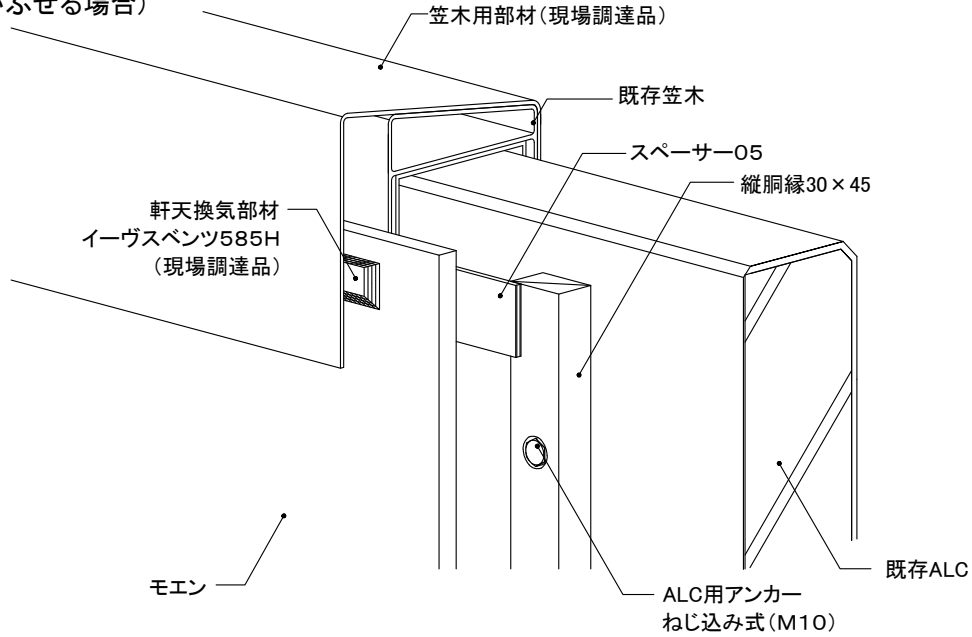


16~21mm厚品 EX S	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造 (ALC厚100mm) 木胴縁工法	金具	横	縦胴縁@606mm以下

10) 笠木部

- 笠木用部材は、現場調達により、既存笠木全体にかぶせる、継ぎ足す、あるいは既存笠木を取り外し、あらたに取り付けます。
- 上端部には通気確保のため、イーヴスペンツ585Hを用いて施工します。

(笠木をかぶせる場合)



(笠木を継ぎ足す例)

6 各部の納まり詳細図

S造(ALC厚100mm)

木胴縁工法

モエン横張り

釘打ち施工

1)基本構成図	構成断面
2)胴縁概要図	
3)各部の納まり概要図	

本章は、基本的な納まり例を記載しています。注意事項、禁止事項をご理解いただいたうえで施工してください。

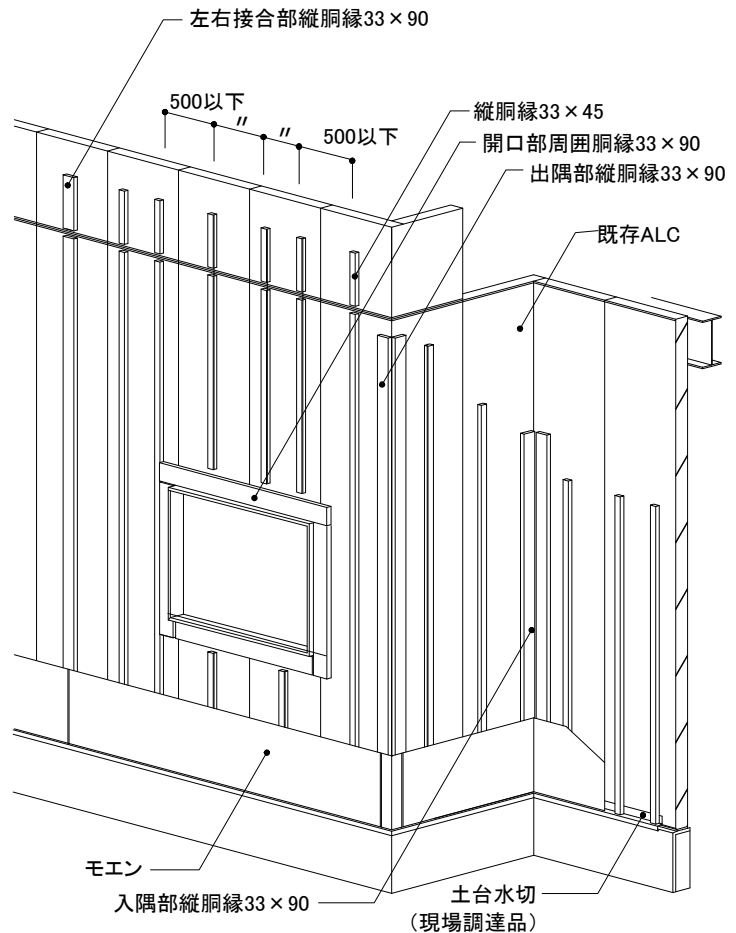
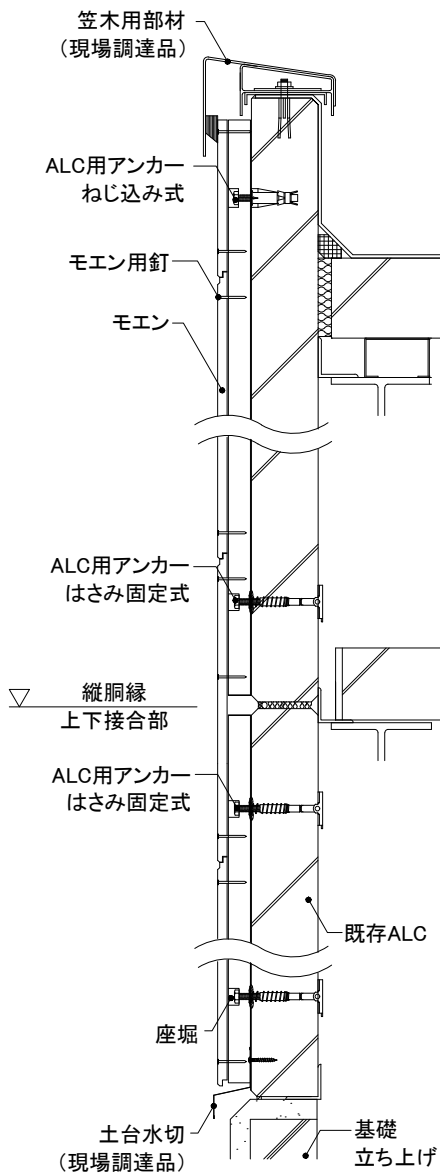
14mm厚品 M W	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造 (ALC厚100mm) 木胴縁工法	釘	横	縦胴縁@500mm以下

1) 基本構成図

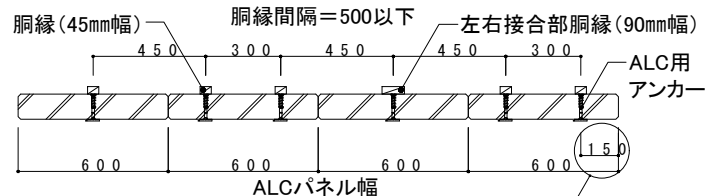
構成断面

- 下地外壁材にひび割れなどが無い確認し、必要に応じて補修を行います。
- 下地は図のように500mm以下の間隔で木胴縁を取り付けます。ALCパネルの幅を考慮し、胴縁の間隔を決定することが重要です。
- 左右接合部・入隅部・出隅部・開口部まわりなどには、必要に応じて倍幅90mm以上の木胴縁を使用します。
- ALCパネル上下ジョイント部は木胴縁を通さず、縁を切ります。

ALC用アンカーはさみ固定式が躯体・内装材に干渉する場合は、ALC用アンカーねじ込み式で施工します。



※ALCパネルへの縦胴縁(モエン釘打ち施工)の割り付け



※アンカーの端部からの必要距離

- ・モエンの釘打ち施工の胴縁間隔は、500mm以下
- ・ALCパネルの標準パネル幅は、600mm(が多い)
- ・ALC用アンカーの施工基準は、ALC端部から150mm以上

上記の施工基準から、胴縁の割り付けは、

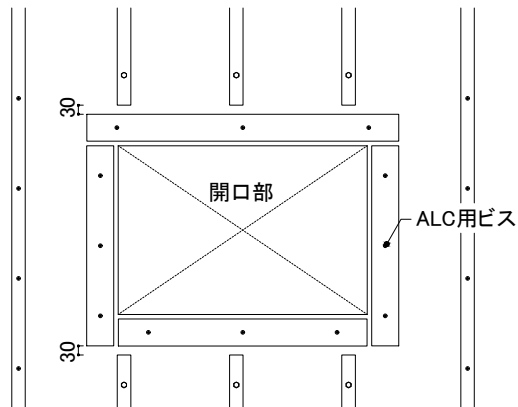
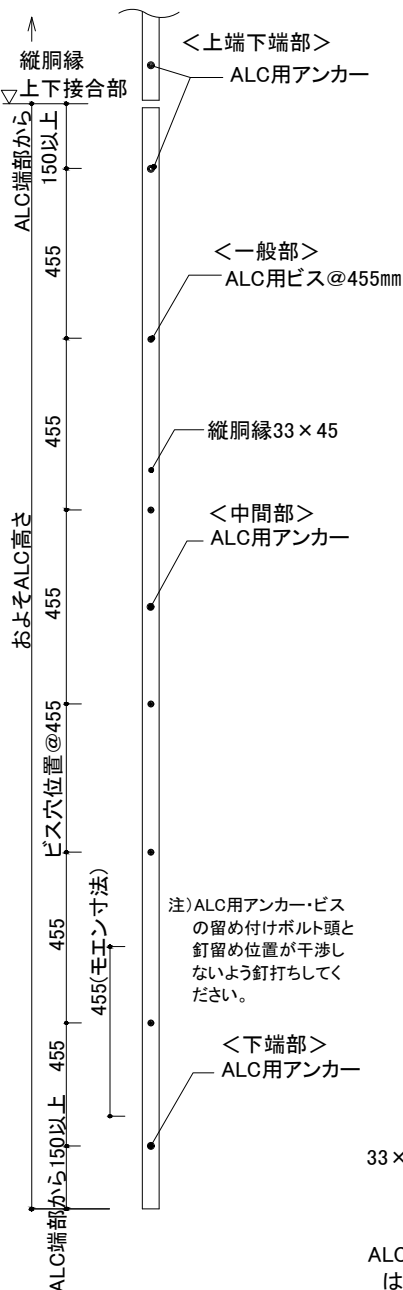
- パネル中央の胴縁とパネル中央振り分けの2本の胴縁を交互に施工
- 全てのALCパネル中央振り分けで2本の胴縁施工のどちらかとしてください。

14mm厚品 (M) (W)	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造 (ALC厚100mm) 木胴縁工法	釘	横	縦胴縁@500mm以下

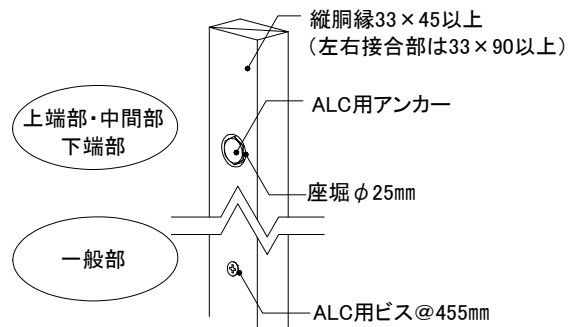
2) 胴縁概要図

- 木胴縁はALC用ビスを用い、455mm以下で留め付けます。ただし、木胴縁1本につき上端部・中間部・下端部の3ヶ所をALC用アンカーとします。原則、ALC用アンカーははさみ固定式で取り付けますが、最低1ヶ所はALC用アンカーはさみ固定式を使用し、屋内側に躯体や内装材があり施工できない場合は、ALC用アンカーねじ込み式とします。
- モエンとの干渉を防ぐため、木胴縁にはあらかじめALC用アンカー部分にφ25mm、深さ15mm程度の座堀をします。
- 出隅部・開口部まわりの木胴縁は、ALC用ビスで留め付けます。
- ALC用アンカーでALCを貫通させた部分の周囲には、捨てシーリングを施工します。
- 木胴縁の長さが1m未満の場合、ALC用アンカーはさみ固定式は1ヶ所留めとします。
- ALC用アンカー・ビスの設定は、物件ごとに既存壁に対するアンカー・ビスの引っ張り荷重確認を行い決定します。

開口部まわり(現場調達開口部材納めの例)

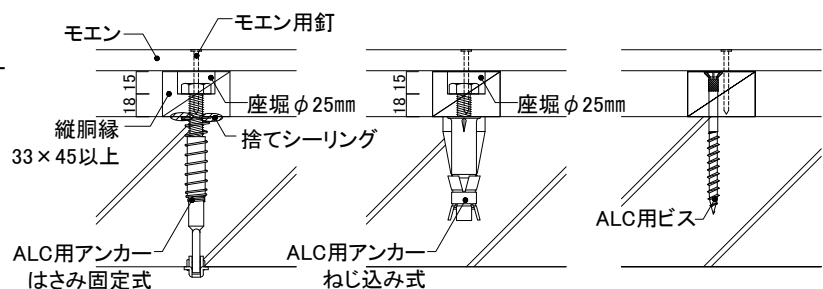


※開口部まわりは、ALC用ビスで留め付けてください。



上端部・中間部・下端部	
ALC用アンカー (はさみ固定式)	ALC用アンカー (ねじ込み式)
ITハンガー	エーエルシーアンカー AXタイプ

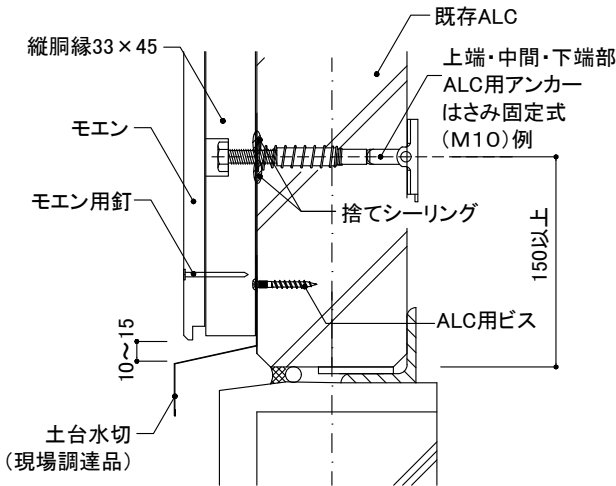
一般部
ALC用ビス (ねじ固定式)
ALCドライブ



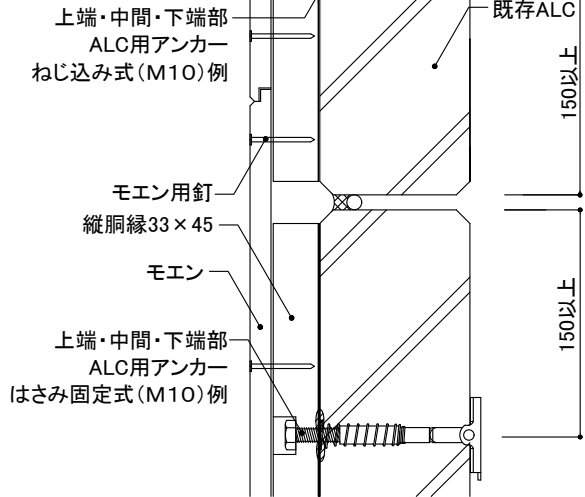
14mm厚品 M W	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造 (ALC厚100mm) 木胴縁工法	釘	横	縦胴縁@500mm以下

3) 各部の納まり概要図

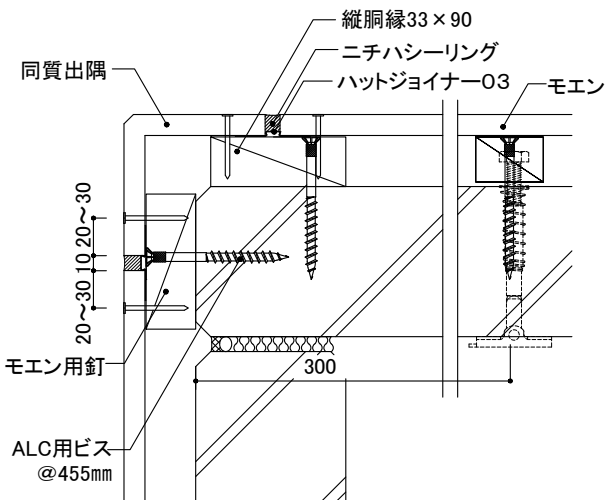
■土台部



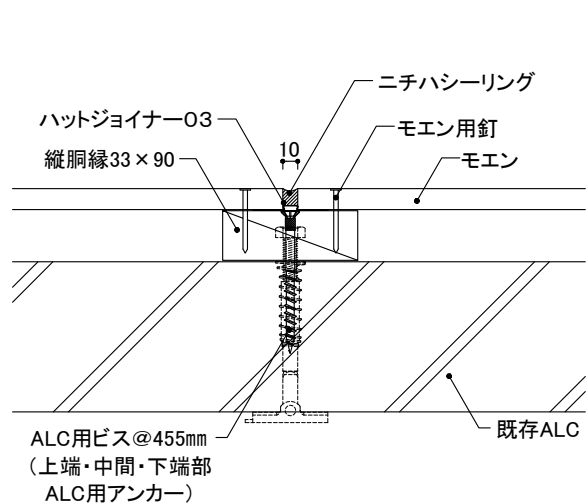
■上下接合部 (胴縁)



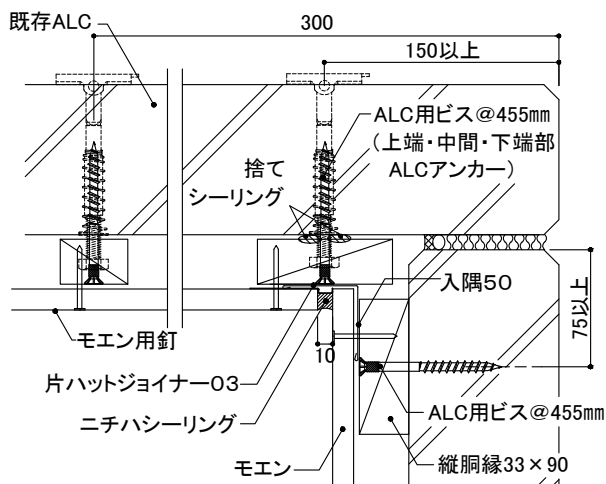
■出隅部



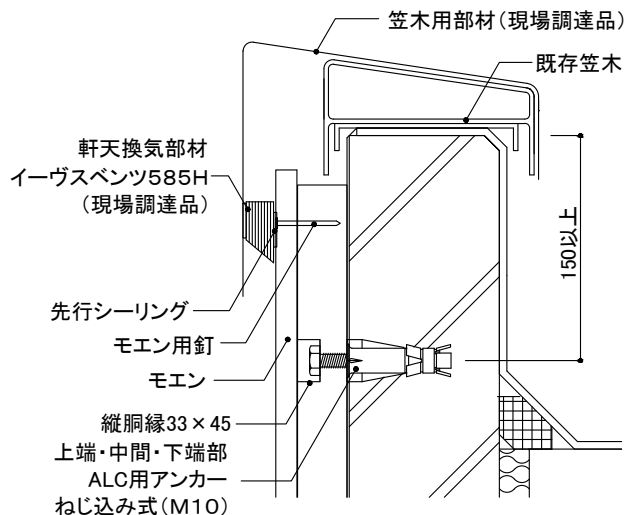
■左右接合部



■入隅部



■笠木部 (笠木をかぶせる場合)



7 各部の納まり詳細図

S造(ALC厚100mm)

木胴縁工法

モエン縦張り

金具施工

1)基本構成図	構成断面
2)胴縁概要図	
3)主要部材一覧	
4)土台部	
5)上下接合部	モエン
6)左右接合部	①胴縁 ②モエン
7)入隅部	
8)出隅部	同質出隅
9)開口部	①上側 ②下側 ③左右側
10)笠木部	

本章は、基本的な納まり例を記載しています。注意事項、禁止事項をご理解いただいたうえで施工してください。

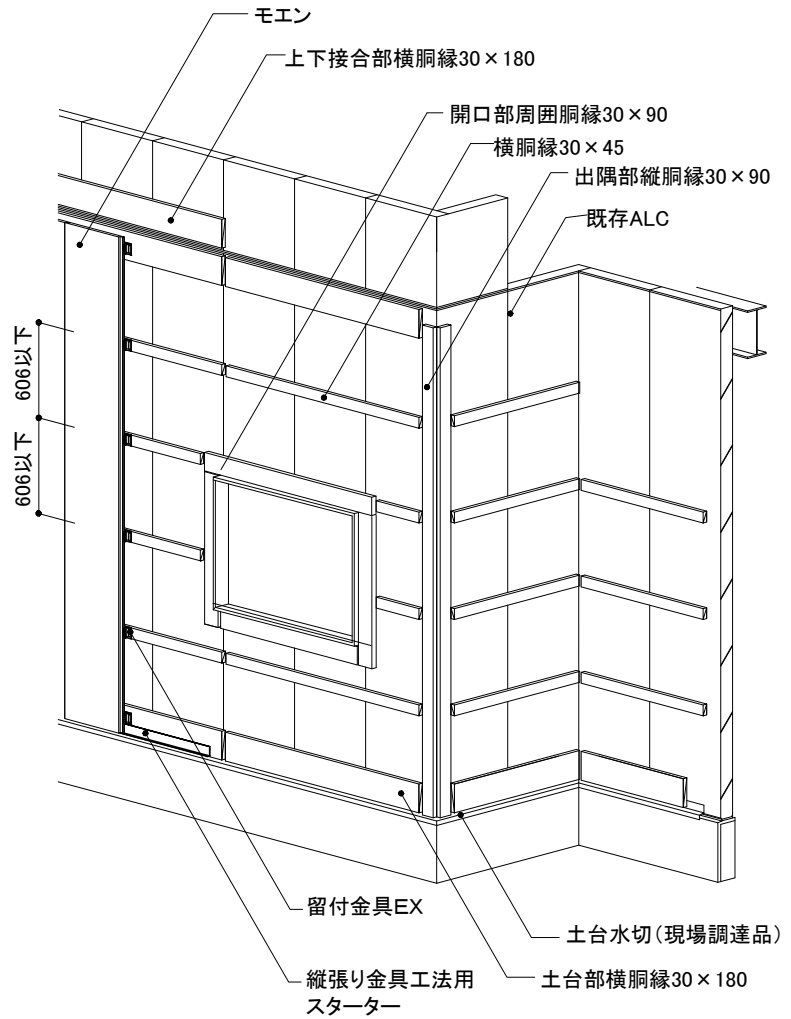
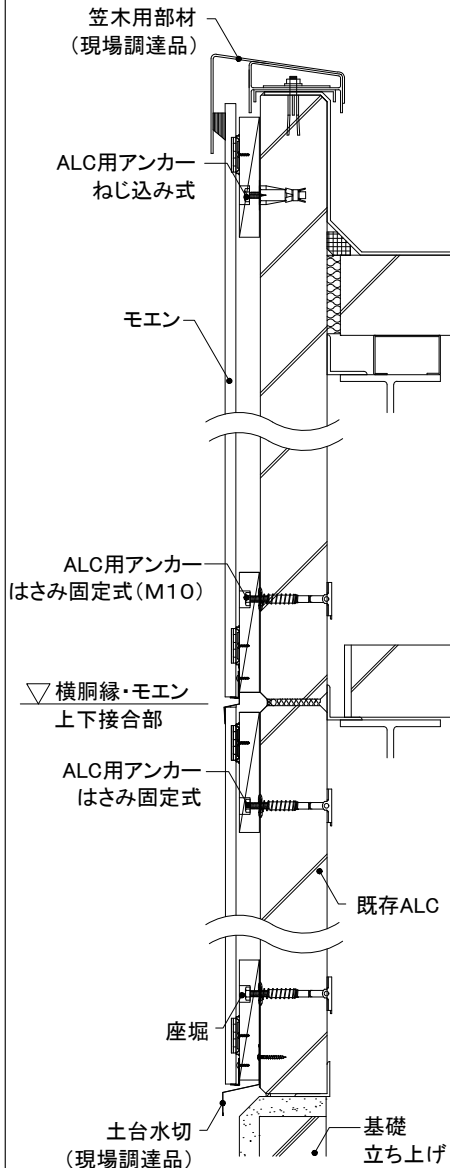
16mm厚品 EX	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造 (ALC厚100mm) 木胴縁工法	金具	縦	横胴縁@606mm以下

1) 基本構成図

構成断面

- 下地外壁材にひび割れなどがいないか確認し、必要に応じて補修を行います。
- 下地は図のように、606mm以下の間隔で木胴縁を取り付けます。
- 左右接合部・出隅部・開口部まわりなどには、必要に応じて倍幅90mm以上の木胴縁を使用します。
土台部・上下接合部などALCパネルの上下端部には、幅180mm程度の木胴縁を使用します。
- 横胴縁は必ず通気ができるように2,000mm以下の間隔で30mm程度の隙間を設けます。
- 横胴縁と開口部まわりの胴縁は30mm程度の隙間を設け、通気する構造とします。
- ALCパネル上下ジョイント部は木胴縁とモエンを通さず、縁を切ります。

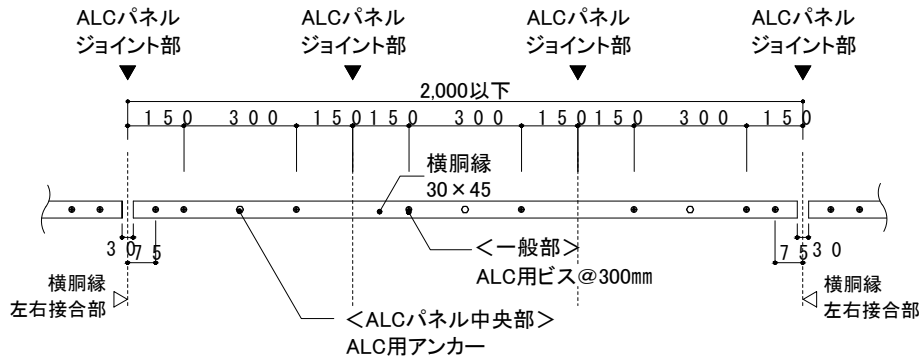
ALC用アンカーははさみ固定式が躯体・内装材に干渉する場合は、ALC用アンカーねじ込み式で施工します。



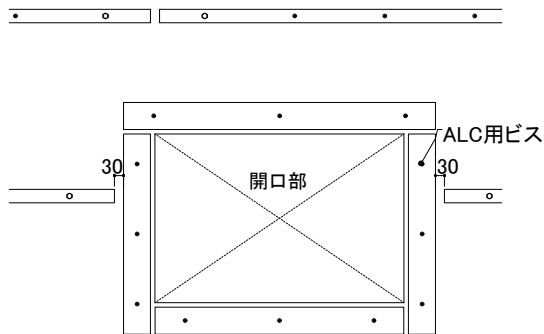
16mm厚品 EX	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造 (ALC厚100mm) 木胴縁工法	金具	縦	横胴縁@606mm以下

2) 胴縁概要図

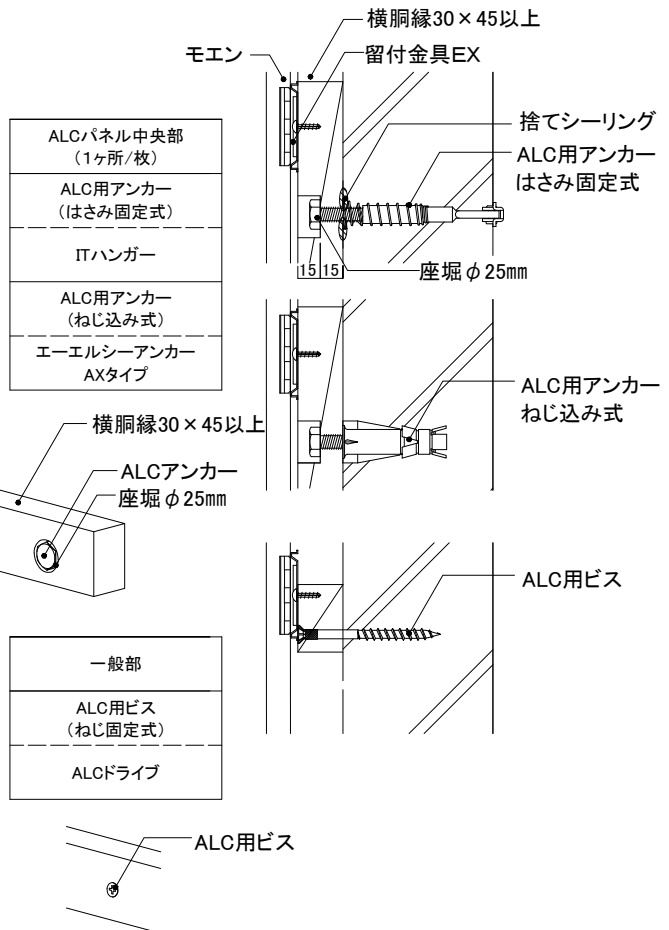
- 木胴縁をALCパネル1枚につき中央部1ヶ所に、ALC用アンカーで留め付けます。原則、ALC用アンカーははさみ固定式で取り付けますが、屋内側に躯体や内装材があり、施工できない場合は、ALC用アンカーねじ込み式とします。(最低1ヶ所はALC用アンカーはさみ固定式を使用します。)
- ALC用ビスは300mm以下の間隔で木胴縁に留め付けます。ただし、胴縁の両端部はALCパネルの端部から75mm程度の位置にALC用ビスを1本増し打ちします。
- モエンとの干渉を防ぐため、木胴縁にはあらかじめALC用アンカー部分にφ25mm、深さ15mm程度の座堀をします。
- 出隅部・開口部まわりの木胴縁は、ALC用ビスで留め付けます。
- ALC用アンカーでALCを貫通させた部分の周囲には、捨てシーリングを施工します。
- ALC用アンカー・ビスの設定は物件ごとに既存壁に対するアンカー・ビスの引っ張り荷重確認を行い決定します。



開口部まわり (現場調達開口部材納めの例)

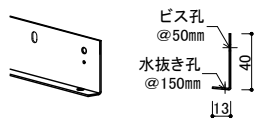
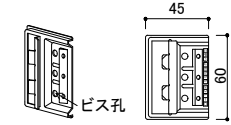

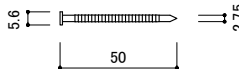
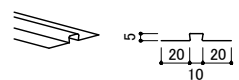
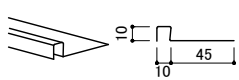
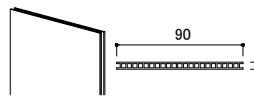
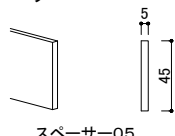
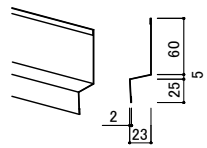
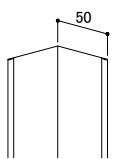
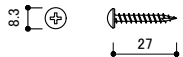


※開口部まわりは、ALC用ビスで留め付けてください。



16mm厚品 EX	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造(ALC厚100mm) 木胴縁工法	金具	縦	横胴縁@606mm以下

3) 主要部材一覧

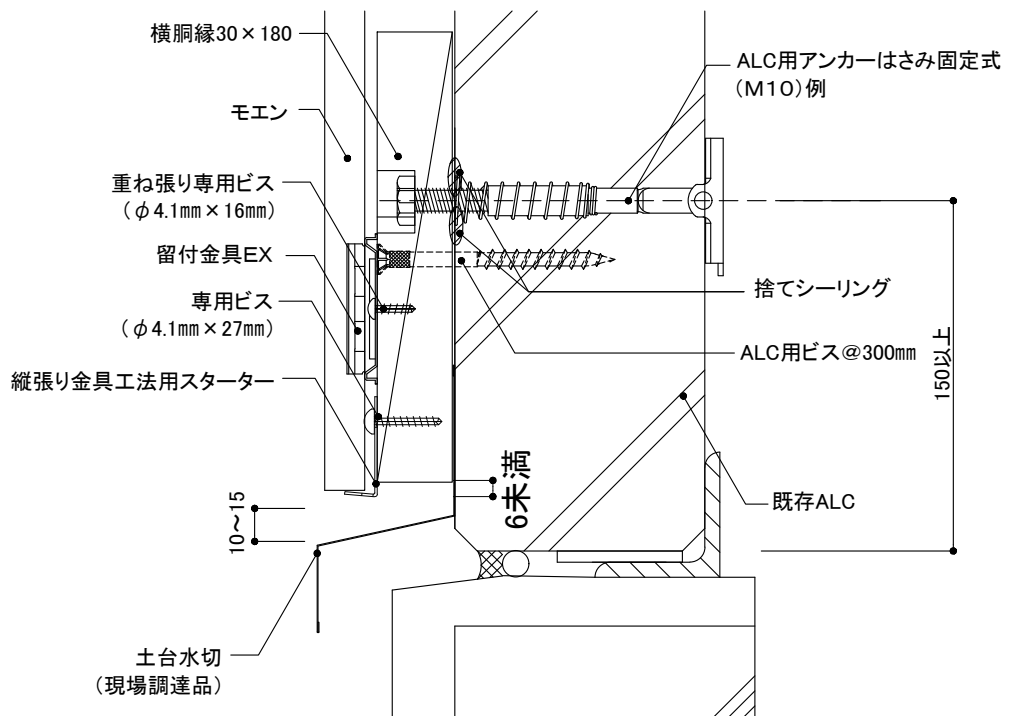
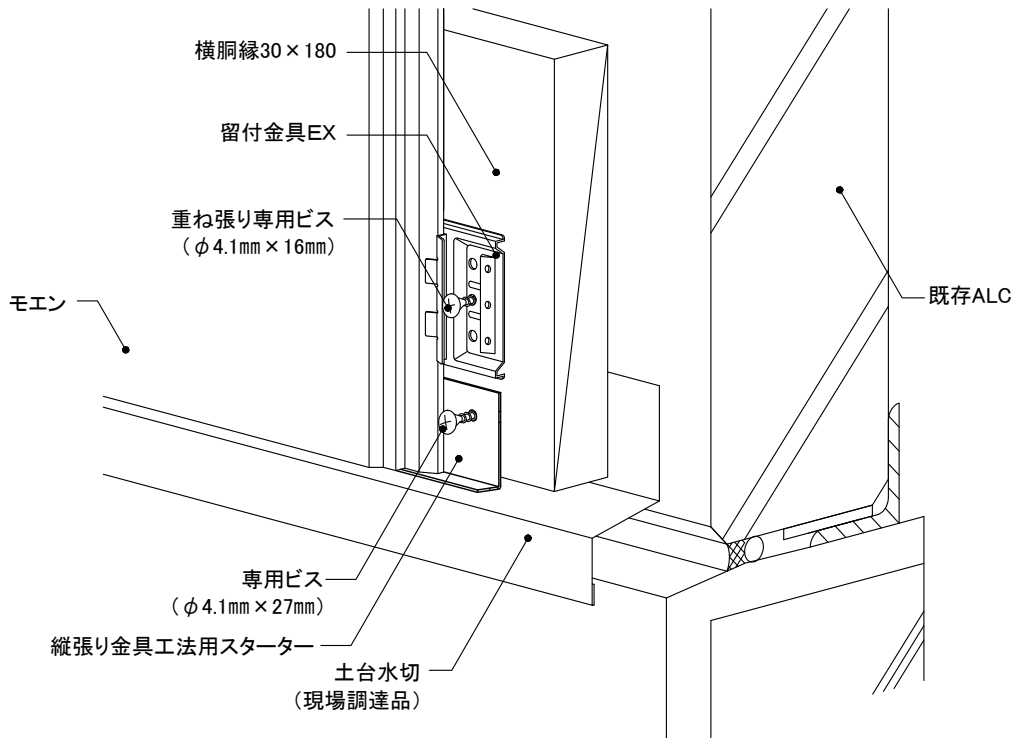
<p>■スターター</p>  <p>縦張り金具工法用スターター 【品番: FA350T】 材質: 塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み: 1.0mm 長さ: 3,030mm 備考: 専用ビスで留め付ける ビス留めピッチ: 250mm以下</p>	<p>■一般部金具</p>  <p>縦張り用留付金具EX (16mm厚品用5mm浮き) 【品番: JE555T】 材質: 高耐食めっき鋼板 備考: 同梱ビスではなく専用ビスで留め付ける</p>	<p>■専用ビス (金具留付用)</p>  <p>ステンステックスネジ 【品番: JK1130】 材質: ステンレス サイズ: φ4.1mm×16mm</p>	<p>■専用ビス (サイディング留付用)</p>  <p>モエン用釘(ステンレスリング釘) 【品番: JKW840Bなど】 材質: ステンレス サイズ: φ2.75mm×50mm</p>
<p>■ハットジョイナー</p>  <p>ハットジョイナー05 【品番: FH1005R】 材質: フッ素樹脂コート 高耐食GLめっき鋼板 厚み: 0.3mm 長さ: 3,030mm 表面色: クリアレッド着色</p>	<p>■片ハットジョイナー</p>  <p>片ハットジョイナー10 【品番: FHK1110R】 材質: フッ素樹脂コート 高耐食GLめっき鋼板 厚み: 0.3mm 長さ: 2,000mm 表面色: クリアレッド着色</p>	<p>■スペーサー</p>  <p>スペーサー05T 【品番: FS1005T】 材質: ポリプロピレン 長さ: 2,000mm</p>	<p>■スペーサー</p>  <p>スペーサー05 【品番: FS1005】 長さ: 1,200mm 材質: ポリプロピレン スペーサー05(ピースタイプ) 【品番: FSP1005】 長さ: 1,000mm 材質: ポリプロピレン</p>
<p>■中間水切</p>  <p>中間水切23E 【品番: FTA****】 材質: 塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み: 0.35mm 長さ: 3,030mm</p>	<p>■入隅50</p>  <p>入隅50 【品番: JR1900】 材質: 高耐食GLめっき鋼板 厚み: 0.27mm 長さ: 3,030mm</p>	<p>■RC用アンカー</p> <p>(現場調達品)</p> <p>木胴縁取り付け用</p> <p>外装リフォーム②RC・S造(ALC)編の3-5 RC・S造(ALC) 金属(木)胴縁工法 各部材の施工をご参照ください。</p>	<p>■RC用ビス</p> <p>(現場調達品)</p> <p>木胴縁取り付け用</p> <p>外装リフォーム②RC・S造(ALC)編の3-5 RC・S造(ALC) 金属(木)胴縁工法 各部材の施工をご参照ください。</p>
<p>■専用ビス (スターター留付用)</p>  <p>ステンレスビス 【品番: JK1710】 材質: ステンレス サイズ: φ4.1mm×27mm</p>			

※各部材は2022年3月時点のものです。最近の情報はNICHIIHA内外建材総合カタログでご確認ください。

16mm厚品 EX	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造 (ALC厚100mm) 木胴縁工法	金具	縦	横胴縁@606mm以下

4) 土台部

- 土台水切をALC用ビスで留め付けてから、木胴縁を施工します。
- 縦張り金具工法用スターターは専用ビス(φ4.1mm×27mm)を用い、胴縁に250mm間隔で水平に留め付けます(スターターには留め付け目安のマークが250mm間隔で入っています)。釘打ちは厳禁です。
また、縦張り金具工法用スターターは土台部の横胴縁下端より6mm以上下げないでください。
- モエンは縦張り金具工法用スターターの上側に留付金具EXを確実に納め、重ね張り専用ビス(φ4.1mm×16mm)で留め付けます。
- モエン下端と土台水切の間は、10~15mm程度の隙間を設けます。

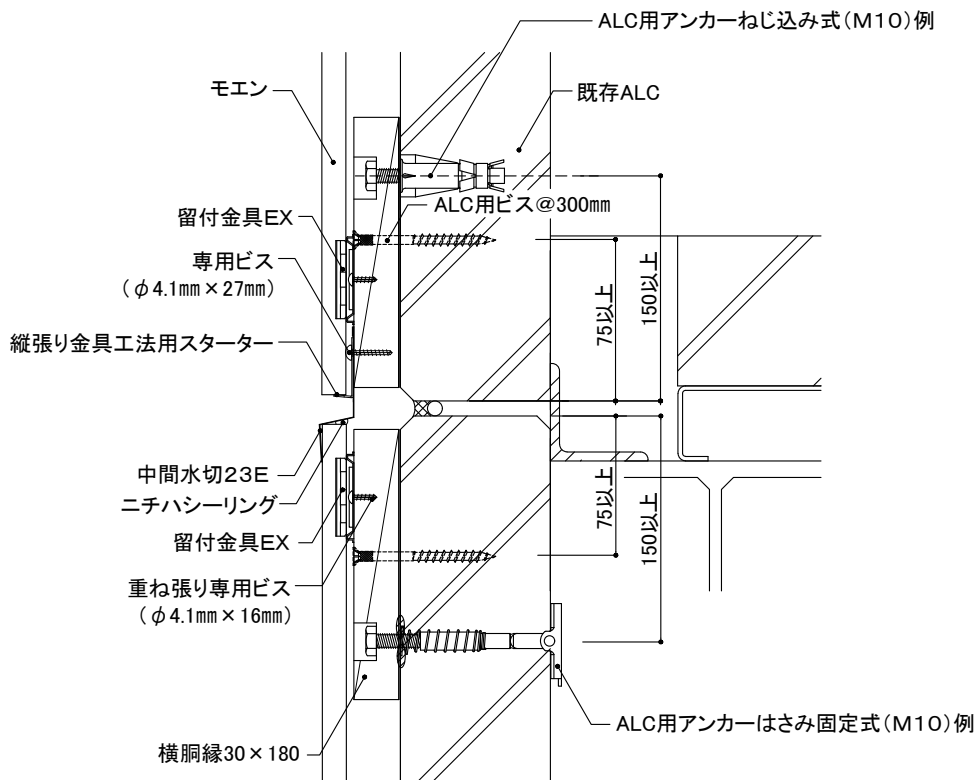
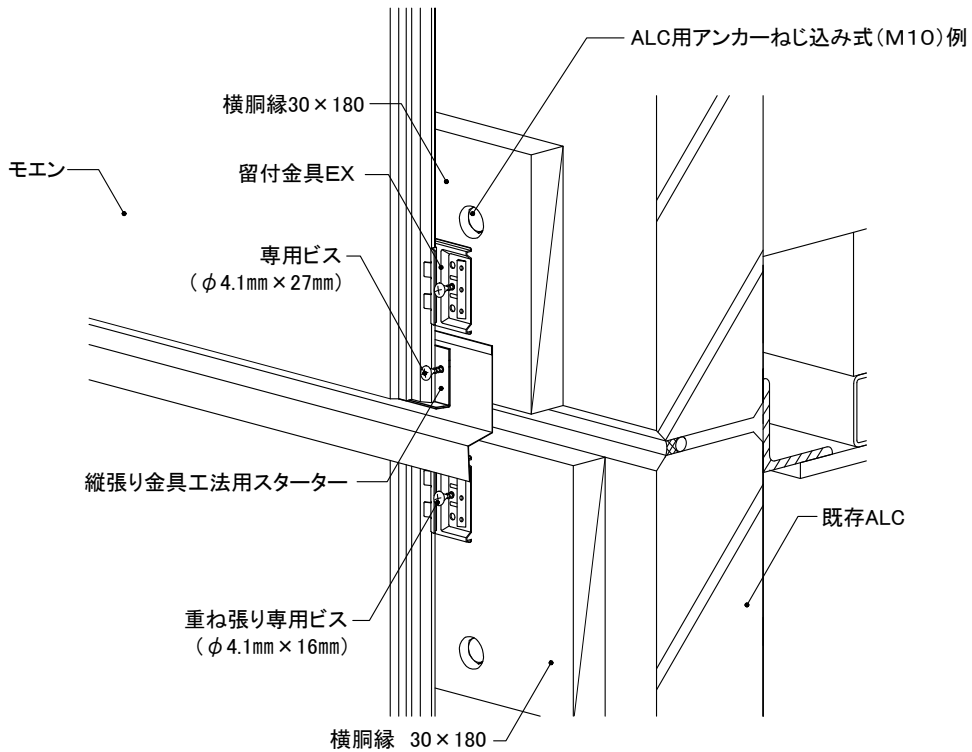


16mm厚品 EX	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造 (ALC厚100mm) 木胴縁工法	金具	縦	横胴縁@606mm以下

5) 上下接合部

モエン

- ALCジョイント部は横胴縁とモエンを通さずに、縁を切ります。
- 中間水切23Eはモエン用釘などを用い、胴縁に500mm以下の間隔で水平に留め付けます。
- 縦張り金具工法用スターターは専用ビス(φ4.1mm×27mm)を用い、胴縁に250mm間隔で水平に留め付けます(スターターには留め付け目安のマークが250mm間隔で入っています)。釘打ちは厳禁です。また、縦張り金具工法用スターターは土台部の横胴縁下端より6mm以上下げないでください。

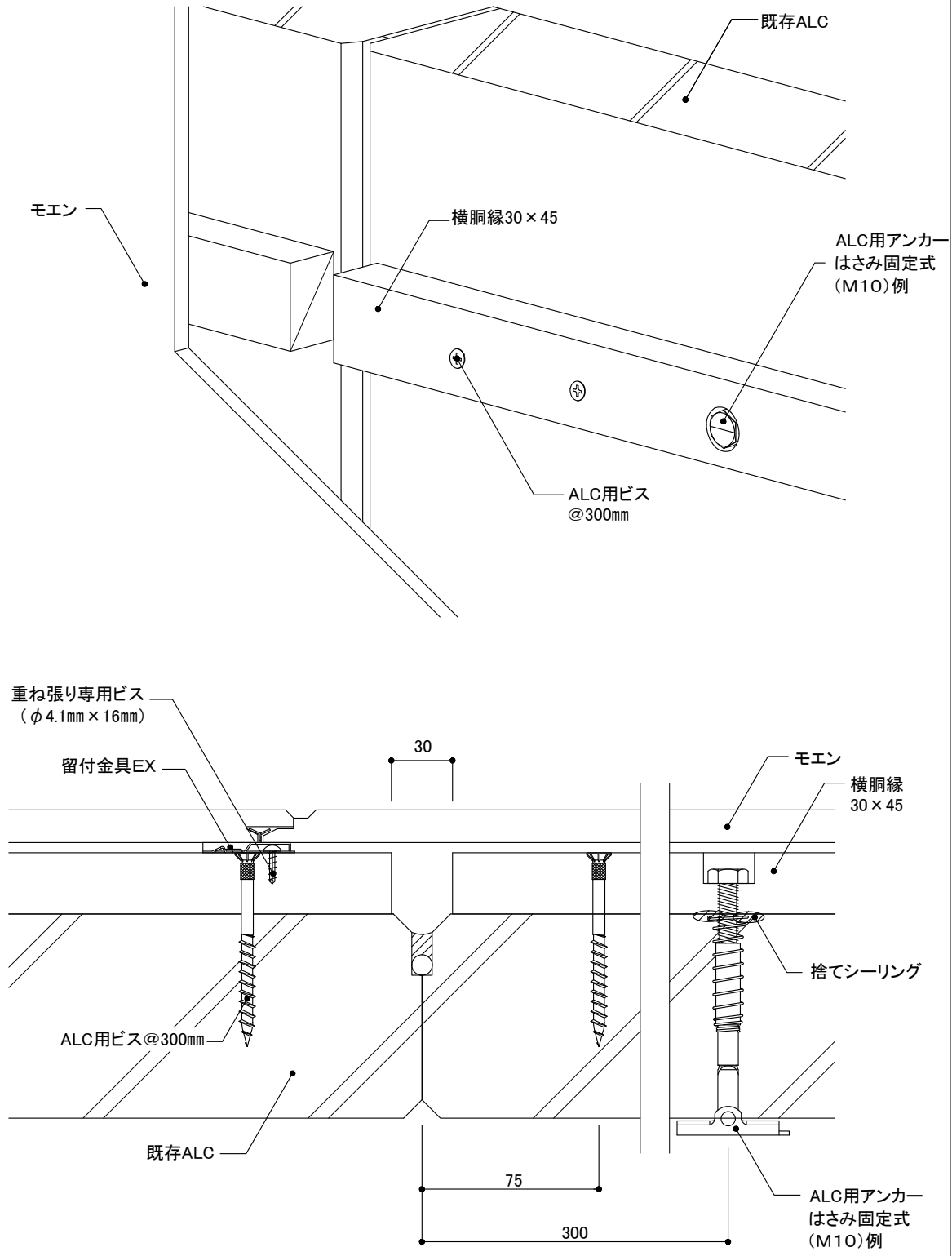


16mm厚品 EX	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造 (ALC厚100mm) 木胴縁工法	金具	縦	横胴縁@606mm以下

6) 左右接合部

① 胴縁

●横胴縁接合部は必ず通気ができるように30mm程度の隙間を設けます。胴縁の両端部はALCパネル端部から75mm程度の位置にALC用ビスを1本増し打ちします。

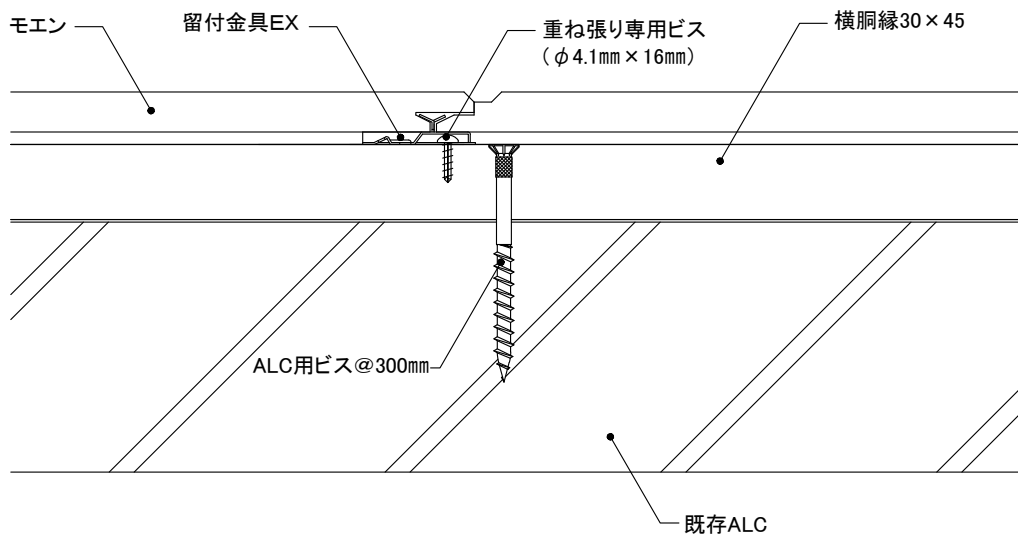
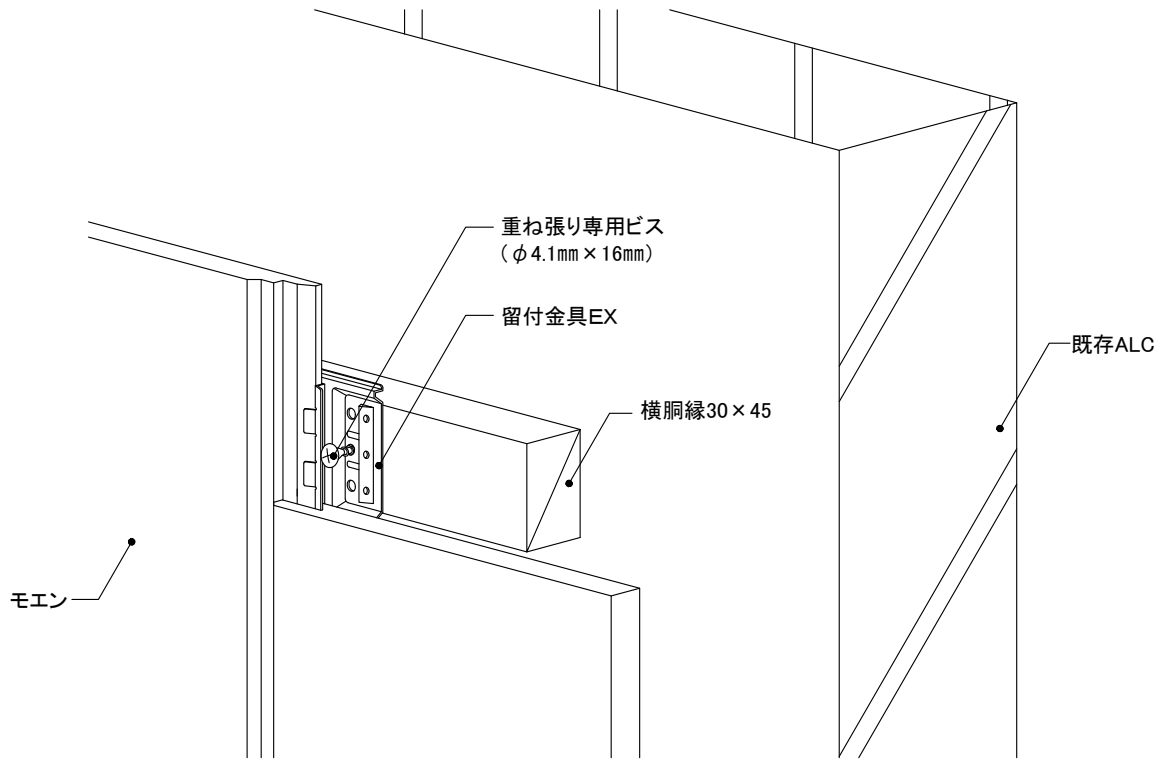


16mm厚品 EX	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造 (ALC厚100mm) 木胴縁工法	金具	縦	横胴縁@606mm以下

6) 左右接合部

②モエン

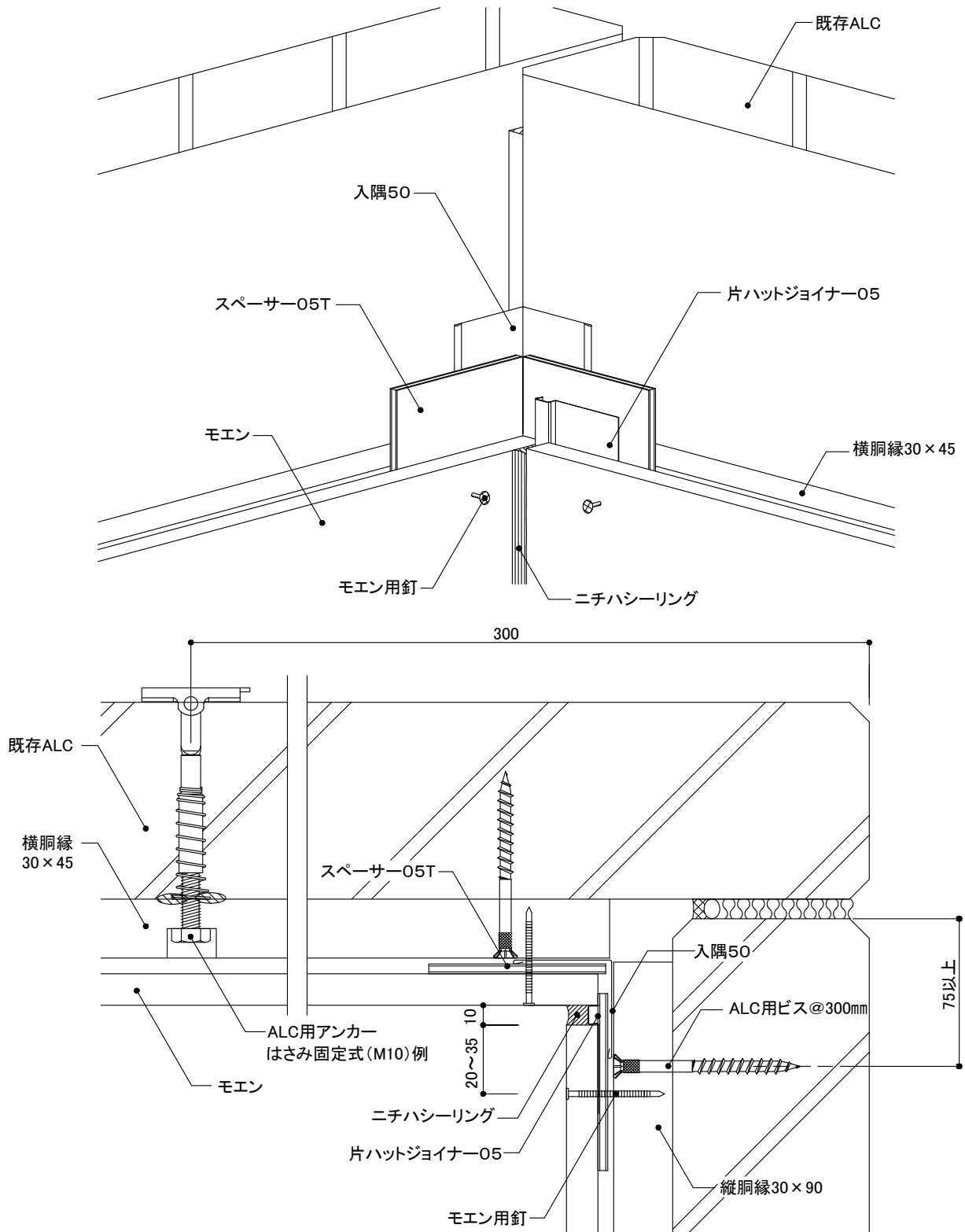
● 実には留付金具EXを確実に納め、重ね張り専用ビス(φ4.1mm×16mm)で留め付けます。



16mm厚品 EX	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造 (ALC厚100mm) 木胴縁工法	金具	縦	横胴縁@606mm以下

7) 入隅部

- 入隅50・スペーサー05Tを取り付けた後、片ハットジョイナー05を用い、図のように10mm程度の隙間を設けて施工します。
- モエンは、先孔をあけてからモエン用釘(ステンレスリング釘φ2.75mm×50mm)で留め付けます。

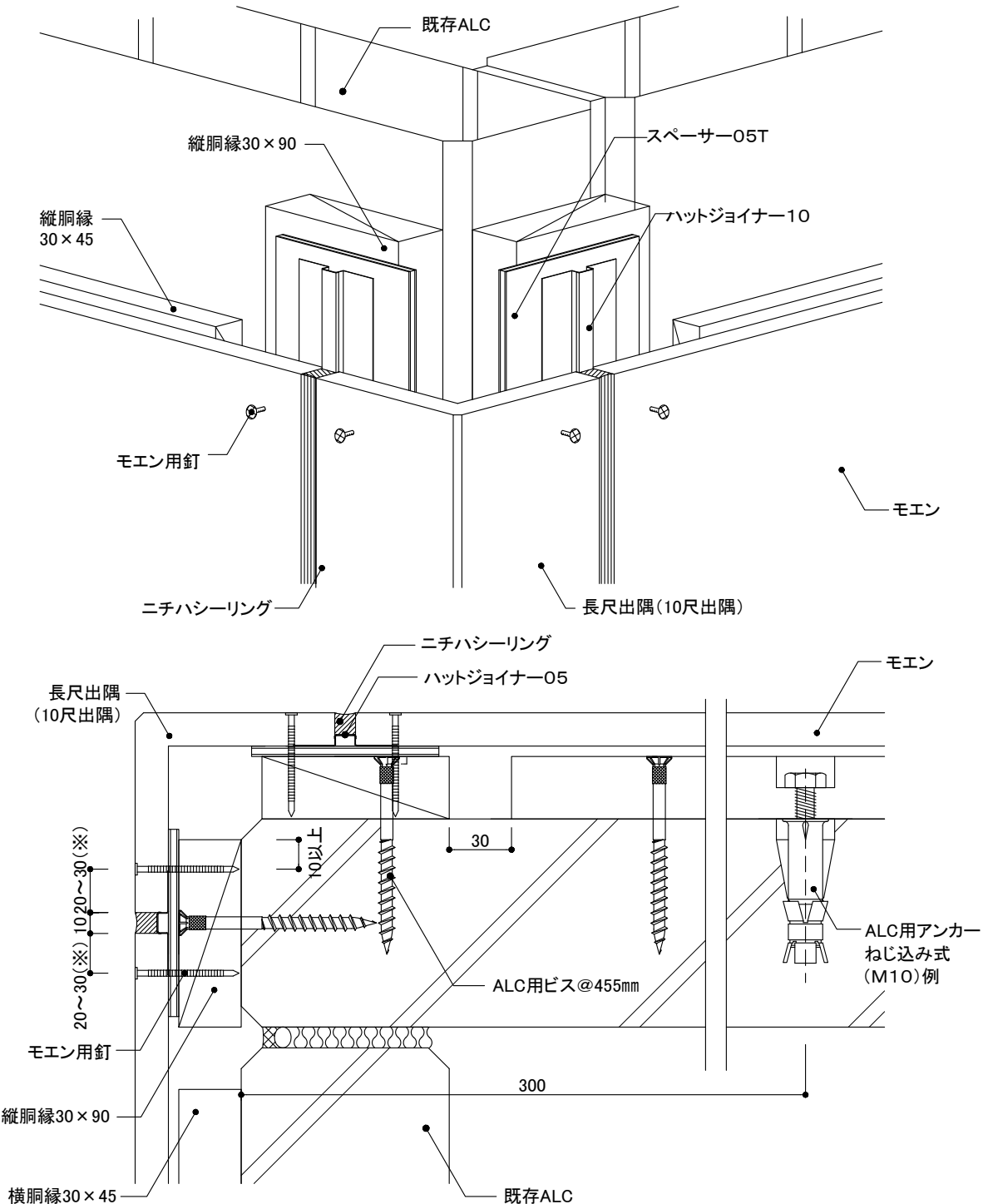


16mm厚品 EX	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造 (ALC厚100mm) 木胴縁工法	金具	縦	横胴縁@606mm以下

8) 出隅部

同質出隅

- 出隅部は、倍幅90mm以上の木胴縁を取り付けます。
- モエン本体、長尺出隅材はスペーサー05Tを取り付けた後、先孔をあけてからモエン用釘(ステンレスリング釘φ2.75mm×50mm)で留め付けます。
- ※縦胴縁の端あきが10mm以上になるよう釘打ちします。
- 長尺出隅との取り合い部には、必ずハットジョイナー05を用い、10mm程度の隙間を設けて施工します。

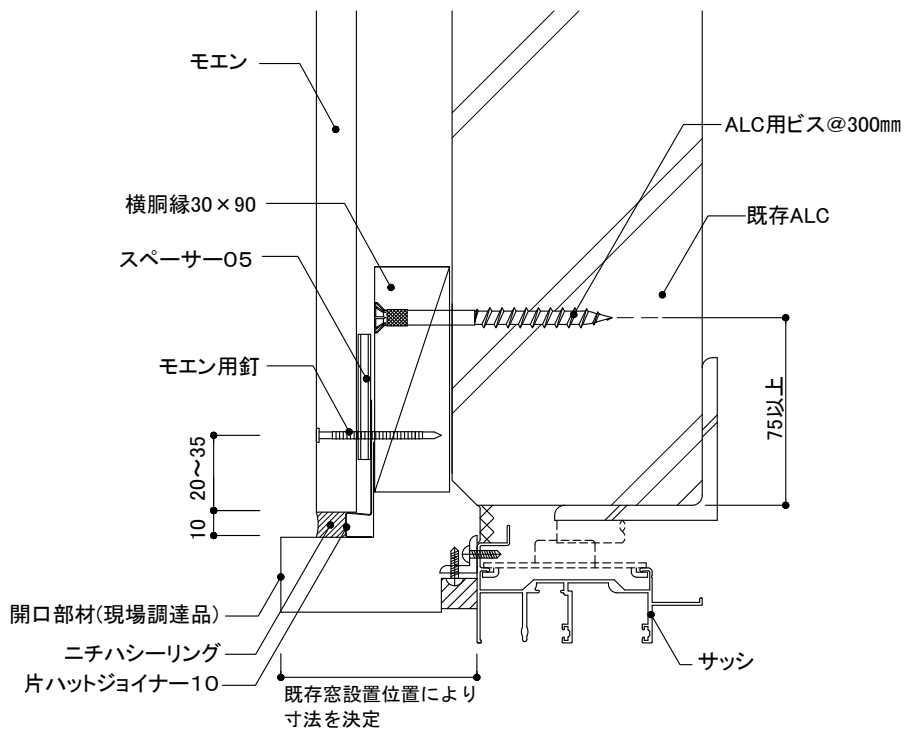
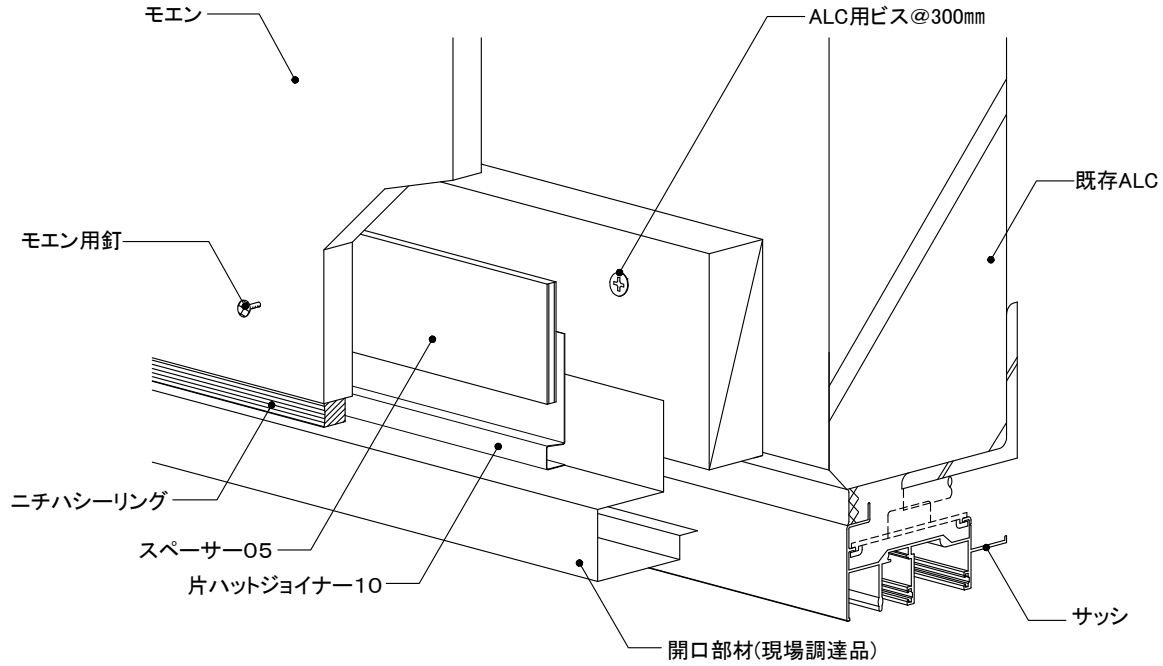


16mm厚品 EX	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造 (ALC厚100mm) 木胴縁工法	金具	縦	横胴縁@606mm以下

9) 開口部

① 上側

- 開口部まわりには、必要に応じて倍幅90mm以上の木胴縁を取り付けます。
- 開口部まわりの開口部材は、既存建物のサッシ形状に合わせて、板金やアルミ加工品を取り付けます。
- 開口部材内部に水が溜まるおそれのある場合は、開口部材に適宜水抜き孔を設けます。

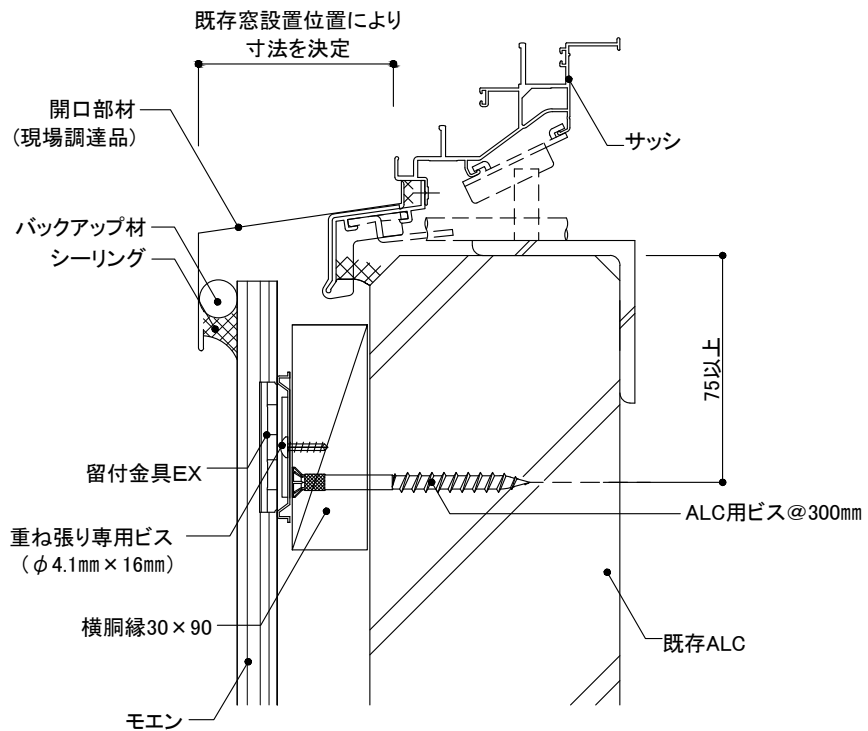
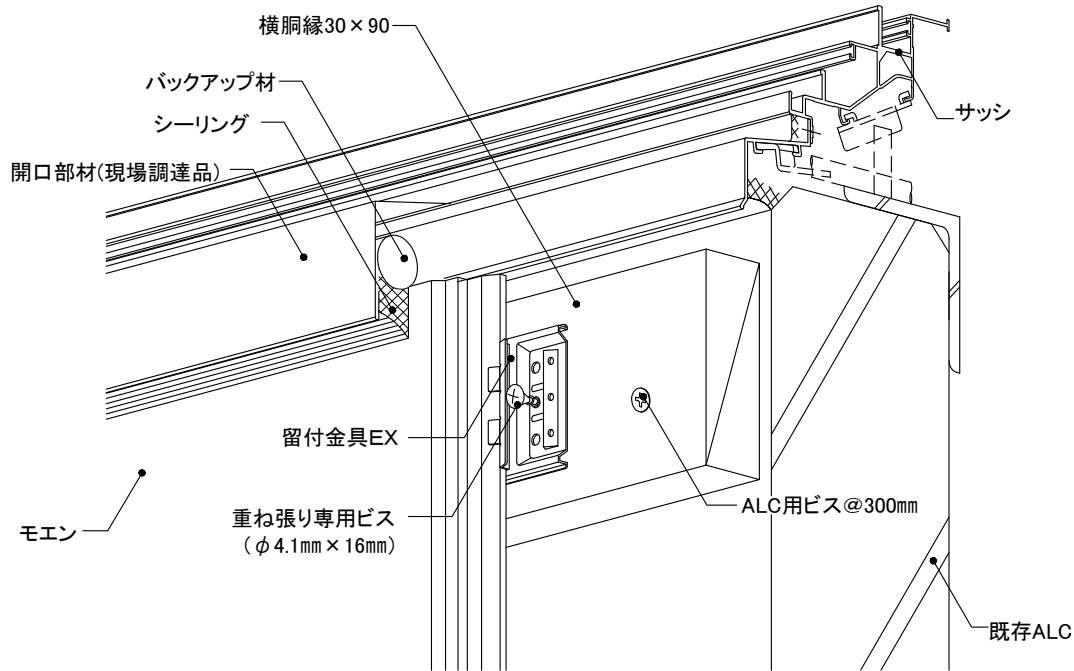


16mm厚品 EX	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造 (ALC厚100mm) 木胴縁工法	金具	縦	横胴縁@606mm以下

9) 開口部

② 下側

- 開口部まわりには、必要に応じて倍幅90mm以上の木胴縁を取り付けます。
- 開口部まわりの開口部材は、既存建物のサッシ形状に合わせて、板金やアルミ加工品を取り付けます。

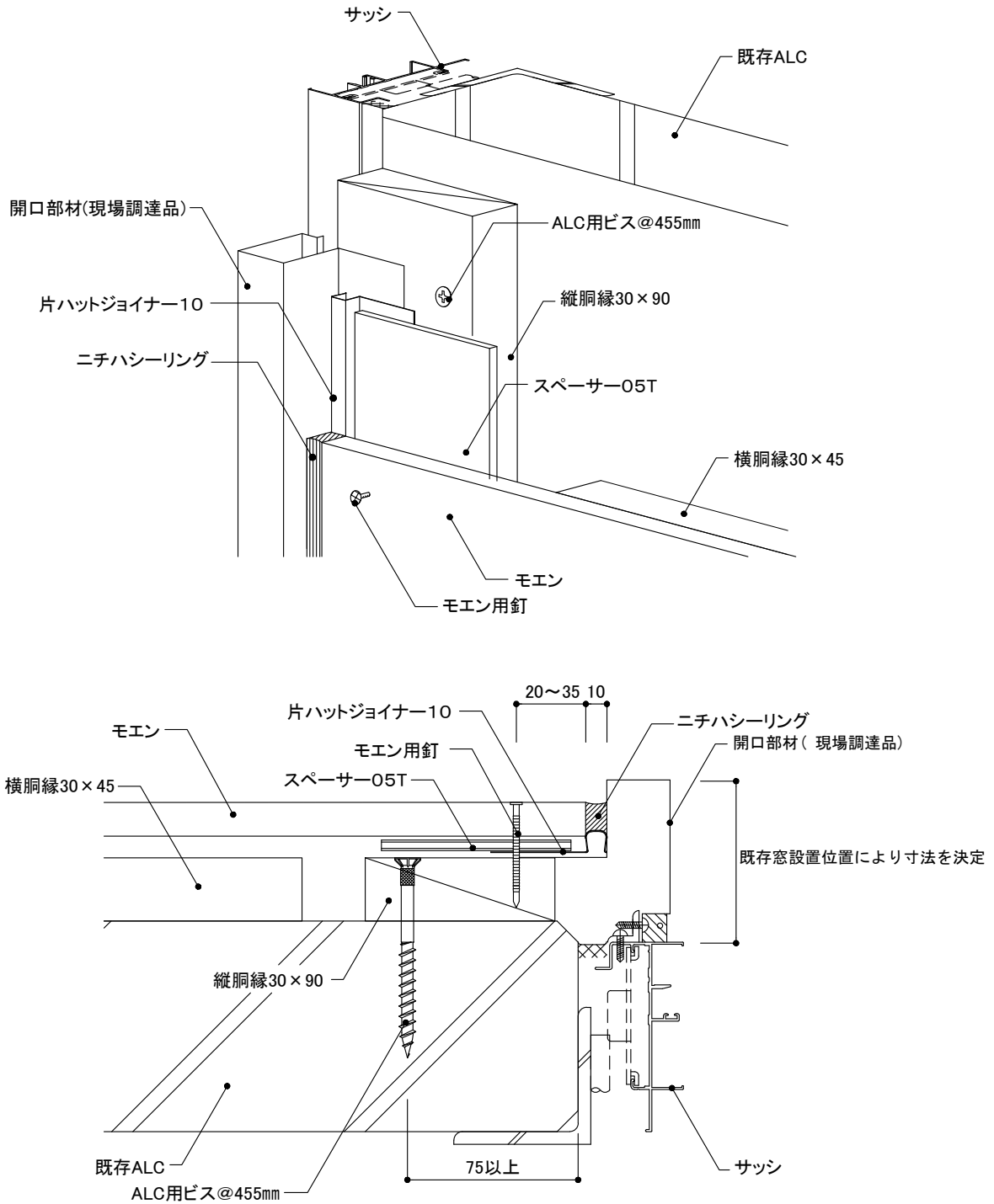


16mm厚品 EX	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造 (ALC厚100mm) 木胴縁工法	金具	縦	横胴縁@606mm以下

9) 開口部

③ 左右側

- 開口部まわりには、必要に応じて倍幅90mm以上の木胴縁を取り付けます。
- 開口部まわりの開口部材は、既存建物のサッシ形状に合わせて、板金やアルミ加工品を取り付けます。

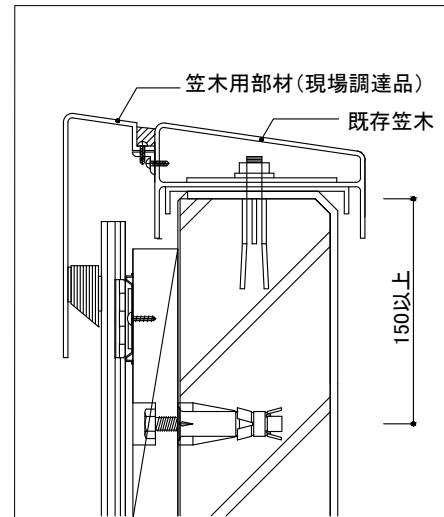
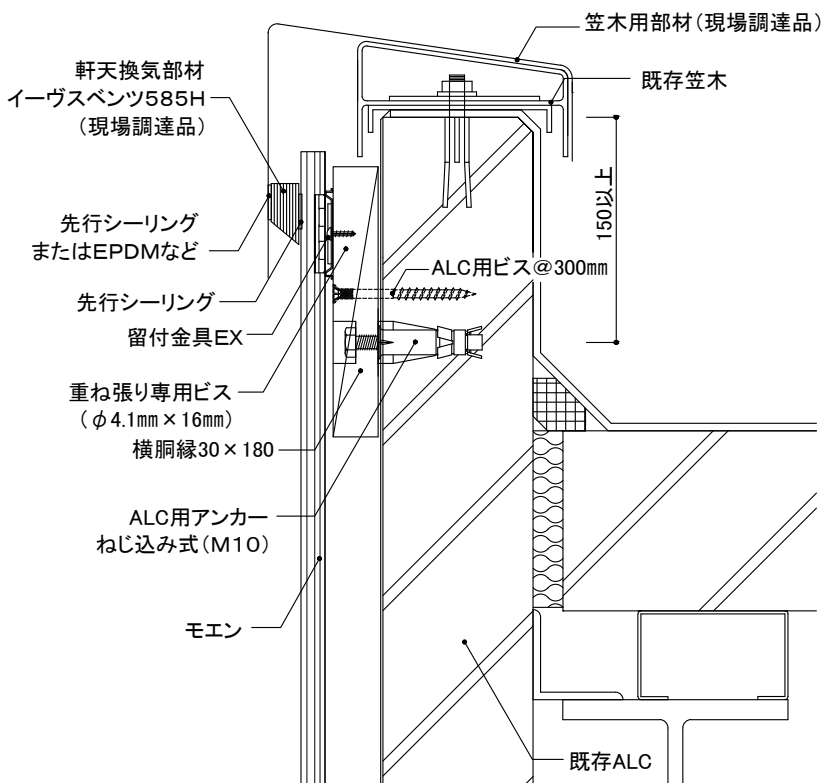
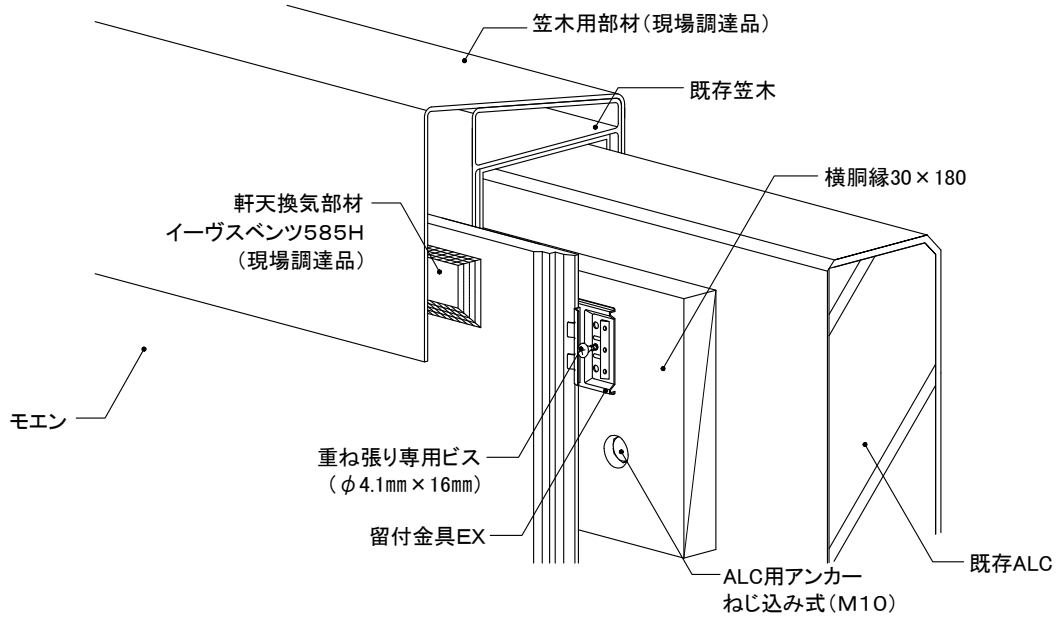


16mm厚品 EX	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造 (ALC厚100mm) 木胴縁工法	金具	縦	横胴縁@606mm以下

10) 笠木部

- 笠木用部材は、現場調達により、既存笠木全体にかぶせる、継ぎ足す、あるいは既存笠木を取り外し、あらたに取り付けます。
- 上端部には通気確保のため、イーヴスベンツ585Hを用いて施工します。

(笠木をかぶせる場合)



(笠木を継ぎ足す場合)

8 各部の納まり詳細図

S造(ALC厚100mm)

木胴縁工法

モエン縦張り

釘打ち施工

1)基本構成図	構成断面
2)胴縁概要図	
3)各部の納まり概要図	

本章は、基本的な納まり例を記載しています。注意事項、禁止事項をご理解いただいたうえで施工してください。

14mm厚品

M W

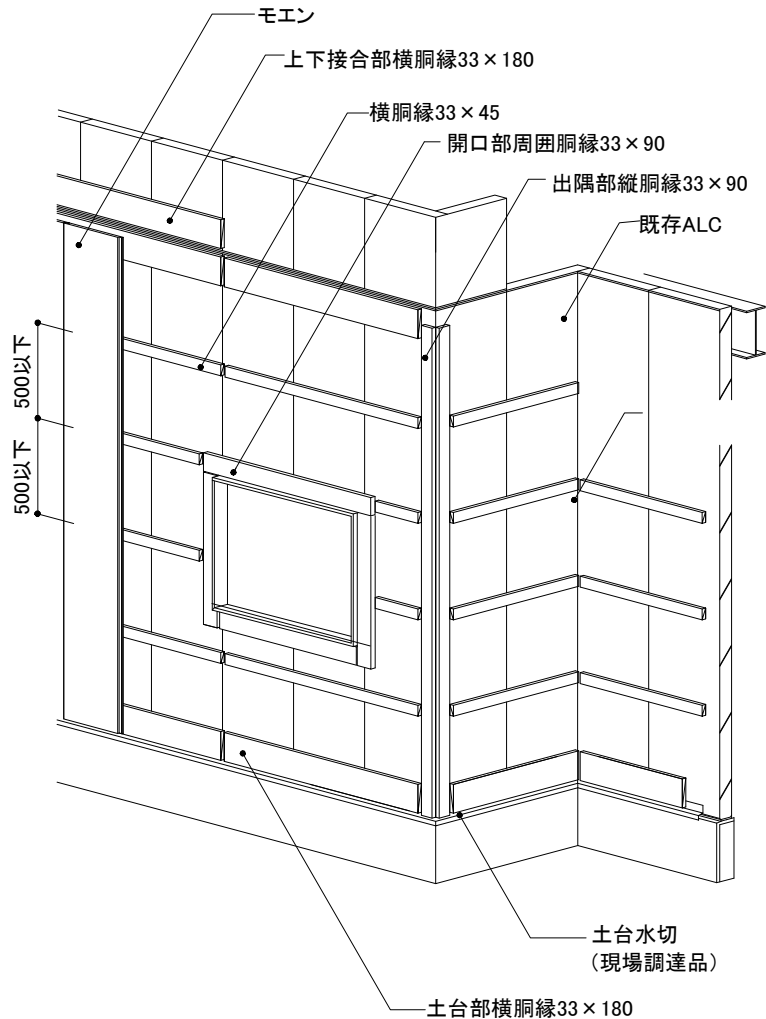
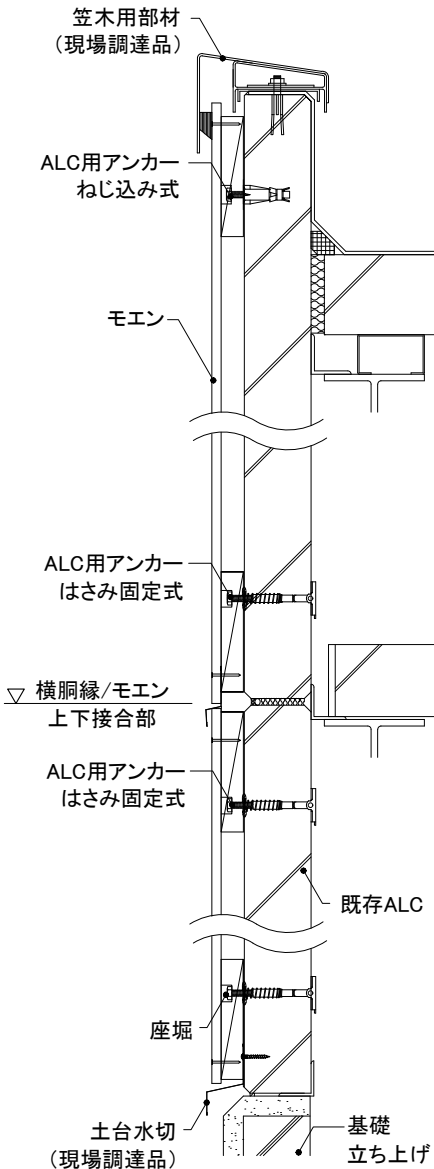
下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
S造 (ALC厚100mm) 木胴縁工法	釘	縦	横胴縁@500mm以下

1) 基本構成図

構成断面

- 下地外壁材にひび割れなどが無い確認し、必要に応じて補修を行います。
- 下地は図のように500mm以下の間隔で木胴縁を取り付けます。
- 左右接合部・出隅部・開口部まわりなどには、必要に応じて倍幅90mm以上の木胴縁を使用します。
土台部・上下接合部などALCパネル上下端部には、幅180mm程度の木胴縁を使用します。
- 横胴縁は必ず通気ができるように、2,000mm以下の間隔で30mm程度の隙間を設けます。
- 横胴縁と開口部まわりの胴縁は30mm程度の隙間を設け、通気する構造とします。
- ALCパネル上下ジョイント部は木胴縁とモエンを通さず、縁を切ります。

ALC用アンカーははさみ固定式が躯体・内装材に干渉する場合は、ALC用アンカーねじ込み式で施工します。



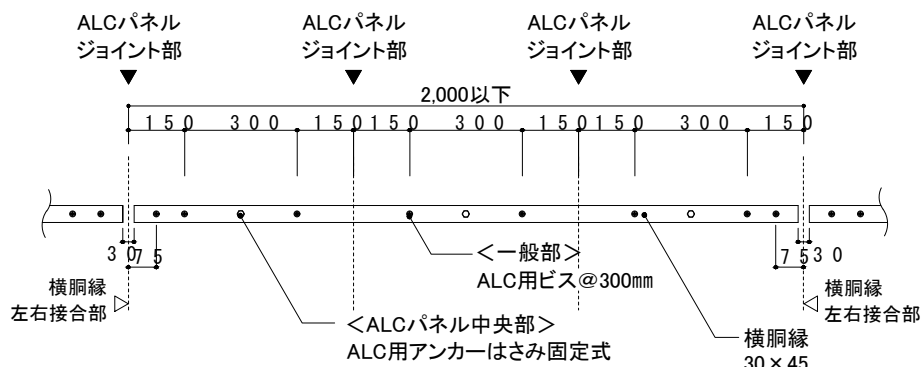
14mm厚品

M W

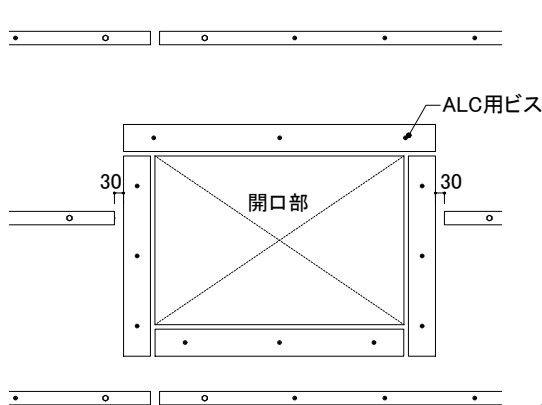
下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
S造 (ALC厚100mm) 木胴縁工法	釘	縦	横胴縁@500mm以下

2) 胴縁概要図

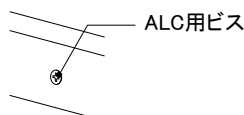
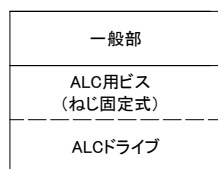
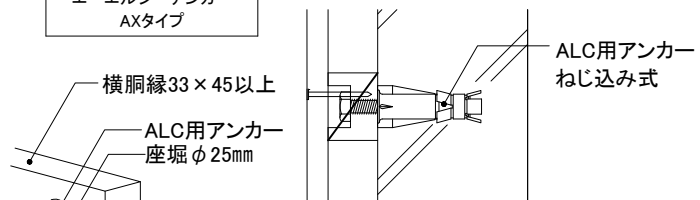
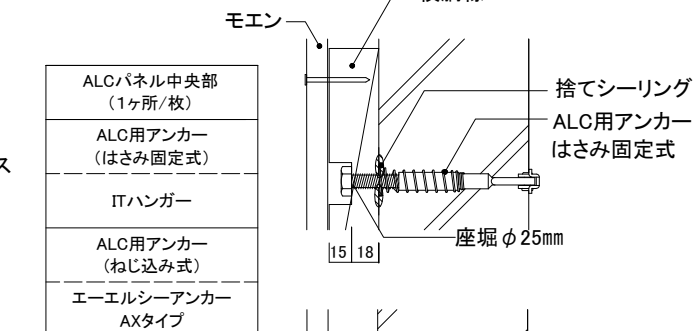
- 木胴縁をALCパネル1枚につき中央部1ヶ所に、ALC用アンカーで留め付けます。原則、ALC用アンカーははさみ固定式で取り付けますが、屋内側に躯体や内装材があり、施工できない場合は、ALC用アンカーねじ込み式とします。(最低1ヶ所はALC用アンカーはさみ固定式を使用します。)
- ALC用ビスは300mm以下の間隔で留め付けます。ただし、胴縁の両端はALCパネルの端部から75mm程度の位置にALC用ビスを1本増し打ちします。
- モエンとの干渉を防ぐため、木胴縁にはあらかじめ、ALC用アンカー部分にφ25mm、深さ15mm程度の座堀をします。
- 出隅部・開口部まわりの木胴縁は、ALC用ビスで留め付けます。
- ALC用アンカーでALCを貫通させた部分の周囲には、捨てシーリングを施工します。
- ALC用アンカー・ビスの設定は、物件ごとに既存壁に対するアンカー・ビスの引っ張り荷重確認を行い決定します。



開口部まわり (現場調達開口部材納めの例)



※開口部まわりは、ALC用ビスで留め付けてください。



14mm厚品

M W

下地・工法
S造 (ALC厚100mm)
木胴縁工法

留付方法

釘

張り方向

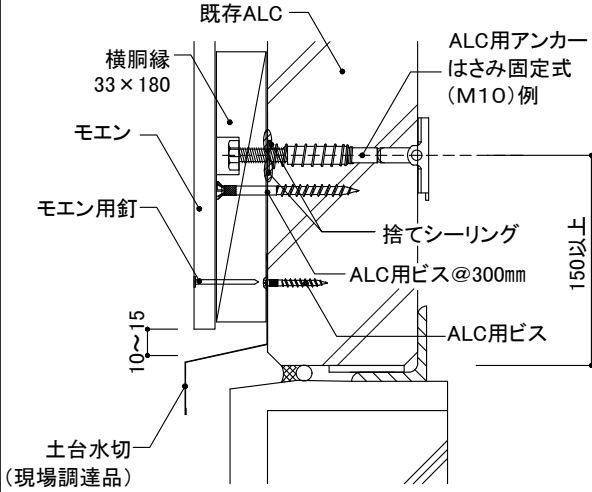
縦

胴縁組

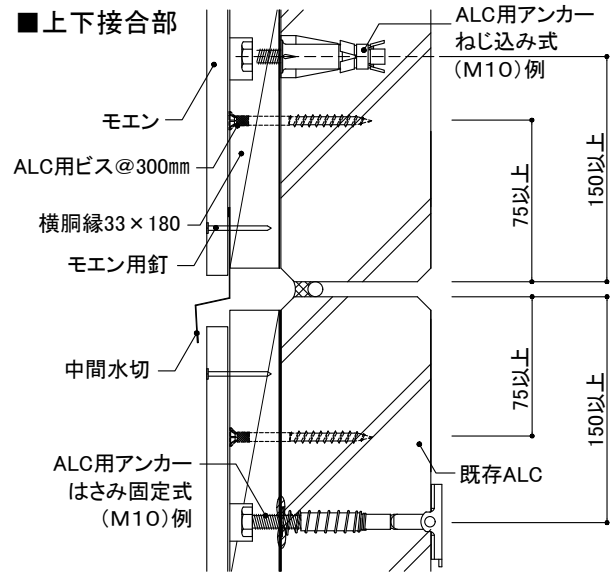
横胴縁@500mm以下

3) 各部の納まり概要図

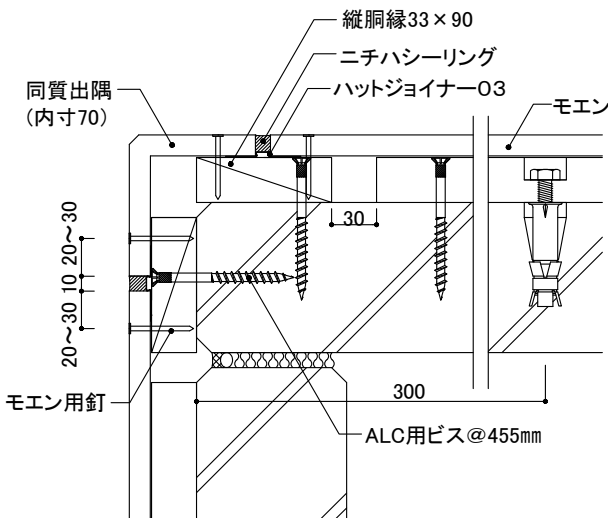
■土台部



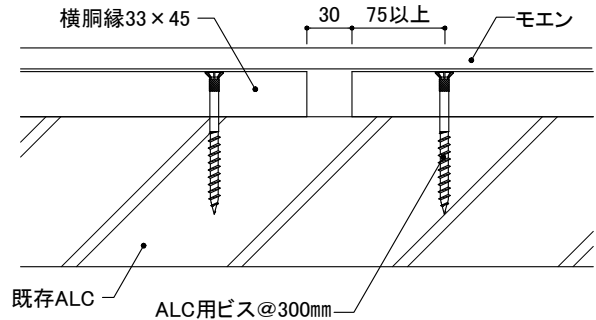
■上下接合部



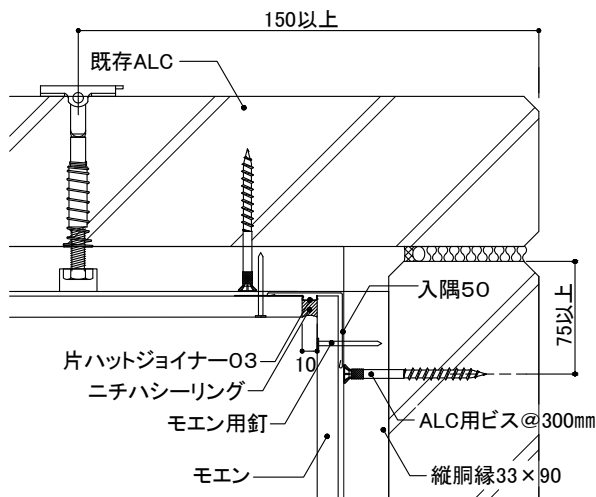
■出隅部



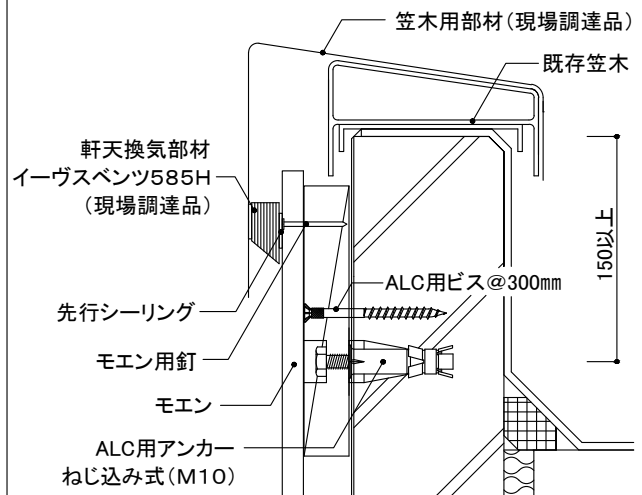
■左右接合部 (胴縁)



■入隅部



■笠木部 (笠木をかぶせる場合)



9 各部の納まり詳細図

RC

木胴縁工法

センターサイディング
横張り

ビス留め施工

1)基本構成図	構成断面
2)胴縁概要図	
3)主要部材一覧	
4)土台部	
5)上下接合部	①胴縁 ②センターサイディング
6)左右接合部	
7)入隅部	
8)出隅部	
9)開口部	①上側 ②下側 ③左右側
10)笠木部	
11)補強工法による施工	

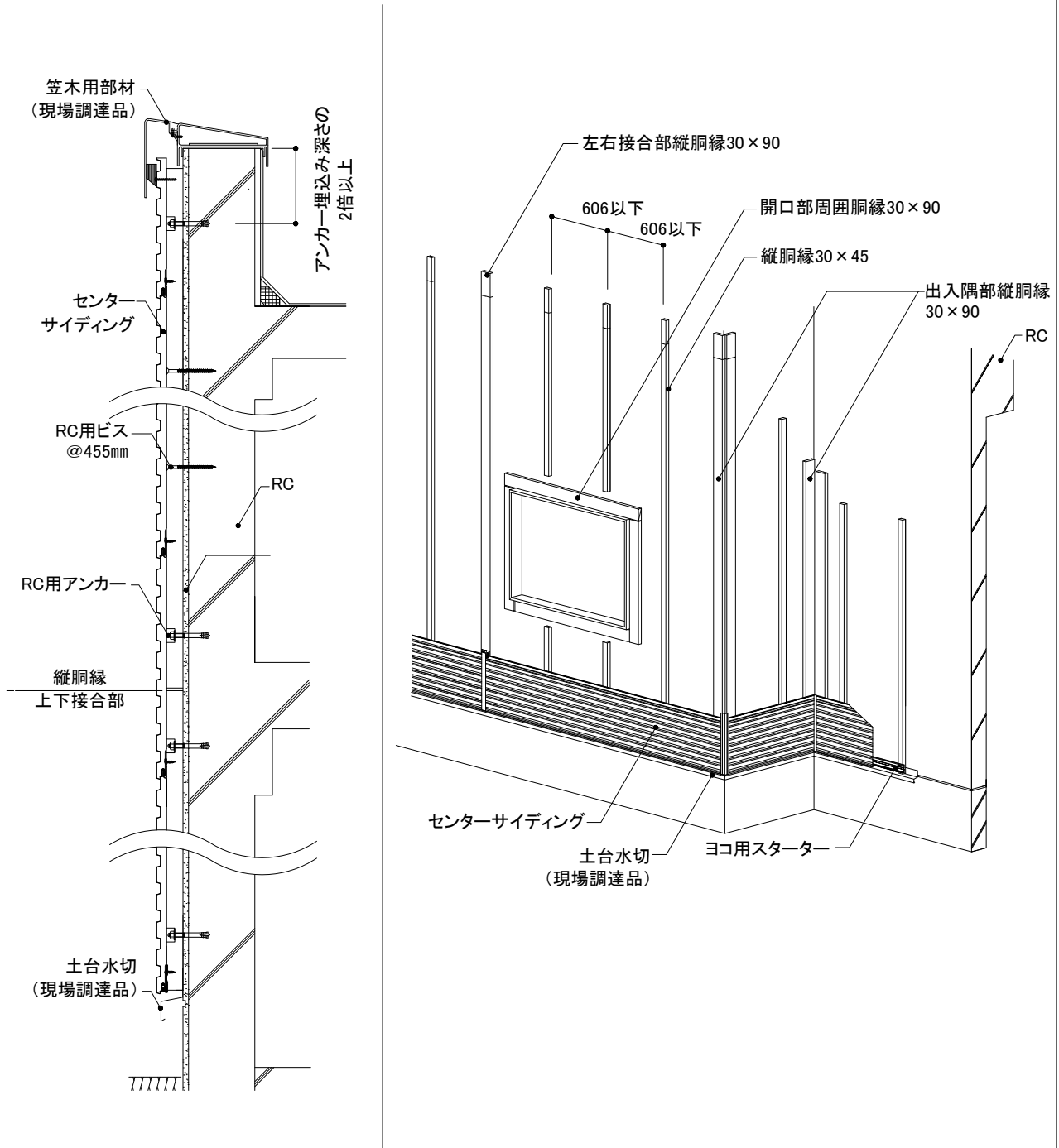
本章は、基本的な納まり例を記載しています。注意事項、禁止事項をご理解いただいたうえで施工してください。

センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	ビス	横	縦胴縁@606mm以下

1) 基本構成図

構成断面

- 下地外壁材にひび割れなどがいないか確認し、必要に応じて補修を行います。
- 下地は図のように、606mm以下の間隔で木胴縁を取り付けます。
- 左右接合部・入隅部・出隅部・開口部まわりなどには、必要に応じて倍幅90mm以上の木胴縁を使用します。
- 木胴縁の上下接合部に、センターサイディングの嵌合部が干渉しないようにします。

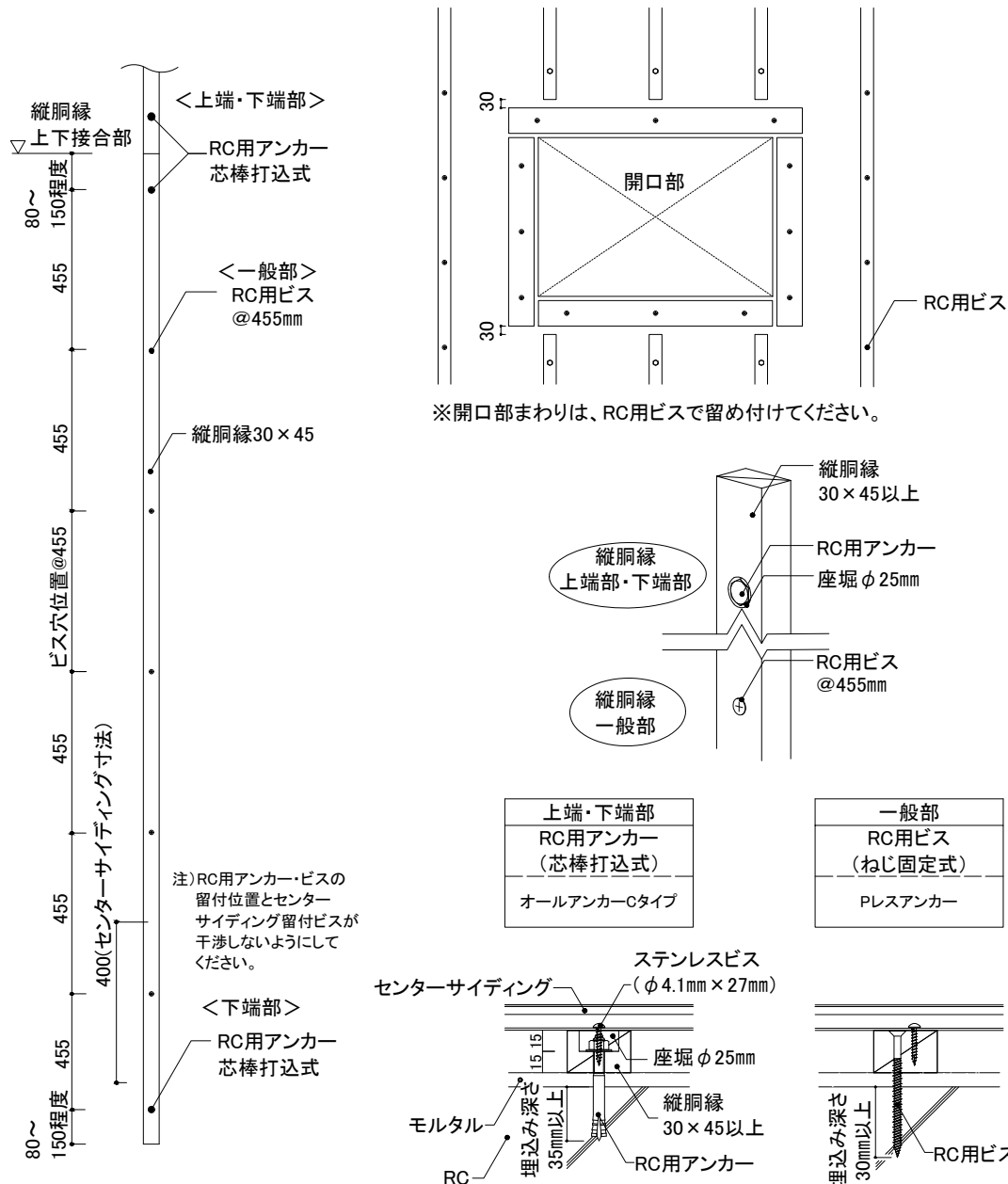


センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	ビス	横	縦胴縁@606mm以下

2) 胴縁概要図

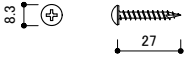
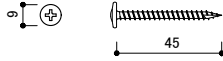
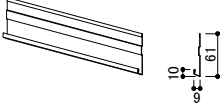
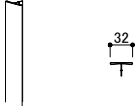
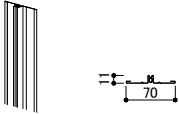
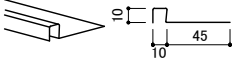
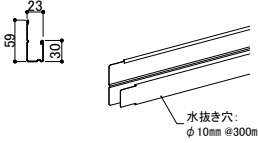
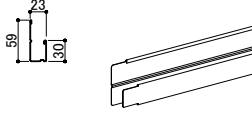
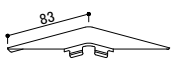
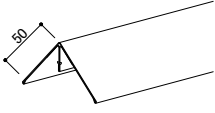
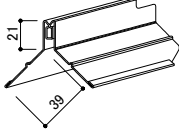
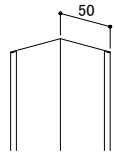
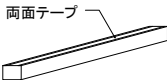

- 木胴縁はRC用ビスを用い455mm以下の間隔で留め付けます。ただし、木胴縁1本につき上端部、下端部の2ヶ所はRC用アンカーとします。
- センターサイディングとの干渉を防ぐため、木胴縁にはあらかじめRC用アンカー部分にφ25mm、深さ15mm程度の座掘をします。
- 出隅部・開口部まわりの木胴縁は、RC用ビスで留め付けます。
- 木胴縁の長さが1m未満の場合、RC用アンカーは1ヶ所留めとします。
- RC外壁がモルタルで仕上げられている場合などは、モルタルの塗り厚さに注意し、RC用アンカー・ビスのサイズを選定します。
- RC用アンカー・ビスの設定は、物件ごとに既存壁に対するアンカー・ビスの引っ張り荷重確認を行い決定します。

開口部まわり(現場調達開口部材納めの例)



センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	ビス	横	縦胴縁@606mm以下

3) 主要部材一覧

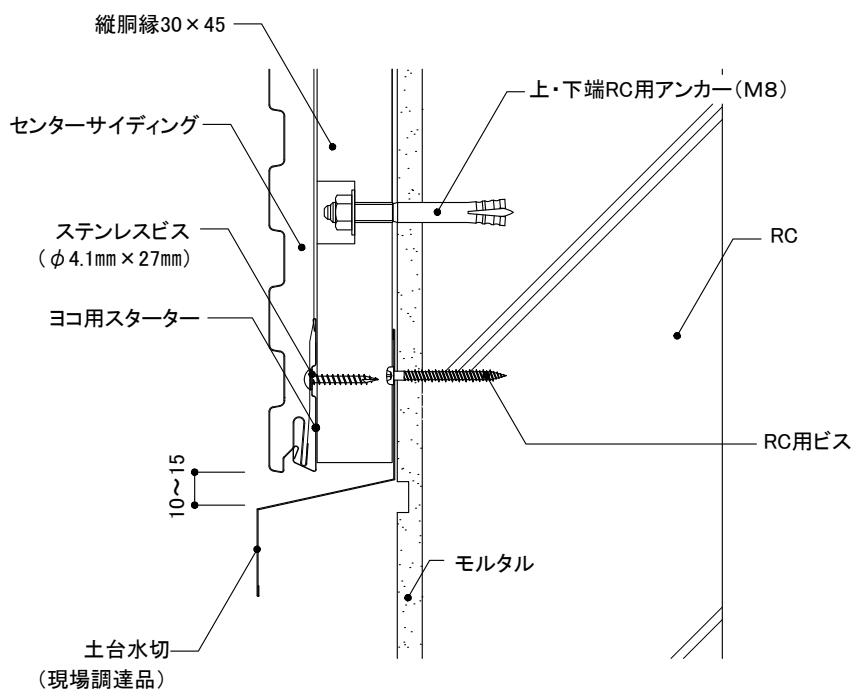
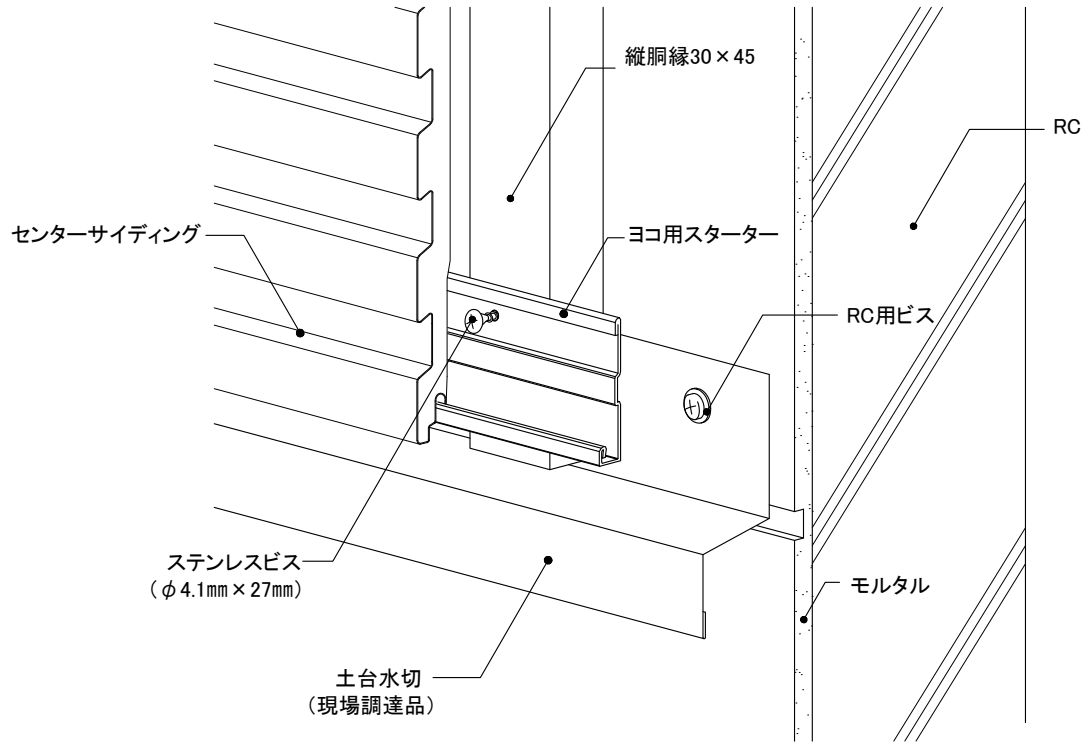
<p>■専用ビス (本体実部留付用)</p>  <p>ステンレスビス 【品番:JK1710】 材質:ステンレス サイズ:φ4.1mm×27mm</p>	<p>■専用ビス (本体表面留付用)</p>  <p>ステンレスビス 【品番:JK1720】 材質:ステンレス サイズ:φ4.1mm×45mm</p>	<p>■スターター</p>  <p>ヨコ用スターター 【品番:AST2F00A】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 長さ:3.030mm</p>	<p>■目地カバー</p>  <p>NS目地カバー 【品番:AMJ3F0**】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.35mm 長さ:3.030mm</p>
<p>■目地鋼板受け</p>  <p>目地鋼板受け 【品番:AMU6F00A】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 長さ:3.030mm</p>	<p>■片ハットジョイナー</p>  <p>片ハットジョイナー10 【品番:FHK1110R】 材質:フッ素樹脂コート 高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.3mm 長さ:2.000mm 表面色:クリアレッド着色</p>	<p>■端部カバー</p>  <p>N端部カバー 【品番:AMKFF0**】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.35mm 長さ:3.030mm 水抜き穴:φ10mm @300mm</p>	<p>■見切縁</p>  <p>N見切縁18 【品番:AMKEF0**】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.35mm 長さ:3.030mm</p>
<p>■見切コーナー</p>  <p>N見切コーナー 【品番:AMC****】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.35mm</p>	<p>■出隅カバー</p>  <p>S出隅カバー 【品番:ADS2*0**】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.35mm 長さ:3.030mm</p>	<p>■出隅鋼板受け</p>  <p>S出隅鋼板受け18 【品番:ADU1F00A】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 長さ:3.030mm</p>	<p>■入隅50</p>  <p>入隅50 【品番:JR1900】 材質:高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.27mm 長さ:3.030mm</p>
<p>■バック材</p>  <p>CSバック材 【品番:ABK5Q0J3】 材質:EPDM 幅:11.5mm 厚み:10mm 長さ:2.000mm</p>	<p>■段付バック材</p>  <p>NS型段付バック材 【品番:ABK4Q0JL】 材質:発泡ポリエチレン 幅:13mm 長さ:385mm</p>	<p>■RC用アンカー</p> <p>(現場調達品)</p> <p>木胴縁取り付け用</p> <p>外装リフォーム②RC・S造(ALC)編の3-5RC・S造(ALC)金属(木)胴縁工法各部材の施工をご参照ください。</p>	<p>■RC用ビス</p> <p>(現場調達品)</p> <p>木胴縁取り付け用</p> <p>外装リフォーム②RC・S造(ALC)編の3-5RC・S造(ALC)金属(木)胴縁工法各部材の施工をご参照ください。</p>

※各部材は、2022年3月時点のものです。最新の情報はNICHIIHA内外装建材総合カタログでご確認ください。

センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	ビス	横	縦胴縁@606mm以下

4) 土台部

- 土台水切はRC用ビスで留め付けてから、木胴縁を施工します。
- ヨコ用スターターは、ステンレスビス(φ4.1mm×27mm)で、胴縁ごとに留め付けます。
- センターサイディング下端と土台水切の間は、10~15mm程度の隙間を設けます。

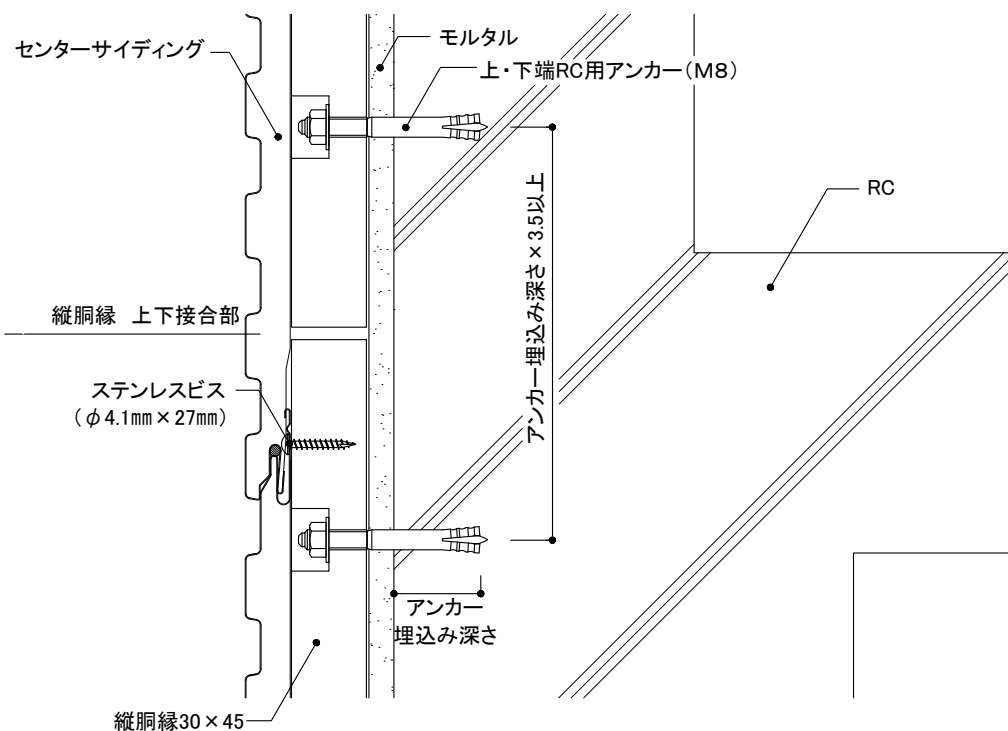
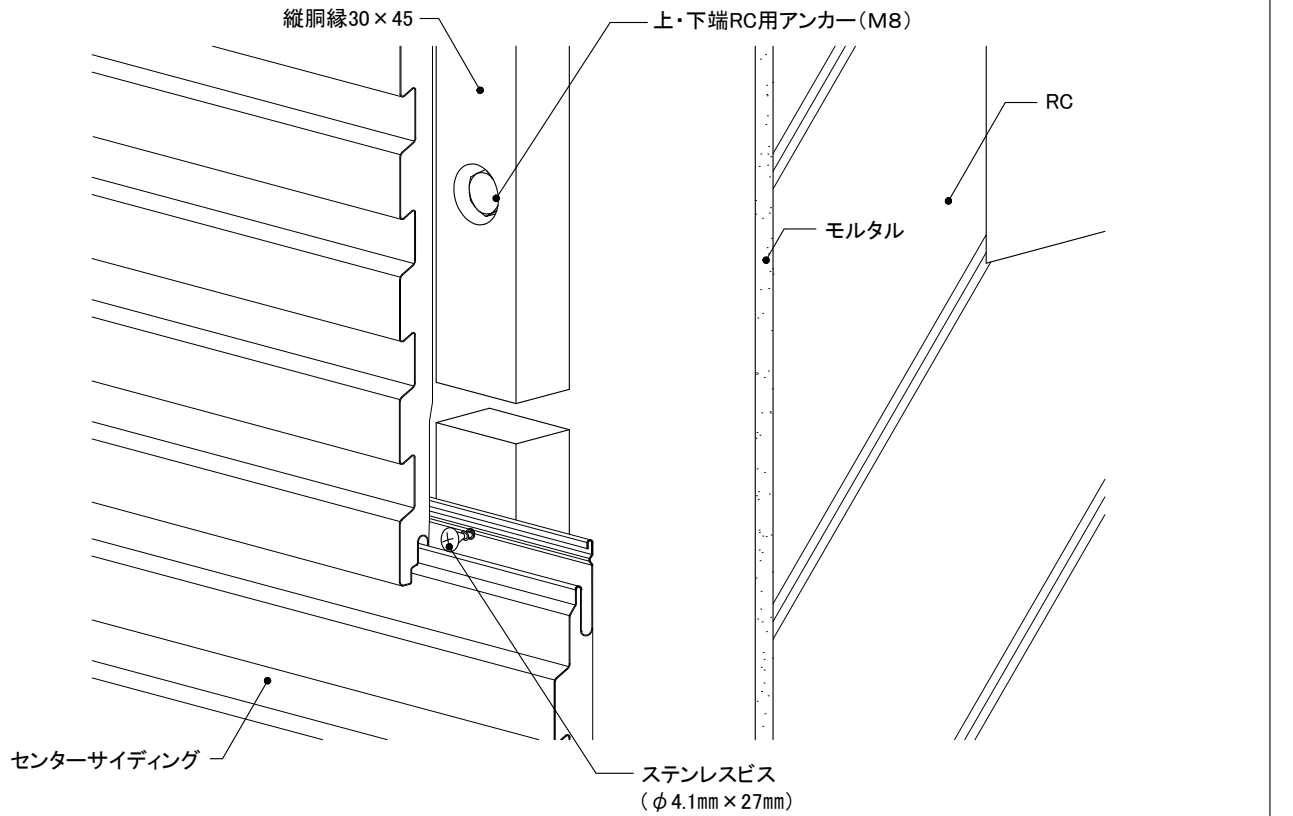


センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	ビス	横	縦胴縁@606mm以下

5) 上下接合部

① 胴縁

●木胴縁の上下接合部に、センターサイディングの嵌合部が干渉しないようにします。

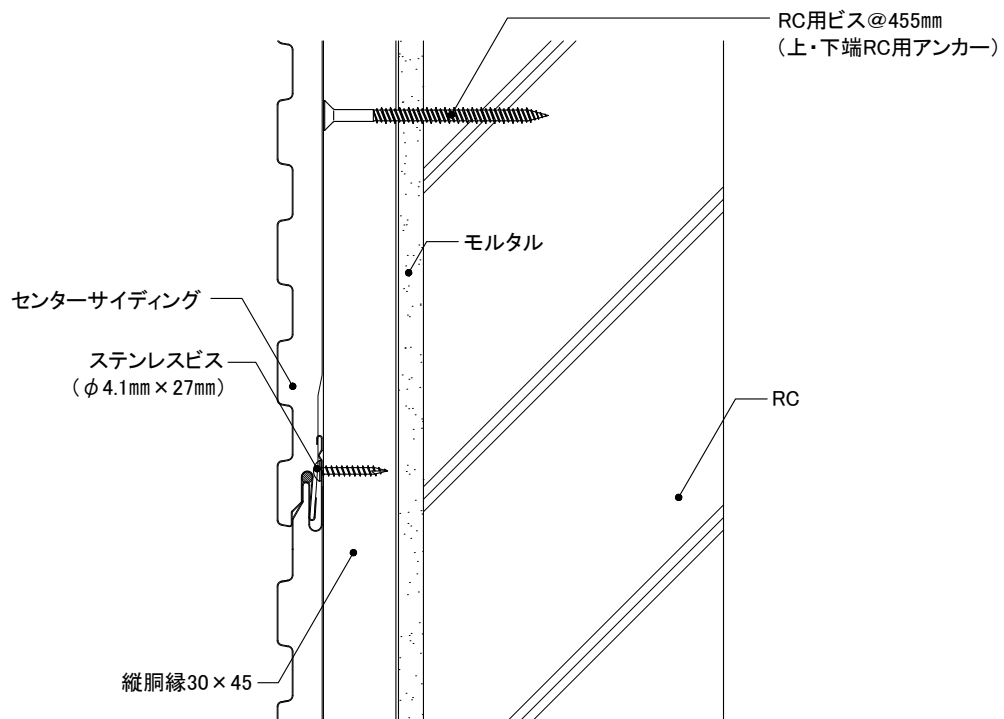
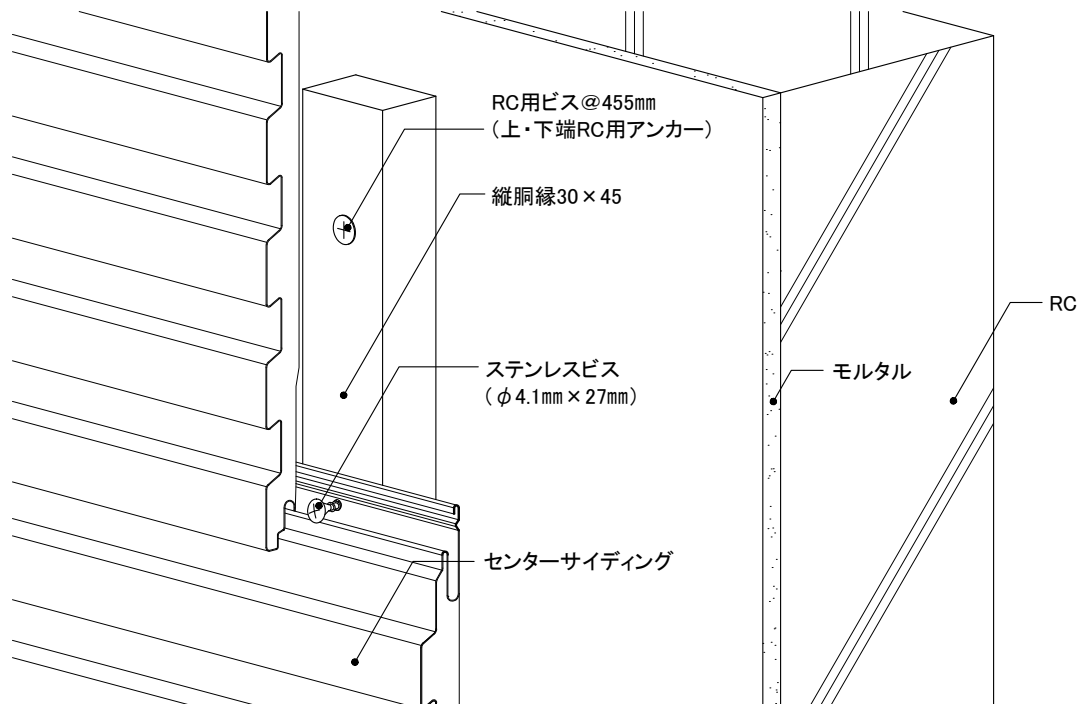


センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	ビス	横	縦胴縁@606mm以下

5) 上下接合部

②センターサイディング

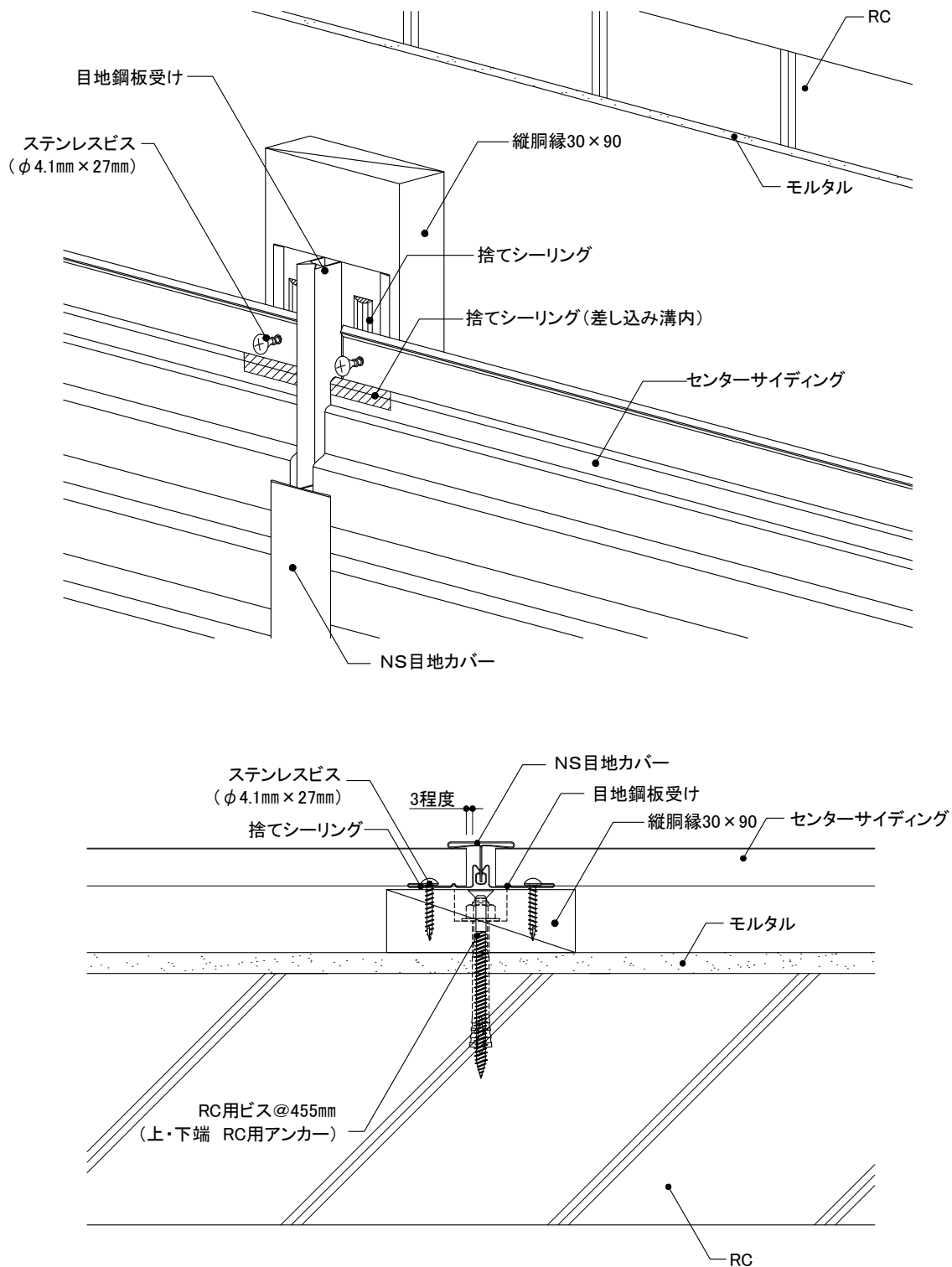
●センターサイディングは、ステンレスビス(φ4.1mm×27mm)で胴縁ごとに留め付けます。



センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	ビス	横	縦胴縁@606mm以下

6) 左右接合部

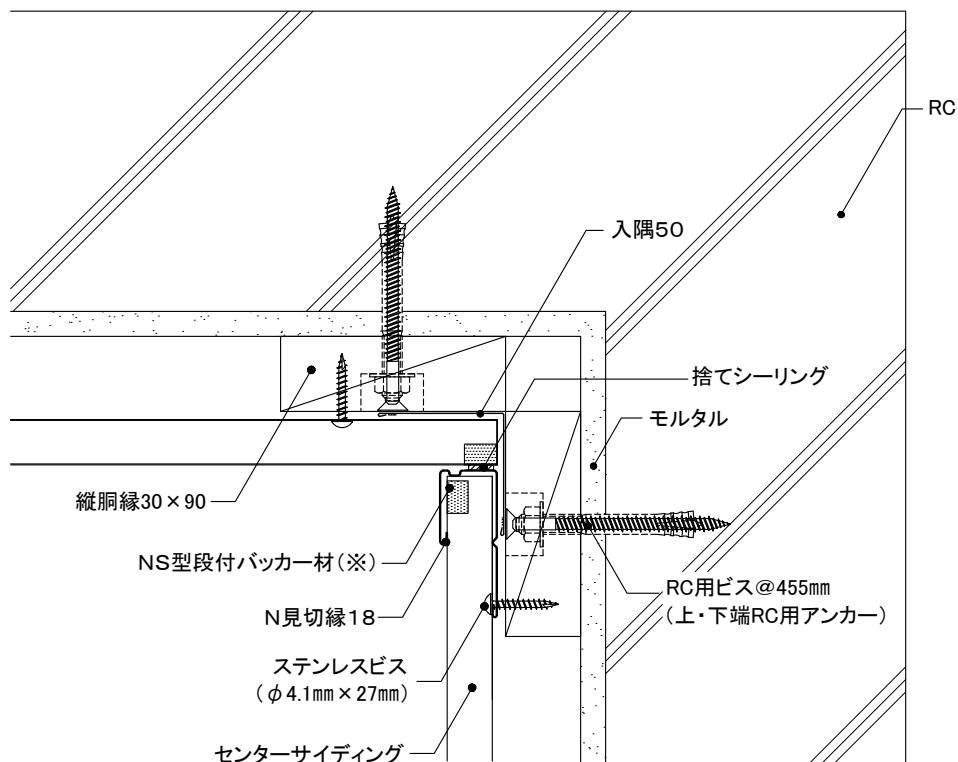
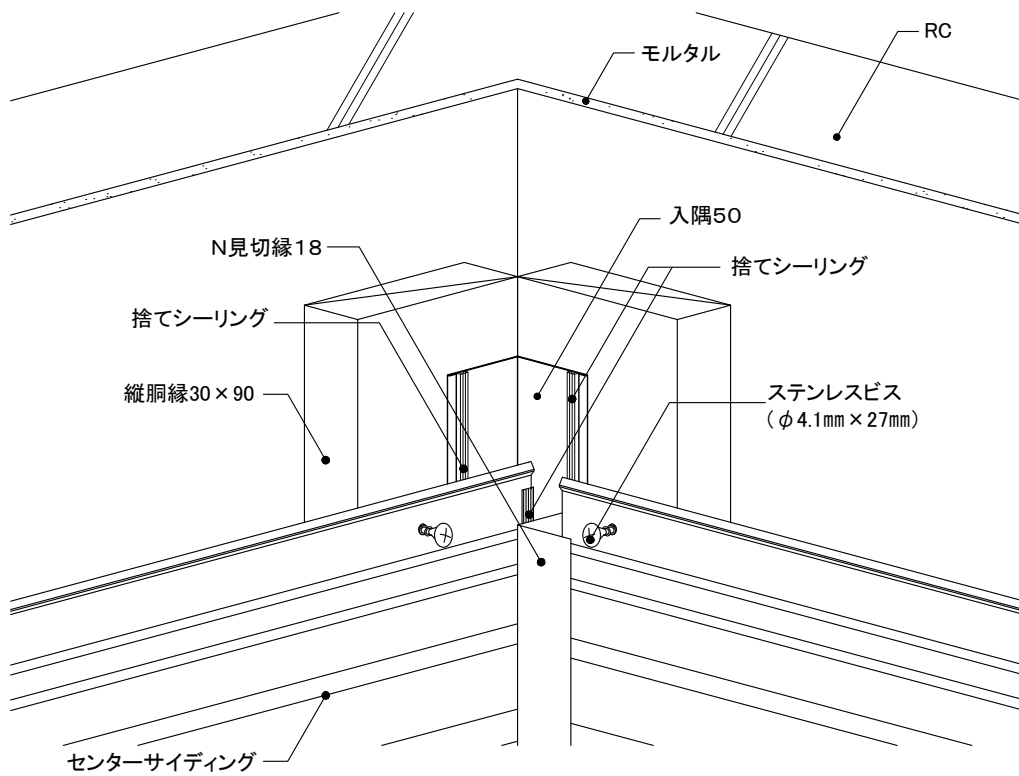
- 目地鋼板受けを取り付け、捨てシーリングを施工します。センターサイディングをステンレスビス (φ4.1mm×27mm) で留め付けます。
- センターサイディングと目地鋼板受けは、図のように3mm程度隙間を設けます。
- NS目地カバーは浮きのないように差し込みます。



センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	ビス	横	縦胴縁@606mm以下

7) 入隅部

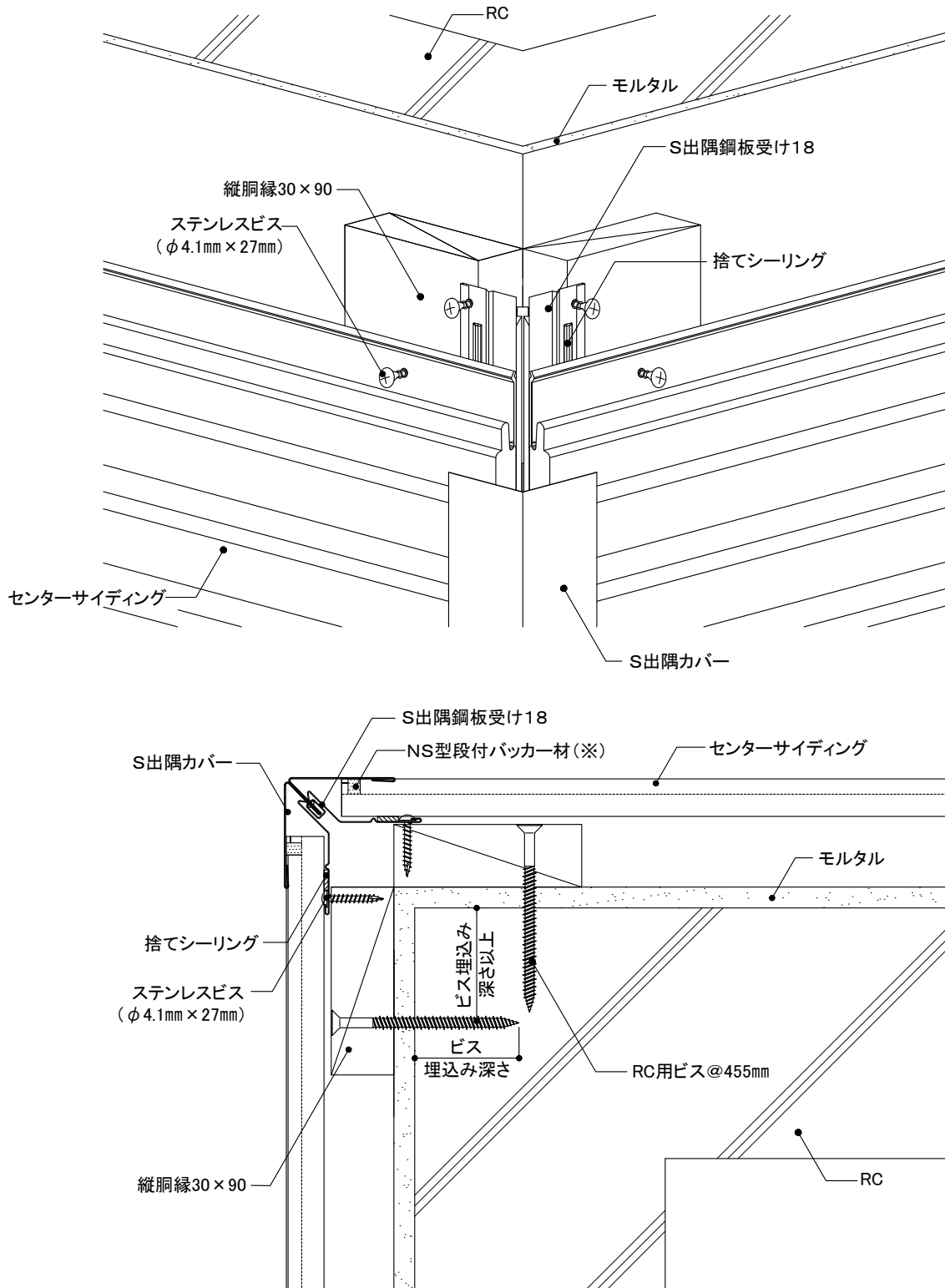
- 入隅部は、倍幅90mm以上の木胴縁を取り付けます。
- センターサイディングは、ステンレスビス(φ4.1mm×27mm)で留め付けます。
- 各センターサイディング端部は必要に応じてNS段付バッカー材を貼り付けます。(※)



センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	ビス	横	縦胴縁@606mm以下

8) 出隅部

- S出隅鋼板受け18を取り付け、捨てシーリングを施工します。センターサイディングをステンレスビス (φ4.1mm×27mm) で留め付けます。
- センターサイディングの施工後、S出隅カバーを差し込みます。
- 各センターサイディング端部は必要に応じてNS型段付バッカー材を貼り付けます。(※)

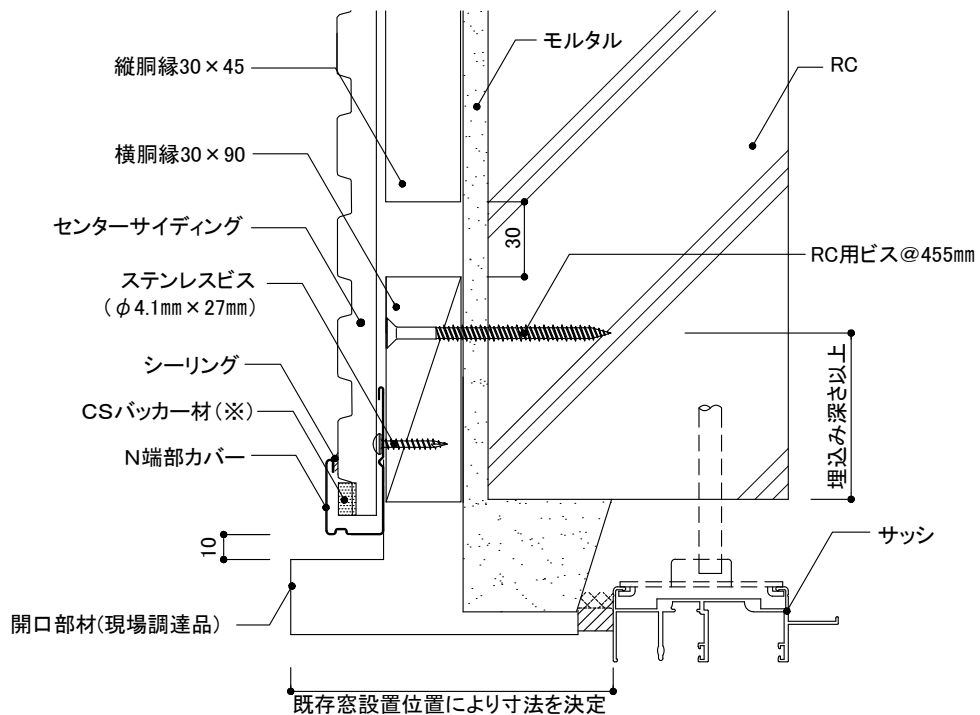
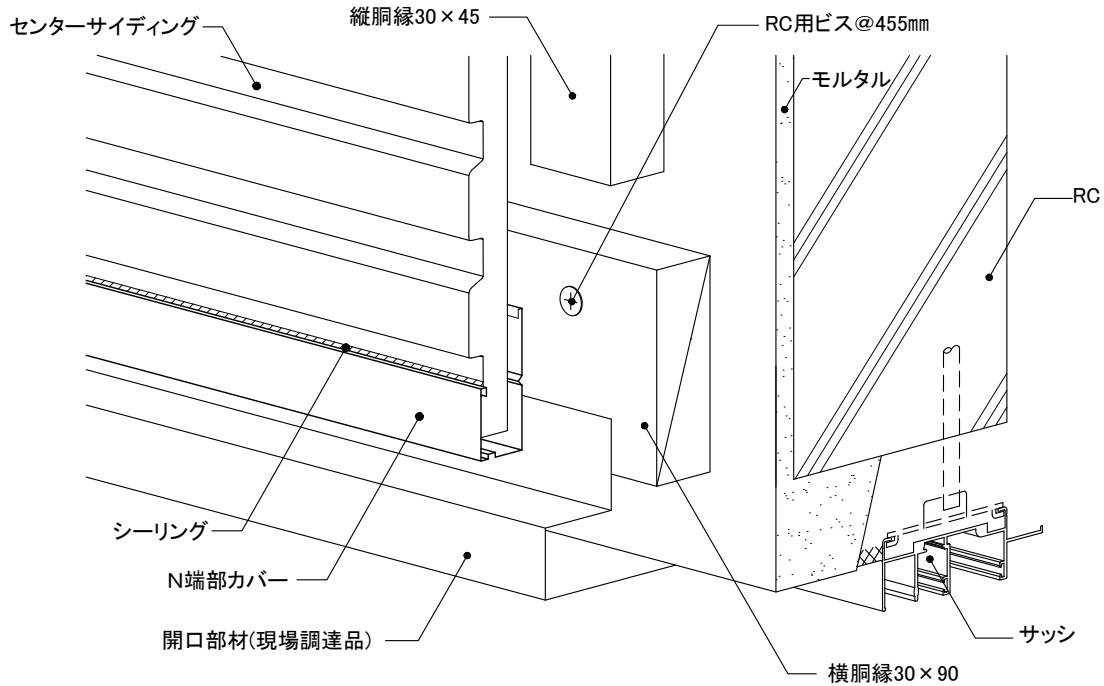


センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	ビス	横	縦胴縁@606mm以下

9) 開口部

① 上側

- 開口部まわりには、必要に応じて倍幅90mm以上の木胴縁を取り付けます。
- 開口部まわりの開口部材は、既存建物のサッシ形状に合わせて、板金やアルミ加工品を取り付けます。
- 開口部材内部に水が溜まるおそれのある場合は、開口部材に適宜水抜き孔を設けます。
- センターサイディング下端が柄凹部となる場合は、CSバック材を貼り付けます。(※)
- センターサイディングとN端部カバーの取り合い部にシーリングを施工します。

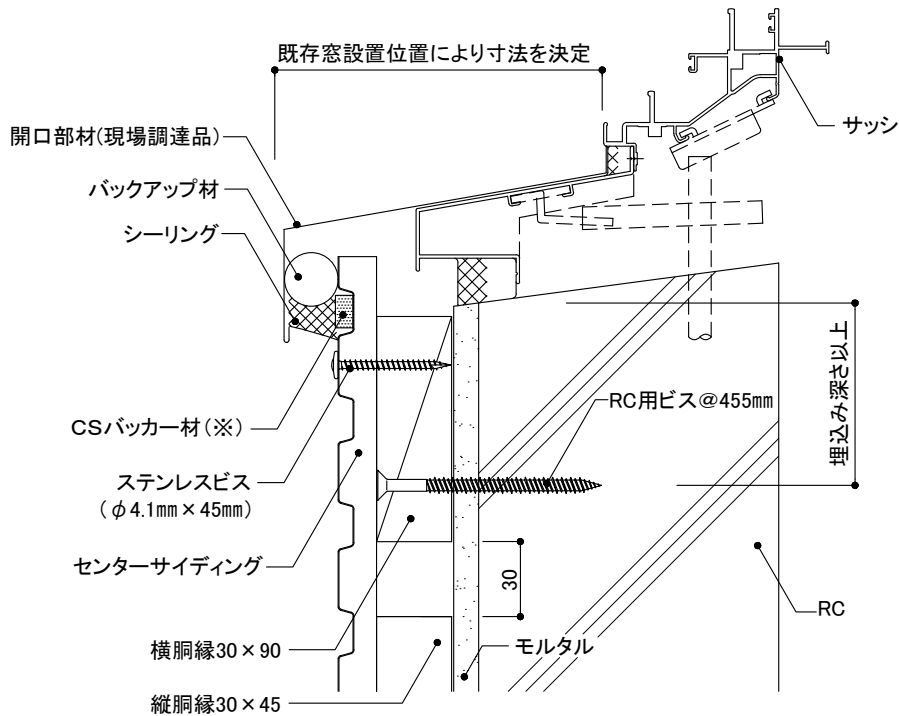
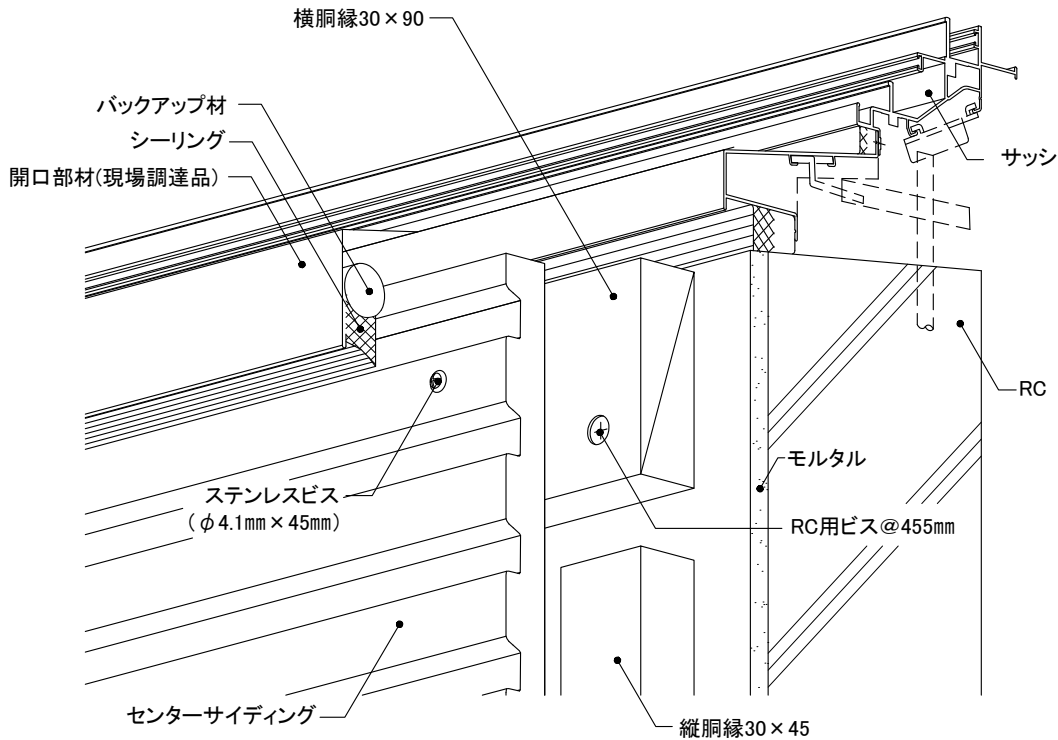


センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	ビス	横	縦胴縁@606mm以下

9) 開口部

② 下側

- 開口部まわりには、必要に応じて倍幅90mm以上の木胴縁を取り付けます。
- 開口部まわりの開口部材は、既存建物のサッシ形状に合わせて、板金やアルミ加工品を取り付けます。
- センターサイディング上端が柄凹部となる場合、CSパッカー材を貼り付けます。(※)

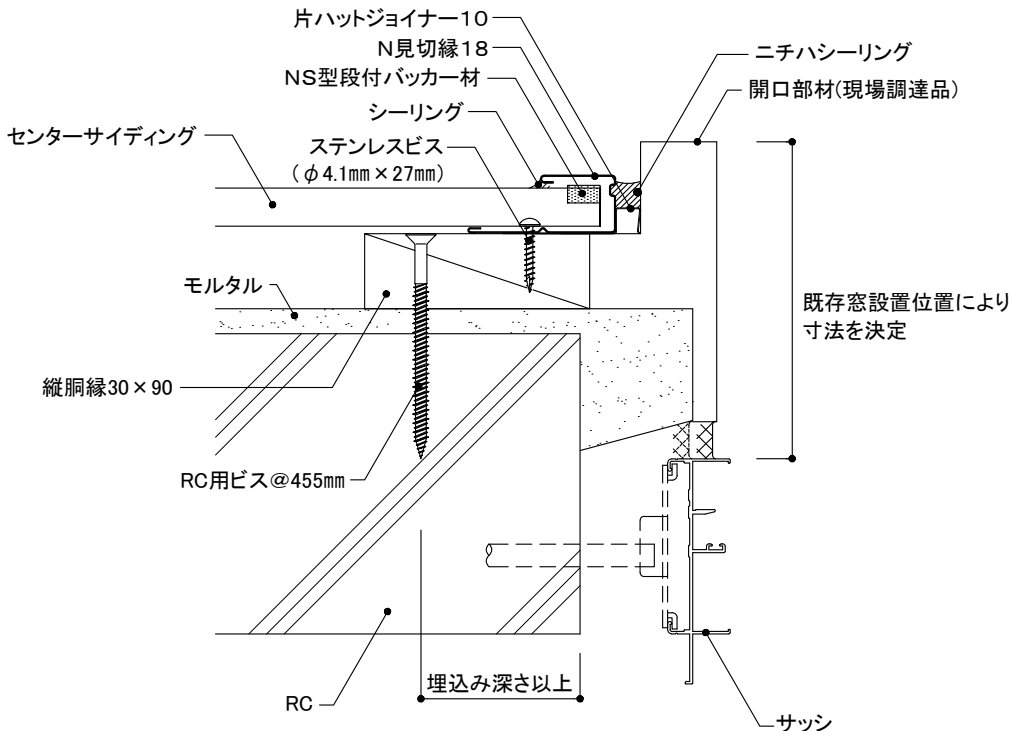
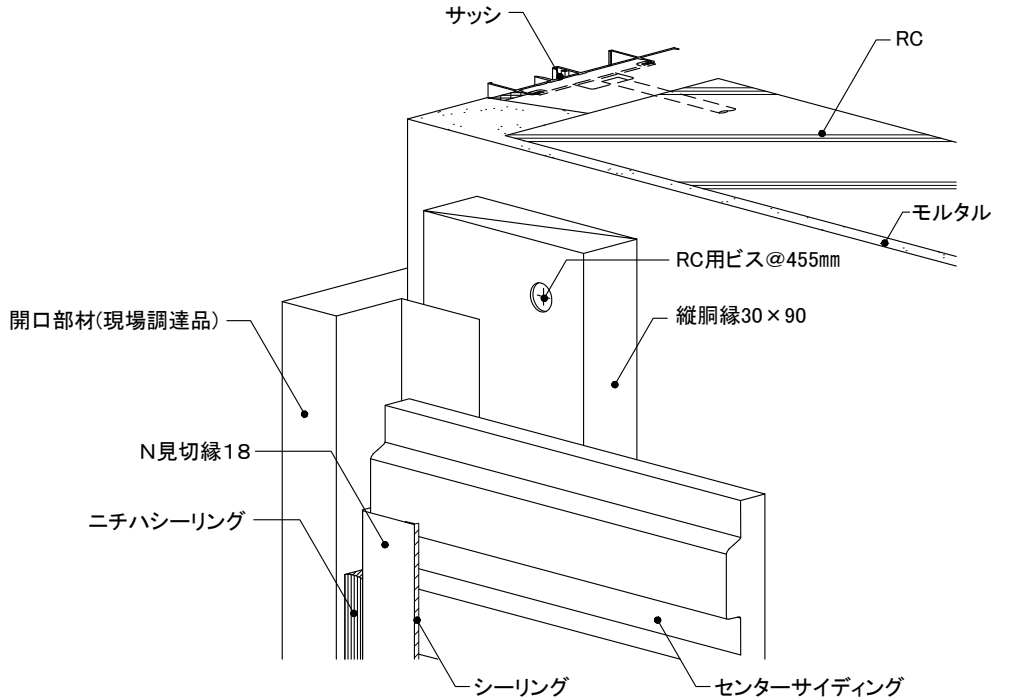


センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	ビス	横	縦胴縁@606mm以下

9) 開口部

③ 左右側

- 開口部まわりには、必要に応じて倍幅90mm以上の木胴縁を取り付けます。
- 開口部まわりの開口部材は、既存建物のサッシ形状に合わせて、板金やアルミ加工品を取り付けます。
- センターサイディング端部にNS型段付きパッカー材を貼付、N見切縁18に差し込みます。
- センターサイディングとN見切縁18の取り合い部にシーリングを施工します。

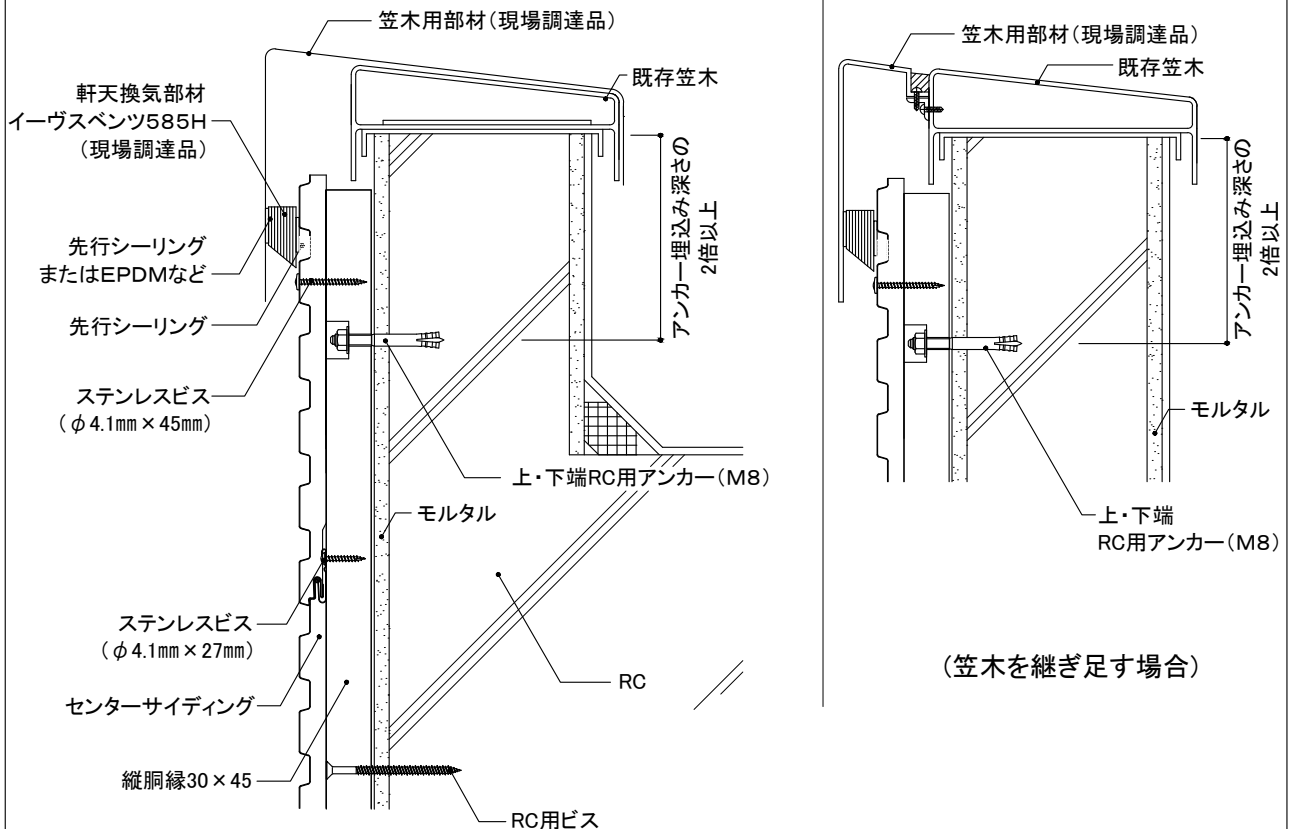
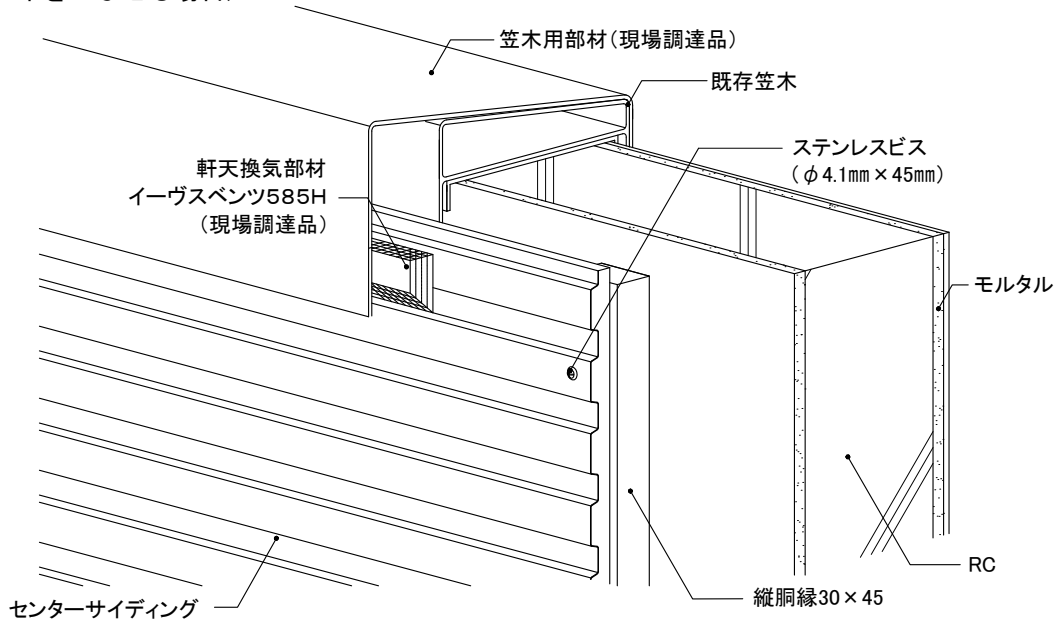


センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	ビス	横	縦胴縁@606mm以下

10) 笠木部

- 笠木用部材は、現場調達により、既存笠木全体にかぶせる、継ぎ足す、あるいは既存笠木を取り外し、あらたに取り付けます
- 上端部には通気確保のため、イーヴスベント585Hを用いて施工します。

(笠木をかぶせる場合)



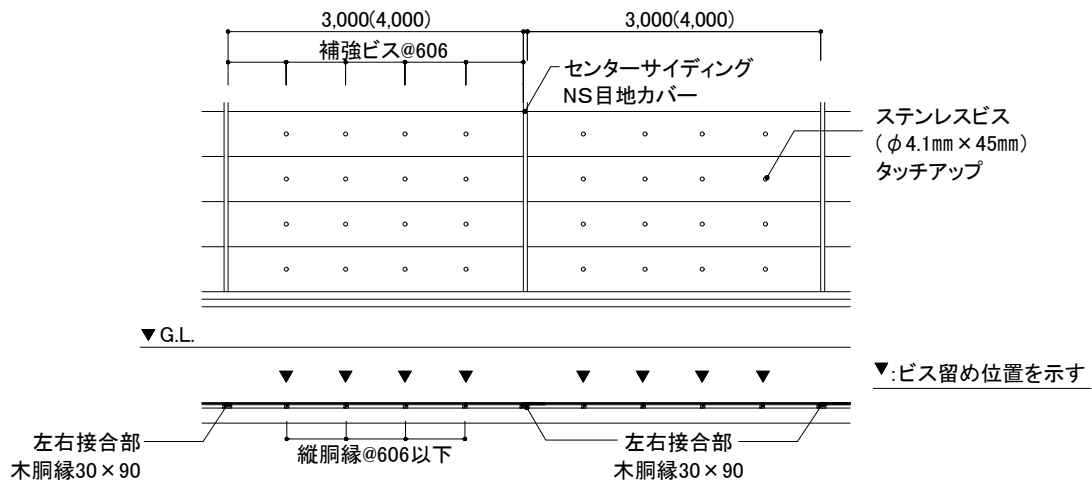
センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	ビス	横	縦胴縁@606mm以下

11) 補強工法による施工

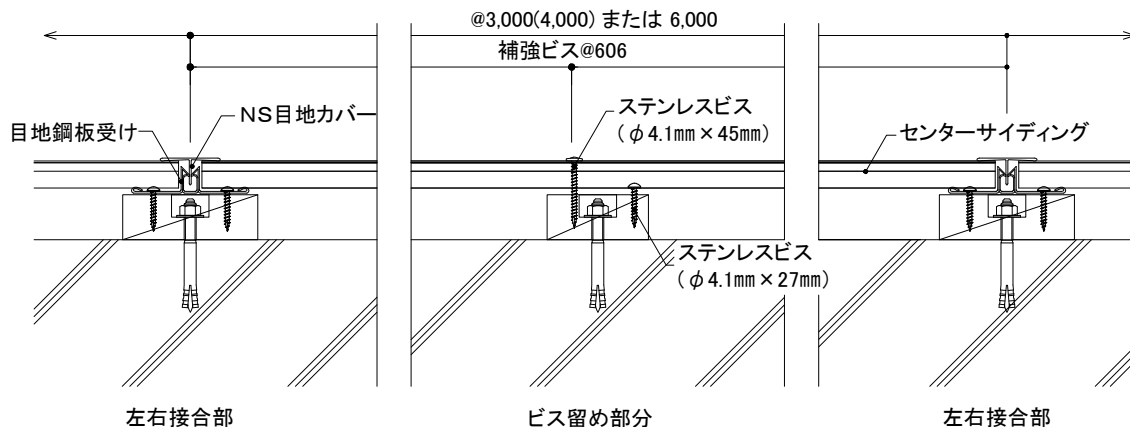
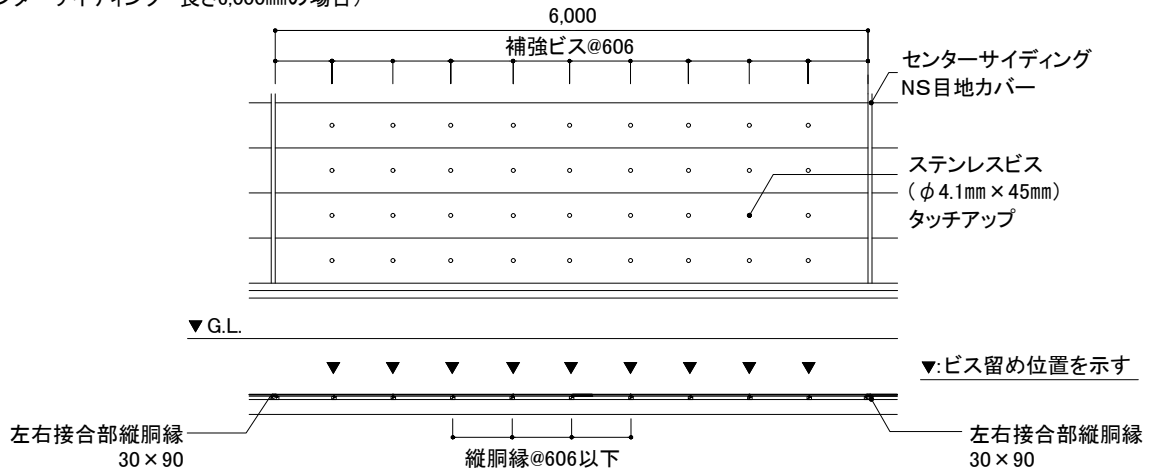
外装リフォーム②RC・S造編の「1-1適用条件 3) 適合地域 耐風圧条件」において、『補強工法』で施工する場合は以下の施工法としてください。

- 補強工法部分は、センターサイディング表面からのビス留めによる補強を行います。
- ステンレスビス(φ4.1mm×45mm)を用い、胴縁ごと(606mm以下)の間隔で留め付けます。
- ビス留め位置は、センターサイディングの幅の中央とします。
- ビス頭の補修は、専用補修塗料を必要最小限の範囲に塗布します。

(センターサイディング 長さ3,000(4,000)mmの場合)



(センターサイディング 長さ6,000mmの場合)



10 各部の納まり詳細図

RC

木胴縁工法

センターサイディング
縦張り

ビス留め施工

1)基本構成図	構成断面
2)胴縁概要図	
3)主要部材一覧	
4)土台部	
5)上下接合部	
6)左右接合部	①胴縁 ②センターサイディング
7)入隅部	
8)出隅部	
9)開口部	①上側 ②下側 ③左右側
10)笠木部	
11)補強工法による施工	

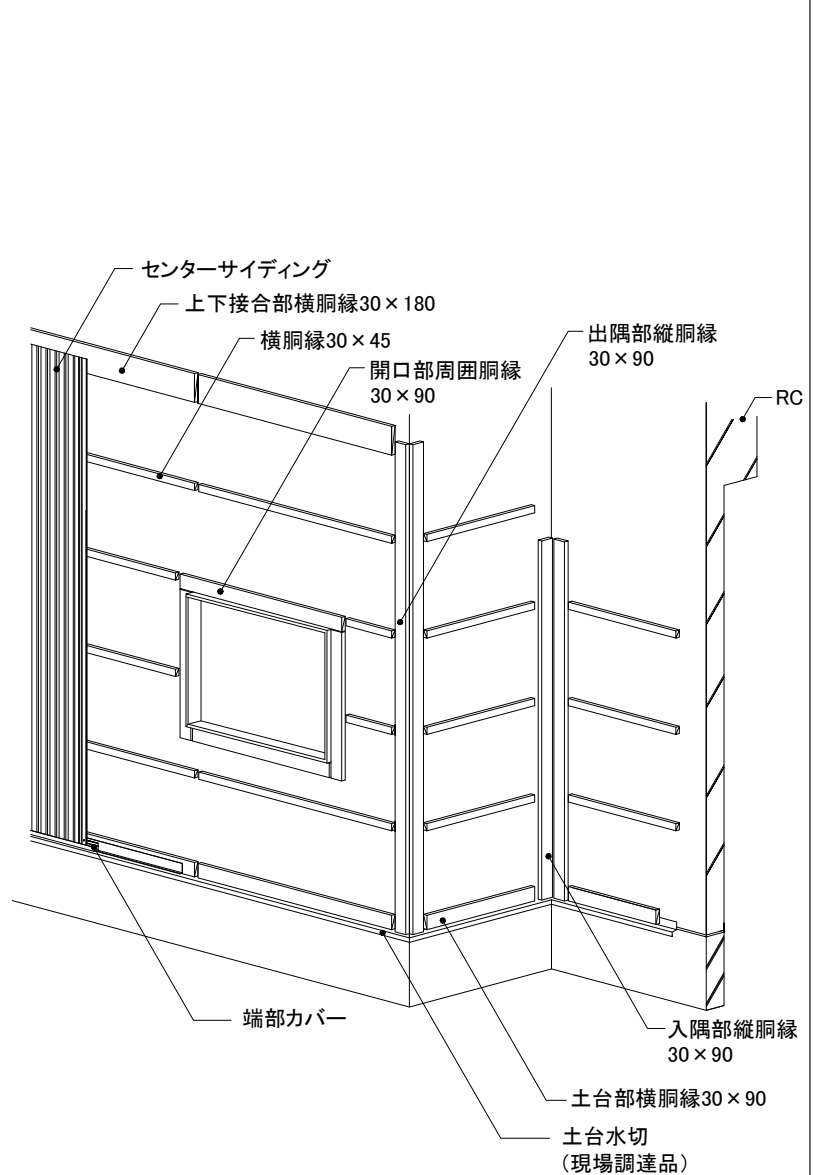
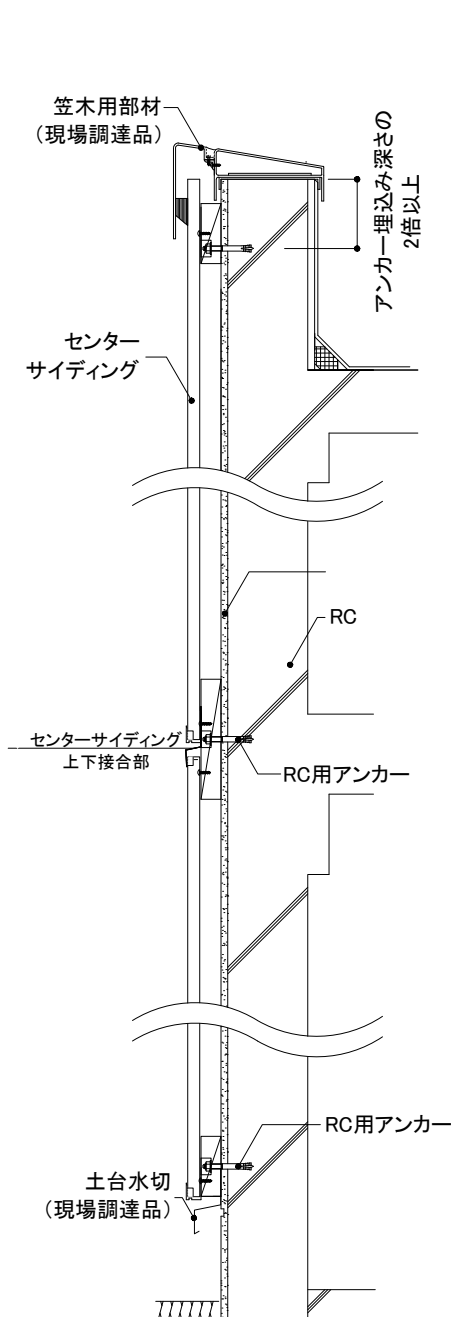
本章は、基本的な納まり例を記載しています。注意事項、禁止事項をご理解いただいたうえで施工してください。

センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	ビス	縦	横胴縁@606mm以下

1) 基本構成図

構成断面

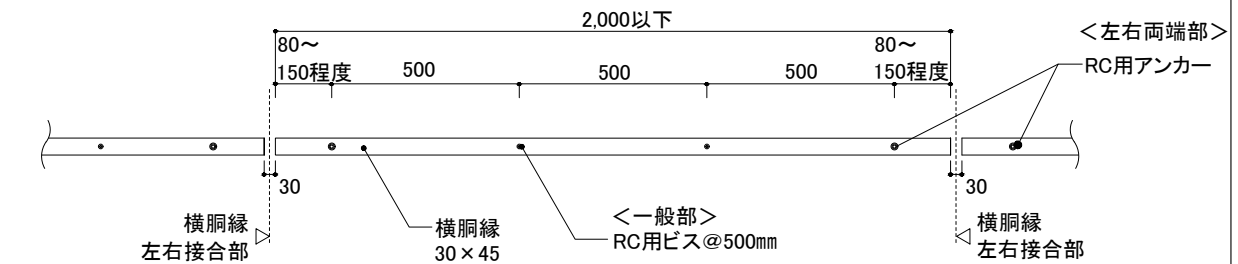
- 下地外壁材にひび割れなどがいないか確認し、必要に応じて補修を行います。
- 下地は図のように、606mm以下の間隔で木胴縁を取り付けます。
- 左右接合部・入隅部・出隅部・開口部まわりなどには、必要に応じて倍幅90mm以上の木胴縁を使用します。
- 横胴縁は必ず通気ができるように、2,000mm以下の間隔で30mm程度の隙間を設けます。
- 横胴縁と開口部まわりの胴縁は30mm程度の隙間を設け、通気する構造とします。



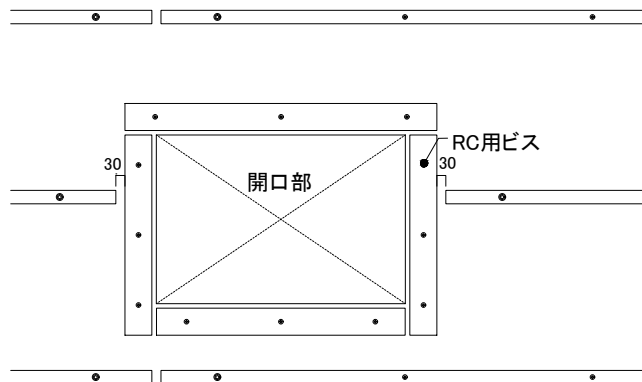
センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	ビス	縦	横胴縁@606mm以下

2) 胴縁概要図

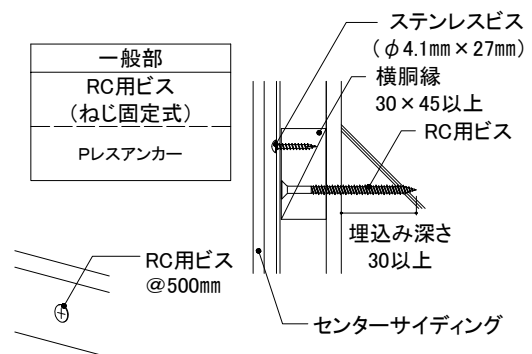
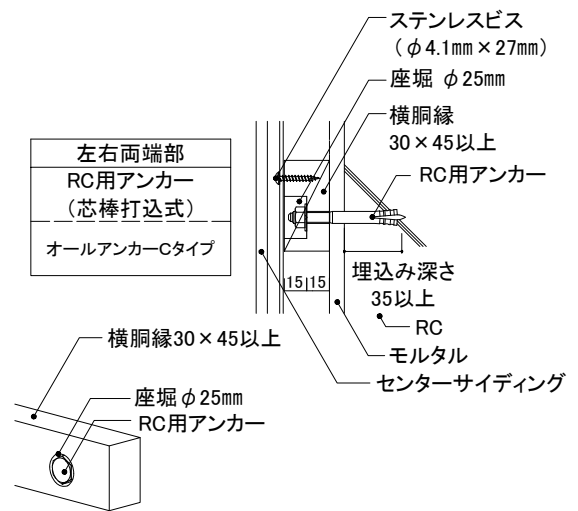
- 木胴縁はRC用ビスを用い、500mm以下の間隔で留め付けます。ただし、木胴縁1本につき両端部の2ヶ所はRC用アンカーとします。
- センターサイディングとの干渉を防ぐため、木胴縁にはあらかじめRC用アンカー部分にφ25mm、深さ15mm程度の座掘をします。
- 出隅部・開口部まわりの木胴縁は、RC用ビスで留め付けます。
- 木胴縁の長さが1m未満の場合、RC用アンカーは1ヶ所留めとします。
- RC外壁がモルタルで仕上げられている場合などは、モルタルの塗り厚さに注意し、RC用アンカー・ビスのサイズを選定します。
- RC用アンカー・ビスの設定は、物件ごとに既存壁に対するアンカー・ビスの引っ張り荷重確認を行い、決定します。



開口部まわり(現場調達開口部材納めの例)

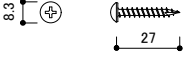
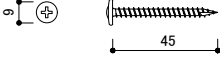
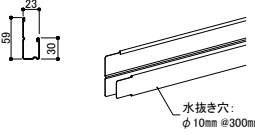
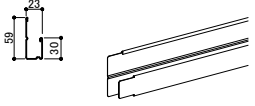
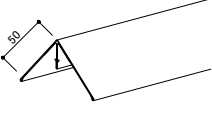
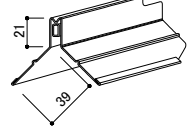
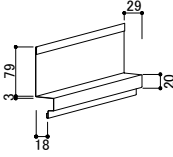
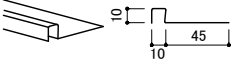
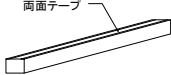
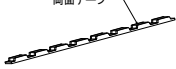

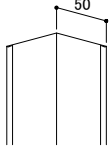


※開口部まわりは、RC用ビスで留め付けてください。



センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	ビス	縦	横胴縁@606mm以下

3) 主要部材一覧

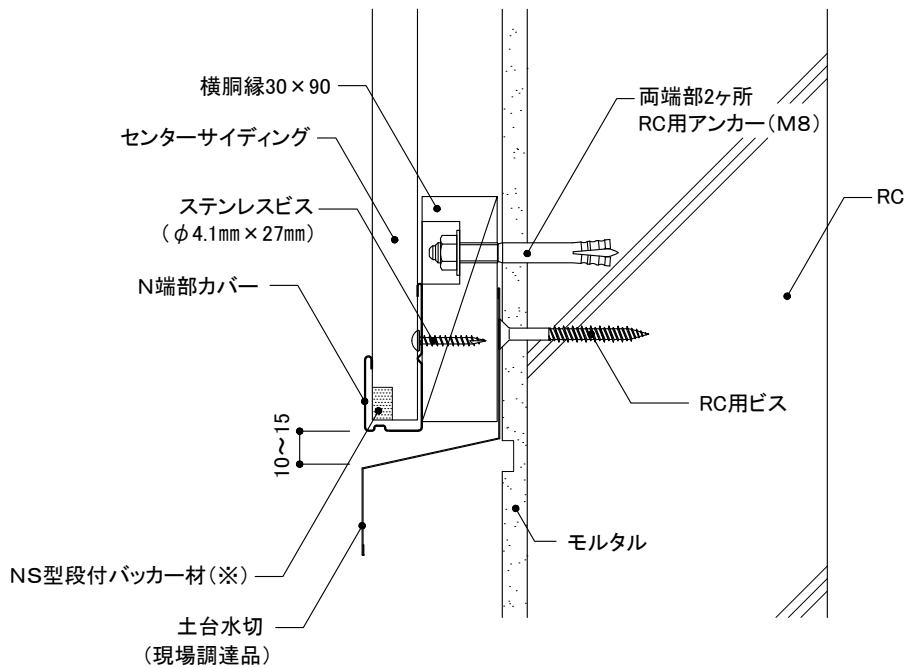
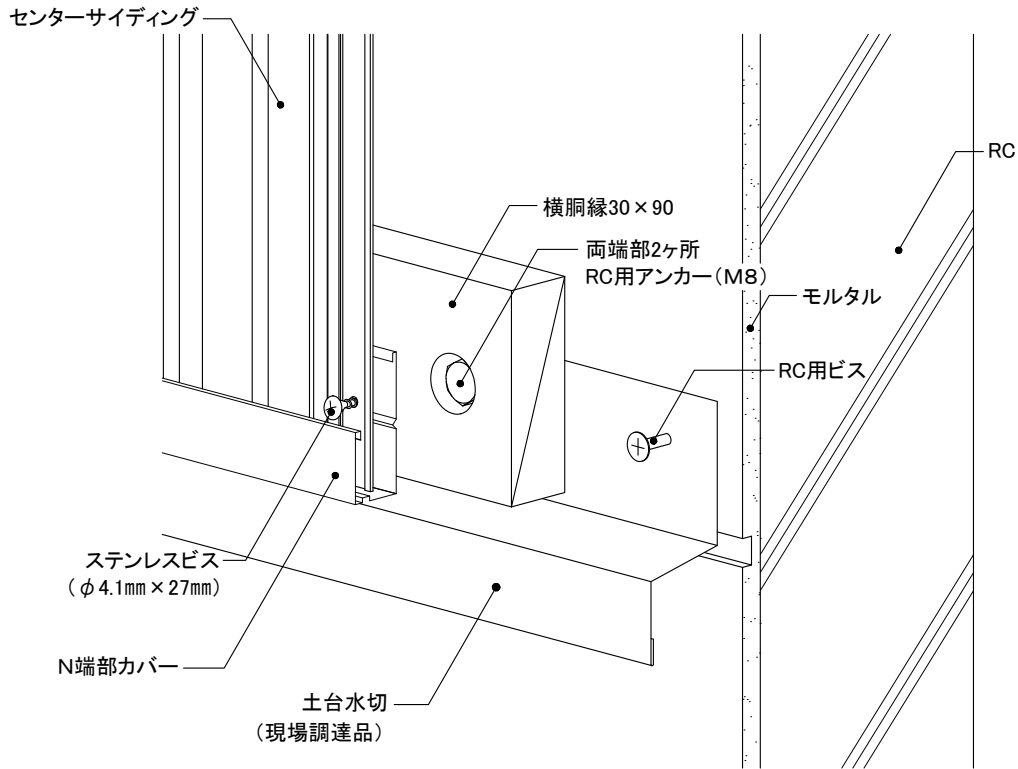
<p>■専用ビス (本体実部留付用)</p>  <p>ステンレスビス 【品番:JK1710】 材質:ステンレス サイズ:φ4.1mm×27mm</p>	<p>■専用ビス (本体表面留付用)</p>  <p>ステンレスビス 【品番:JK1720】 材質:ステンレス サイズ:φ4.1mm×45mm</p>	<p>■端部カバー</p>  <p>N端部カバー 【品番:AMKFF0**】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.35mm 長さ:3.030mm 水抜き穴:φ10mm @300mm</p>	<p>■見切縁</p>  <p>N見切縁18 【品番:AMKEF0**】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.35mm 長さ:3.030mm</p>
<p>■出隅カバー</p>  <p>S出隅カバー 【品番:ADS2*0**】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.35mm 長さ:3.030mm</p>	<p>■出隅鋼板受け</p>  <p>S出隅鋼板受け18 【品番:ADU1F00A】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 長さ:3.030mm</p>	<p>■中間水切</p>  <p>中間水切18 【品番:ATM6F0**】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.35mm 長さ:3.030mm</p>	<p>■片ハットジョイナー</p>  <p>片ハットジョイナー10 【品番:FHK1110R】 材質:フッ素樹脂コート 高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.3mm 長さ:2.000mm 表面色:クリアレッド着色</p>
<p>■バック材</p>  <p>CSバック材 【品番:ABK5Q0J3】 材質:EPDM 幅:11.5mm 厚み:13mm 長さ:2.000mm</p>	<p>■段付バック材</p>  <p>NS型段付バック材 【品番:ABK4Q0J*】 材質:発泡ポリエチレン 幅:13mm 長さ:385mm</p>	<p>■見切コーナー</p>  <p>N見切コーナー 【品番:AMC****】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.35mm</p>	<p>■入隅50</p>  <p>入隅50 【品番:JR1900】 材質:高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.27mm 長さ:3.030mm</p>
<p>■RC用アンカー</p> <p>(現場調達品)</p> <p>木胴縁取り付け用</p> <p>外装リフォーム②RC・S造(ALC)編の 3-5 RC・S造(ALC) 金属(木)胴縁工法 各部材の施工をご参照ください。</p>	<p>■RC用ビス</p> <p>(現場調達品)</p> <p>木胴縁取り付け用</p> <p>外装リフォーム②RC・S造(ALC)編の 3-5 RC・S造(ALC) 金属(木)胴縁工法 各部材の施工をご参照ください。</p>		

※各部材は、2022年3月時点のものです。最新の情報はNICHIIHA内外装建材総合カタログでご確認ください。

センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	ビス	縦	横胴縁@606mm以下

4) 土台部

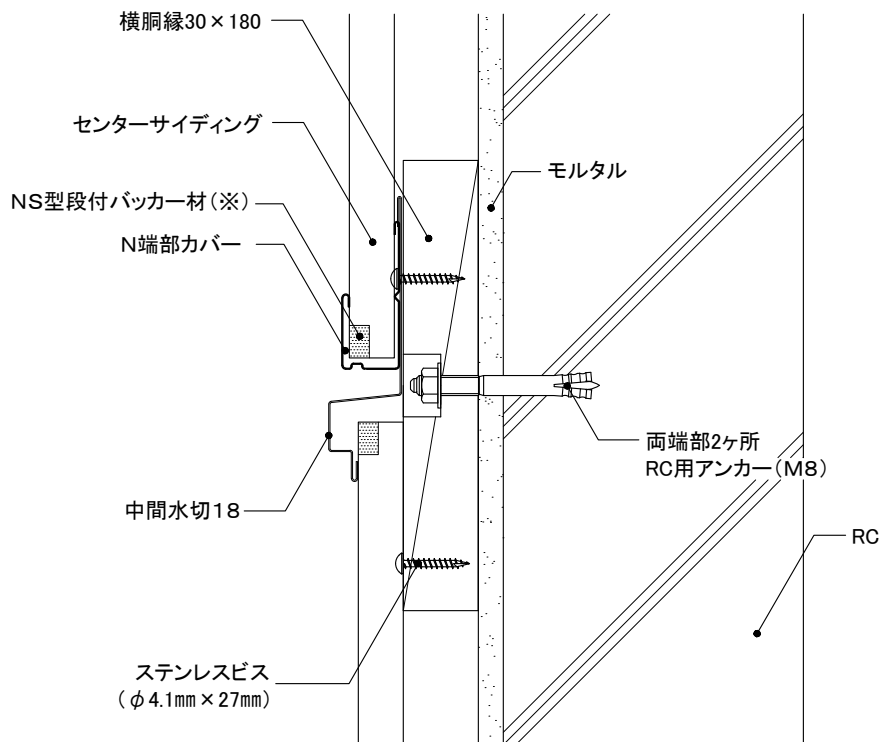
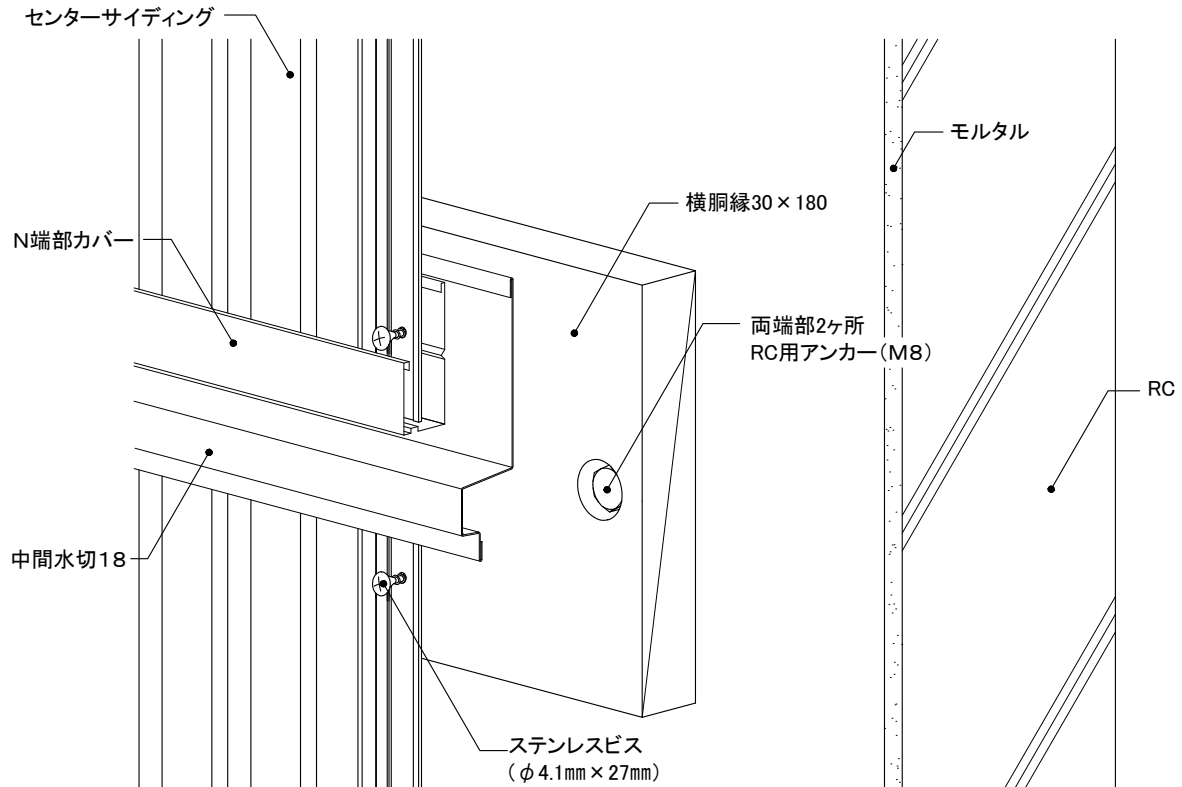
- 土台水切をRC用ビスで留め付けてから、木胴縁を施工します。
- センターサイディング下端と土台水切の間は、10～15mm程度の隙間を設けます。
- 各センターサイディング端部は必要に応じてNS型段付バック材を貼り付けます。(※)



センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	ビス	縦	横胴縁@606mm以下

5) 上下接合部

- センターサイディングはステンレスビス(φ4.1mm×27mm)で留め付けます。
- 各センターサイディング端部は必要に応じてNS型段付バッカー材を貼り付けます。(※)

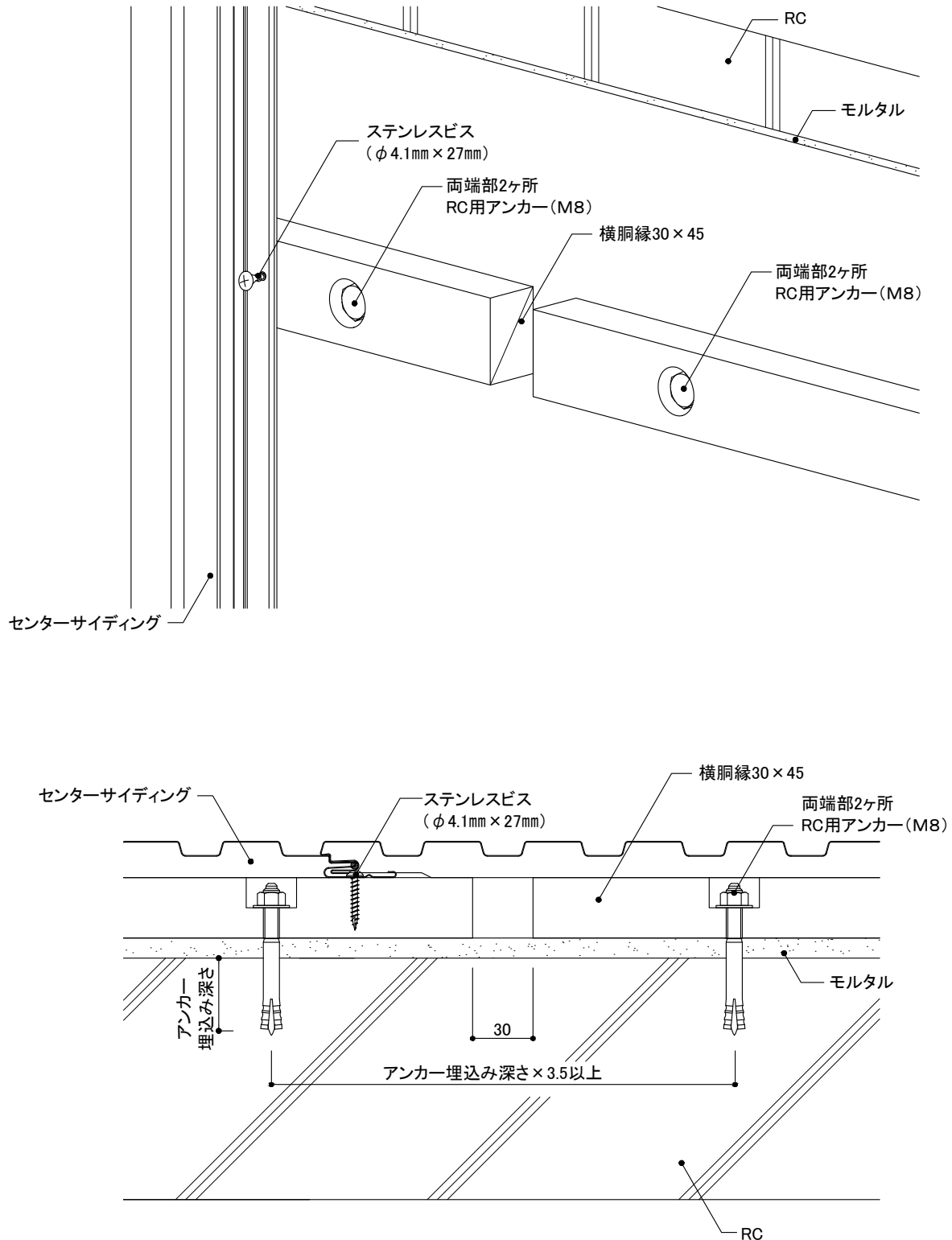


センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	ビス	縦	横胴縁@606mm以下

6) 左右接合部

① 胴縁

- 横胴縁接合部は、必ず通気ができるように30mm程度の隙間を設け、胴縁1本につき両端部の2ヶ所をRC用アンカーとします。
- センターサイディングは、ステンレスビス(φ4.1mm×27mm)で実部に留め付けます。

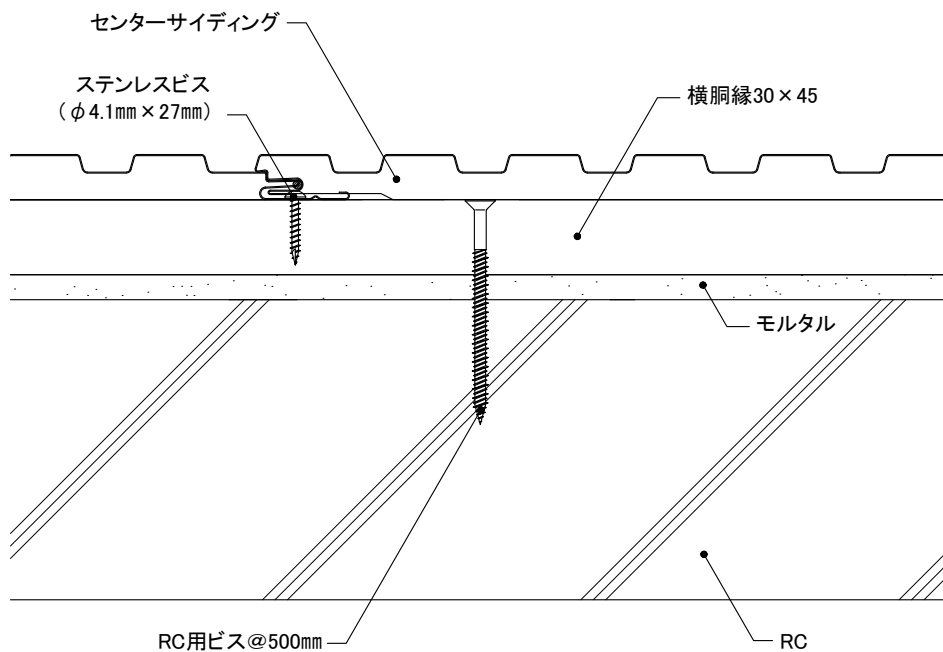
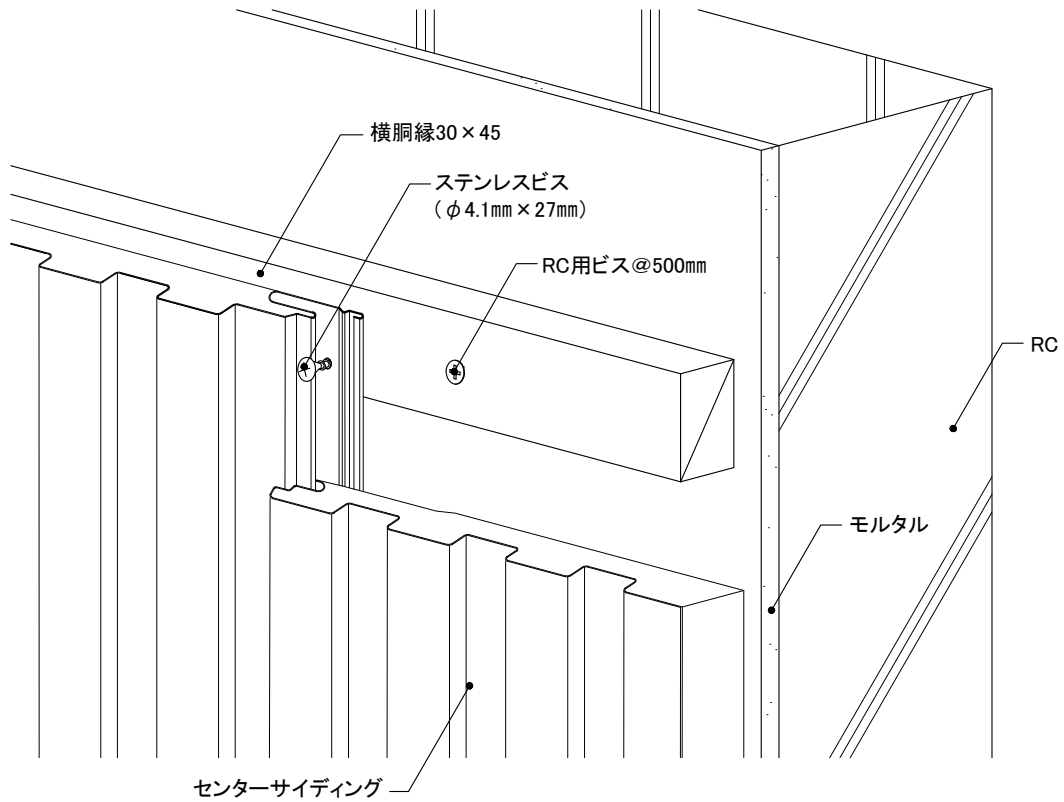


センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	ビス	縦	横胴縁@606mm以下

6) 左右接合部

②センターサイディング

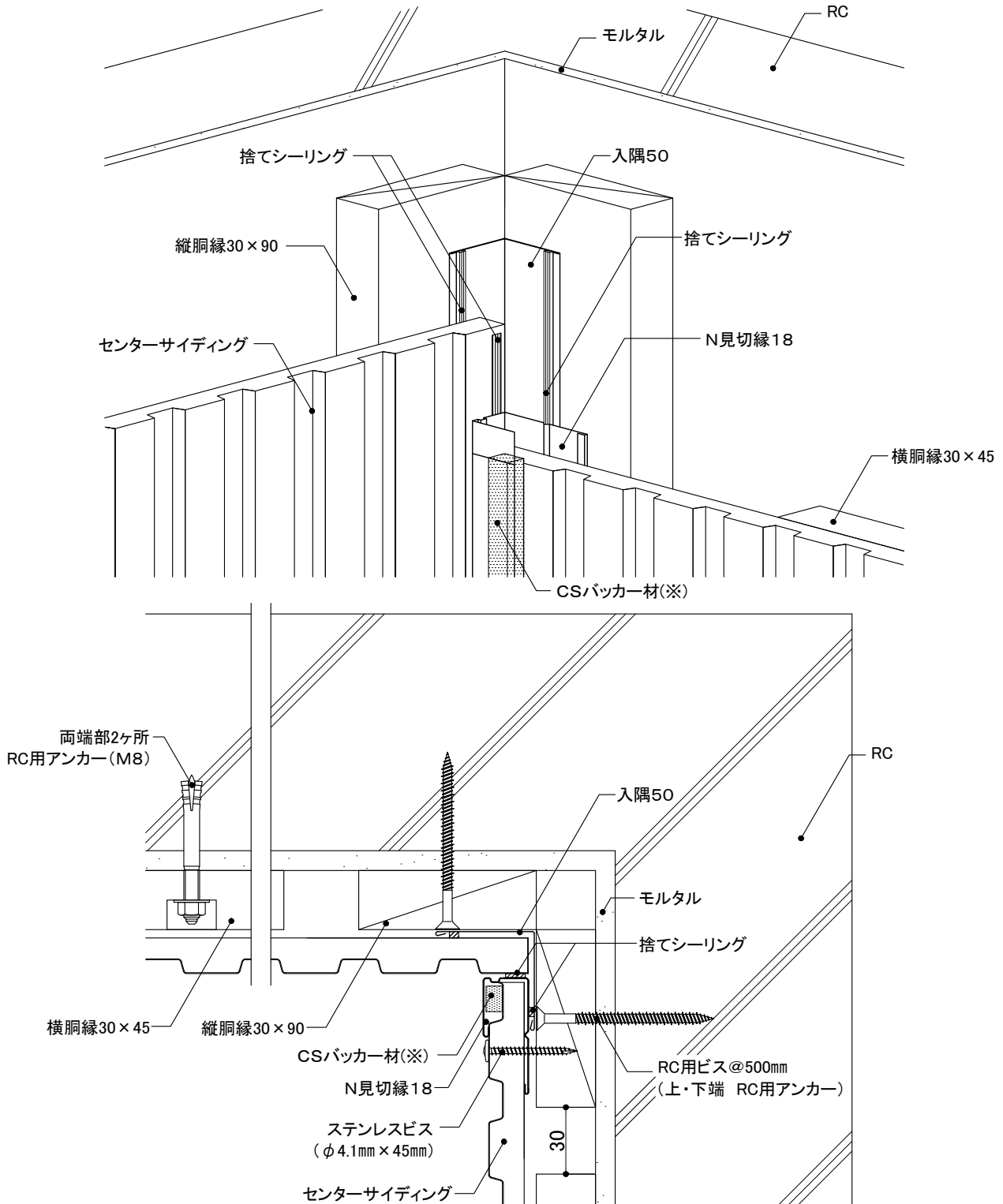
●センターサイディングは、ステンレスビス(φ4.1mm×27mm)で実部に留め付けます。



センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	ビス	縦	横胴縁@606mm以下

7) 入隅部

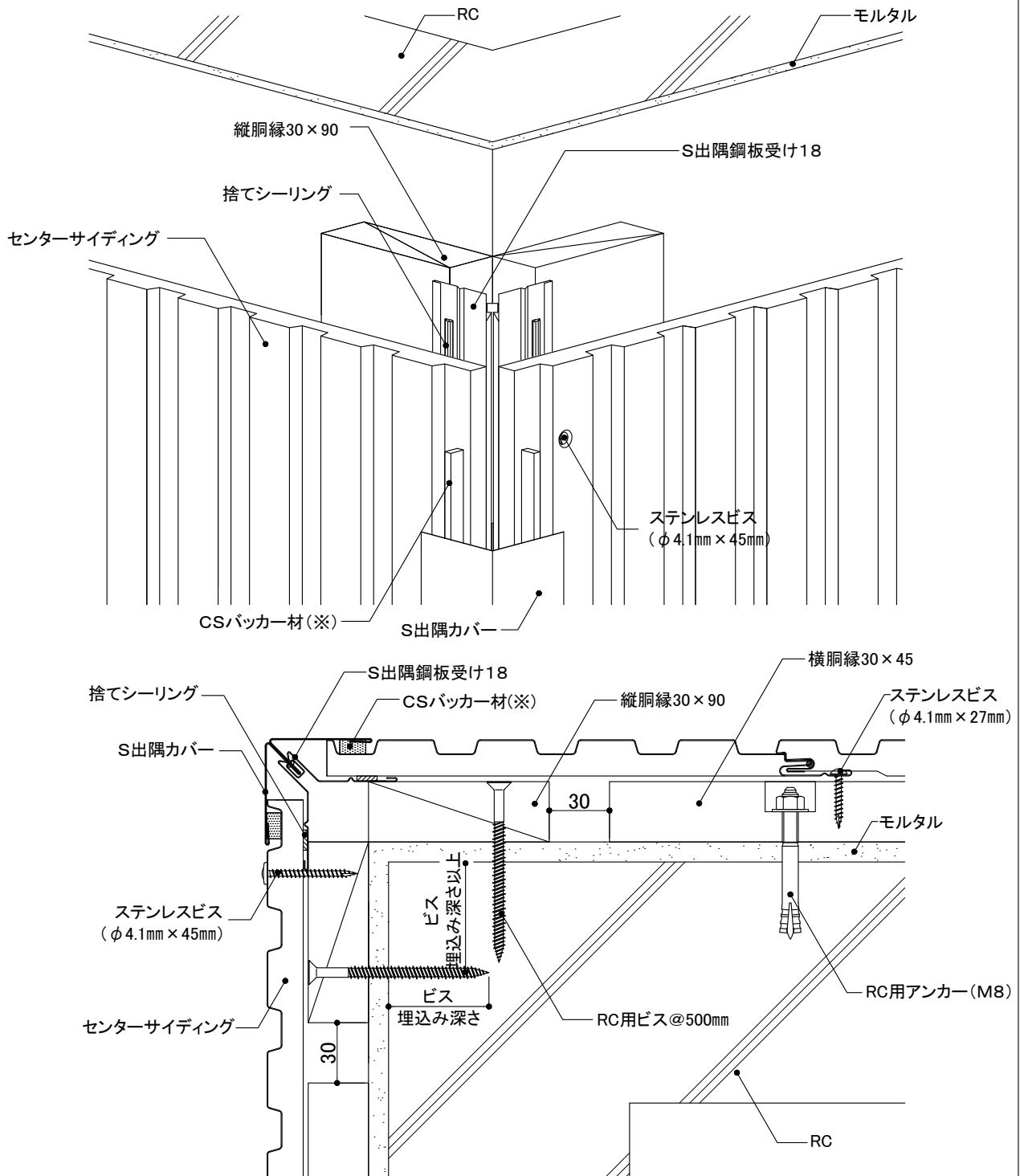
- 入隅部は、倍幅90mm以上の木胴縁を取り付けます。
- センターサイディングは、ステンレスビス(φ4.1mm×27mm)で留め付けます。
- センターサイディングの実部に留め付けができない場合は、表面からステンレスビス(φ4.1mm×45mm)で留め付けます。
- 各センターサイディング端部は必要に応じてCSバッカー材を貼り付けます。(※)



センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	ビス	縦	横胴縁@606mm以下

8) 出隅部

- S出隅鋼板受け18を取り付け、捨てシーリングを施工します。センターサイディングをステンレスビス (φ4.1mm×27mm)で留め付けます。
- センターサイディングの実部に留め付けができない場合は、表面からステンレスビス(φ4.1mm×45mm)で留め付けます。
- センターサイディングの施工後、CS出隅カバーを差し込みます。
- 各センターサイディング端部は必要に応じてCSバック材を貼り付けます。(※)

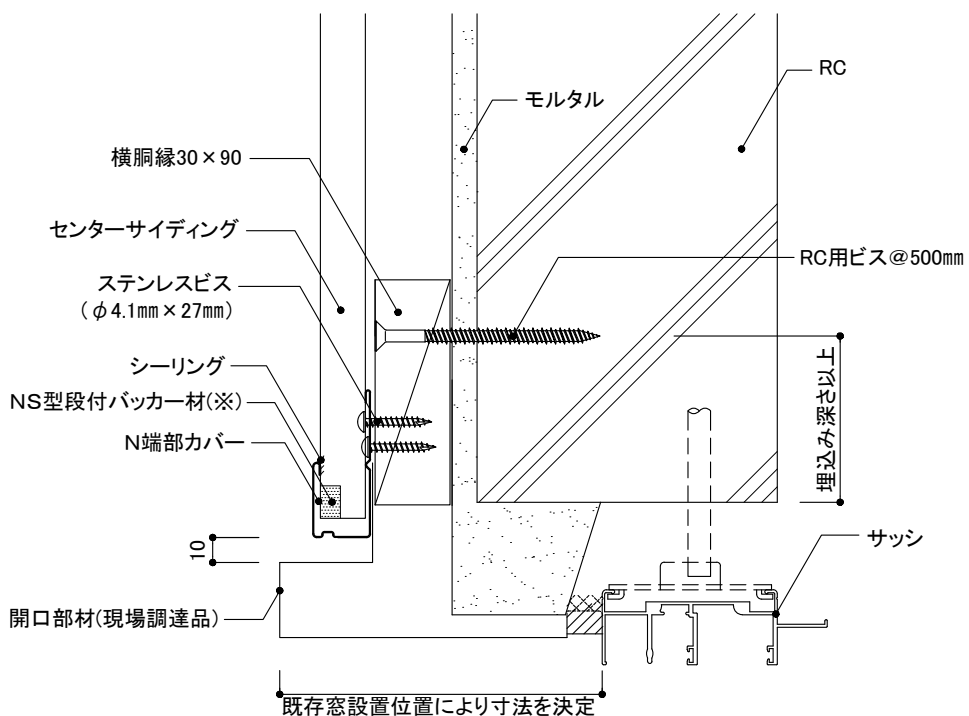
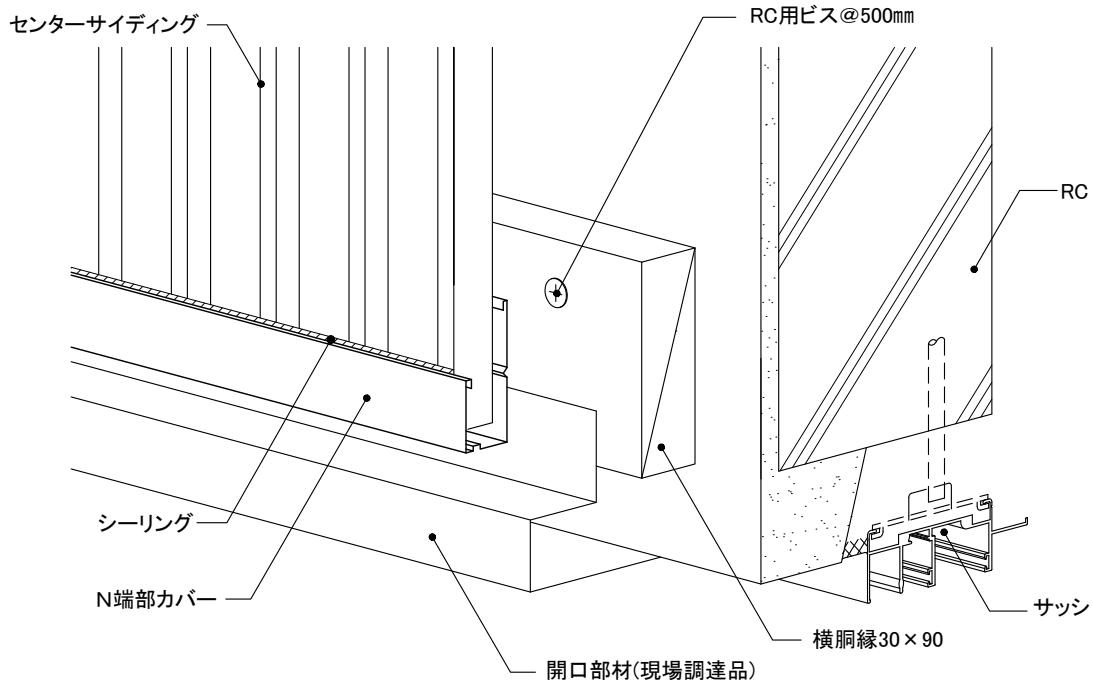


センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	ビス	縦	横胴縁@606mm以下

9) 開口部

① 上側

- 開口部まわりには、必要に応じて倍幅90mm以上の木胴縁を取り付けます。
- 開口部まわりの開口部材は、既存建物のサッシ形状に合わせて、板金やアルミ加工品を取り付けます。
- 開口部材内部に水が溜まるおそれのある場合は、開口部材に適宜水抜き孔を設けます。
- センターサイディング端部はNS型段付パッカー材を貼り付けます。(※)
- センターサイディングとN端部カバーの取り合い部にシーリングを施工します。

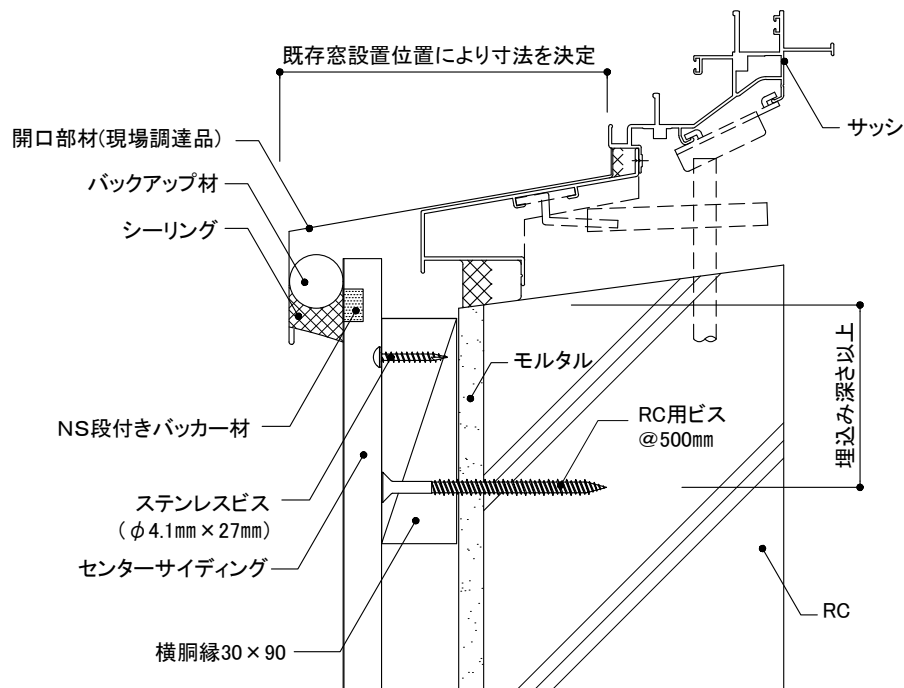
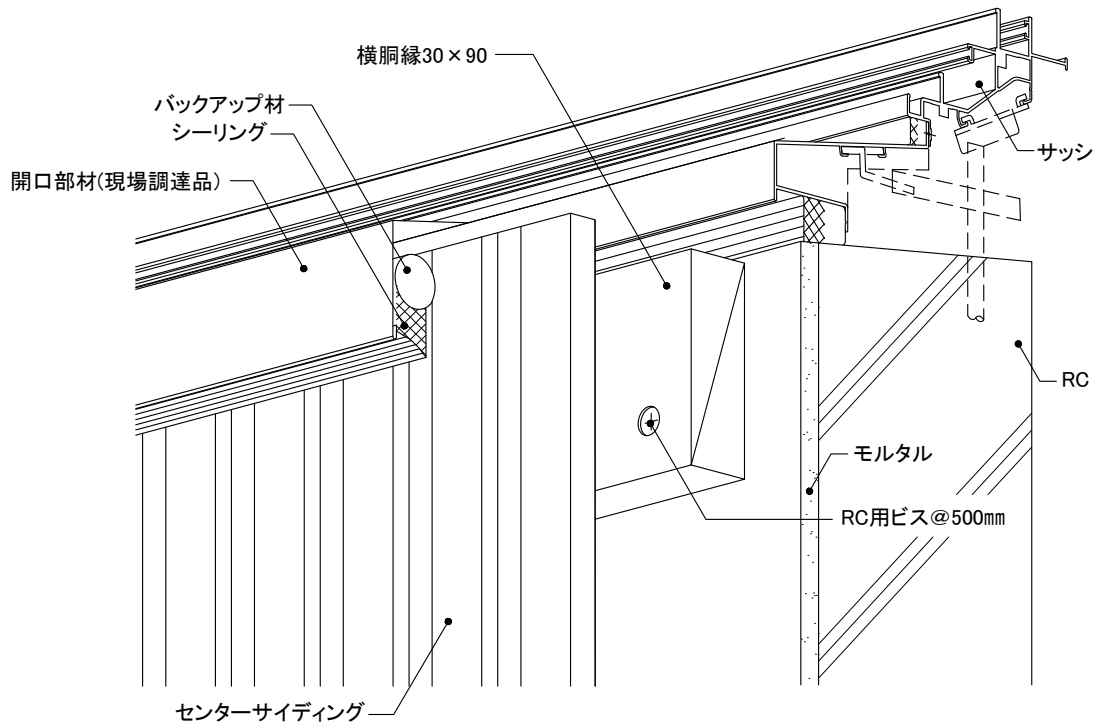


センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	ビス	縦	横胴縁@606mm以下

9) 開口部

② 下側

- 開口部まわりには、必要に応じて倍幅90mm以上の木胴縁を取り付けます。
- 開口部まわりの開口部材は、既存建物のサッシ形状に合わせて、板金やアルミ加工品を取り付けます。
- センターサイディング端部はNS型段付バック材を貼り付けます。

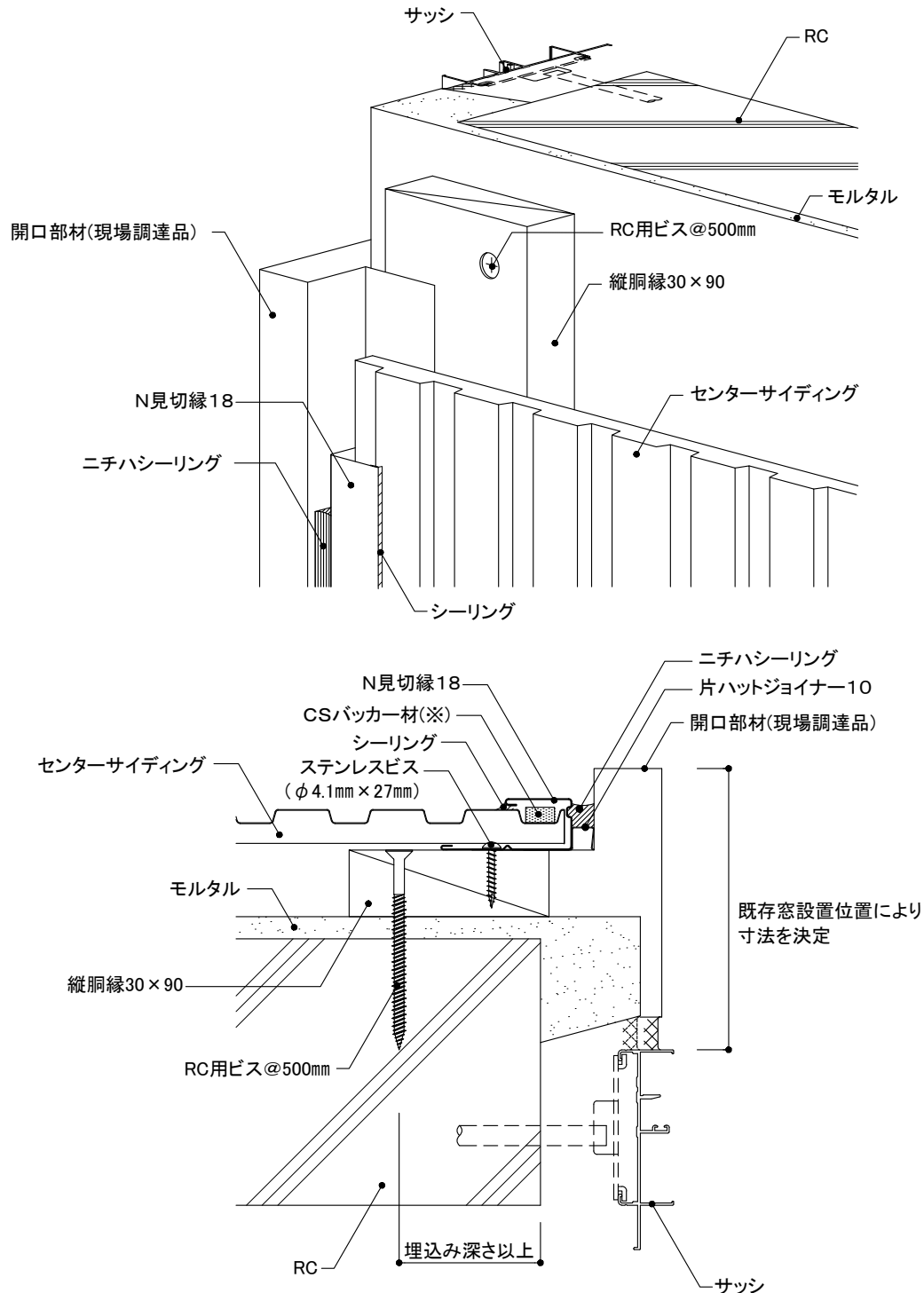


センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
		RC 木胴縁工法	ビス	縦

10) 開口部

③ 左右側

- 開口部まわりには、必要に応じて倍幅90mm以上の木胴縁を取り付けます。
- 開口部まわりの開口部材は、既存建物のサッシ形状に合わせて、板金やアルミ加工品を取り付けます。
- センターサイディング端部が柄凹部となる場合、CSバッカー材を貼り付けます。(※)
- センターサイディングとN見切縁18の取り合い部にシーリングを施工します。

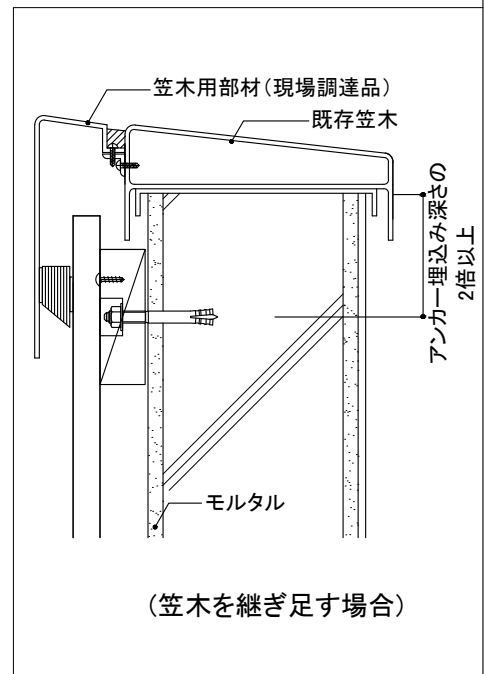
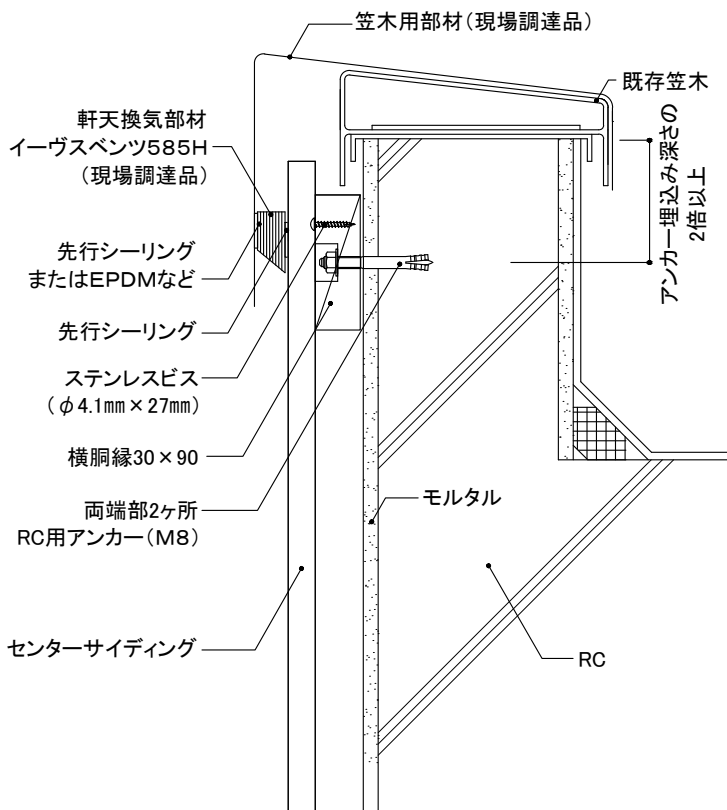
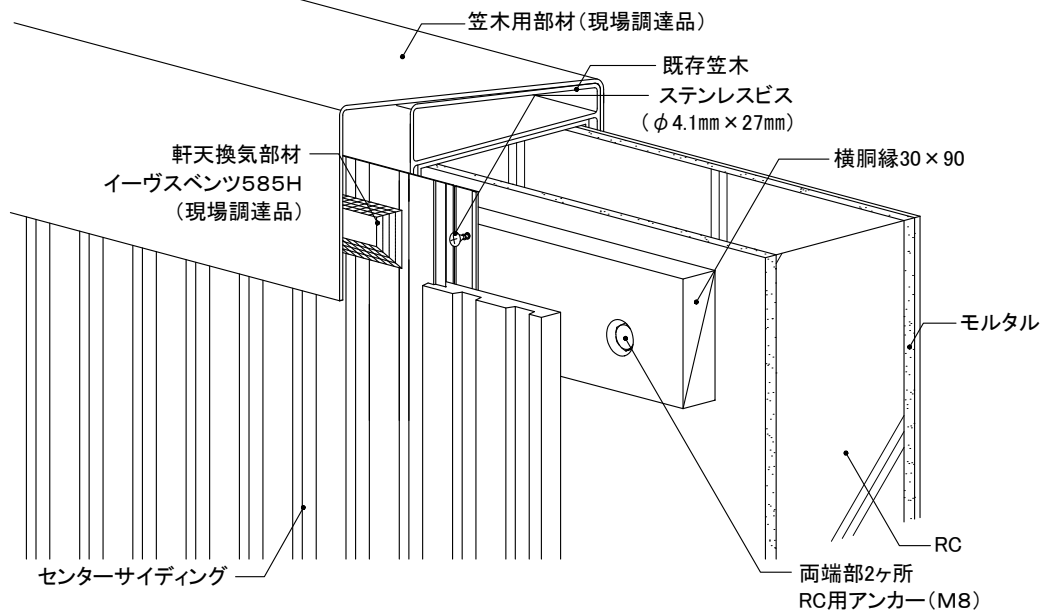


センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	ビス	縦	横胴縁@606mm以下

10) 笠木部

- 笠木用部材は、現場調達により、既存笠木全体にかぶせる、継ぎ足す、あるいは既存笠木を取り外し、あらたに取り付けます。
- 上端部には通気確保のため、イーヴスペンツ585Hを用いて施工します。

(笠木をかぶせる場合)



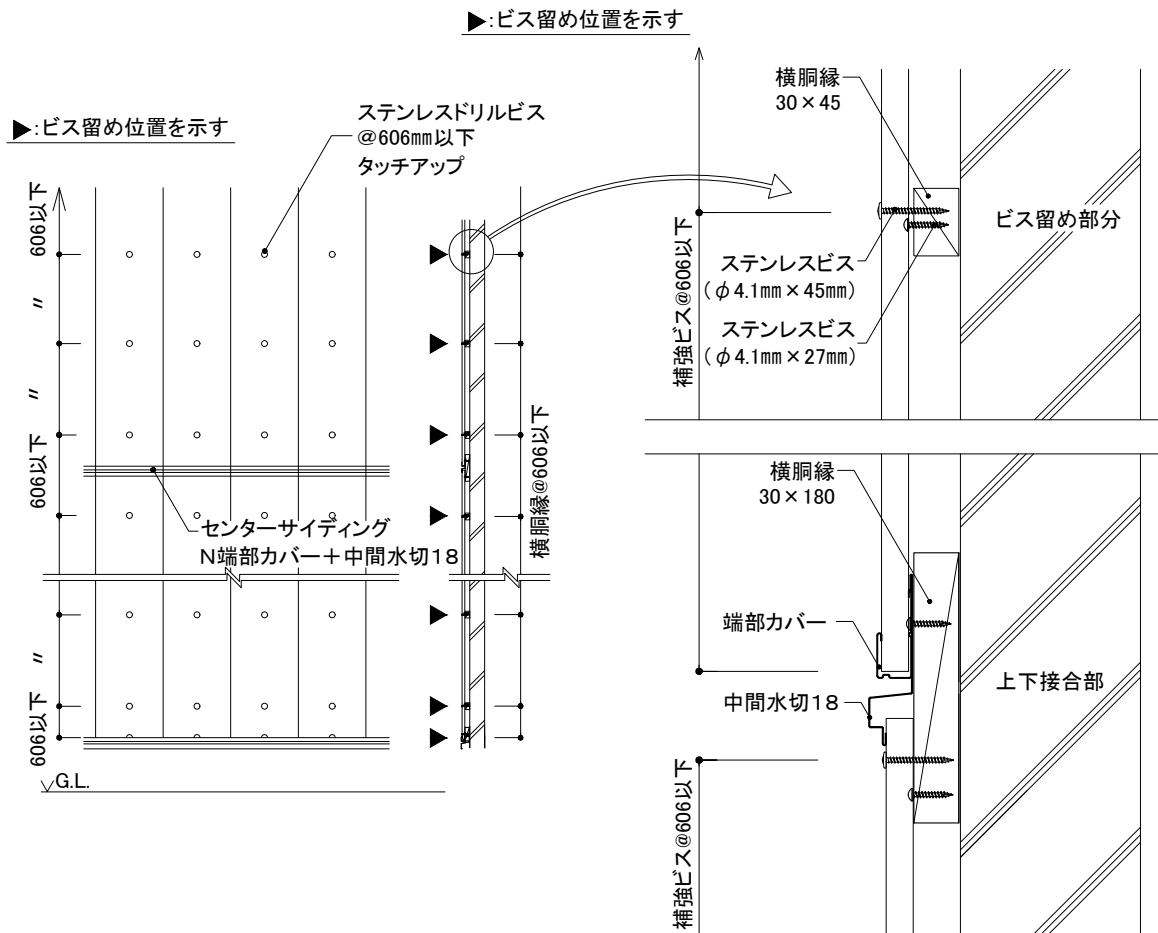
(笠木を継ぎ足す場合)

センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	ビス	縦	横胴縁@606mm以下

11) 補強工法による施工

「1-1適用条件 3) 適合地域 耐風圧条件(P21)」において、『補強工法』で施工する場合は以下の施工法とします。

- 補強工法部分は、センターサイディング表面からのビス留めによる補強を行います。
- ステンレスビス(φ4.1mm×45mm)を用い、胴縁ごと(606mm以下)の間隔で留め付けます。
- ビス留め位置は、センターサイディングの幅の中央とします。
- ビス頭の補修は、専用補修塗料を必要最小限の範囲に塗布します。



11 各部の納まり詳細図

S造(ALC厚100mm)

木胴縁工法

センターサイディング
横張り

ビス留め施工

1)基本構成図	構成断面
2)胴縁概要図	
3)主要部材一覧	
4)土台部	
5)上下接合部	①胴縁 ②センターサイディング
6)左右接合部	
7)入隅部	
8)出隅部	
9)開口部	①上側 ②下側 ③左右側
10)笠木部	
11)補強工法による施工	

本章は、基本的な納まり例を記載しています。注意事項、禁止事項をご理解いただいたうえで施工してください。

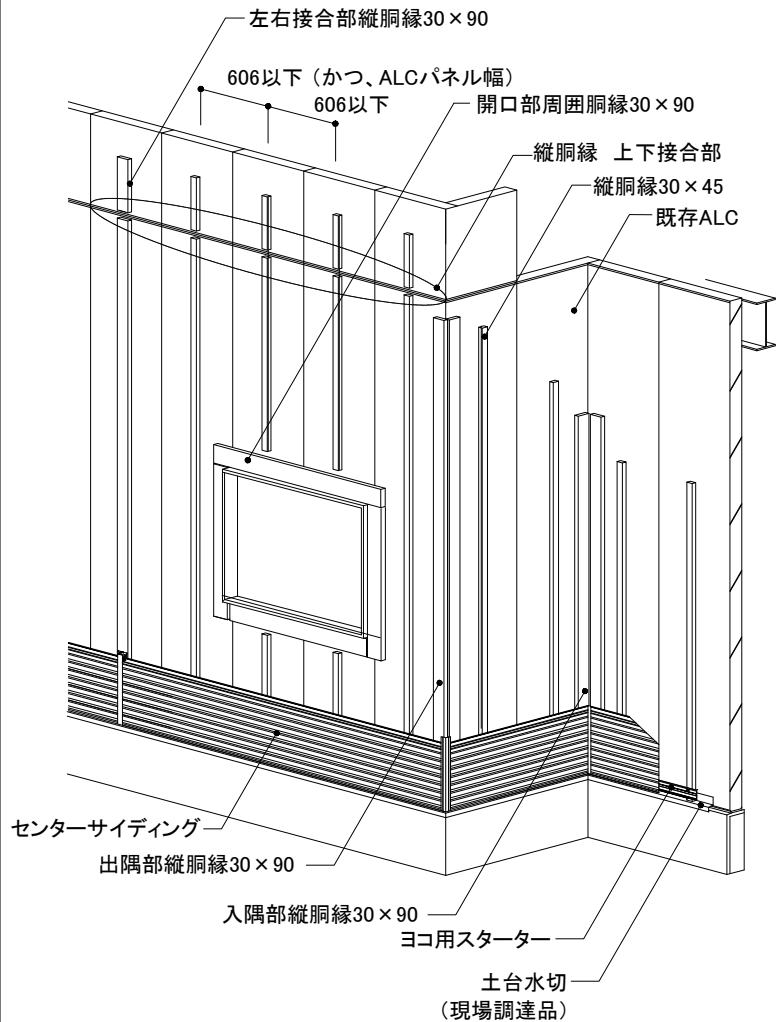
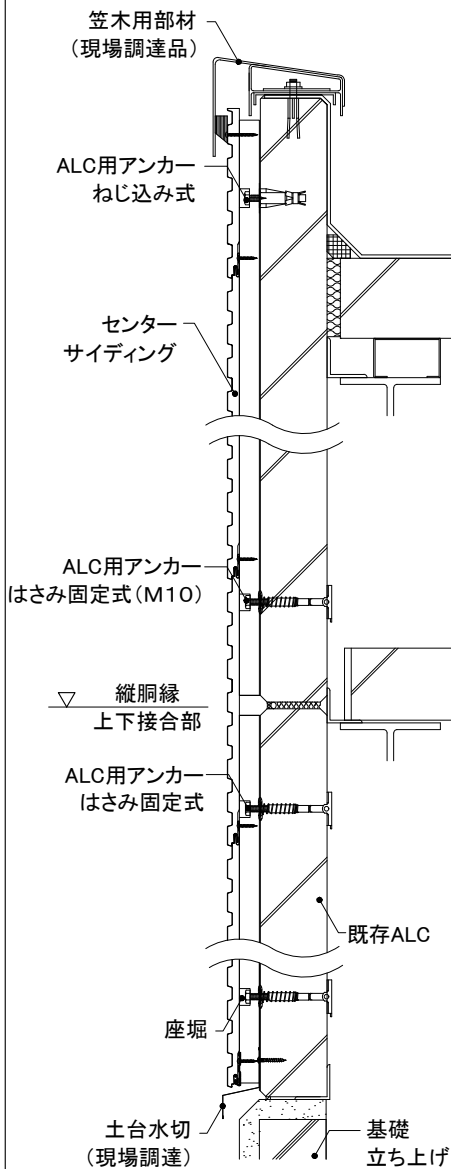
センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造 (ALC厚100mm) 木胴縁工法	ビス	横	縦胴縁@606mm以下

1) 基本構成図

構成断面

- 下地外壁材にひび割れなどが無い確認し、必要に応じて補修を行います。
- 下地は図のように、606mm以下の間隔で木胴縁を取り付けます。
- 左右接合部・入隅部・出隅部・開口部まわりなどには、必要に応じて倍幅90mm以上の木胴縁を使用します。
- ALCパネル上下ジョイント部は縦胴縁を通さずに、縁を切ります。

ALC用アンカーはさみ固定式が躯体・内装材に干渉する場合は、ALC用アンカーねじ込み式で施工します。

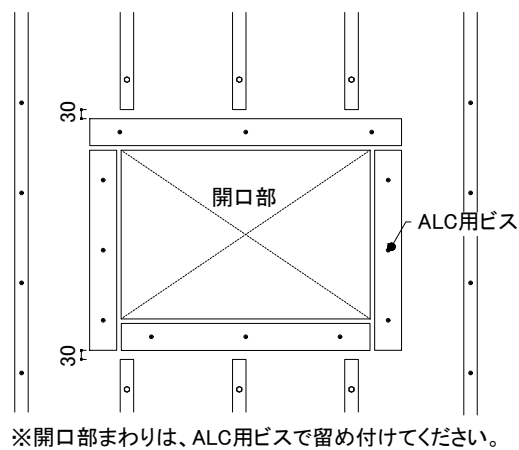
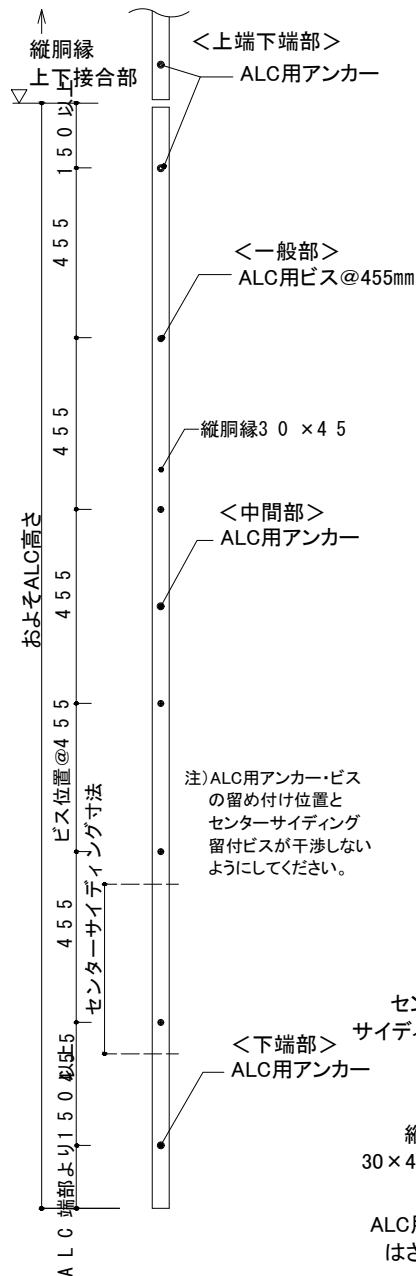


センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造(ALC厚100mm) 木胴縁工法	ビス	横	縦胴縁@606mm以下

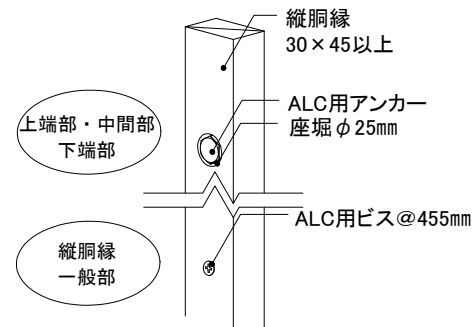
2) 胴縁概要図

- 木胴縁はALC用ビスを用い、455mm以下の間隔で留め付けます。ただし、木胴縁1本につき 上端部・中間部・下端部の3ヶ所をALC用アンカーとします。原則、ALC用アンカーはさみ固定式で取り付けますが、最低1ヶ所はALC用アンカーはさみ固定式を使用し、屋内側に躯体や内装材があり施工できない場合は、ALC用アンカーねじ込み式とします。
- 木胴縁の長さが1m未満の場合、ALC用アンカーはさみ固定式は1ヶ所留めとします。
- センターサイディングとの干渉を防ぐため、木胴縁にはあらかじめALC用アンカー部分にφ25mm、深さ15mm程度の座堀をします。
- 出隅部・開口部まわりの木胴縁は、ALC用ビスで留め付けます。
- ALC用アンカーでALCを貫通させた部分の周囲には、捨てシーリングを施工します。
- ALC用アンカー・ビスの設定は物件ごとに既存壁に対するアンカー・ビスの引っ張り荷重確認を行い決定します。

開口部まわり(現場調達開口部材納めの例)

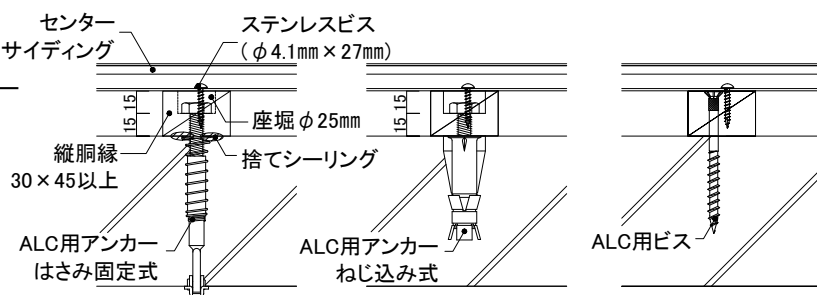


※開口部まわりは、ALC用ビスで留め付けてください。



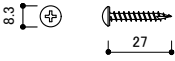
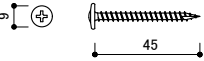
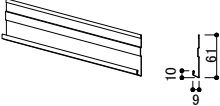
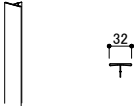
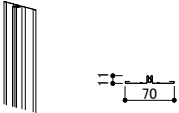
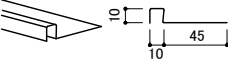
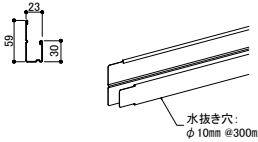
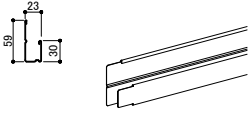
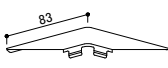
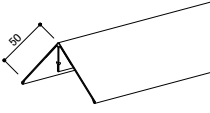
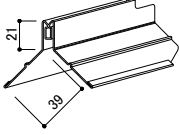
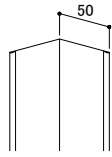
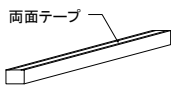

上端部・中間部・下端部	
ALC用アンカー (はさみ固定式)	ALC用アンカー (ねじ込み式)
ITハンガー	エーエルシーアンカー AXタイプ

一般部
ALC用ビス (ねじ固定式)
ALCドライブ



センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造(ALC厚100mm) 木胴縁工法	ビス	横	縦胴縁@606mm以下

3) 主要部材一覧

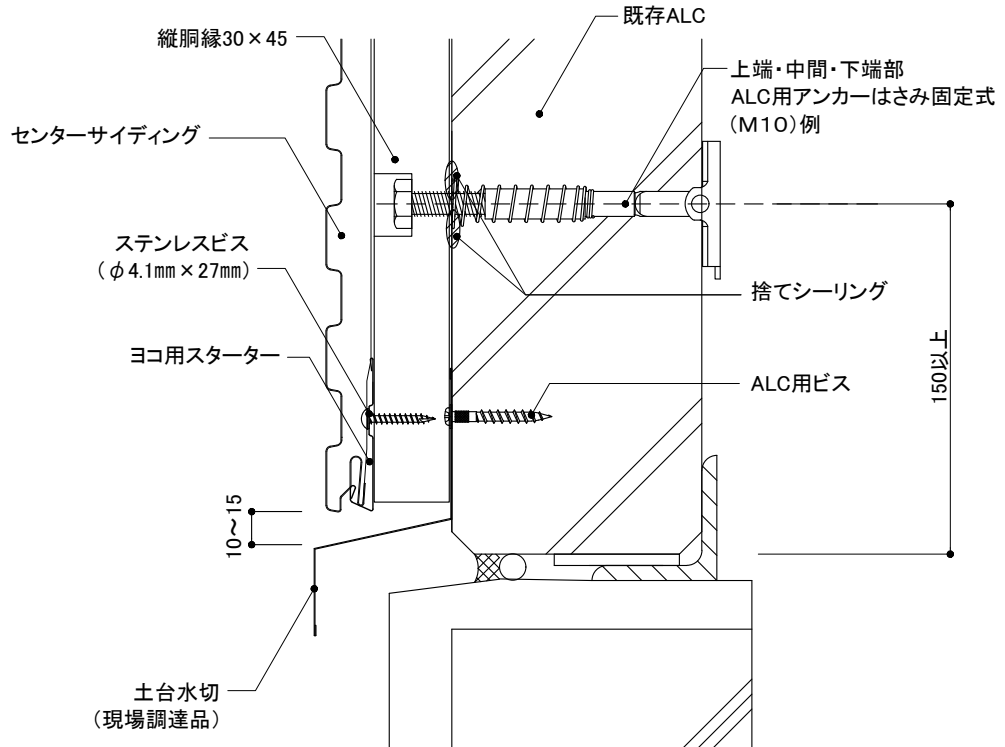
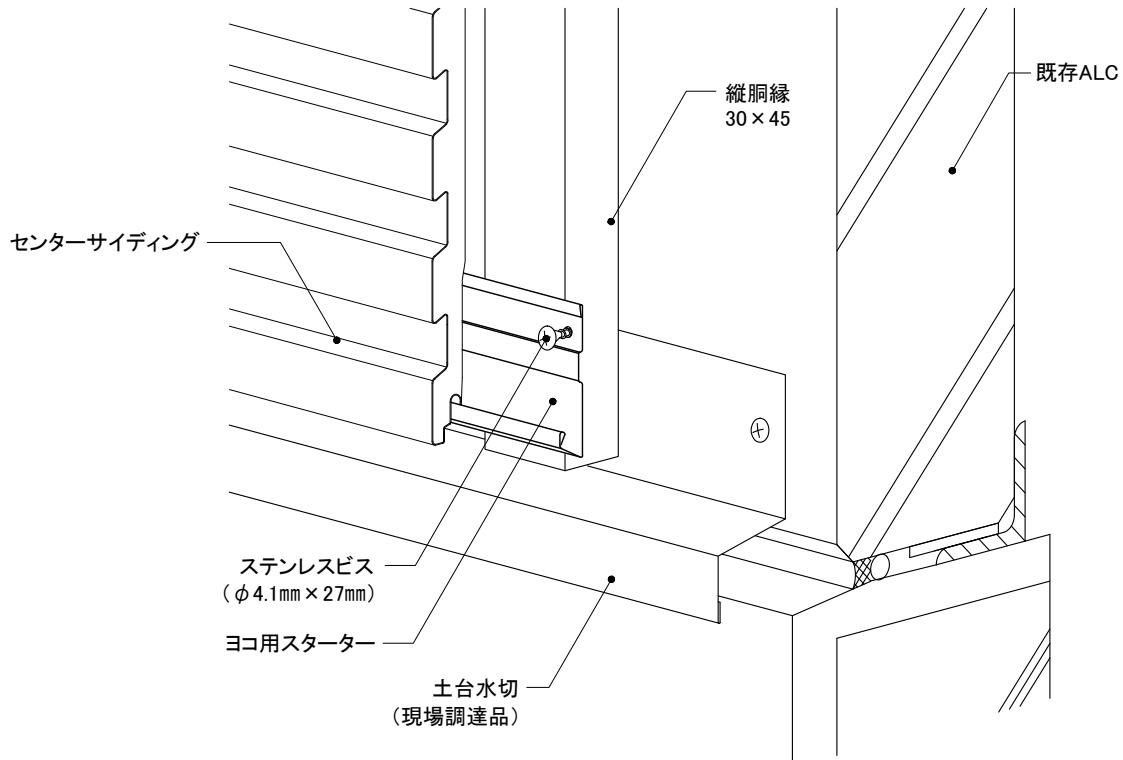
<p>■専用ビス (本体実部留付用)</p>  <p>ステンレスビス 【品番:JK1710】 材質:ステンレス サイズ:φ4.1mm×27mm</p>	<p>■専用ビス (本体表面留付用)</p>  <p>ステンレスビス 【品番:JK1720】 材質:ステンレス サイズ:φ4.1mm×45mm</p>	<p>■スターター</p>  <p>ヨコ用スターター 【品番:AST2F00A】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 長さ:3.030mm</p>	<p>■目地カバー</p>  <p>NS目地カバー 【品番:AMJ3F0**】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.35mm 長さ:3.030mm</p>
<p>■目地鋼板受け</p>  <p>目地鋼板受け 【品番:AMU6F00A】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 長さ:3.030mm</p>	<p>■片ハットジョイナー</p>  <p>片ハットジョイナー10 【品番:FHK1110R】 材質:フッ素樹脂コート 高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.3mm 長さ:2.000mm 表面色:クリアレッド着色</p>	<p>■端部カバー</p>  <p>N端部カバー 【品番:AMKFF0**】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.35mm 長さ:3.030mm 水抜き穴:φ10mm @300mm</p>	<p>■見切縁</p>  <p>N見切縁18 【品番:AMKEF0**】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.35mm 長さ:3.030mm</p>
<p>■見切コーナー</p>  <p>N見切コーナー 【品番:AMC****】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.35mm</p>	<p>■出隅カバー</p>  <p>S出隅カバー 【品番:ADS2F0**】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.35mm 長さ:3.030mm</p>	<p>■出隅鋼板受け</p>  <p>S出隅鋼板受け18 【品番:ADU1F00A】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 長さ:3.030mm</p>	<p>■入隅50</p>  <p>入隅50 【品番:JR1900】 材質:高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.27mm 長さ:3.030mm</p>
<p>■バック材</p>  <p>CSバック材 【品番:ABK5Q0J3】 材質:EPDM 幅:11.5mm 厚み:13mm 長さ:2.000mm</p>	<p>■段付バック材</p>  <p>NS型段付バック材 【品番:ABK4Q0JL】 材質:発泡ポリエチレン 幅:13mm 長さ:385mm</p>	<p>■ALC用アンカー</p> <p>(現場調達品)</p> <p>木胴縁取り付け用</p> <p>外装リフォーム②RC・S造(ALC)編の 3-5 RC・S造(ALC) 金属(木)胴縁工法 各部材の施工をご参照ください。</p>	<p>■ALC用ビス</p> <p>(現場調達品)</p> <p>木胴縁取り付け用</p> <p>外装リフォーム②RC・S造(ALC)編の 3-5 RC・S造(ALC) 金属(木)胴縁工法 各部材の施工をご参照ください。</p>

※各部材は、2022年3月時点のものです。最新のNICHIA金属製外壁材・屋根材総合カタログでご確認ください。

センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造 (ALC厚100mm) 木胴縁工法	ビス	横	縦胴縁@606mm以下

4) 土台部

- 土台水切をALC用ビスで留め付けてから、木胴縁を施工します。
- ヨコ用スターターはステンレスビス(φ4.1mm×27mm)を用い、胴縁ごとに留め付けます。
- センターサイディング下端と土台水切の間は、10~15mm程度の隙間を設けます。

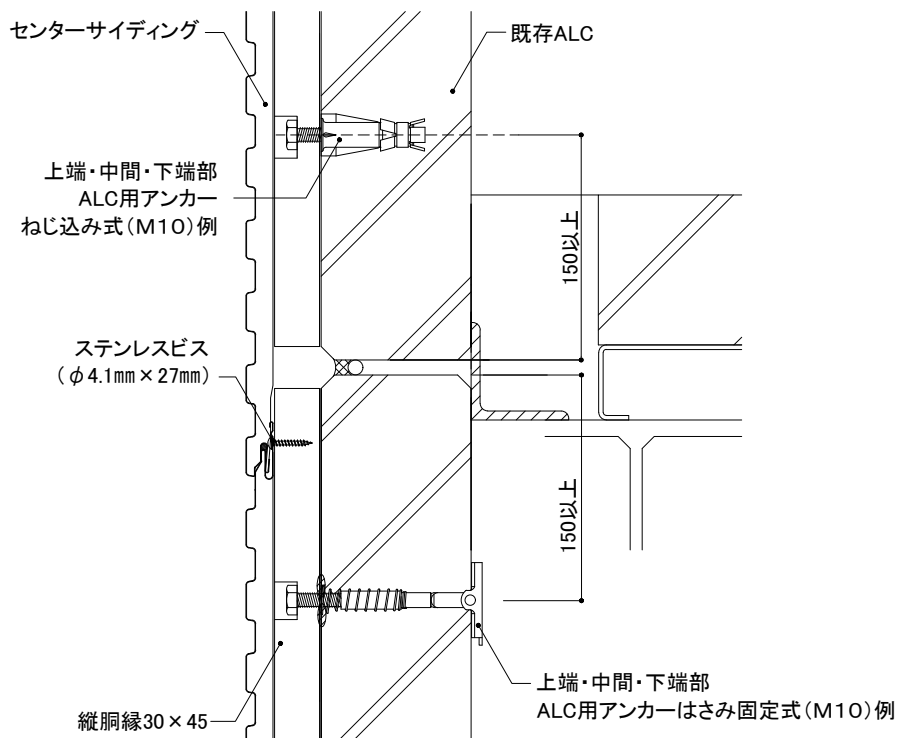
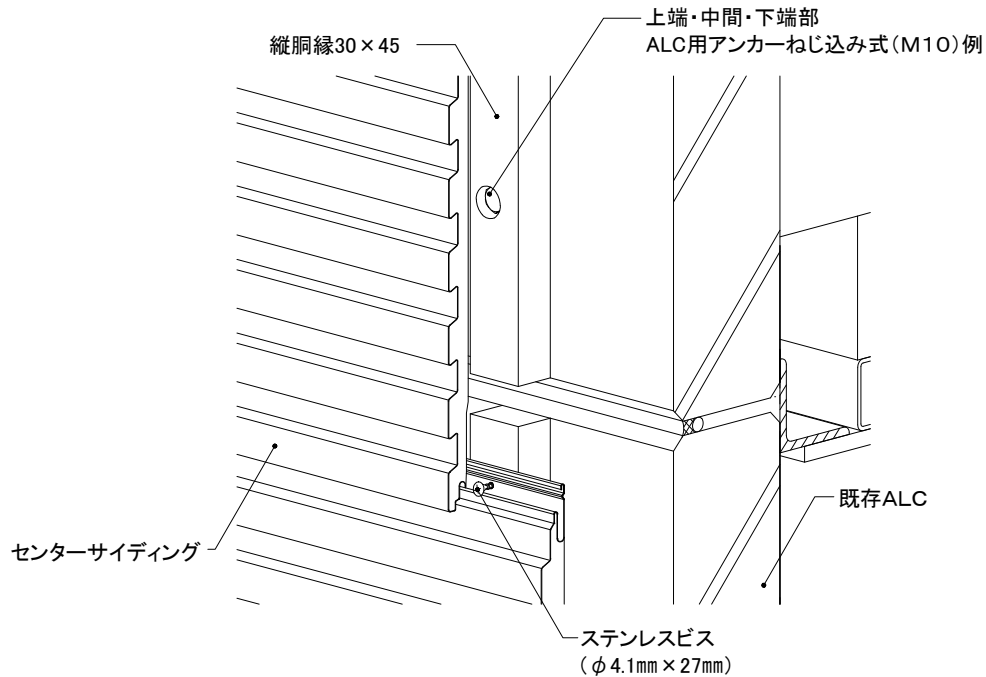


センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造 (ALC厚100mm) 木胴縁工法	ビス	横	縦胴縁@606mm以下

5) 上下接合部

① 胴縁

- ALCパネル上下ジョイント部は縦胴縁を通さずに、縁を切ります。
- 木胴縁の上下接合部に、センターサイディング嵌合部が干渉しないようにします。

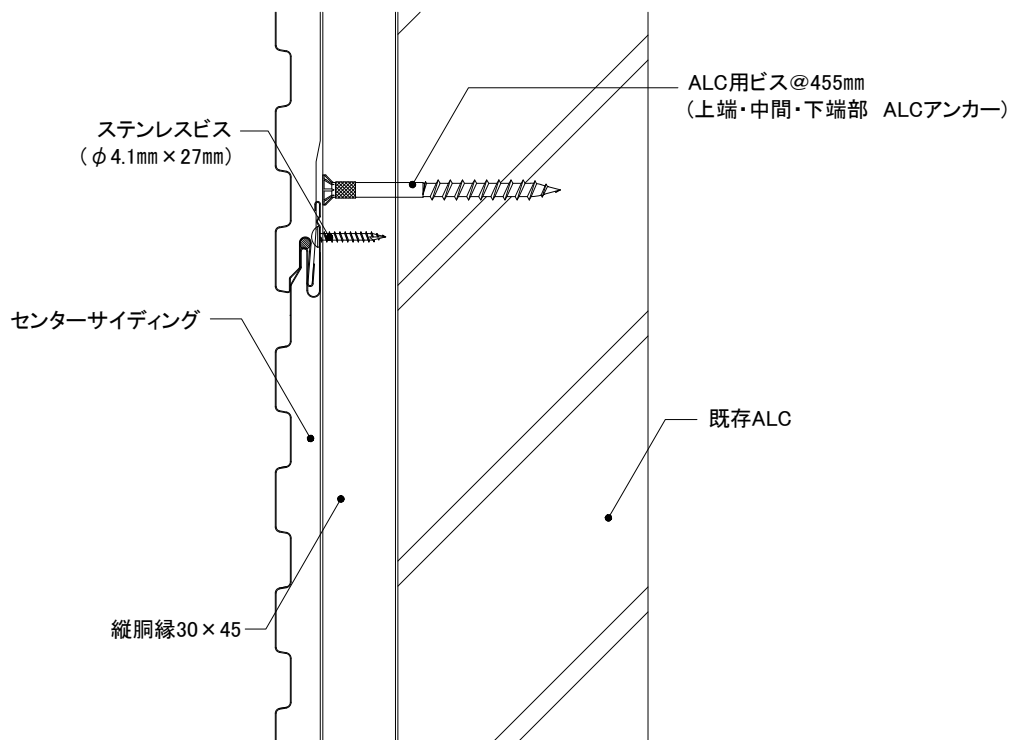
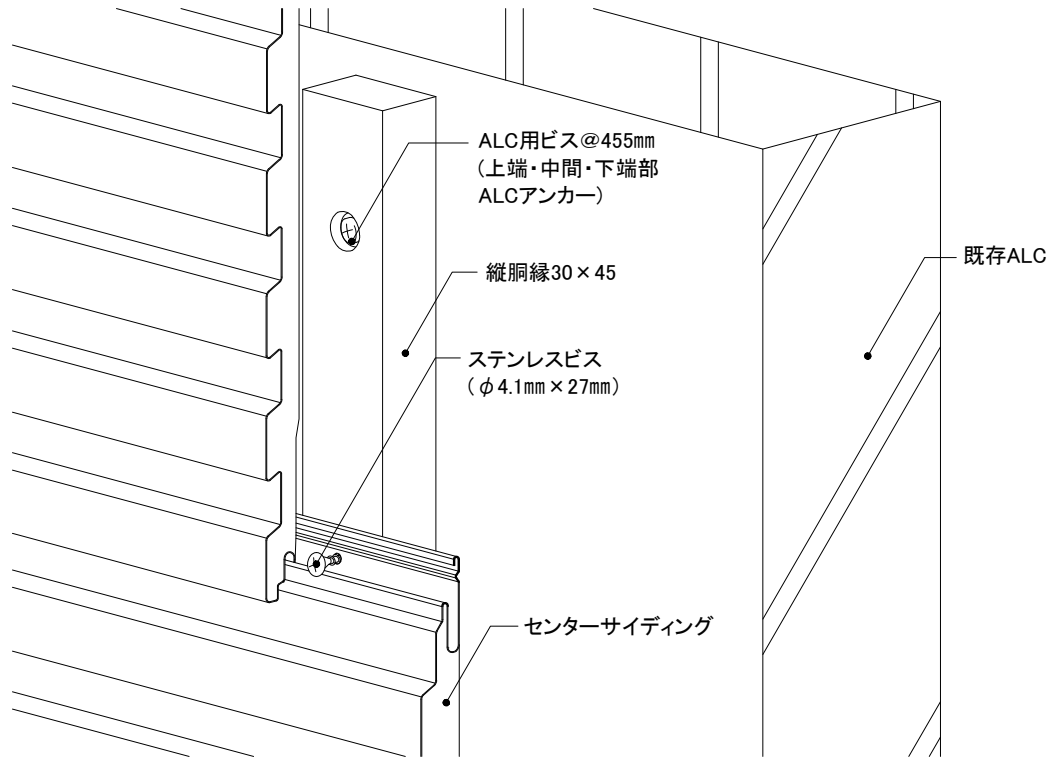


センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造 (ALC厚100mm) 木胴縁工法	ビス	横	縦胴縁@606mm以下

5) 上下接合部

②センターサイディング

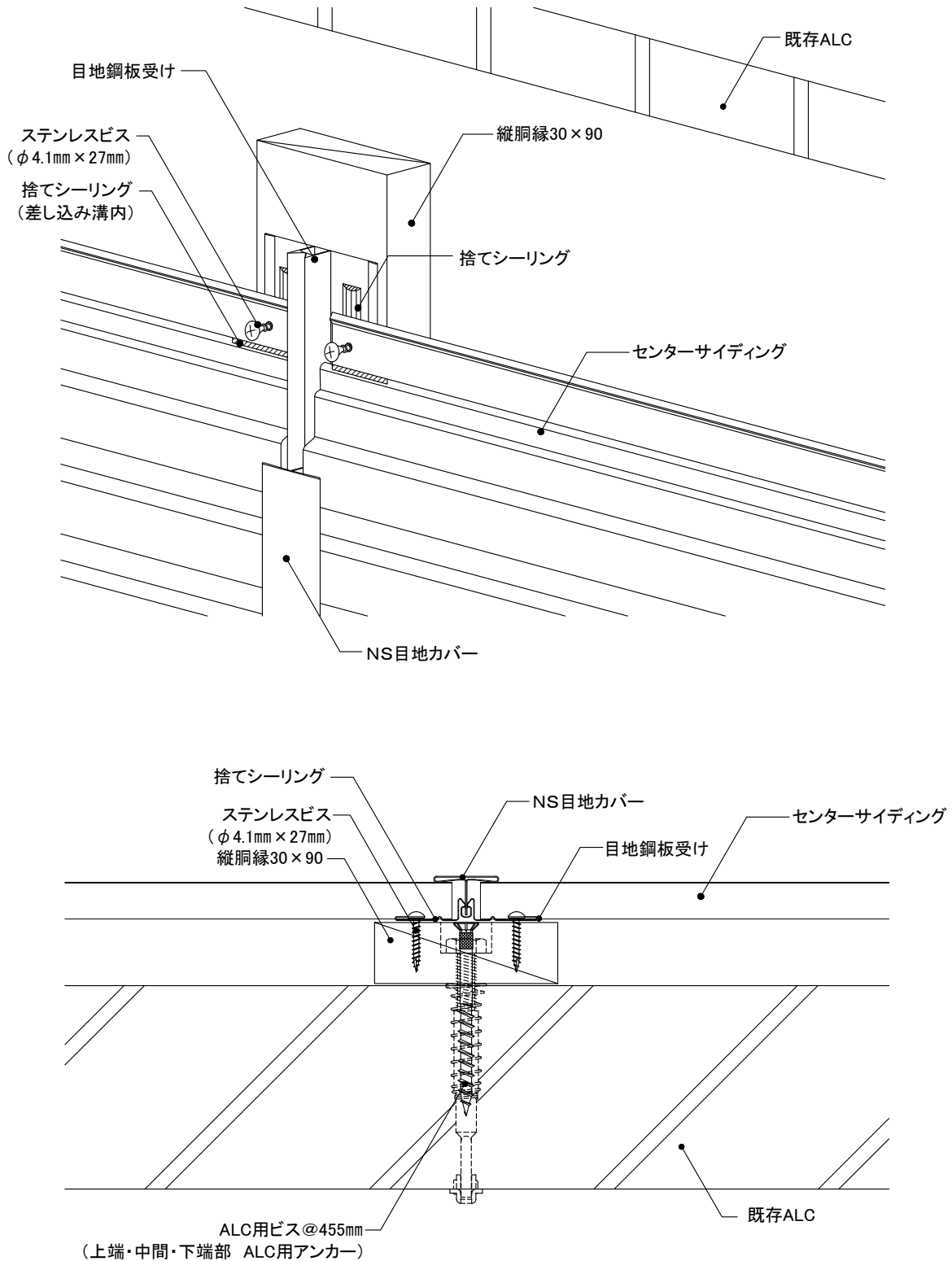
●センターサイディングは、ステンレスビス(φ4.1mm×27mm)で胴縁ごとに留め付けます。



センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造 (ALC厚100mm) 木胴縁工法	ビス	横	縦胴縁@606mm以下

6) 左右接合部

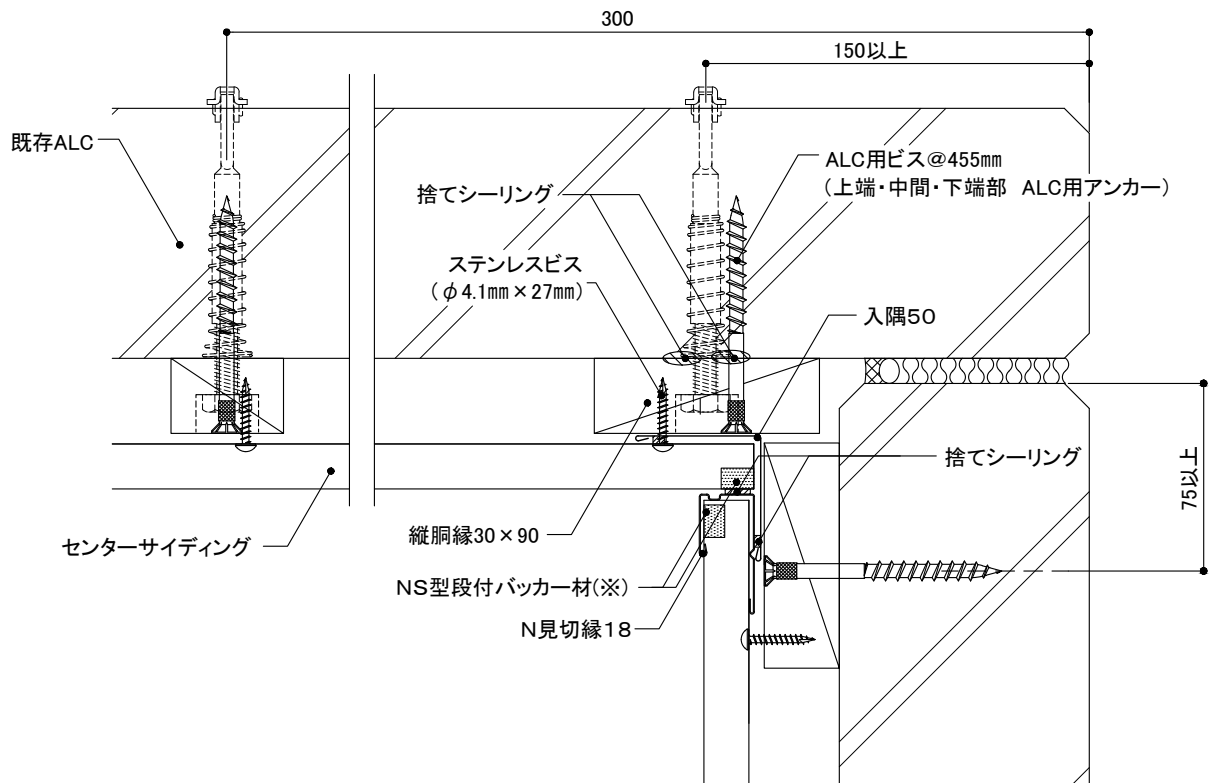
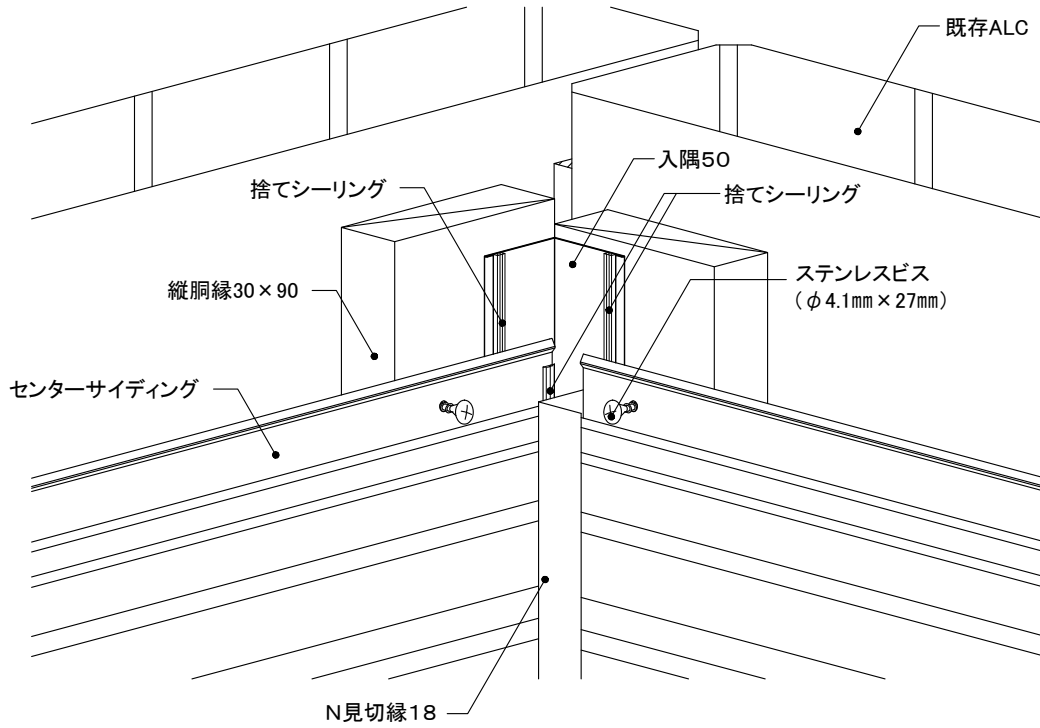
- 目地鋼板受けを取り付け、捨てシーリングを施工します。センターサイディングをステンレスビス (φ4.1mm×27mm) で留め付けます。
- NS目地カバーを浮きのないように装填します。



センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造 (ALC厚100mm) 木胴縁工法	ビス	横	縦胴縁@606mm以下

7) 入隅部

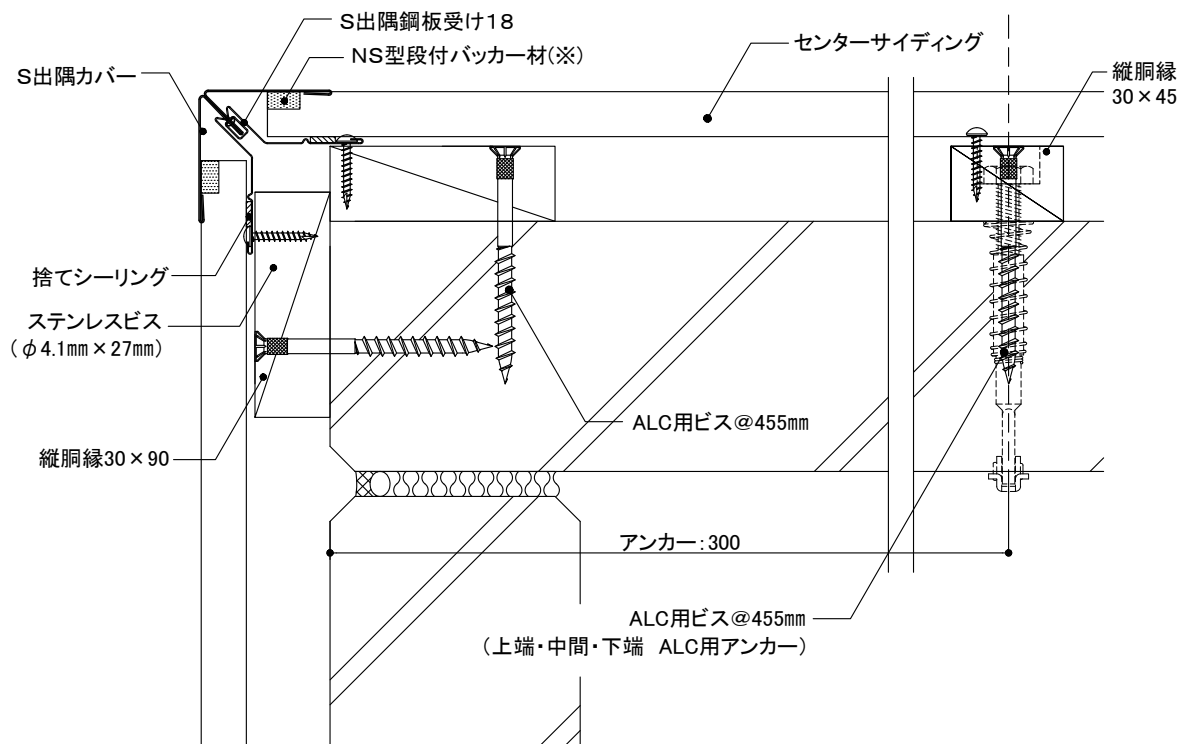
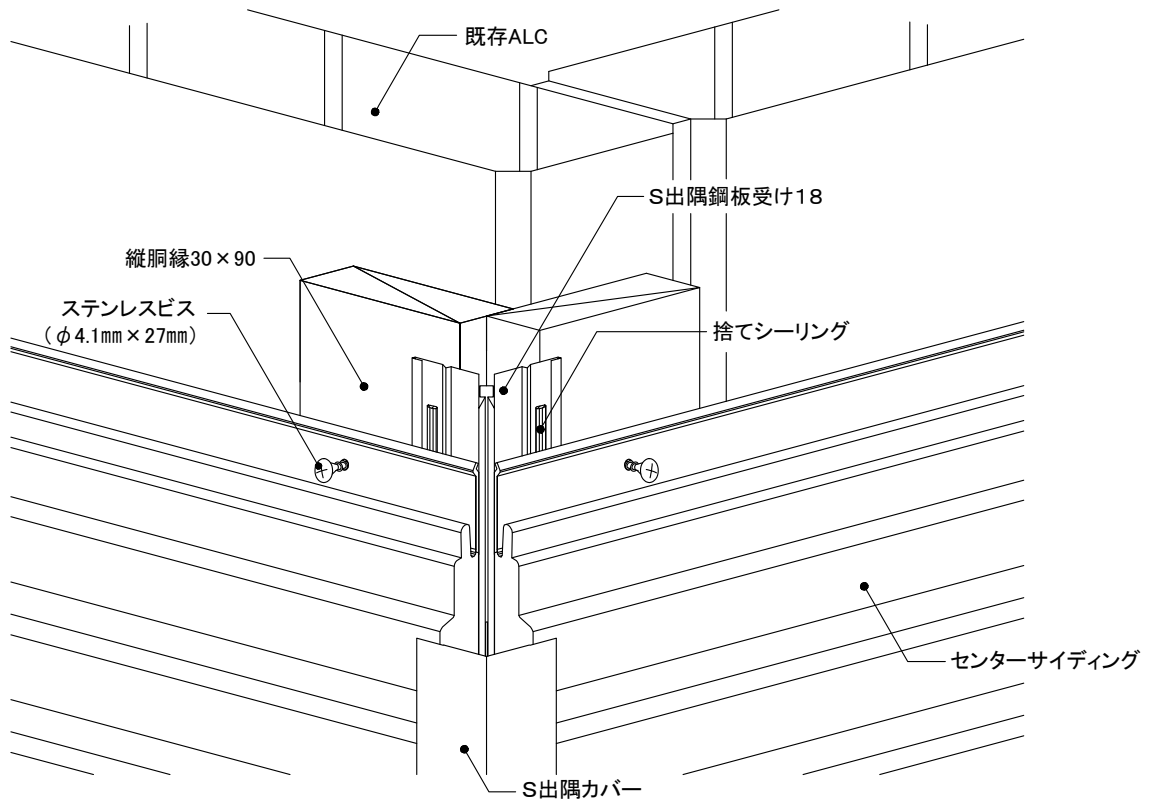
- 入隅部は、倍幅90mm以上の木胴縁を取り付けます。
- センターサイディングは、ステンレスビス (φ4.1mm × 27mm) で留め付けます。
- 各センターサイディング端部は必要に応じてNS段付パッカー材を貼り付けます。(※)



センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造 (ALC厚100mm) 木胴縁工法	ビス	横	縦胴縁@606mm以下

8) 出隅部

- S出隅鋼板受け18を取り付け、捨てシーリングを施工します。センターサイディングをステンレスビス (φ4.1mm×27mm) で留め付けます。
- センターサイディングの施工後、S出隅カバーを差し込みます。
- 各センターサイディング端部は必要に応じてNS段付パッカー材を貼り付けます。(※)

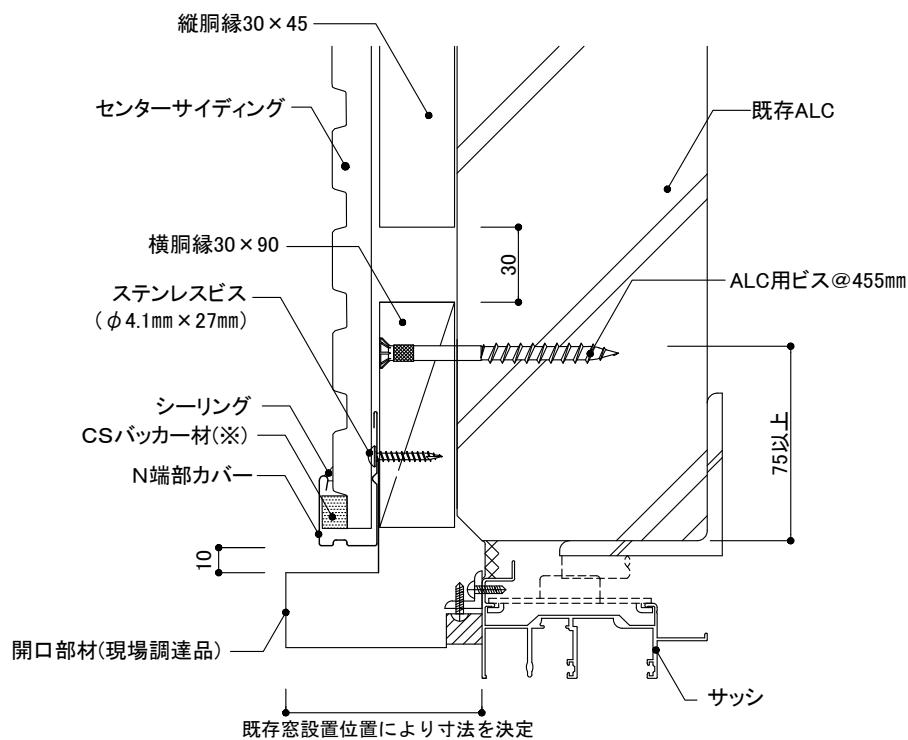
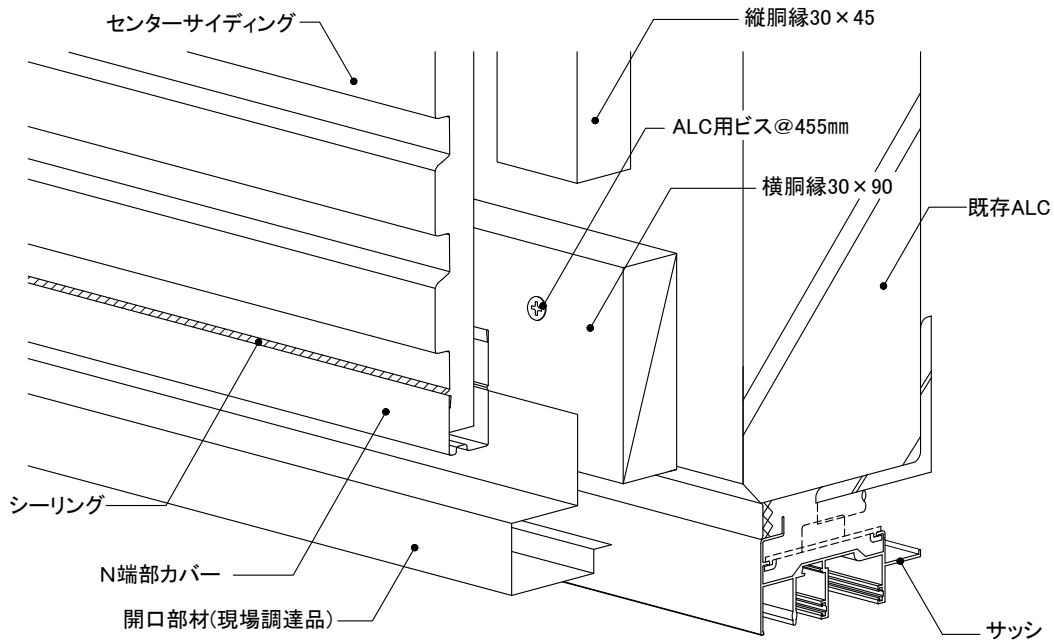


センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造 (ALC厚100mm) 木胴縁工法	ビス	横	縦胴縁@606mm以下

9) 開口部

① 上側

- 開口部まわりには、必要に応じて倍幅90mm以上の木胴縁を取り付けます。
- 開口部まわりの開口部材は、既存建物のサッシ形状に合わせて、板金やアルミ加工品を取り付けます。
- 開口部材内部に水が溜まるおそれのある場合は、開口部材に適宜水抜き孔を設けます。
- 各センターサイディング下端が柄凹部となる場合は、CSバック材を貼り付けます。(※)
- センターサイディングとN端部カバーの取り合い部にシーリングを施工します。

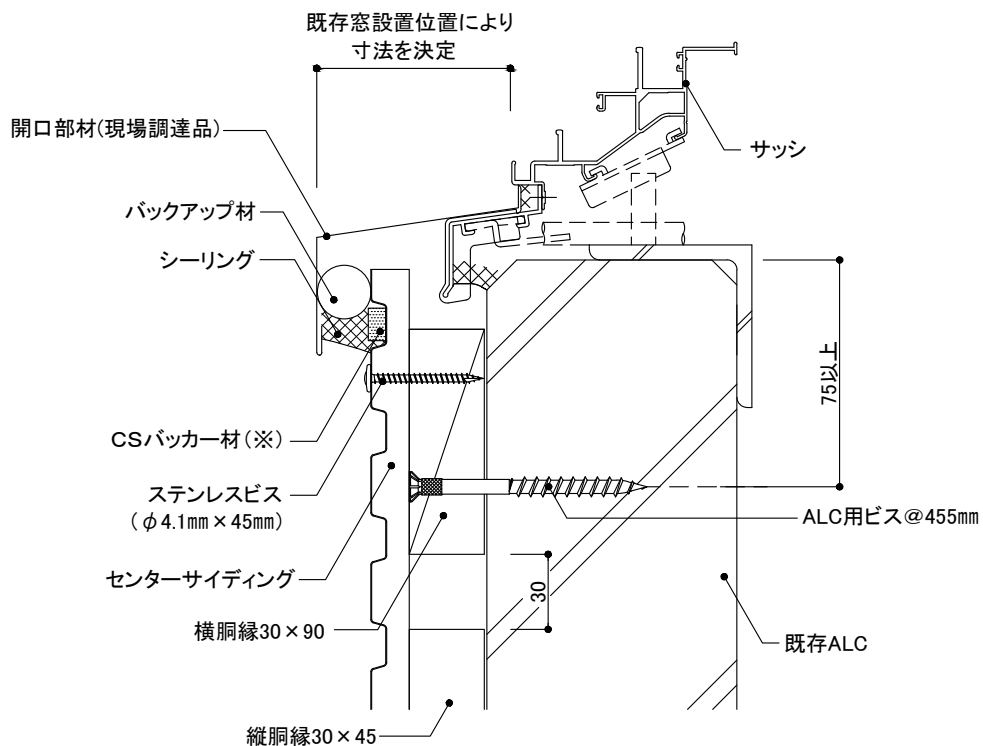
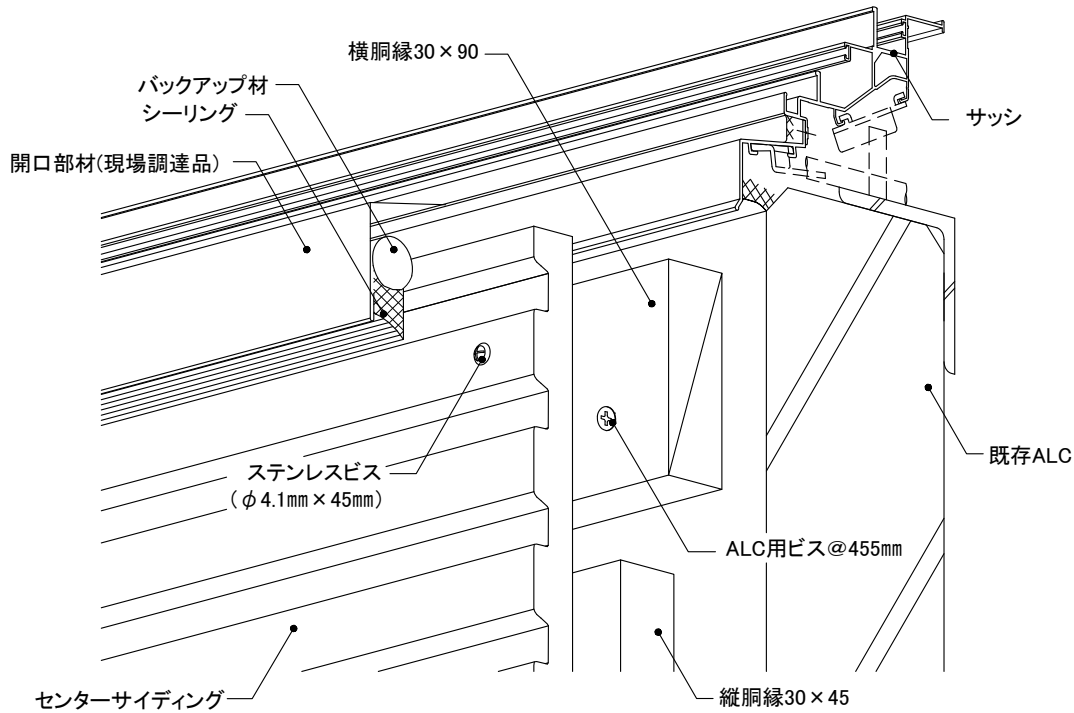


センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造 (ALC厚100mm) 木胴縁工法	ビス	横	縦胴縁@606mm以下

9) 開口部

② 下側

- 開口部まわりには、必要に応じて倍幅90mm以上の木胴縁を取り付けます。
- 開口部まわりの開口部材は、既存建物のサッシ形状に合わせて、板金やアルミ加工品を取り付けます。
- センターサイディングの実部に留め付けができない場合は、表面からステンレスビス(φ4.1mm×45mm)で留め付けます。
- センターサイディング上端が柄凹部となる場合、CSバッカー材を貼り付けます。(※)

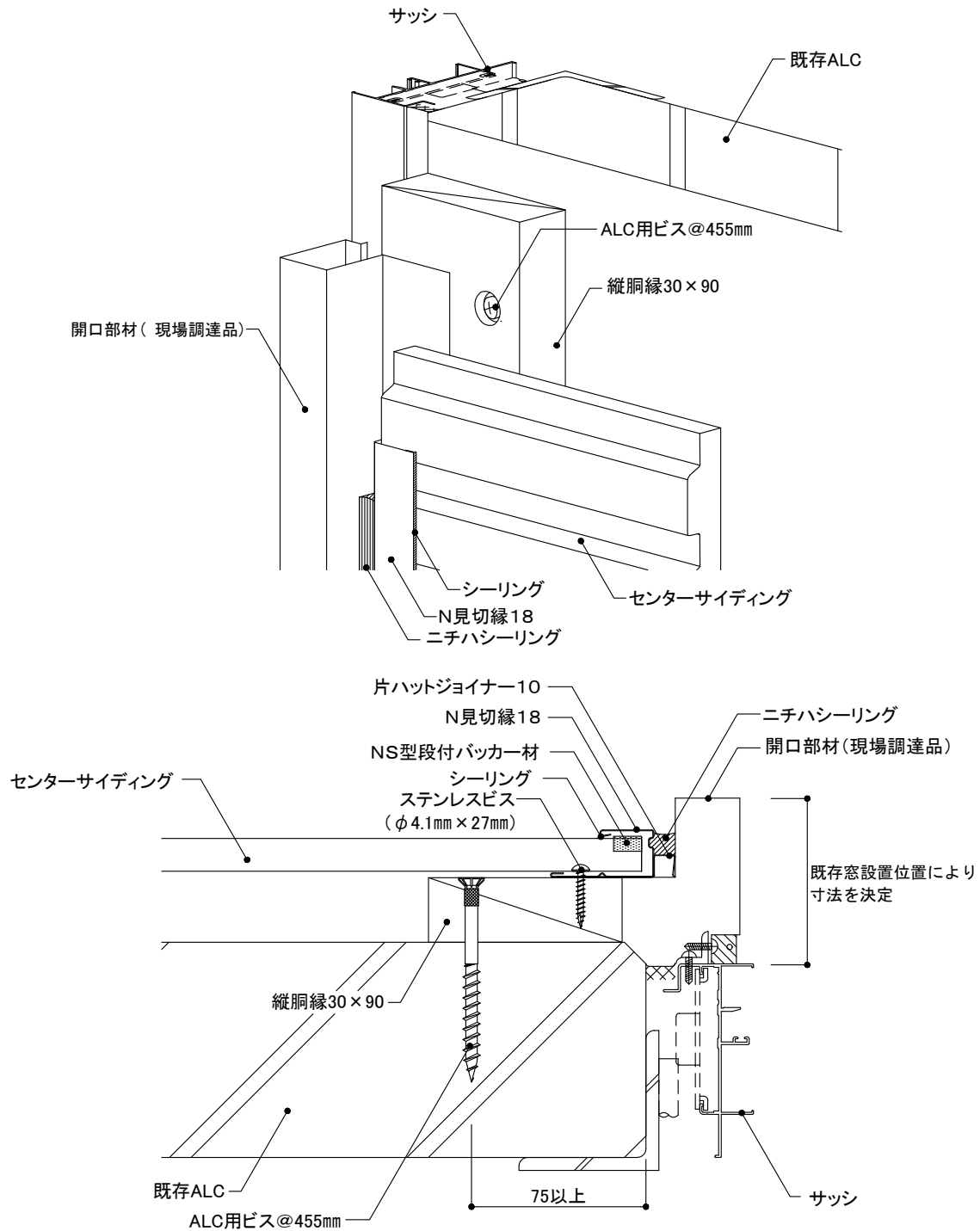


センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造 (ALC厚100mm) 木胴縁工法	ビス	横	縦胴縁@606mm以下

9) 開口部

③ 左右側

- 開口部まわりには、必要に応じて倍幅90mm以上の木胴縁を取り付けます。
- 開口部まわりの開口部材は、既存建物のサッシ形状に合わせて、板金やアルミ加工品を取り付けます。
- センターサイディング端部にNS型段付きバッカー材を貼付、N見切縁18に差し込みます。
- センターサイディングとN端部カバーの取り合い部にシーリングを施工します。

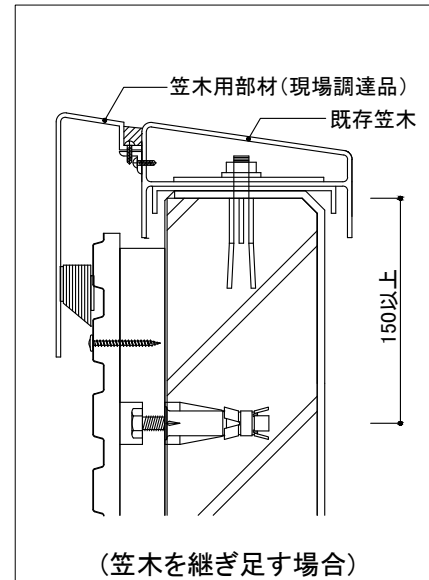
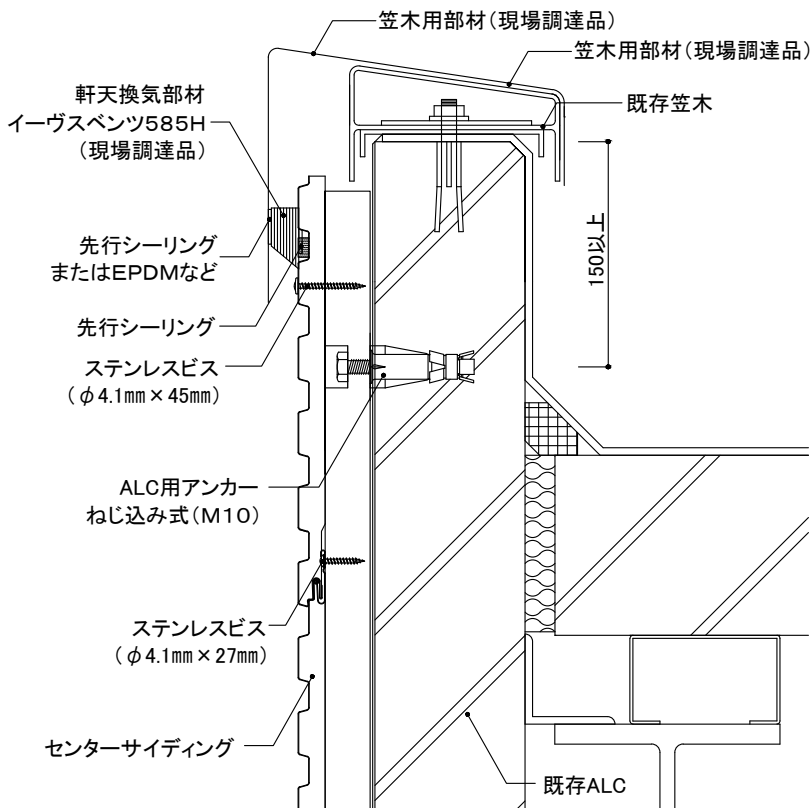
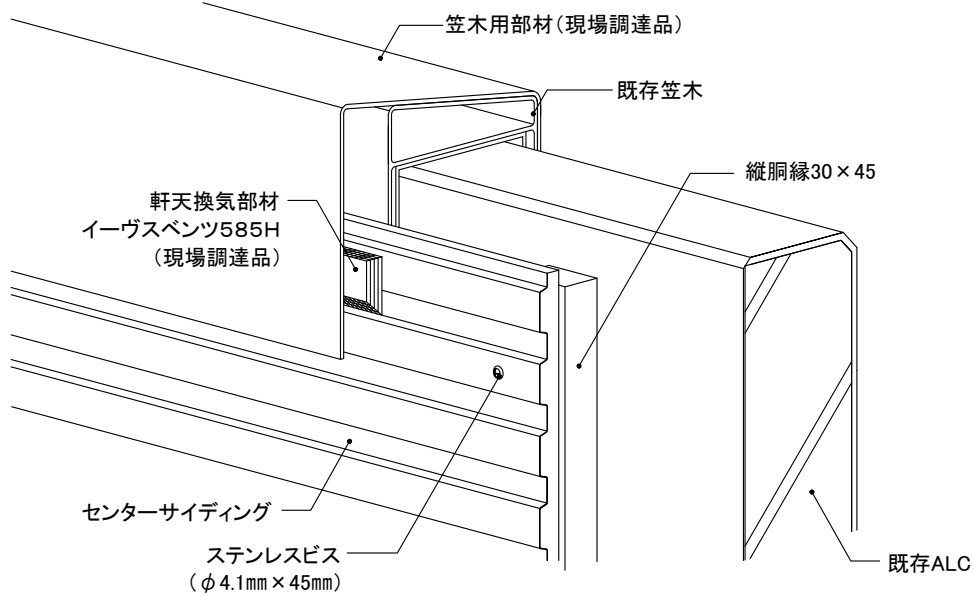


センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造 (ALC厚100mm) 木胴縁工法	ビス	横	縦胴縁@606mm以下

10) 笠木部

- 笠木用部材は、現場調達により、既存笠木全体にかぶせる、継ぎ足す、あるいは既存笠木を取り外し、あらたに取り付けます。
- 上端部には通気確保のため、イーヴスペンツ585Hを用いて施工します。

(笠木をかぶせる場合)



(笠木を継ぎ足す場合)

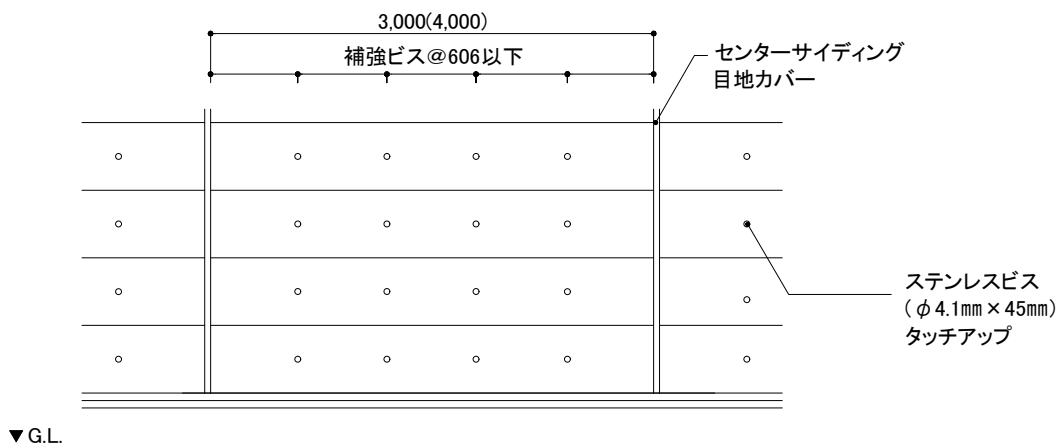
センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造(ALC厚100mm) 木胴縁工法	ビス	横	縦胴縁@606mm以下

11) 補強工法による施工

「1-1適用条件 3) 適合地域 耐風圧条件」において、『補強工法』で施工する場合は以下の施工法とします。

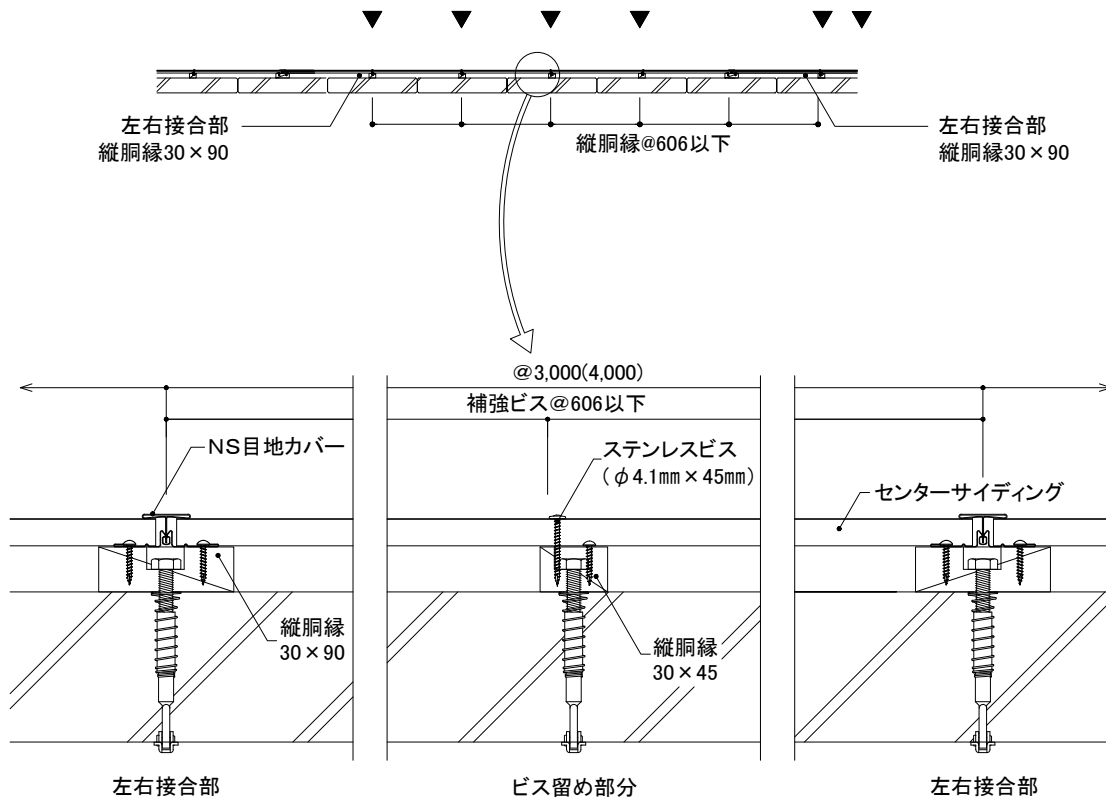
- 補強工法は、センターサイディング表面からのビス留めし、補強します。
- ステンレスビス(φ4.1mm×45mm)を用い、木胴縁ごと(606mm以下)の間隔で留め付けます。
- ビス留め位置は、センターサイディングの幅の中央とします。
- ビス頭の補修は、専用補修塗料を必要最小限の範囲に塗布します。

(センターサイディング 長さ3,000(4,000)mmの場合)



▼G.L.

:ビス留め位置を示す



12 各部の納まり詳細図

S造(ALC厚100mm)

木胴縁工法

センターサイディング
縦張り

ビス留め施工

1)基本構成図	構成断面
2)胴縁概要図	
3)主要部材一覧	
4)土台部	
5)上下接合部	
6)左右接合部	①胴縁 ②センターサイディング
7)入隅部	
8)出隅部	
9)開口部	①上側 ②下側 ③左右側
10)笠木部	
11)補強工法による施工	

本章は、基本的な納まり例を記載しています。注意事項、禁止事項をご理解いただいたうえで施工してください。

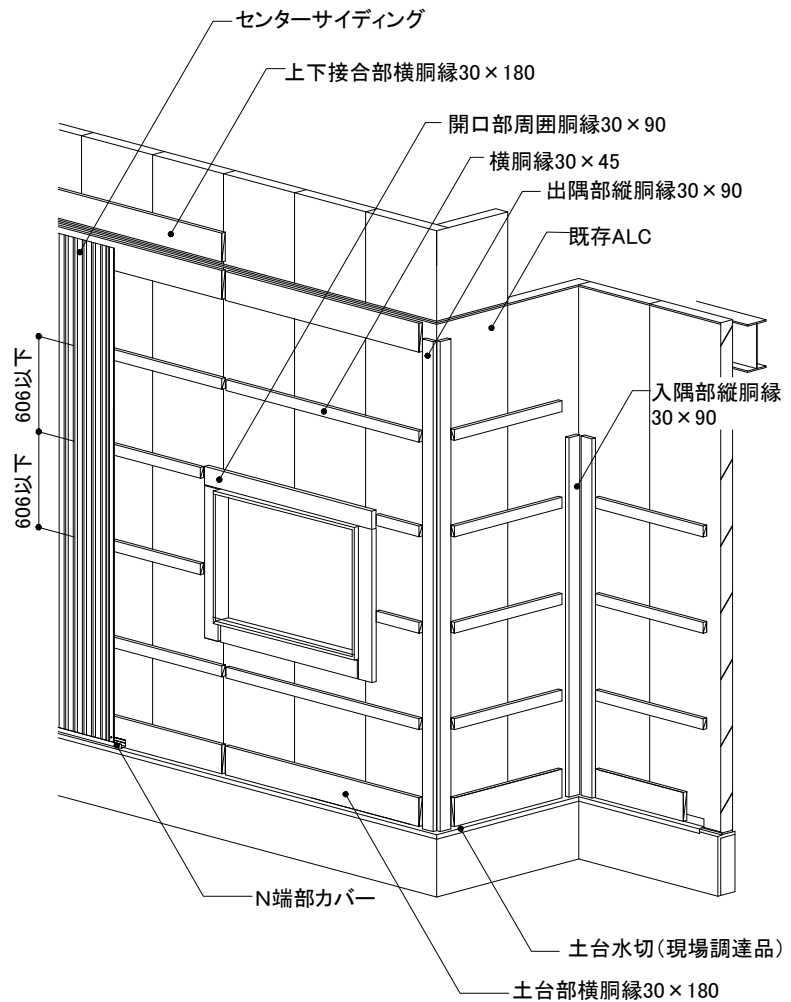
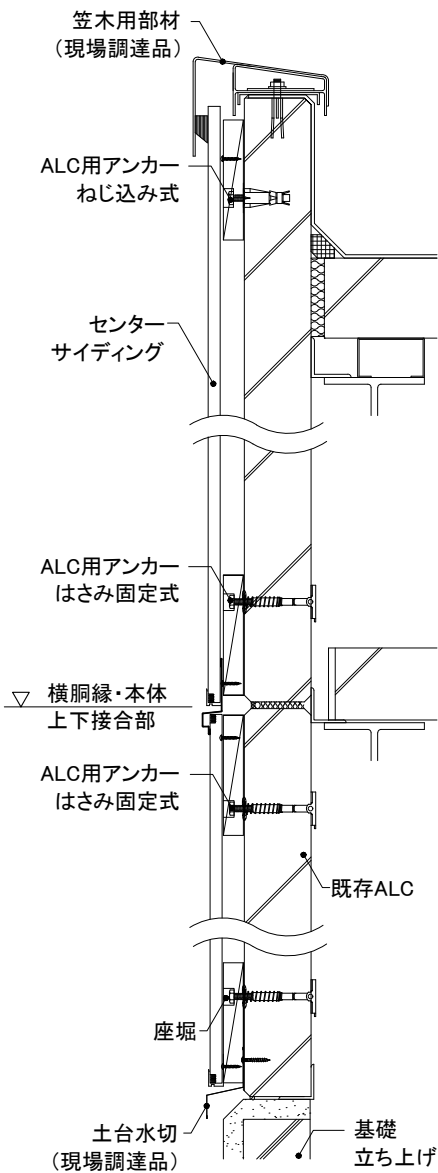
センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造 (ALC厚100mm) 木胴縁工法	ビス	縦	横胴縁@606mm以下

1) 基本構成図

構成断面

- 下地外壁材にひび割れなどがいないか確認し、必要に応じて補修を行います。
- 下地は図のように、606mm以下の間隔で木胴縁を取り付けます。
- 左右接合部・入隅部・出隅部・開口部まわりなどには、必要に応じて倍幅90mm以上の木胴縁を使用します。
- ALCパネル上下ジョイント部は木胴縁とセンターサイディングを通さず、縁を切ります。

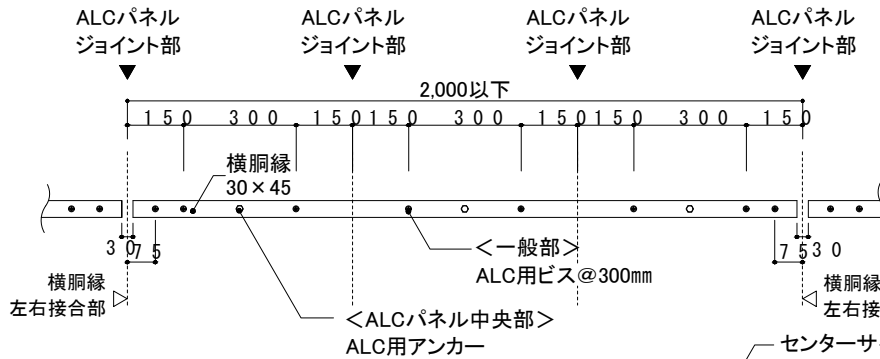
ALC用アンカーはさみ固定式が躯体・内装材に干渉する場合は、ALC用アンカーねじ込み式で施工します。



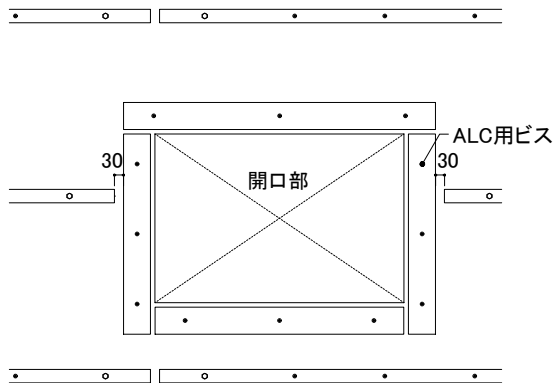
センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造(ALC厚100mm) 木胴縁工法	ビス	縦	横胴縁@606mm以下

2) 胴縁概要図

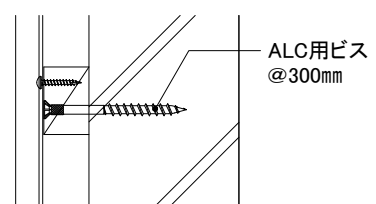
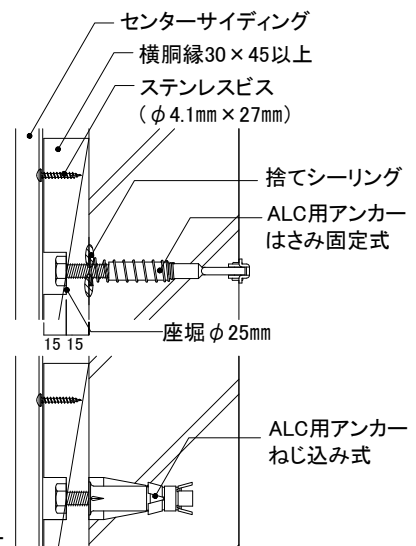
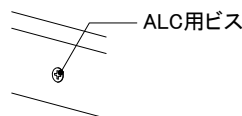
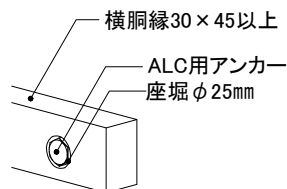
- 木胴縁をALCパネル1枚につき中央部1ヶ所に、ALC用アンカーで留め付けます。原則、ALC用アンカーははさみ固定式で取り付けますが、屋内側に躯体や内装材があり、施工できない場合は、ALC用アンカーねじ込み式とします。(最低1ヶ所はALC用アンカーははさみ固定式を使用します。)
- ALC用ビスは300mm以下の間隔で木胴縁に留め付けます。ただし、胴縁の両端部はALCパネルの端部から75mm程度の位置にALC用ビスを1本増し打ちします。
- センターサイディングとの干渉を防ぐため、木胴縁にはあらかじめALC用アンカー部分にφ25mm、深さ15mm程度の座堀をします。
- 出隅部・開口部の木胴縁は、ALC用ビスで留め付けます。
- ALC用アンカーでALCを貫通させた部分の周囲には、捨てシーリングを施工します。
- ALC用アンカー・ビスの設定は、物件ごとに既存壁に対するアンカー・ビスの引っ張り荷重確認を行い決定します。



開口部まわり(現場調達開口部材納めの例)

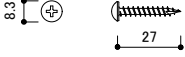
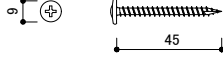
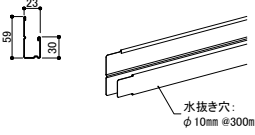
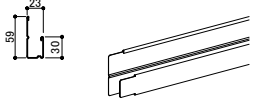
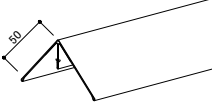
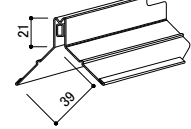
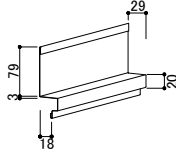
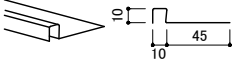
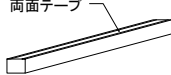
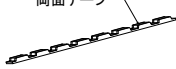

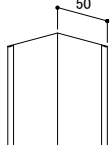


※開口部まわりは、ALC用ビスで留め付けてください。



センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造(ALC厚100mm) 木胴縁工法	ビス	縦	横胴縁@606mm以下

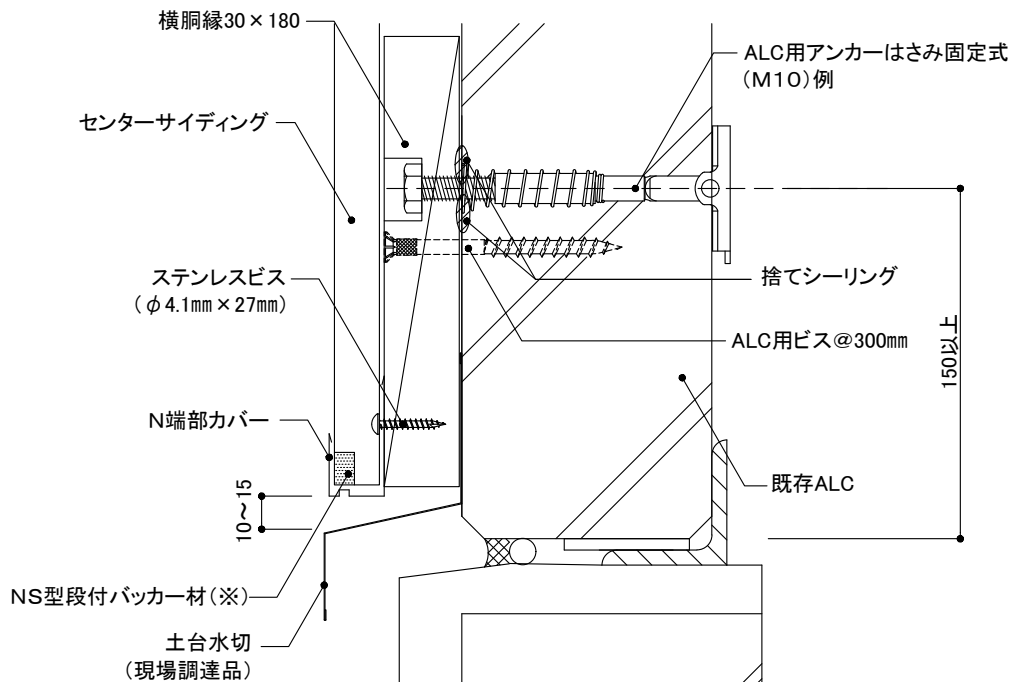
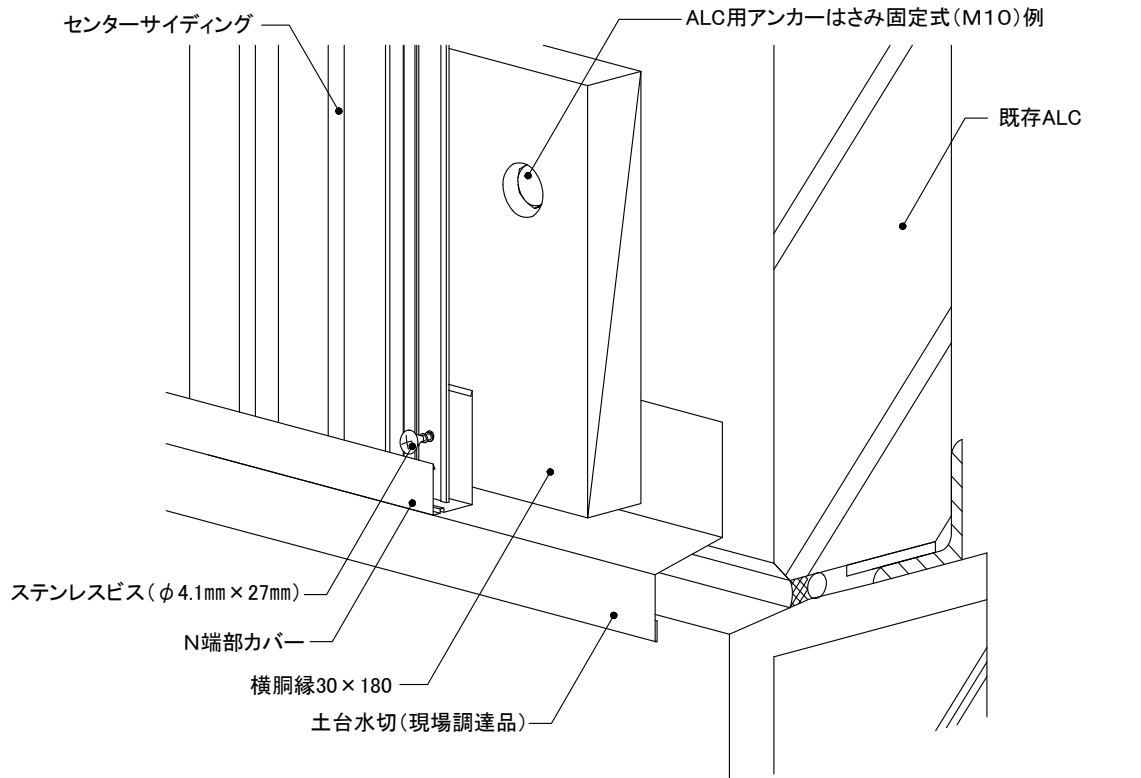
3) 主要部材一覧

<p>■専用ビス (本体実部留付用)</p>  <p>ステンレスビス 【品番:JK1710】 材質:ステンレス サイズ:φ4.1mm×27mm</p>	<p>■専用ビス (本体表面留付用)</p>  <p>ステンレスビス 【品番:JK1720】 材質:ステンレス サイズ:φ4.1mm×45mm</p>	<p>■端部カバー</p>  <p>N端部カバー 【品番:AMKFF0**】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.35mm 長さ:3.030mm 水抜き穴:φ10mm @ 300mm</p>	<p>■見切縁</p>  <p>N見切縁18 【品番:AMKEF0**】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.35mm 長さ:3.030mm</p>
<p>■出隅カバー</p>  <p>S出隅カバー 【品番:ADS2*0**】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.35mm 長さ:3.030mm</p>	<p>■出隅鋼板受け</p>  <p>S出隅鋼板受け18 【品番:ADU1F00A】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 長さ:3.030mm</p>	<p>■中間水切</p>  <p>中間水切18 【品番:ATM6F0**】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.35mm 長さ:3.030mm</p>	<p>■片ハットジョイナー</p>  <p>片ハットジョイナー10 【品番:FHK1110R】 材質:フッ素樹脂コート 高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.3mm 長さ:2.000mm 表面色:クリアレッド着色</p>
<p>■バック材</p>  <p>CSバック材 【品番:ABK5Q0J3】 材質:EPDM 幅:11.5mm 厚み:13mm 長さ:2.000mm</p>	<p>■段付バック材</p>  <p>NS型段付バック材 【品番:ABK4Q0J*】 材質:発泡ポリエチレン 幅:13mm 長さ:385mm</p>	<p>■見切コーナー</p>  <p>N見切コーナー 【品番:AMC****】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.35mm</p>	<p>■入隅50</p>  <p>入隅50 【品番:JR1900】 材質:高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.27mm 長さ:3.030mm</p>
<p>■ALC用アンカー</p> <p>(現場調達品)</p> <p>木胴縁取り付け用</p> <p>外装リフォーム②RC・S造(ALC)編の 3-5 RC・S造(ALC) 金属(木)胴縁工法 各部材の施工をご参照ください。</p>	<p>■ALC用ビス</p> <p>(現場調達品)</p> <p>木胴縁取り付け用</p> <p>外装リフォーム②RC・S造(ALC)編の 3-5 RC・S造(ALC) 金属(木)胴縁工法 各部材の施工をご参照ください。</p>		

センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造 (ALC厚100mm) 木胴縁工法	ビス	縦	横胴縁@606mm以下

4) 土台部

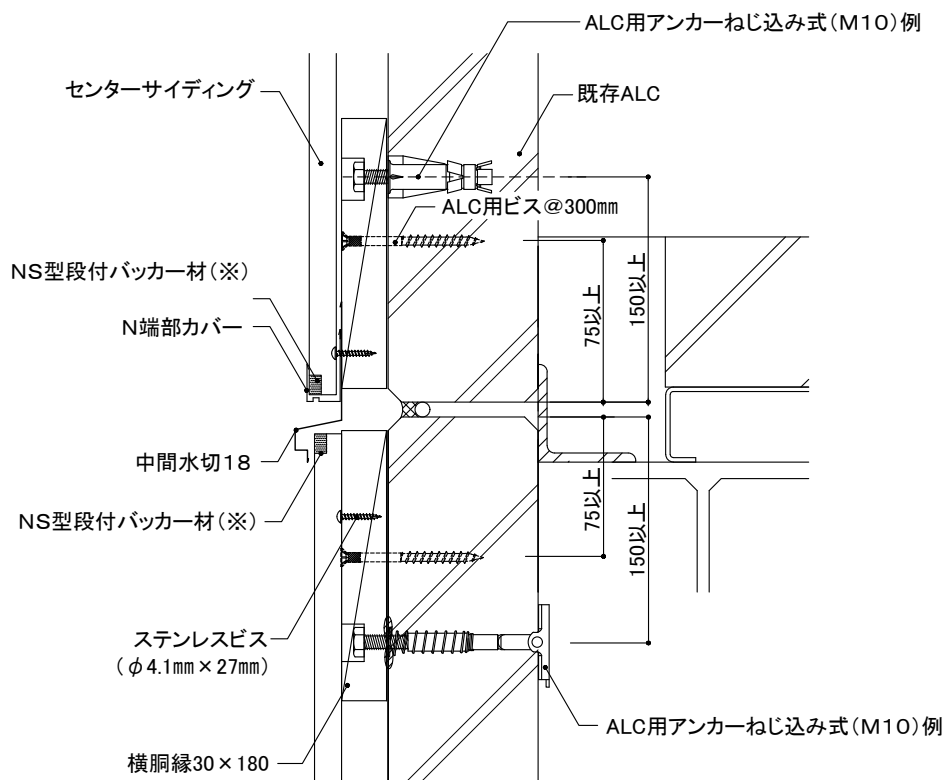
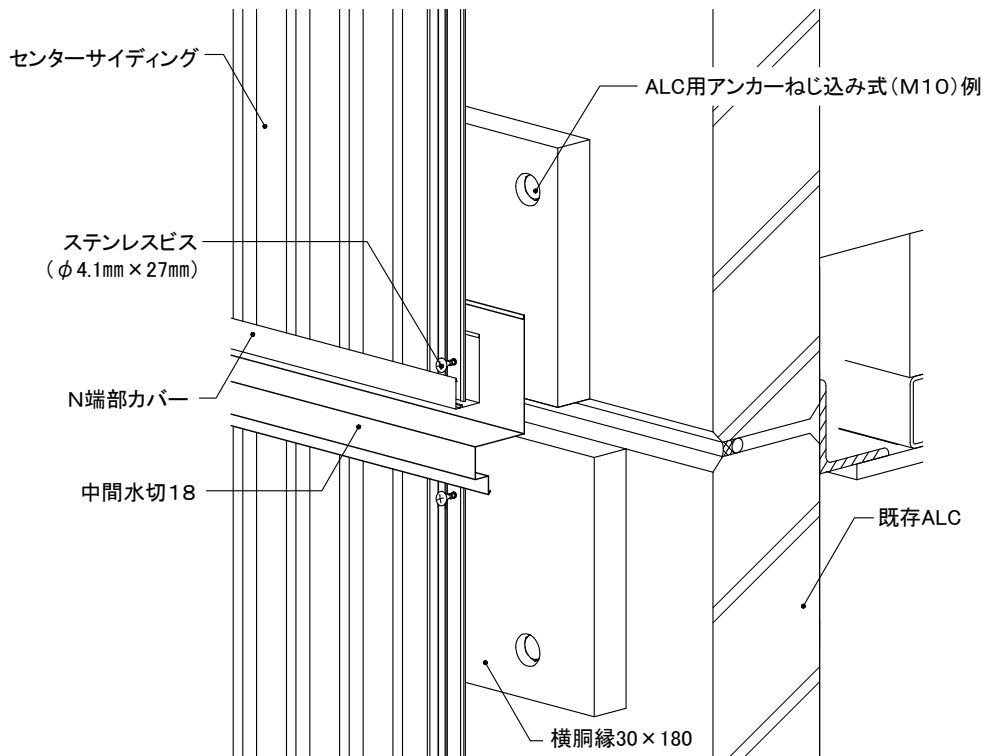
- 土台水切を留め付けてから、木胴縁を施工します。
- センターサイディング下端と土台水切の間は、10～15mm程度隙間を設けます。
- センターサイディングは、ステンレスビス(φ4.1mm×27mm)で実部に留め付けます。
- センターサイディング下端は必要に応じてNS型段付バッカー材を貼り付けます。(※)



センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造 (ALC厚100mm) 木胴縁工法	ビス	縦	横胴縁@606mm以下

5) 上下接合部

- ALCパネル上下ジョイント部は、横胴縁とセンターサイディングを通さずに縁を切ります。
- センターサイディングは、ステンレスビス(φ4.1mm×27mm)で実部に留め付けます。
- 中間水切18の下側に施工するセンターサイディングの上端および上側に施工するセンターサイディングの下端には、必要に応じてNS型段付バッカー材を貼り付けます。(※)

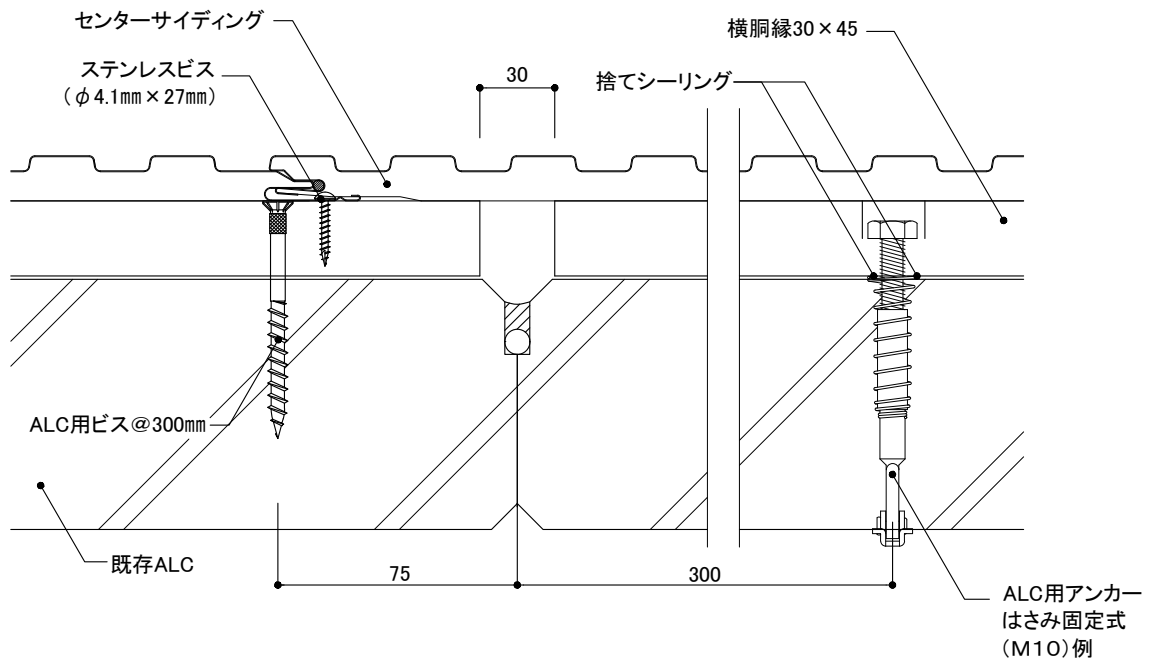
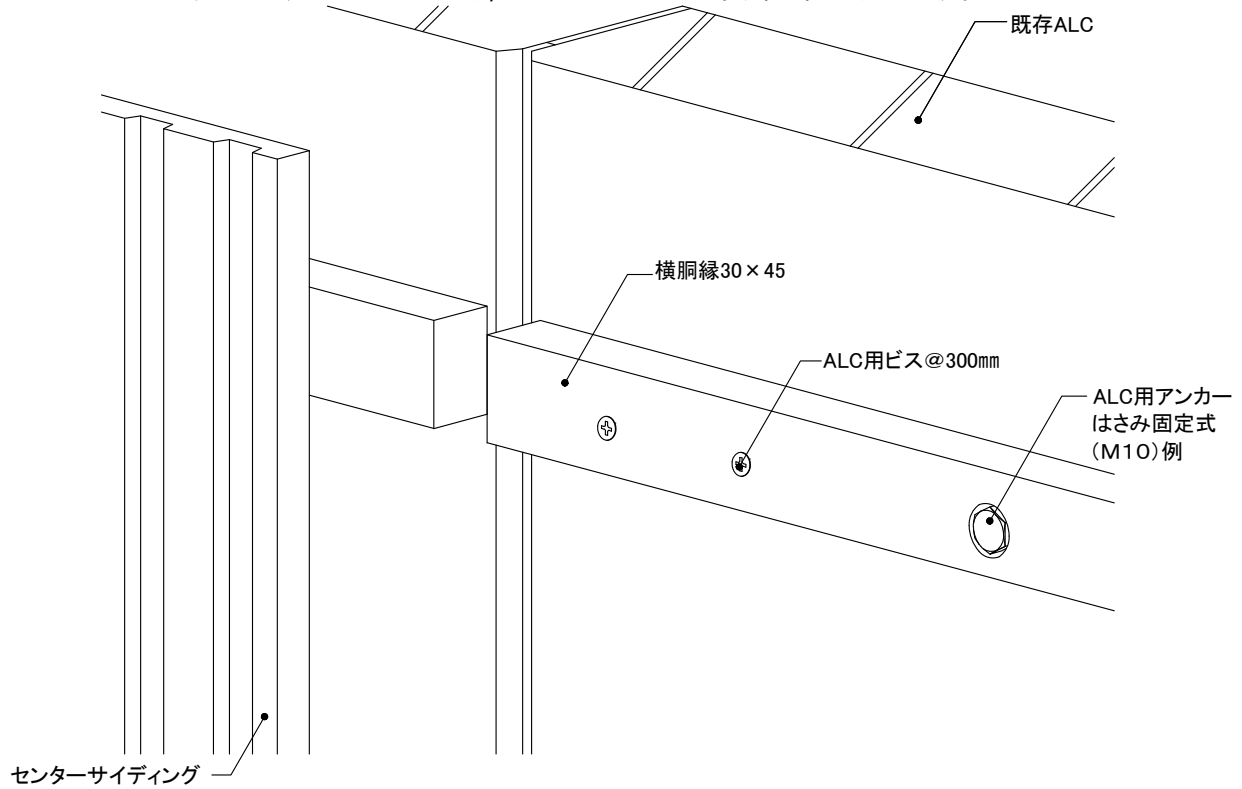


センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造 (ALC厚100mm) 木胴縁工法	ビス	縦	横胴縁@606mm以下

6) 左右接合部

① 胴縁

- 横胴縁接合部は必ず通気ができるように30mm程度の隙間を設けます。胴縁の両端部はALCパネル端部から75mm程度の位置にALC用ビスを1本増し打ちします。
- ALCパネル中央部をALC用アンカーで留め付けます。
- センターサイディングは、ステンレスビス(φ4.1mm×27mm)で実部に留め付けます。

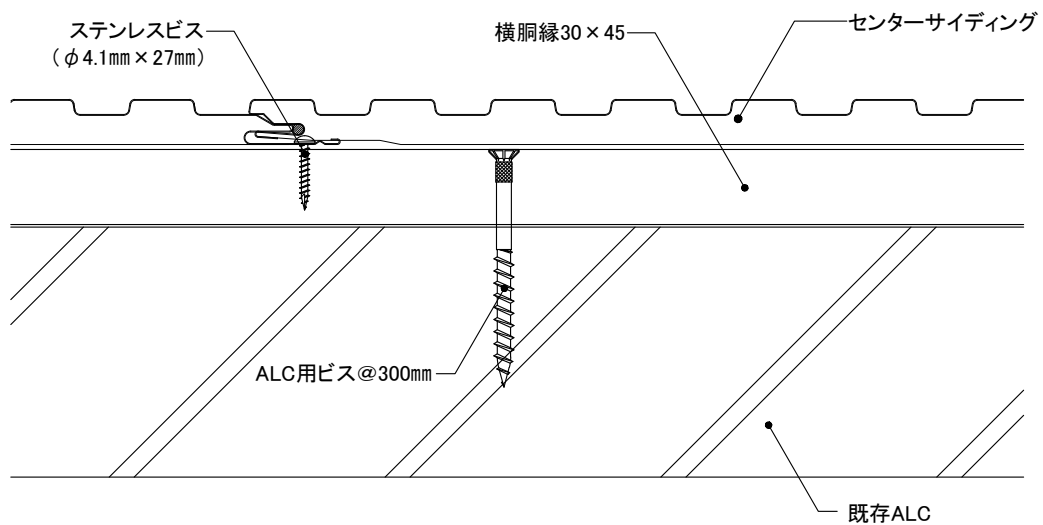
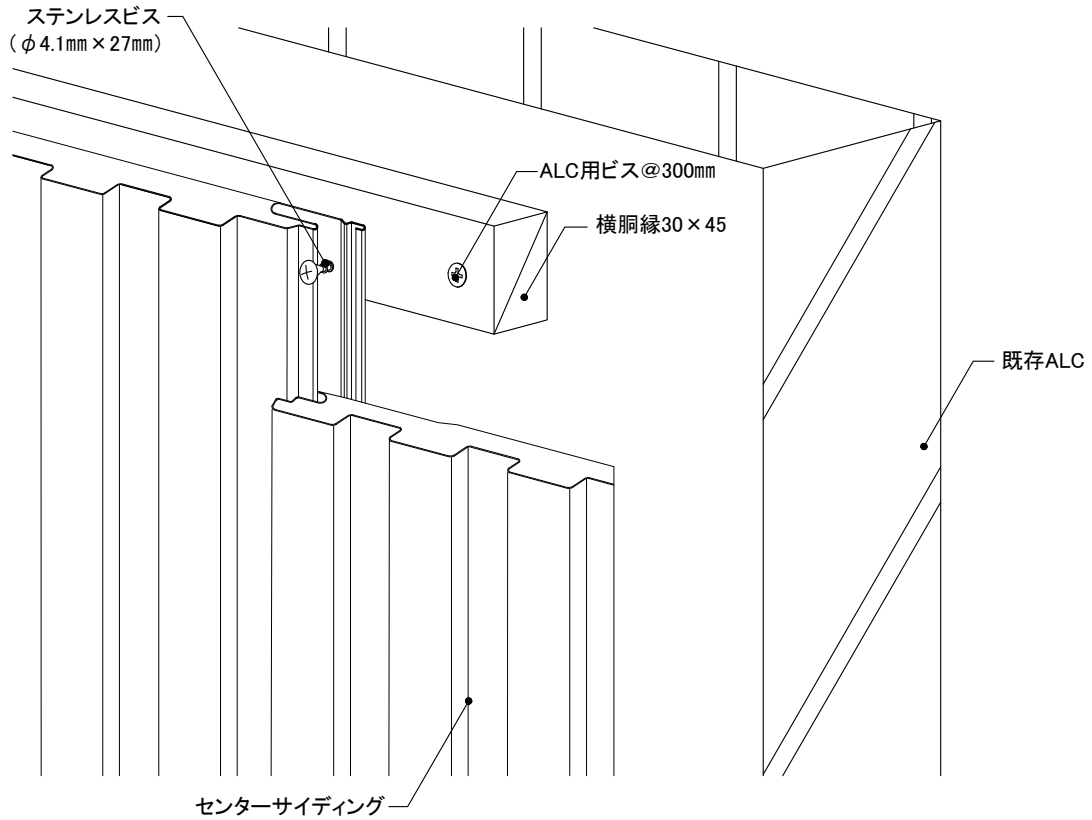


センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造 (ALC厚100mm) 木胴縁工法	ビス	縦	横胴縁@606mm以下

6) 左右接合部

②センターサイディング

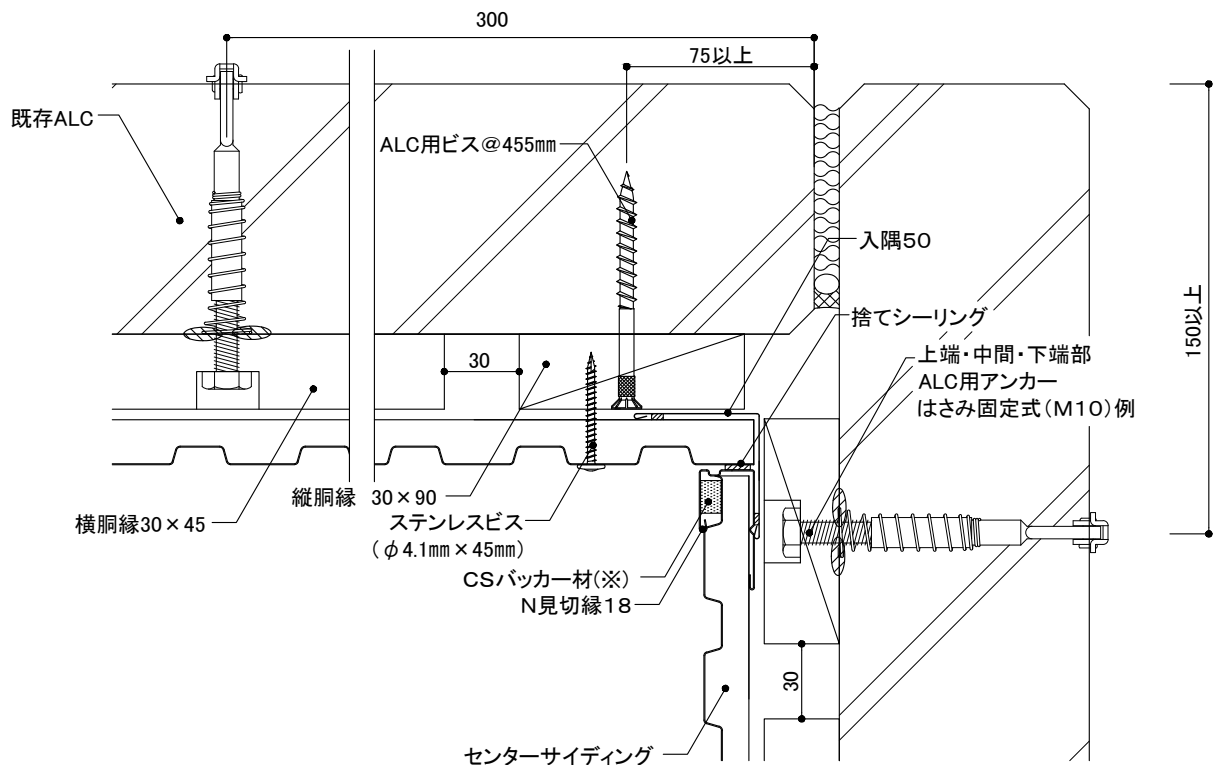
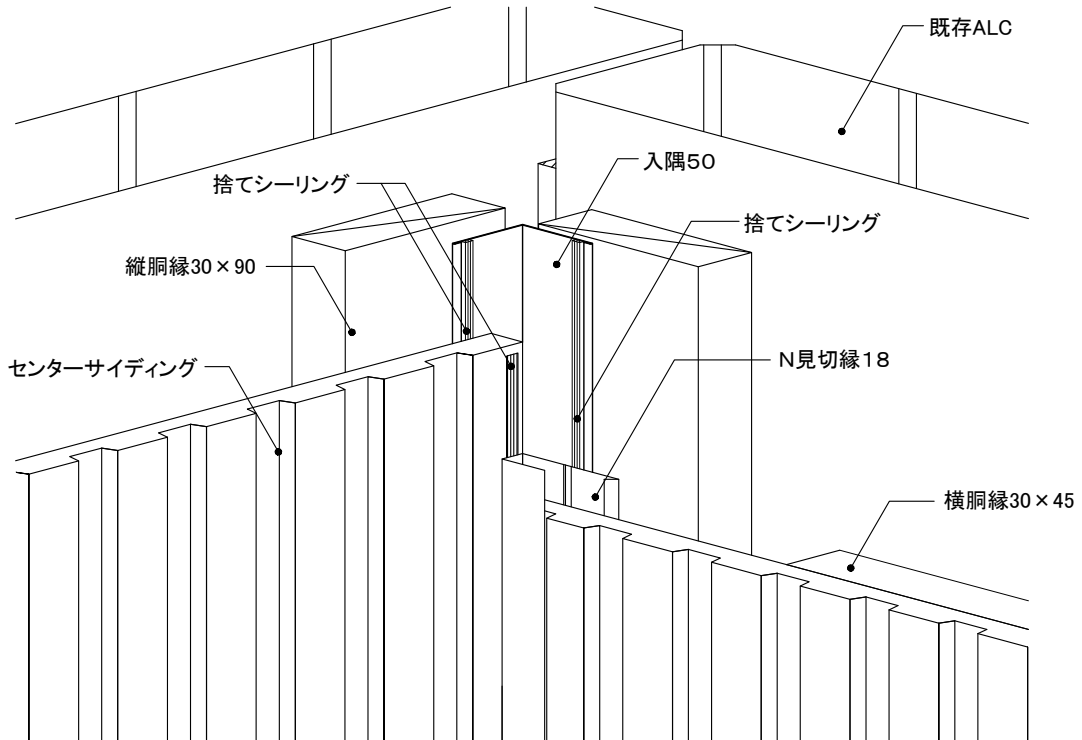
●センターサイディングは、ステンレスビス(φ4.1mm×27mm)で実部に留め付けます。



センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造 (ALC厚100mm) 木胴縁工法	ビス	縦	横胴縁@606mm以下

7) 入隅部

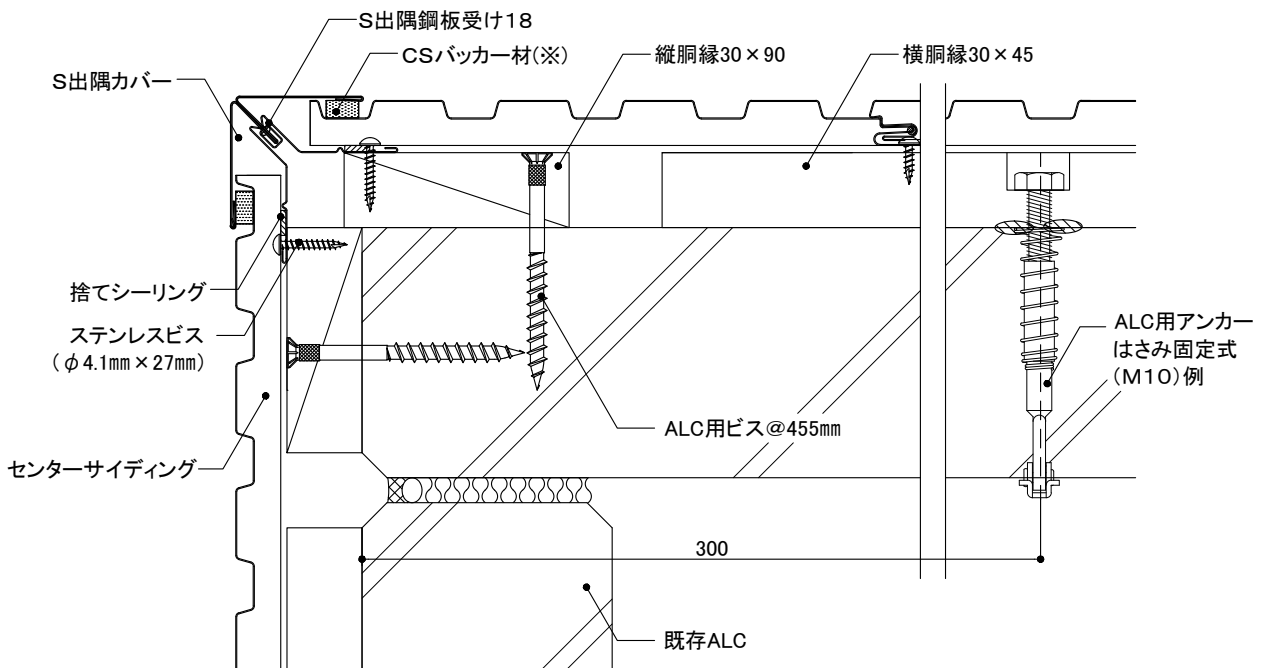
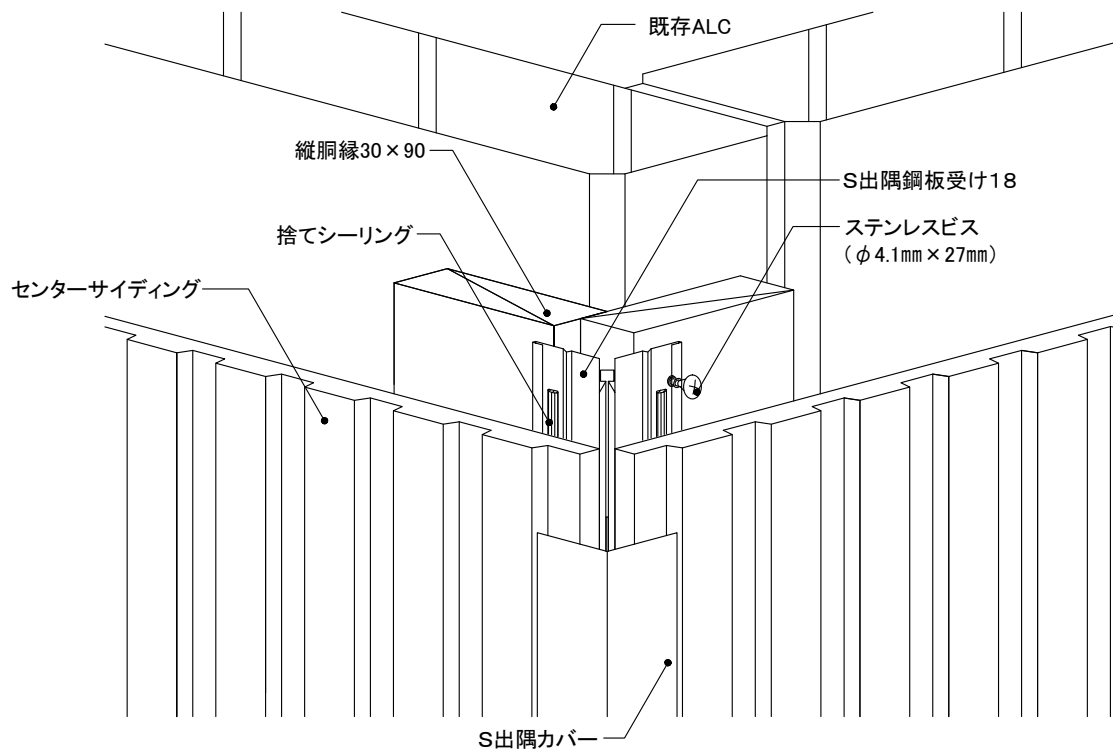
- 入隅部は、倍幅90mm以上の木胴縁を取り付けます。
- センターサイディングは、ステンレスビス(φ4.1mm×27mm)で実部に留め付けます。
- センターサイディングの実部に留め付けができない場合は、表面からステンレスビス(φ4.1mm×45mm)で留め付けます。
- センターサイディングの端部が柄凹部でN見切縁18に隙間ができる場合は、必要に応じて図のようにCSパッカー材を貼り付けます。(※)



センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造(ALC厚100mm) 木胴縁工法	ビス	縦	横胴縁@606mm以下

8) 出隅部

- S出隅鋼板受け18を取り付け、捨てシーリング材を施工します。センターサイディングをステンレスビス(φ4.1mm×27mm)を用いて留め付けます。
- センターサイディングの実部に留め付けができない場合は、表面からステンレスビス(φ4.1mm×45mm)で留め付けます。
- センターサイディング施工後、S出隅カバーを差し込みます。
- センターサイディング端部が柄凹部でS出隅カバーに隙間ができる場合は、必要に応じて図のようにCSバッカー材を貼り付けます。(※)

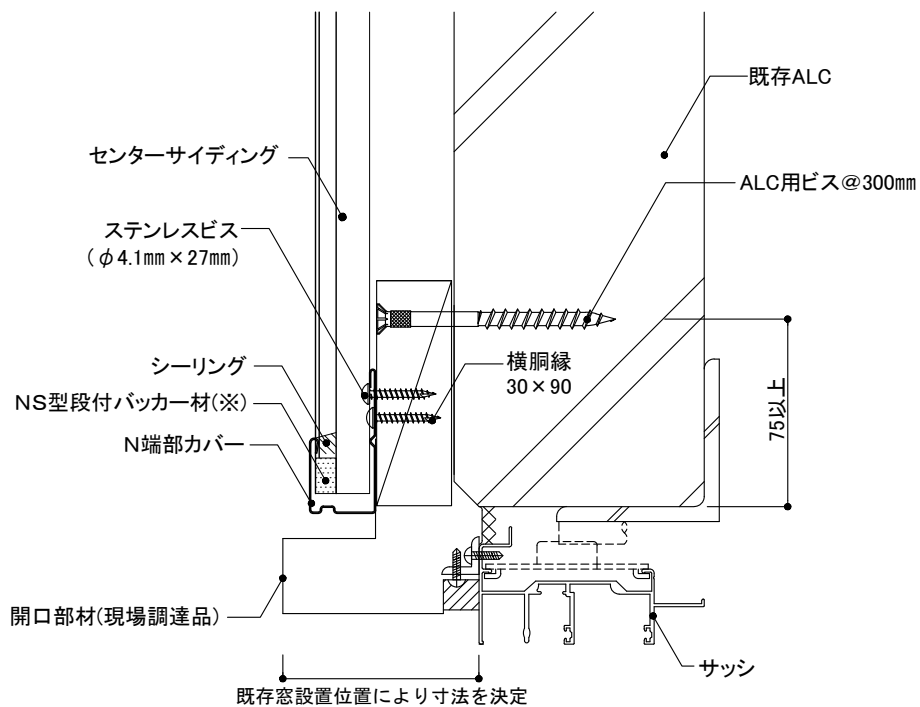
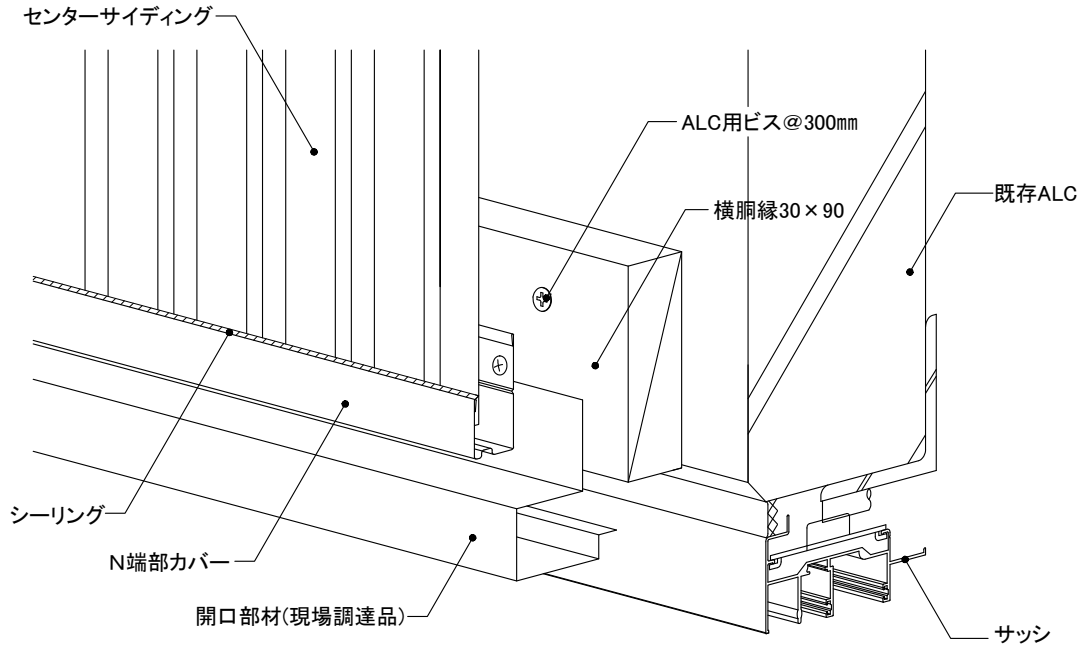


センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造 (ALC厚100mm) 木胴縁工法	ビス	縦	横胴縁@606mm以下

9) 開口部

① 上側

- 開口部まわりには、必要に応じて倍幅90mm以上の木胴縁を取り付けます。
- 開口部まわりの開口部材は、既存建物のサッシの形状に合わせて、板金やアルミ加工品を取り付けます。
- 開口部材内部に水が溜まるおそれのある場合は、開口部材に適宜水抜き孔を設けます。
- センターサイディング下端にNS型段付バッカー材を貼り付けます。

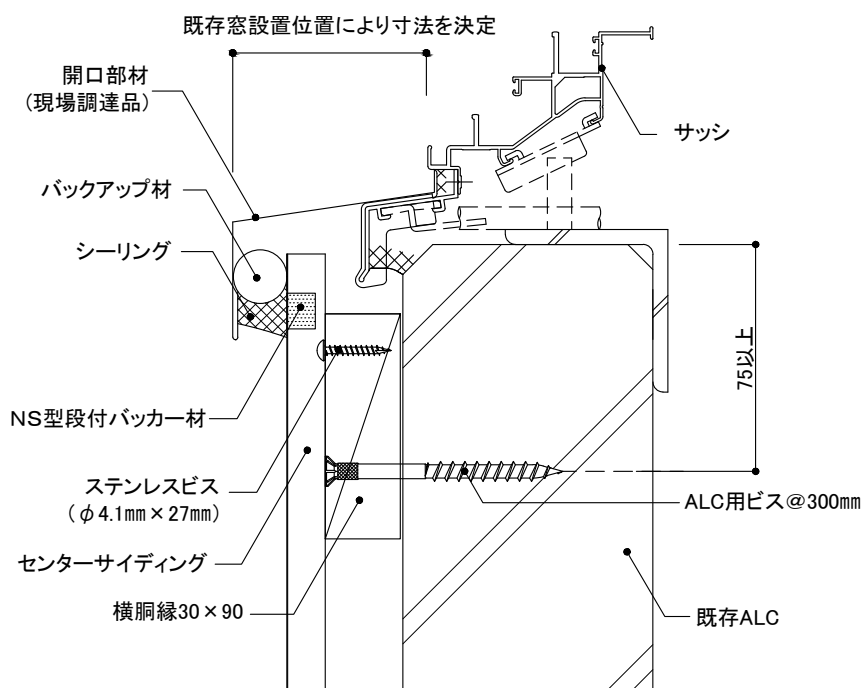
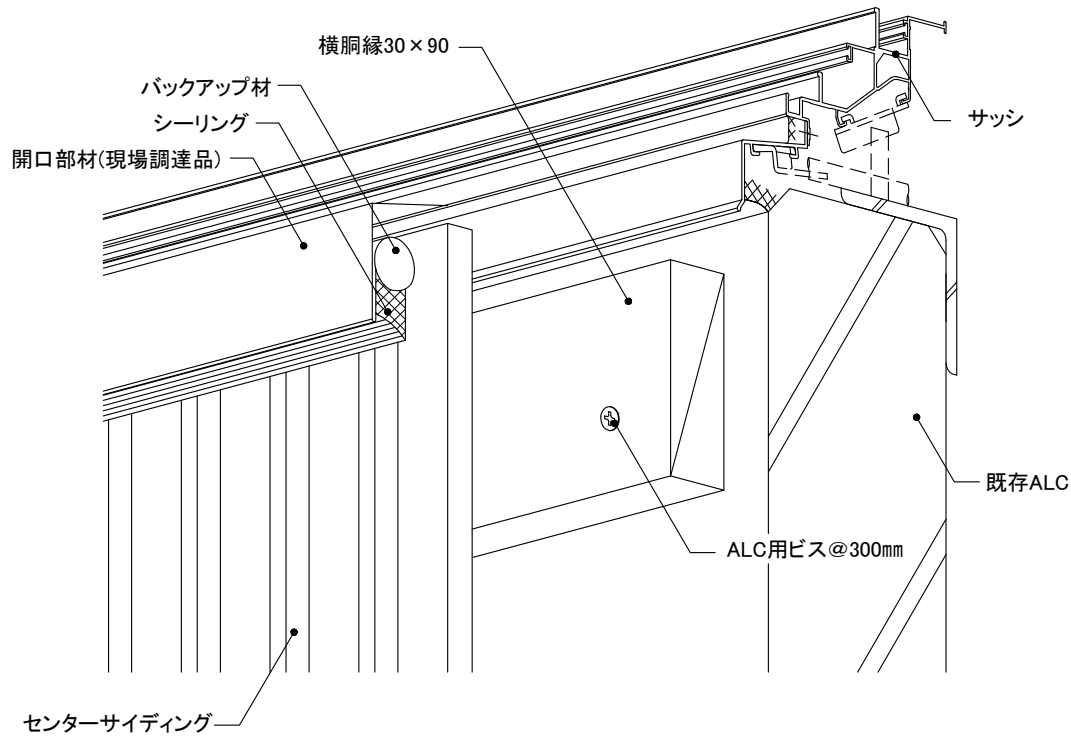


センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造 (ALC厚100mm) 木胴縁工法	ビス	縦	横胴縁@606mm以下

9) 開口部

② 下側

- 開口部まわりには、必要に応じて倍幅90mm以上の木胴縁を取り付けます。
- 開口部まわりの開口部材は、既存建物のサッシの形状に合わせて、板金やアルミ加工品を取り付けます。
- 各センターサイディング端部はNS型段付バッカー材を貼り付けます。

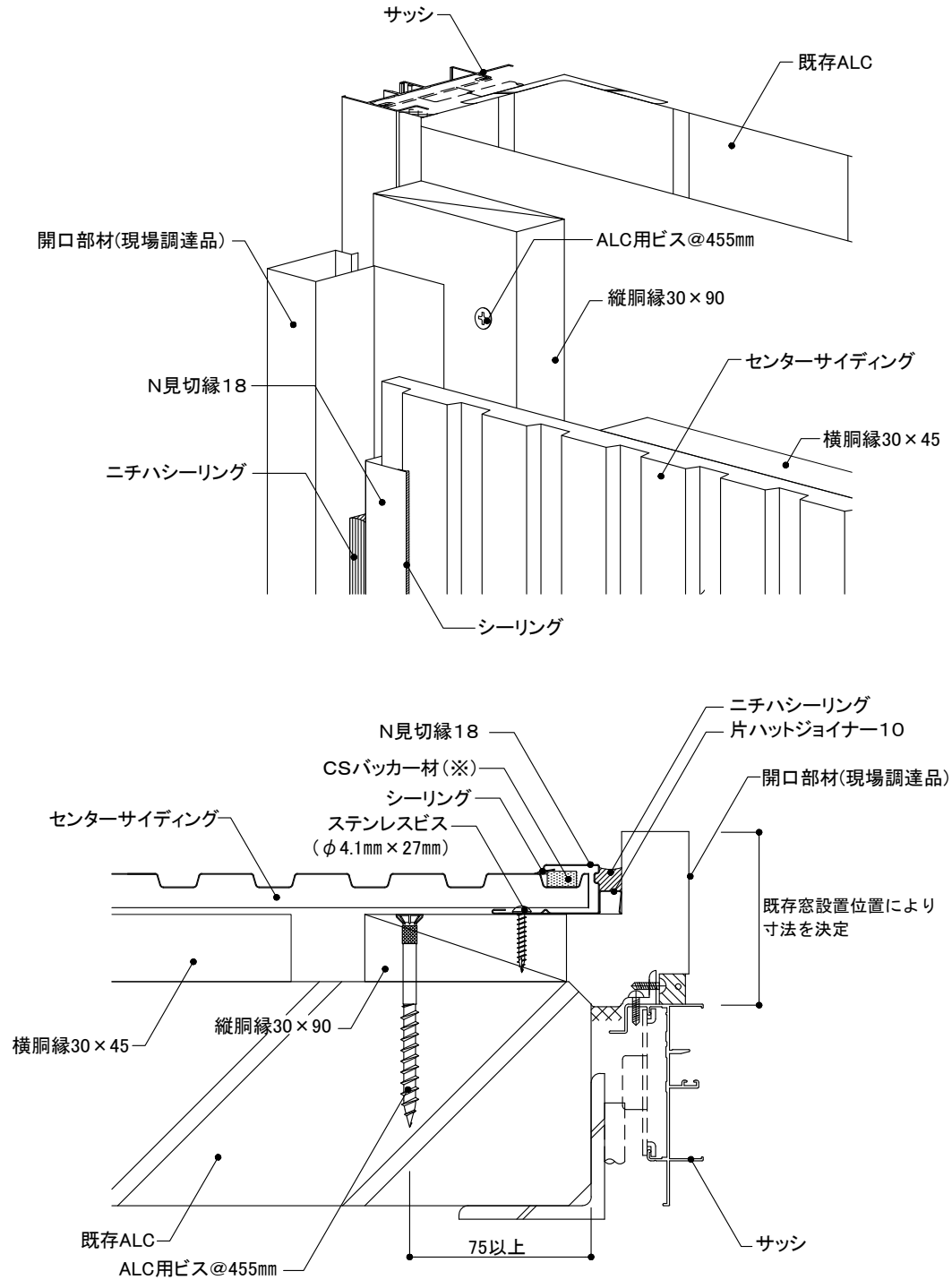


センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造 (ALC厚100mm) 木胴縁工法	ビス	縦	横胴縁@606mm以下

9) 開口部

③ 左右側

- 開口部まわりには、必要に応じて、倍幅90mm以上の木胴縁を取り付けます。
- 開口部まわりの開口部材は、既存建物のサッシの形状に合わせて、板金やアルミ加工品を取り付けます。
- センターサイディング端部が柄凹部でN見切縁18に隙間ができる場合は、図のようにCSパッカー材を貼り付けます。(※)

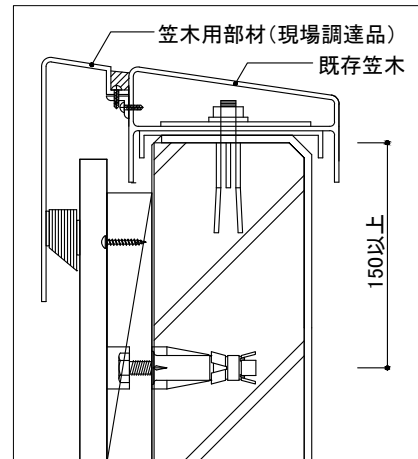
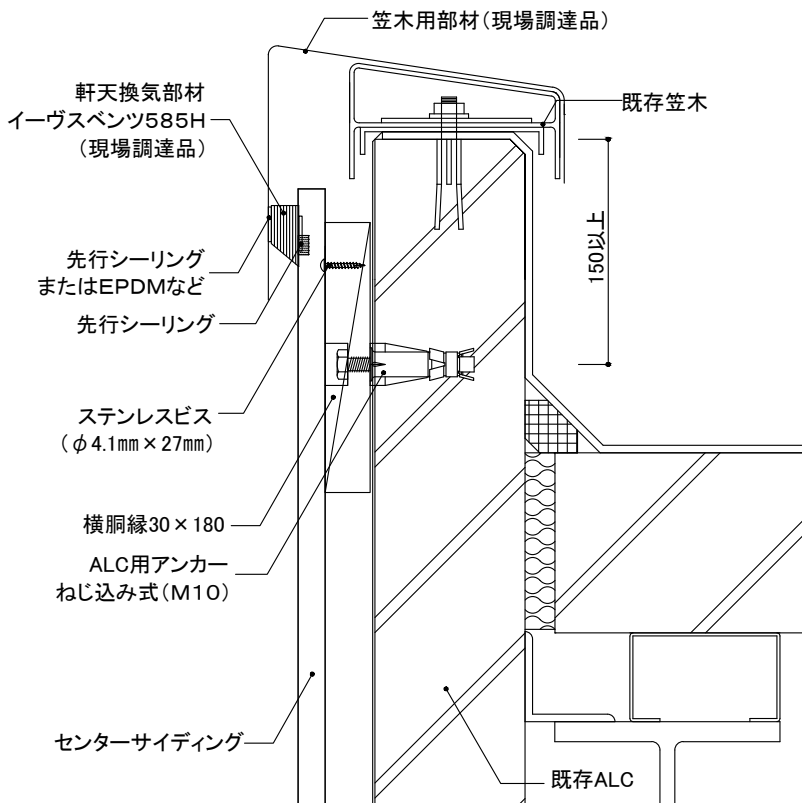
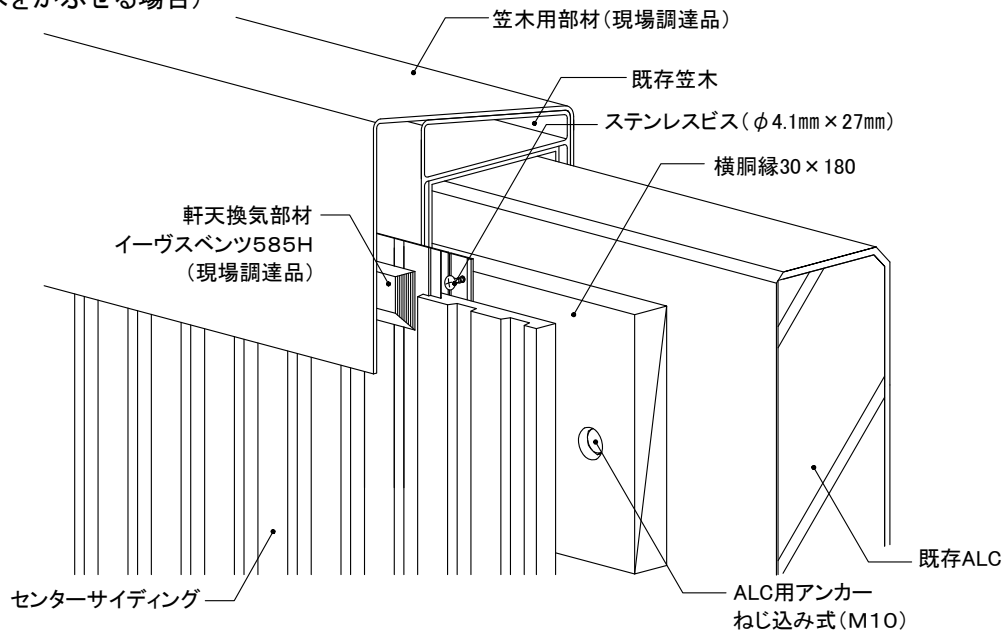


センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造 (ALC厚100mm) 木胴縁工法	ビス	縦	横胴縁@606mm以下

10) 笠木部

- 笠木用部材は、現場調達により、既存笠木に継ぎ足す、全体にかぶせる、または既存笠木を取り外し、あらたに取り付けます。
- 上端部には通気確保のため、イーヴスベンツ585Hを用いて施工します。

(笠木をかぶせる場合)



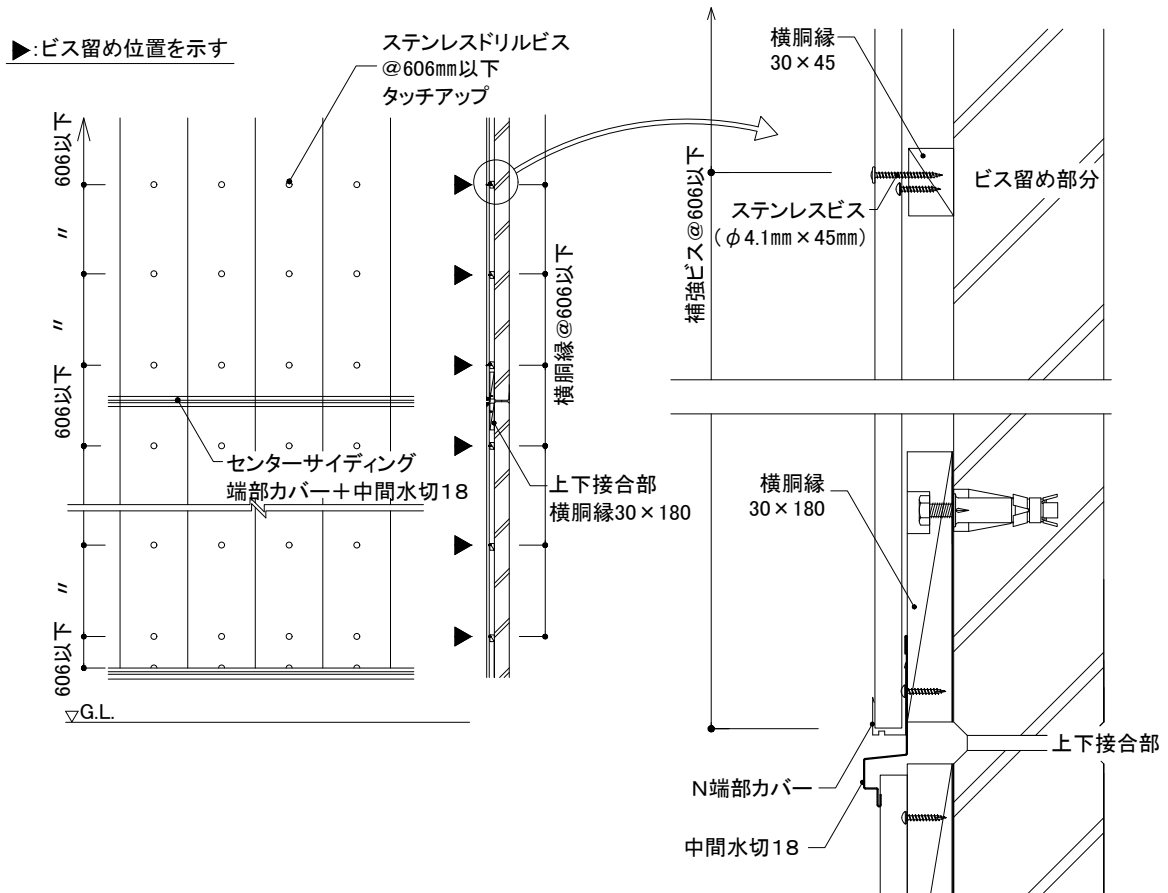
(笠木を継ぎ足す場合)

センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造 (ALC厚100mm) 木胴縁工法	ビス	縦	横胴縁@606mm以下

11) 補強工法による施工

「1-1適用条件 3) 適合地域 耐風圧条件」において、『補強工法』で施工する場合は以下の施工法とします。

- 補強工法は、センターサイディング表面からのビス留めし、補強します。
- ステンレスビス(φ4.1mm×45mm)を用い、胴縁ごと(606mm以下)の間隔で留め付けます。
- ビス留め位置は、センターサイディングの幅の中央とします。
- ビス頭の補修は、専用補修塗料を必要最小限の範囲に塗布します。



13 各部の納まり詳細図

S造 (ALC厚50mm)

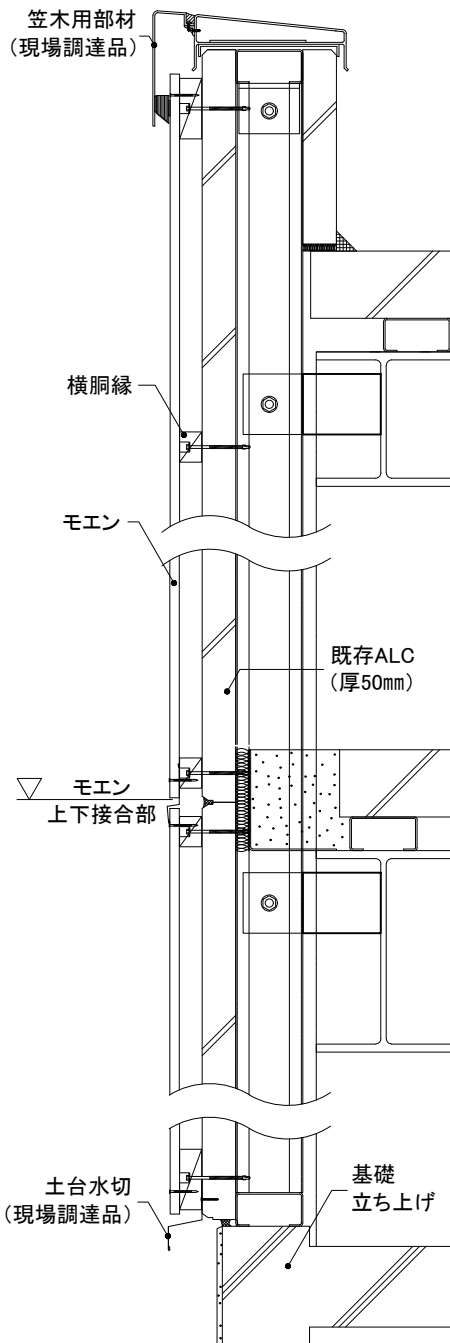
木胴縁工法

モエン縦張り

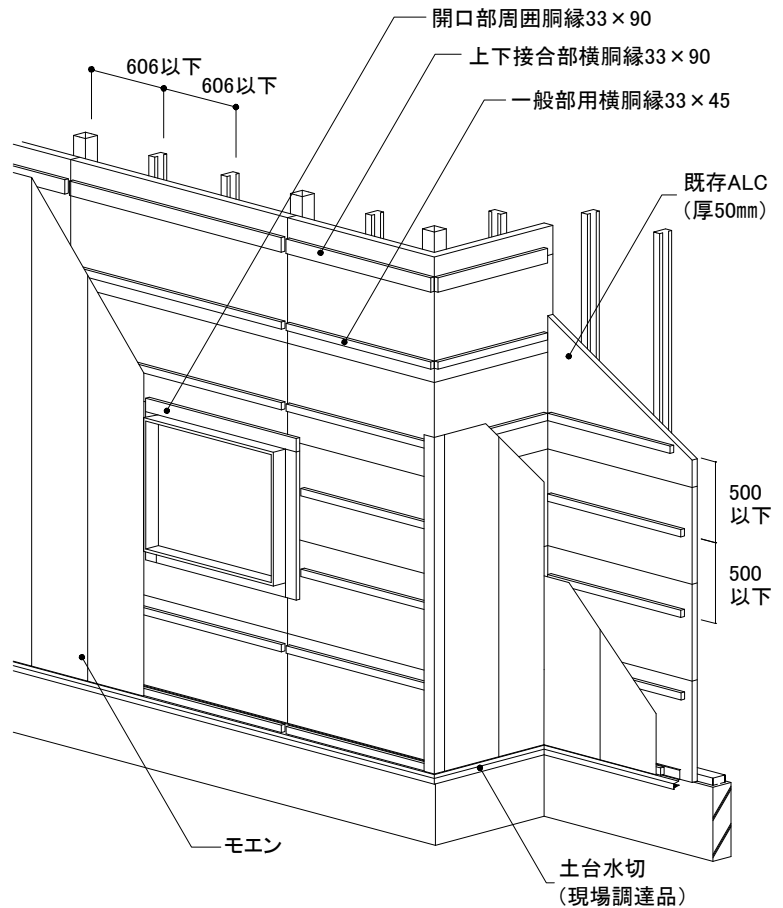
釘打ち施工

1) 基本構成図

構成断面



- 下地外壁材にひび割れなどがないか確認し、必要に応じて補修を行います。
- 下地は図のように500mm以下の間隔で木胴縁を取り付けます。
- 上下接合部などは、幅90mm程度の木胴縁を使用します。出隅部・開口部まわりなどには、必要に応じて倍幅90mm以上の木胴縁を使用します。
- 横胴縁は、必ず通気ができるように2,000mm以下の間隔で30mm程度の隙間を設けます。また、開口部まわりの横胴縁は30mm程度の隙間を設け、通気する構造とします。

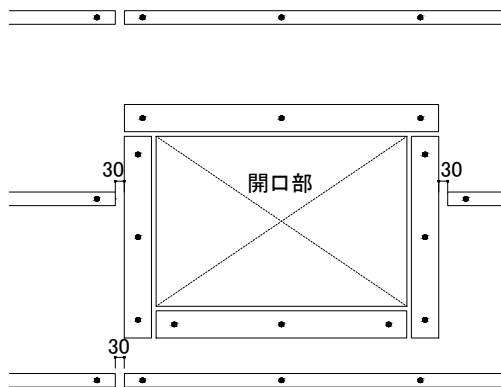


14mm厚品 M W	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造(ALC厚50mm) 木胴縁工法	釘	縦	横胴縁@500mm以下

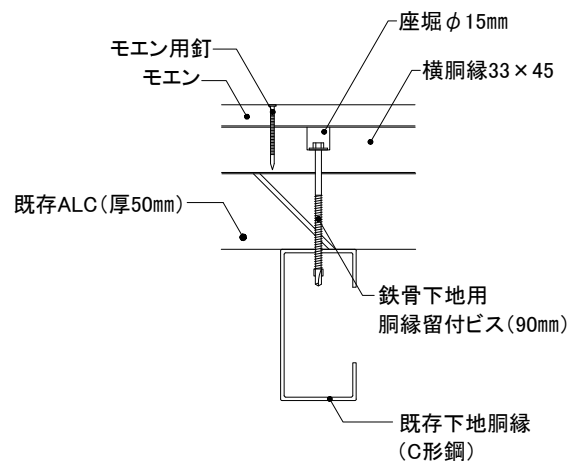
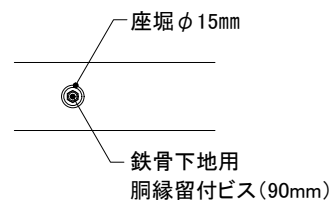
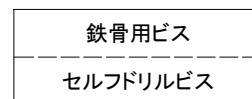
2) 胴縁概要図

- 木胴縁はALC厚50mmを貫通し、鉄骨下地に鉄骨下地用胴縁留付ビスで確実に留め付けます。
- モエンとの干渉を防ぐため、木胴縁にはあらかじめ、ALC用アンカー部分にφ15mm、深さ15mm程度の座堀をします。
- 木胴縁は鉄骨下地用胴縁留付ビスを用い、606mm以下の間隔で留め付けます。

開口部まわり(現場調達開口部材納めの例)



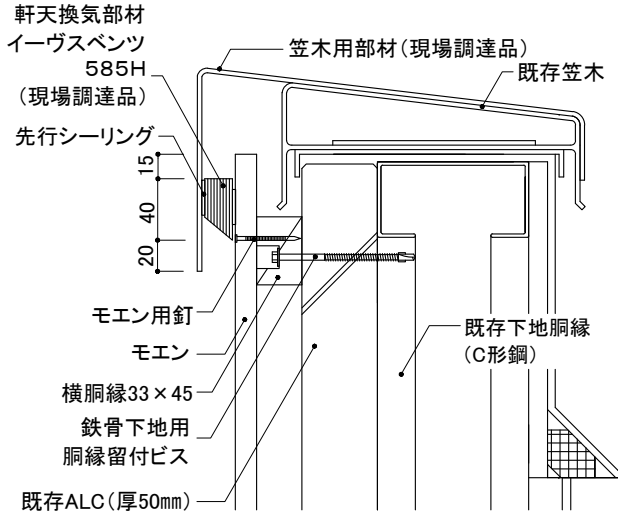
※開口部まわりは、ALC用ビスで留め付けてください。



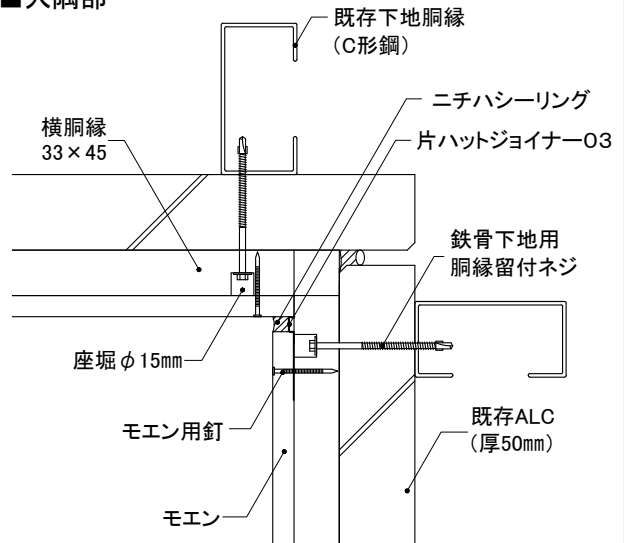
14mm厚品 M W	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造(ALC厚50mm) 木胴縁工法	釘	縦	横胴縁@500mm以下

3) 各部の納まり概要図

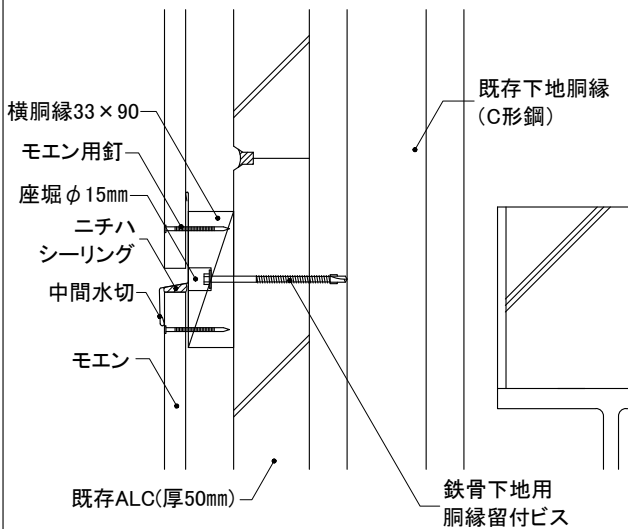
■ 笠木部(笠木をかぶせる場合)



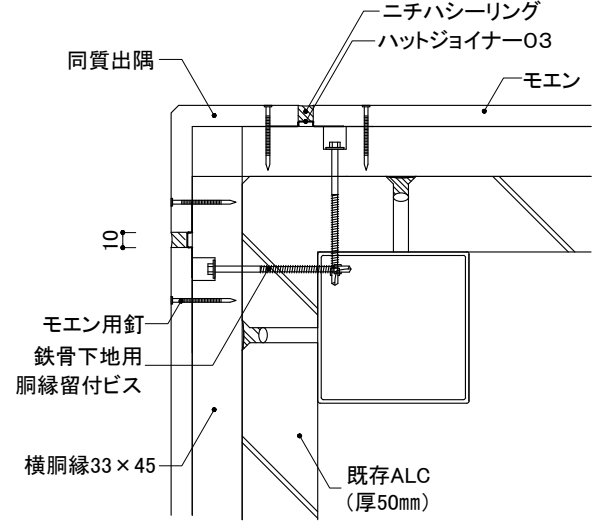
■ 入隅部



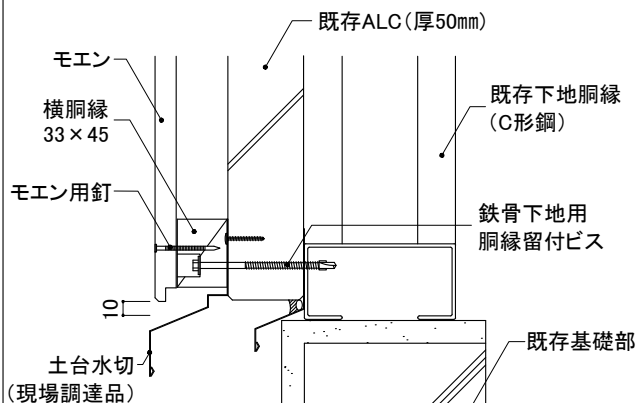
■ 上下接合部



■ 出隅部



■ 土台部



■ 左右接合部

